

Dominion KX II	
ユーザ ガイド リリース 2.1.00	

Copyright © 2008 Raritan, Inc. DKX2-v2.1.0-0I-J 2008年12月 255-62-4023-00 このドキュメントには著作権によって保護されている所有者情報が含まれています。無断で転載することは、禁じられ ており、このドキュメントのどの部分も Raritan, Inc. (Raritan 社) より事前に書面による承諾を得ることなく複写、 複製、他の言語へ翻訳することはできません。

© Copyright 2008 Raritan, Inc.、CommandCenter®、Dominion®、Paragon®、Raritan 社のロゴは、 Raritan, Inc. の商標または登録商標です。無断で転載することは、禁じられています。Java® は Sun Microsystems, Inc. の登録商標、Internet Explorer® は Microsoft Corporation の登録商標です。また、 Netscape® および Netscape Navigator® は Netscape Communication Corporation の登録商標です。そ の他すべての商標または登録商標は、その所有会社に帰属します。

### FCC 情報

この装置は FCC 規則のパート 15 による Class A デジタル装置の制限に準拠することが試験により証明されて います。これらの制限は、商業上の設置における有害な干渉を防止するために設けられています。この装置は、無線 周波数を生成、利用、放射する可能性があるので、指示に従った設置および使用をしないと、無線通信への干渉を 招く恐れがあります。この装置を居住環境で操作すると、干渉を招く場合があります。

VCCI 情報 (日本)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準 に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波 妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ず るよう要求されることがあります。

事故、自然災害、本来の用途とは異なる使用、不正使用、Raritan 社以外による製品の変更、その他 Raritan 社が関与しない範囲での使用や、通常の運用条件以外での使用による製品の故障については、Raritan 社は一 切責任を負いかねます。

CE CUUS 1F61 LISTED

# 目次

10 00/10	は	じめ	に
----------	---	----	---

めに	1
ヘルプでの最新情報	1
Dominion KX II ヘルプ	2
関連文書	2
Dominion KX II の概要	3
仮想メディア	5
製品の写真	6
製品の特長	7
ハードウェア	7
ソフトウェア	8
用語	8
パッケージの内容	

インストールと設定	11
概要	
デフォルトのログオン情報	11
入門	
ステップ 3: KVM ターゲット サーバの設定	
ステップ 4: ネットワーク ファイアウォールの設定	
ステップ 3: 装置の接続	
ステップ 2: Dominion KX II の設定	
ターゲット名で使用できる有効な特殊文字	
手順 5 (オプション): キーボード言語の設定	

# ターゲット サーバの使用

インタフェース	
Dominion KX II ローカル コンソール インタフェース	40
Dominion KX II リモート コンソール インタフェース	40
Multi-Platform Client インタフェース	54
Virtual KVM Client	55
概要	55
KVM ターゲット サーバへの接続	55
VKC ツールバー	56
KVM ターゲット サーバの切り替え	58
ターゲット サーバの電源管理	58
KVM ターゲット サーバの切断	59



11

USB プロファイルの選択	60
[Connection Properties] (接続プロパティ)	61
	63
キーボードのオプション	63
ビデオのプロパティ	68
マウス オプション	72
VKC 仮想メディア	77
ツール オプション	77
表示オプション	80
ヘルプのオプション	81

## 仮想メディア

概要	83
仮想メディアを使用するための前提条件	86
ファイル サーバのセットアップ (ファイル サーバ ISO イメージの場合のみ)	87
仮想メディアの使用	89
仮想メディアへの接続	91
[Local Drives] (ローカル ドライブ)	91
読み取り/書き込み可能に設定できない状況	92
ICD-ROM/DVD-ROM/ISO Images] (CD-ROM/DVD-ROM/ISO イメージ)	
仮想メディアの切断	

## USB プロファイルの設定

概要	
 CIM の互換性	97
使用できる USB プロファイル	97
KVM ポート用のプロファイルの選択	

## ユーザ管理

ユーザ グループ	
[User Group List] (ユーザ グループ リスト)	
- ユーザとグループの関係	
新規ユーザ グループの追加	
新規ユーザ グループの追加	
既存のユーザ グループの変更	
ユーザ	
[User List] (ユーザ リスト)	
- 新規ユーザの追加	
既存のユーザ グループの変更	
ユーザのログオフ (強制ログオフ)	
[Authentication Settings] (認証設定)	
LDAP/LDAPS リモート認証の実装	121



## 96

82

v

## 

## デバイス管理

[Network Settings] (ネットワーク設定)	
ネットワーク基本設定	134
LAN インタフェース設定	
[Device Services] (デバイス サービス)	
- [Modem Settings] (モデム設定)	140
- 日付/時刻の設定	142
イベント管理	
[Event Management - Settings] (イベント管理 - 設定)の設定	144
[Event Management - Destinations] (イベント管理 - 送信先)	
[Power Supply Setup] (電源設定)	
[Port Configuration] (ポート設定)	
標準ターゲット サーバの設定	
電源タップのターゲットの設定 (PX 以外)	
ブレード シャーシの設定	
USB プロファイルの設定 ([Port] (ポート) ページ)	

## 電源タップのコンセントの制御

概要	188
コンセントの電源オン/オフの切り替えまたは電源再投入を行う	189

## セキュリティ上の問題

セキュリティの設定	192
[Logon Limitations] (ログオン制限)	
[Strong Passwords] (強力なパスワード)	
[User Blocking] (ユーザ ブロック)	
- [Encryption & Share] (暗号化および共有)	198



## 188

## 192

## 目次

ご使用のブラウザで AES 暗号化方式がサポートされているかどうかを確認する	201
IP アクセス制御を設定する	201
SSL 証明書	204

## 保守

## 207

監査ログ	
デバイス情報	
バックアップと復元	
USB プロファイルの管理	
プロファイル名の競合を処理する	
CIM をアップグレードする	
ファームウェアをアップグレードする	
アップグレード履歴	
再起動	
Dominion KX II を CC-SG の管理対象から除外する	

## 診断

[Network Interface] (ネットワーク インタフェース) ページ	
[Network Statistics] (ネットワーク統計) ページ	
[Ping Host] (ホストに ping する) ページ	
[Trace Route to Host] (ホストへの経路をトレースする) ページ	
[Dominion KX II Diagnostics] (Dominion KX II 診断) ページ	

## コマンド ライン インタフェース (CLI)

概要	228
CLI を使用しての Dominion KX II へのアクセス	229
Dominion KX II への SSH 接続	229
Windows PC から SSH で接続する	229
UNIX/Linux ワークステーションから SSH で接続する	230
Dominion KX II への Telnet 接続	230
Telnet 接続を有効にする	230
Windows PC から Telnet で接続する	230
Windows PC から Telnet で接続する	231
ログオン	231
CLI の画面操作	232
コマンドのオート コンプリート	233
CLI 構文: ヒントとショートカット キー	233
すべての CLI レベルで使用できるコマンド	234
CLI を使用した初期設定	234
パラメータ値を設定する	235
ネットワーク パラメータ値を設定する	235



## ....

220

CLI プロンプト	235
CLI コマンド	
セキュリティ上の問題	237
Dominion KX II コンソール サーバ設定用コマンドを使用する	
ネットワークを設定する	
interface コマンド	
name コマンド	239
ipv6 コマンド	239

## Dominion KX II ローカル コンソール

## 



目次

240

vii

目次

リセット 小ダノを使用して Dominion KX II をリセットする	リセ	2ット ボタンを使用して	Dominion KX II	をリセットする		254
--------------------------------------	----	--------------	----------------	---------	--	-----

## 仕様

サポートされている画面解像度	
各言語に対してサポートされているキーボード	
サポートされているオペレーティング システム (クライアント)	
サポートされているブラウザ	
サポートされている CIM およびオペレーティング システム (ターゲット サーバ)	
認定モデム	
環境要件	
物理的仕様	
コンピュータ インタフェース モジュール (CIM)	
リモート接続	
使用される TCP ポートおよび UDP ポート	270
ターゲット サーバとの接続距離および画面解像度	272
ネットワーク速度の設定	273

## LDAP スキーマを更新する

ユーザ グループ情報を返す	
LDAP から返す場合	
Microsoft Active Directory から返す場合	
スキーマへの書き込み操作を許可するようにレジストリを設定する	
新しい属性を作成する	
属性をクラスに追加する	
スキーマ キャッシュを更新する	
ユーザ メンバの rciusergroup 属性を編集する	

## 留意事項

概要	283
Java Runtime Environment (JRE)	283
IPv6 のサポートに関する注意事項	284
キーボード	285
アメリカ英語以外のキーボード	285
Macintosh キーボード	288
マウス ポインタの同期 (Fedora)	289
Dell 筐体を接続する場合のケーブル長と画面解像度	289
Fedora Core のフォーカスに関する問題を解決する	290
Fedora、Firefox 3.0.x、および JRE 1.5.0_16 の環境で VKC を実行する	290
SUSE と VESA のビデオ モード	290
USB ポートとプロファイル	291
VM-CIM および DL360 の USB ポート	291
USB プロファイルの選択に関するヘルプ	291



## 283

275

CIM	293
Linux ターゲット サーバに対して Windows の 3 ボタン マウスを使用する場合	293
Windows 2000 での複合 USB デバイスの動作	294
仮想メディア	
ファイル追加後に仮想メディアが最新の情報に更新されない	295
仮想メディア機能利用時におけるターゲット サーバの BIOS の起動時間	
CC-SG	
VKC のバージョンが CC-SG プロキシ モードで認識されない	295
シングル マウス モード: Firefox を使用して CC-SG の管理下にあるターゲット サーバにアク	セスす
る場合	295
MPC と VKC の接続設定	
プロキシ モードと MPC	
Dominion KX II のポート間を移動する	

## FAQ

## 297

全般的な質問	
リモート アクセス	
ユニバーサル仮想メディア	
USB プロファイル	
Ethernet と IP ネットワーキング	
IPv6 ネットワーキング	
サーバ	
ブレード サーバ	
インストール	
ローカル ポート	
電源制御	
拡張性	
コンピュータ インタフェース モジュール (CIM)	
セキュリティ	
管理機能	
ーーーーーー その他	

## 索引

## 329



ix

# はじめに

## この章の内容

ヘルプでの最新情報	1
Dominion KX II ヘルプ	2
Dominion KX II の概要	3
仮想メディア	5
製品の写真	6
製品の特長	7
用語	8
パッケージの内容	10

## ヘルプでの最新情報

1

Dominion KX II ヘルプの以下のセクションは、製品やユーザ マニュアルに対する強 化や変更に基づいて、変更されたり情報が追加されたりしています。

- Dominion KX II にブレード サーバのサポートが追加されました。詳細は、「プレード シャーシの設定『p. 160』」を参照してください。
- Dominion KX II にオンライン ヘルプが追加されました。オンライン ヘルプと同じ情報を含む PDF バージョンのオンライン ヘルプは、ラリタンの Web サイトの「Firmware and Documentation」ページにあります (*「Firmware and Documentation」ページ*

http://www.raritan.com/support/firmware-and-documentation/を参照してください)。

- Dominion KX II にPX 電源タップのサポートが追加されました。「 電源タップ のコンセントの制御『p. 188』」を参照してください。
- Dominion KX II では、管理者がサーバからユーザをログオフできるようになりました。「ユーザのログオフ(強制ログオフ)『p. 119』」を参照してください。
- SSL 証明書が Dominion KX II に追加されました。「SSL 証明書 『p. 204』」を参照してください。
- ProductName> に、ローカル ポートからのホットキー切り替えが含まれるように なりました。

このバージョンのヘルプに対して適用される変更の詳細は、リリース ノートを参照して ください。



## Dominion KX II ヘルプ

Dominion KX II ヘルプでは、Dominion KX II のインストール、セットアップ、および 設定の方法に関する情報を確認できます。また、ターゲット サーバおよび電源タッ プに対するアクセス、仮想メディアの使用、ユーザおよびセキュリティの管理、 Dominion KX II の保守と診断に関する情報も提供します。

PDF バージョンのヘルプは、ラリタンの Web サイトの「Firmware and Documentation」ページ

http://www.raritan.com/support/firmware-and-documentation/からダウンロードできます。 最新のユーザ ガイドが利用できるかどうかをラリタンの Web サイトで 確認することを推奨します。

#### 関連文書

Dominion KX II ヘルプには、Dominion KX II クイック セットアップ ガイドが付属 しています。これは、デバイスに含まれている CD 内、またはラリタンの Web サイト の**「Firmware and Documentation」ページ** 

http://www.raritan.com/support/firmware-and-documentation/にあります。 Dominion KX II で使用するクライアント アプリケーションのインストールの要件およ び手順についても、ラリタンの Web サイトにある『KVM and Serial Client User Guide』を参照してください。 適用できる場合は、Dominion KX II で使用される 特定のクライアント機能がこのヘルプに含まれています。



## Dominion KX II の概要

Dominion KX II は、世界中どこからでも Web ブラウザを介して最大 64 台のサ ーバへの BIOS レベル以上のアクセスおよび制御を提供する、企業規模のセキュア なデジタル KVM (キーボード、ビデオ、マウス) スイッチです。 ラック内の Dominion KX II で、1 組のキーボード、モニタ、およびマウスから、最大 64 台のサーバと IT デバイスを BIOS レベルで制御できます。 また、Dominion KX II のリモート アク セス機能の統合によって、Web ブラウザを使用した同じレベルのサーバの制御が可 能になっています。

Dominion KX II は、標準 UTP (Cat 5/5e/6) ケーブルを使用した配線で簡単に 取り付けることができます。その高度な機能には、仮想メディア、128 ビット暗号化、 二重化電源、リモート電源管理、二重化 Ethernet、LDAP、RADIUS、Active Directory、Syslog との統合、外付けモデム機能、および Web 管理などが含ま れています。これらの機能により、より長い稼働時間、より優れた生産性、強固な セキュリティを、いつでも、どこからでも提供できます。

Dominion KX II 製品は、スタンドアロン装置として動作し、中央管理デバイスには 依存しません。 大規模なデータ センタや企業では、多数の Dominion KX II デ バイス (Dominion SX デバイスをリモート シリアル コンソール アクセス用、 Dominion KSX をリモート/支店管理用に併用)を、ラリタンの CommandCenter Secure Gateway (CC-SG)を使用して、1 つの論理ソリュー ションとして統合することが可能です。





図の説明				
1	Cat5 ケーブル	$\bigcirc$	リモート仮想メディア USB ド ライブ	
2	コンピュータ インタフェース モジュール (CIM)	(*)	電源タップ	
3	Dominion KX II	9	ローカル アクセス	
4	リモート KVM およびシリア ル デバイス	A	IP LAN/WAN	
5	モデム	₿	PSTN	
6	リモート (ネットワーク) アク セス			



## 仮想メディア

すべての Dominion KX II モデルにおいて仮想メディアがサポートされています。これにより、仮想メディアのメリット (ソフトウェアのインストールおよび診断をサポートするためにターゲット サーバにリモート ドライブ/メディアをマウントすること) がすべての Dominion KX II モデルにもたらされます。

それぞれの Dominion KX II は仮想メディアを装備しているので、CD、DVD、 USB、内部およびリモート ドライブ、イメージなどのいろいろなデバイスを使用したリモ ート管理タスクが可能です。他のソリューションとは異なり、Dominion KX II は、ハ ード ディスク ドライブおよびリモートにマウントされたイメージの仮想メディア アクセス をサポートして、高い柔軟性と生産性を提供します。

仮想メディアのセッションは、128 ビットの AES または RC4 暗号化によって保護 されます。

D2CIM-VUSB CIM および D2CIM-DVUSB CIM (コンピュータ インタフェース モ ジュール) では、USB 2.0 インタフェースをサポートする KVM ターゲット サーバへの 仮想メディア セッションがサポートされます。 これらの新しい CIM では、ずれないマ ウス (Absolute Mouse Synchronization™) やリモート ファームウェア アップデー トもサポートされます。



	=			
お Raritan				KX2-464
			_	
				199
				1
				1



製品の写真

## 製品の特長

#### ハードウェア

- KVM-over-IP リモート アクセスの統合
- 1U または 2U サイズ (KX2-464)、ラックマウント対応、ブラケット添付
- フェイルオーバ対応の二重化電源 障害警告機能を備えた自動切換え電源
- 8、16、32、または 64 個 (KX2-464) のサーバ ポート
- マルチ ユーザ機能 (1/2/4 リモート ユーザ、1 ローカル ユーザ)
- UTP (Cat5/5e/6) ケーブルを使用したサーバへの配線
- フェイルオーバ対応の二重化 Ethernet ポート (10/100/1000 LAN)
- フィールド アップグレード可能
- ラック内アクセス用ローカル ユーザ ポート
  - キーボード/マウス用 PS/2 ポート
  - サポートされる USB デバイス用の、USB 2.0 ポート (前面に 1 基、背面に 3 基)
  - リモート ユーザ アクセスと同時に操作可能
  - 管理用のローカル グラフィカル ユーザ インタフェース (GUI)
- 中央管理されるアクセス セキュリティ
- 電源管理の統合
- 二重化電源やネットワーク アクティビティ、リモート ユーザの状況を示す LED インジケータ
- ハードウェア リセット ボタン
- 外付けモデムに接続するためのシリアル ポート



1: はじめに

## ソフトウェア

- 仮想メディア (D2CIM-VUSB CIM および D2CIM-DVUSB CIM により提 供)
- ずれないマウス (Absolute Mouse Synchronization) (D2CIM-VUSB CIM および D2CIM-DVUSB CIM により提供)
- プラグ & プレイ
- Web ベースのアクセスと管理
- わかりやすいグラフィカル ユーザ インタフェース (GUI)
- すべての KVM 信号を 128 ビット暗号化 (ビデオや仮想メディアを含む)
- LDAP、Active Directory、RADIUS、または内部機能による認証および認可
- DHCP または静的な IP アドレスの指定
- SNMP および Syslog 管理
- IPv4 および IPv6 のサポート
- 誤操作を防ぐためにサーバと直接関連付けられる電源管理
- ラリタンの CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) 管理本体との統合
- CC-SG の制御からデバイスを解除するための CC Unmanage 機能

用語

このマニュアルでは、Dominion KX II の典型的な構成コンポーネントを示すにあたり、 以下の用語を使用します。





図の説明	]
	TCP/IP
$\bigcirc$	IPv4 または IPv6
2	KVM (キーボード、ビデオ、マウス)
3	UTP ケーブル (Cat5/5e/6)
0	Dominion KX II
0	ローカル アクセス コンソール
	ローカル ユーザ - ターゲット サーバを (ネットワーク経由ではな く直接ラック内で) 制御するために Dominion KX II に直接接 続された、(キーボード、マウス、マルチシンク VGA モニタで構 成される) オプションのユーザ コンソール。
0	リモート PC
	Dominion KX II に接続している KVM ターゲット サーバへの アクセスとその制御に使用する、ネットワークに接続したコンピュー タ。 Dominion KX II によってリモートにサポートされるオペレー ティング システムの一覧については、「 <i>サポートされているオペレ ーティング システム (クライアント)</i> 『p. 257』」を参照してくださ い。
D	CIM
	各ターゲット サーバまたは電源タップに接続するドングル。サポ ートされているすべてのオペレーティング システムに対して使用で きます。 Dominion KX II でサポートされている CIM について は、「 <i>サポートされている CIM およびオペレーティング システム</i> (ターゲット サーバ)『p. 259』」を参照してください。
Ø	ターゲット サーバ
•	KVM ターゲット サーバ - Dominion KX II を介してリモート アクセスされる、ビデオ カードとユーザ インタフェースを搭載した サーバ (Windows、Linux、Solaris 等)。 サポートされている オペレーティング システムおよび CIM については、「 <i>サポートさ</i> <i>れている CIM およびオペレーティング システム (ターゲット サ</i> ー/I) 『p. 259』」を参照してください。
Ø	Dominion PX 電源タップ
	Dominion KX II を介してリモート アクセスされるラリタン電源タップ。



## パッケージの内容

Dominion KX II は、標準 1U (KX2-464 の場合は 2U) 19 インチ ラックマウン ト シャーシに搭載される、完全に構成されたスタンドアロン製品として出荷されます。 各 Dominion KX II デバイスは、以下の内容で出荷されます。

数量	品目
1	Dominion KX II デバイス
1	Dominion KX II クイック セットアップ ガイド
1	ラリタン ユーザ ガイド CD-ROM
1	ラックマウント キット
1	AC 電源コード
1	Cat5 ネットワーク ケーブル
1	Cat5 ネットワーク クロス ケーブル
1	ゴム足 1 組 (4 個、デスクトップ設置用)
1	アプリケーション ノート
1	保証書



インストールと設定

### この章の内容

概要	11
デフォルトのログオン情報	11
入門	12

## 概要

2

このセクションでは、インストール手順の概要を説明します。 それぞれの手順については、この章の後のセクションで詳しく説明します。

- ▶ Dominion KX II をインストールおよび設定するには、以下の手順に従います。
- *手順 1: KVM ターゲット サーバの設定*『p. 12の"ステップ 3: KVM ター ゲット サーバの設定"参照 』
- *手順 2: ネットワーク ファイアウォールの設定*『p. 250"ステップ 4: ネットワ ーク ファイアウォールの設定"参照 』
- **手順 3: 装置の接続**『p. 26の"ステップ 3: 装置の接続"参照 』
- *手順 4: Dominion KX II の設定* 『p. 29の"ステップ 2: Dominion KX II の設定"参照 』
- 手順 5 (オプション): キーボード言語の設定『p. 37』

このセクションには、必要なデフォルトのログオン情報も含まれます。 この情報には、 特にデフォルト IP アドレス、ユーザ名、およびパスワードがあります。「*デフォルトのロ* グオン情報『p. 11』」を参照してください。

## デフォルトのログオン情報

デフォルト	值
ユーザ名	デフォルトのユーザ名は admin です。このユーザは、管 理者特権を有します。
パスワード	デフォルトのパスワードは raritan です。
	パスワードは大文字と小文字が区別されるため、大文字と 小文字は作成したとおりに正確に入力する必要がありま す。たとえば、デフォルトのパスワード raritan は、すべて 小文字で入力する必要があります。
	Dominion KX II を初めて起動したときは、デフォルトのパ スワードを変更する必要があります。



2: インストールと設定

デフォルト	值	
IP アドレス	Dominion KX II の出荷時には、デフォルトの IP アドレス (192.168.0.192) が設定されています。	
重要: バックアップと事業の継続性のためには、バックアップ管理者 用のユーザ名およびパスワードを作成し、その情報を安全な場所に保 管しておくことを強くお勧めします。		

## 入門

#### ステップ 3: KVM ターゲット サーバの設定

KVM ターゲット サーバとは、Dominion KX II を介してアクセスおよび制御するコン ピュータです。 最適なパフォーマンスを確保するために、Dominion KX II をインスト ールする前に、すべての KVM ターゲット サーバを設定します。 この設定は、KVM ターゲット サーバのみに適用されます。Dominion KX II のリモート アクセスに使用 されるクライアント ワークステーション (リモート PC) には適用されません。 詳細は、 「**用語**『p. 8』」を参照してください。

## デスクトップの背景

Windows、Linux、X-Windows、Solaris、および KDE などのグラフィカル ユーザ - インタフェースを実行する KVM ターゲット サーバは、帯域幅効率とビデオ パフ ォーマンスを最適化するための設定が必要です。デスクトップの背景は完全な無地に する必要はありませんが、写真や複雑な配色の背景を使用すると、パフォーマンスが 低下する可能性があります。



#### マウスの設定

Dominion KX II は、次のマウス モードで動作します。

- ずれないマウス モード (D2CIM-VUSB のみ)
- インテリジェント マウス モード (アニメーション カーソルを使用しないでください)
- 標準マウス モード

ずれないマウス (Absolute Mouse Synchronization) の場合は、マウス パラメー タを変更する必要はありません。ただし、このモードを使用するには、D2CIM-VUSB が必要です。標準マウス モードとインテリジェント マウス モードの場合、マウス パラ メータを特定の値に設定する必要があります (後述)。マウス設定は、ターゲットのオ ペレーティング システムによって異なります。詳細については、使用するオペレーティン グ システムのマニュアルを参照してください。

通常、インテリジェント マウス モードは、ほとんどの Windows プラットフォーム上で 問題なく機能しますが、 ターゲット上でアクティブ デスクトップが設定されたときに予 測できない結果が生じる可能性があります。 インテリジェント マウス モード設定に ついての詳細は、「*インテリジェント マウス モード*『p. 75の"Intelligent (インテリジェ ント) マウス モード"参照先 』」を参照してください。

一般的に、ブレード シャーシ内に内部 KVM スイッチを持つサーバは、通常、ずれ ないマウス技術をサポートしていません。

#### Windows 2000®の設定

- Microsoft Windows 2000 を実行している KVM ターゲット サーバを設定 するには、以下の手順に従います。
- 1. マウスの設定を行います。
  - a. [スタート]、[コントロール パネル]、[マウス] の順に選択します。
  - b. [動作] タブをクリックします。
    - アクセラレーションを [なし] に設定します。
    - ポインタの速度設定をちょうど中間の速度に設定します。
    - [OK] をクリックします。
- 2. アニメーション効果を無効にします。
  - a. [コントロール パネル]の[画面]オプションを選択します。
  - b. [効果] タブをクリックします。
  - c. [次のアニメーション効果をメニューとヒントに使用する] オプションをオフにします。
  - d. [OK] をクリックします。



e. [コントロール パネル] を閉じます。

#### Windows XP®/Windows 2003®

- Microsoft Windows XP/2003 を実行している KVM ターゲット サーバを 設定するには、以下の手順に従います。
- 1. マウスの設定を行います。
  - a. [スタート]、[コントロール パネル]、[マウス] の順に選択します。
  - b. [ポインタ オプション] タブをクリックします。
  - c. [速度] グループで、以下の操作を行います。
    - ポインタの速度設定をちょうど中間の速度に設定します。
    - [ポインタの精度を高める] オプションをオフにします。
    - [動作] のオプションを無効にします。
    - [OK] をクリックします。

注: ターゲット サーバで Windows 2003 を実行している場合に、KVM を 介してサーバにアクセスし、次に挙げるアクションのいずれかを実行すると、以前 有効になっていたマウスの同期が失われる可能性があります。 同期を再度有 効にするには、クライアントで [Mouse] (マウス) メニューの [Synchronize Mouse] (マウスの同期) コマンドを選択する必要があります。 これが発生する 可能性があるアクションを以下に示します。

- テキスト エディタを開く。

- Windows の [コントロール パネル] から [マウスのプロパティ]、[キーボードの プロパティ]、および [電話とモデムのオプション] にアクセスする。

- 2. アニメーション効果を無効にします。
  - a. [コントロール パネル]の [画面] オプションを選択します。
  - b. [デザイン] タブをクリックします。
  - c. [効果] ボタンをクリックしてます。
  - d. [次のアニメーション効果をメニューとヒントに使用する] オプションをオフにします。
  - e. [OK] をクリックします。
- 3. [コントロール パネル]を閉じます。



注: Windows 2000 または XP を実行している KVM ターゲット サーバの場合、 Dominion KX II を介したリモート接続用に、専用のユーザ名を作成することが可 能です。これにより、ターゲット サーバのマウス ポインタの速度や加速を Dominion KX II 接続用に遅く設定できます。

Windows XP と 2000 のログイン ページでは、マウスのパラメータが、最適な Dominion KX II パフォーマンス用に提案されたパラメータとは異なる、プリセットされ たパラメータに戻ります。 この結果、これらの画面ではマウスの同期は最適ではあり ません。

警告! Windows KVM ターゲット サーバのレジストリを調整してもかまわない場合のみ、次の操作を行ってください。Windows レジストリ エディタを使って次の設定を変更することにより、ログイン ページで Dominion KX II のマウスの同期を改善することができます。HKey\_USERS\.DEFAULT\Control Panel\Mouse: > MouseSpeed = 0、MouseThreshold 1=0、 MouseThreshold 2=0。

### Windows Vista® の設定

- Microsoft Windows Vista を実行している KVM ターゲット サーバを設定 するには、以下の手順に従います。
- 1. マウスの設定を行います。
  - a. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル]、[マウス] の順に選択します。
  - b. [ポインタ オプション] タブをクリックします。
  - c. [速度] グループで、以下の操作を行います。
    - ポインタの速度設定をちょうど中間の速度に設定します。
    - [ポインタの精度を高める] チェック ボックスをオフにします。
    - [OK] をクリックします。
- 2. アニメーション効果とフェード効果を無効にします。
  - a. [コントロール パネル]の [システム] オプションを選択します。
  - b. [パフォーマンス情報] を選択し、[ツール]、[詳細ツール]、[調整] の順に選 択し、Windows の外観とパフォーマンスを調整します。
  - c. [詳細設定] タブをクリックします。
  - d. [パフォーマンス] グループの [設定] ボタンをクリックします。[パフォーマンス オプション] ダイアログ ボックスが開きます。
  - e. [カスタム] オプションで、以下のチェック ボックスをオフにします。
  - アニメーション関連のオプション:



- [Windows 内のアニメーション コントロールと要素]
- [ウィンドウを最大化や最小化するときにアニメーションで表示する]
- フェード関連のオプション:
  - [メニューをフェードまたはスライドして表示する]
  - [ヒントをフェードまたはスライドで表示する]
  - [メニュー項目をクリック後にフェード アウトする]
- 3. [OK] をクリックします。
- 4. [コントロール パネル]を閉じます。

## Linux の設定 (Red Hat 9)

注: 以下の設定は、標準マウス モード専用に最適化されています。

- Linux を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、以下の手順 に従います (グラフィカル ユーザ インタフェース)。
- 1. マウスの設定を行います。
  - a. メイン メニュー、[Preferences] (個人設定)、[Mouse] (マウス) の順に選 択します。 [Mouse Preferences] (マウスの設定) ダイアログ ボックスが 表示されます。
  - b. [Motion] (動作) タブをクリックします。
  - c. [Speed] (速度) グループ内で、[Acceleration] (加速) スライダを正確に 中間に設定します。
  - d. [Speed] (速度) グループ内で、[Sensitivity] (感度) を低く設定します。
  - e. [Drag & Drop] (ドラッグ & ドロップ) グループ内で、しきい値を小に設定 します。
  - f. [Mouse Preferences] (マウスの設定) ダイアログ ボックスを閉じます。

注: これらの手順でうまく設定できない場合は、Linux コマンド ラインの方法 で説明されているように、コマンド「xset mouse 1 1」を入力します。

- 2. 画面解像度を設定します。
  - a. メイン メニュー、[System Settings] (システム設定)、[Display] (画面) の順に選択します。 [Display Settings] (画面の設定) ダイアログ ボック スが表示されます。
  - b. [Display] (画面) タブから、Dominion KX II でサポートされている解像 度を選択します。
  - c. [Advanced] (高度) タブから、Dominion KX II でサポートされている垂 直走査周波数を確認します。



注: ターゲット サーバに接続している場合、ほとんどの Linux グラフィカル環境で は、コマンド Ctrl+Alt++ を押すと、XF86Config または /etc/X11/xorg.conf (使 用中の X サーバ ディストリビューションに応じて決まります) で有効になっているすべ ての解像度が順にスクロールされ、ビデオ解像度が変更されます。

- Linux を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、以下の手順 に従います (コマンド ライン)。
- マウスの加速を正確に1 に設定し、しきい値も正確に1 に設定します。コマンド「xset mouse 1 1」を入力します。このコマンドは、ログイン時の実行用に設定する必要があります。
- 2. Linux を実行している各ターゲット サーバが、Dominion KX II でサポートされ ている解像度を、標準 VESA 解像度および垂直走査周波数で使用してい ることを確認します。
- 3. さらに、各 Linux ターゲット サーバを、ブランキング時間が VESA の標準値 の +/- 40% になるように設定する必要があります。
  - a. Xfree86 設定ファイル XF86Config を表示します。
  - b. テキスト エディタを使用して、Dominion KX II でサポートされていない解 像度をすべて無効にします。
  - c. (Dominion KX II でサポートされていない) 仮想デスクトップ機能を無効 にします。
  - d. ブランキング時間を確認します (VESA 標準の +/- 40%)。
  - e. コンピュータを再起動します。

注: ビデオの解像度を変更した場合は、そのビデオ設定を有効にするために、ター ゲット サーバからログオフし、再度ログインする必要があります。

Red Hat 9 KVM ターゲット サーバに関する注意

USB CIM が使用されているターゲット サーバで Red Hat 9 を実行していて、キ ーボードやマウスに問題が発生した場合は、ここに説明する設定を試すことができま す。

*ヒント: これらの手順は、OS を新規にインストールした後でも実行する必要があります。* 

- USB CIM を使用している Red Hat 9 サーバを設定するには以下の手順に 従います。
- 1. システムの設定ファイル (通常は /etc/modules.conf) を探します。
- 任意のエディタを使用して、modules.conf ファイルの alias usb-controller 行を次のように設定します。



alias usb-controller usb-uhci

注: /etc/modules.conf ファイル内で usb-uhci が記述されている行が他に 存在する場合は、その行を削除するかコメントアウトする必要があります。

- 3. ファイルを保存します。
- 4. 変更を有効にするために、システムをリブートします。

#### Linux の設定 (Red Hat 4)

注: 以下の設定は、標準マウス モード専用に最適化されています。

- Linux を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、以下の手順 に従います (グラフィカル ユーザ インタフェース)。
- 1. マウスの設定を行います。
  - a. メイン メニュー、[Preferences] (個人設定)、[Mouse] (マウス) の順に選 択します。 [Mouse Preferences] (マウスの設定) ダイアログ ボックスが 表示されます。
  - b. [Motion] (動作) タブを開きます。
  - c. [Speed] (速度) グループ内で、[Acceleration] (加速) スライダを正確に
     中間に設定します。
  - d. [Speed] (速度) グループ内で、[Sensitivity] (感度) を低く設定します。
  - e. [Drag & Drop] (ドラッグ & ドロップ) グループ内で、しきい値を小に設定 します。
  - f. [Mouse Preferences] (マウスの設定) ダイアログ ボックスを閉じます。

注: これらの手順でうまく設定できない場合は、Linux com コマンド ラインの 方法で説明されているように、コマンド「xset mouse 1 1」を入力します。

- 2. 画面解像度を設定します。
  - a. メイン メニュー、[System Settings] (システム設定)、[Display] (画面) の順に選択します。 [Display Settings] (画面の設定) ダイアログ ボック スが表示されます。
  - b. [Settings] (設定) タブから、Dominion KX II でサポートされている解像 度を選択します。
  - c. [OK] をクリックします。



注: ターゲット サーバに接続すると、ほとんどの Linux グラフィカル環境では、コマ ンド Ctrl+Alt++ を押すと、XF86Config または /etc/X11/xorg.conf (使用中の X サーバ ディストリビューションに応じて決まります)で有効になっているすべての解像 度が順にスクロールされ、ビデオ解像度が変更されます。

注: ビデオの解像度を変更した場合は、そのビデオ設定を有効にするために、ター ゲット サーバからログオフし、再度ログインする必要があります。

### SUSE Linux 10.1 の設定

注: SUSE ログイン プロンプトでマウスを同期しないでください。 マウス カーソルを 同期するには、ターゲット サーバに接続している必要があります。

#### ▶ マウスを設定するには、以下の手順に従います。

- [デスクトップ] メニューの [コントロールセンター] を選択します。 [Desktop Preferences] (デスクトップの設定) ダイアログ ボックスが表示されます。
- [Mouse] (マウス) をクリックします。 [Mouse Preferences] (マウスの設定) ダ イアログ ボックスが表示されます。
- 3. [Motion] (動作) タブを開きます。
- [Speed] (速度) グループ内で、[Acceleration] (加速) スライダを正確に中間 位置に設定します。
- [Speed] (速度) グループ内で、[Sensitivity] (感度) スライダを低く設定します。
- 6. [Drag & Drop] (ドラッグ & ドロップ) グループ内で、しきい値スライダを小に設 定します。
- 7. [Close] (閉じる) をクリックします。
- ▶ ビデオを設定するには、以下の手順に従います。
- [Desktop Preferences] (デスクトップの設定)の [Graphics Card and Monitor] (グラフィックカードとモニター)を選択します。 [Card and Monitor Properties] (カードとモニターのプロパティ) ダイアログ ボックスが表示されます。
- 解像度と垂直走査周波数に、Dominion KX II でサポートされている値が使用されていることを確認します。詳細は、「サポートされている画面解像度『p. 255』」を参照してください。

注: ビデオの解像度を変更した場合は、そのビデオ設定を有効にするために、 ターゲット サーバからログオフレ、再度ログインする必要があります。



#### Linux の設定の永続化

注: この手順は、使用している Linux のバージョンによって少し異なる場合があり ます。

- ▶ Linux で設定を永続化するには、以下の手順に従います (プロンプト)。
- [System] (システム) メニュー、[Preferences] (設定)、[Personal] (個人)、 [Sessions] (セッション)の順に選択します。
- 2. [Session Options] (セッション オプション) タブをクリックします。
- [Prompt on log off] (ログオフ時にプロンプト) チェックボックスをオンにし、[OK] をクリックします。このオプションにより、ログオフ時に現在のセッションを保存する ためのプロンプトが表示されます。
- ログアウトするときに、ダイアログで [Save current setup] (現在の設定を保存) オプションを選択します。
- 5. [OK] をクリックします。

とント: ログオフ時にプロンプトが表示されないようにするには、代わりに以下の手順 に従います。

#### Linux で設定を永続化するには、以下の手順に従います (プロンプトなし)。

- [Desktop] (デスクトップ)、[Control Center] (コントロールセンタ)、[System] (システム)、[Sessions] (セッション)の順にを選択します。
- 2. [Session Options] (セッション オプション) タブをクリックします。
- [Prompt on the log off] (ログオフ時にプロンプト) チェックボックスをオフにします。
- [Automatically save changes to the session] (セッションに対する変更を 自動保存) チェックボックスをオンにし、[OK] をクリックします。このオプションに より、ログオフ時に現在のセッションが自動的に保存されます。

#### Sun® Solaris™ の設定

- Sun Solaris を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、以下 の手順に従います。
- マウスの加速値を正確に1 に設定し、しきい値も正確に1 に設定します。そのためには、以下の操作を行います。



■ グラフィカル ユーザ インタフェースを使用する場合

Mouse motion	)
Acceleration	
Slow	Fast
Threshold	
Small	Large
	)

- コマンド ラインを使用する場合 xset mouse a t'a" は加速 (acceleration)、"t" はしきい値 (threshold) を意味します。
- すべての KVM ターゲット サーバは、Dominion KX II でサポートされているい ずれかの表示解像度に設定する必要があります。 Sun マシンで一般的にサポ ートされる解像度を以下に示します。

表示解像度	垂直操作周波数	縱横比
1600 x 1200	75 Hz	4:3
1280 x 1024	60、75、85 Hz	5:4
1152 x 864	75 Hz	4:3
1024 x 768	60、70、75、85 Hz	4:3
800 x 600	56、60、72、75、85 Hz	4:3
720 x 400	85 Hz	9:5
640 x 480	60、72、75、85 Hz	4:3

- 3. Solaris オペレーティング システムを実行している KVM ターゲット サーバのビ デオ出力は、VGA である必要があります (コンポジット Sync ではなく H-and-V sync)。
- Sun のビデオ カード出力をコンポジット Sync からデフォルト以外の VGA 出力に変更するには、以下の手順に従います。
- 1. Stop+A コマンドを発行して、bootprom モードに移行します。
- 2. 以下のコマンドを発行して、出力解像度を変更します。 setenv output-device screen:r1024x768x70
- 3. 次に、boot コマンドを実行して、サーバを再起動します。

別の方法として、ラリタンの代理店からビデオ出力アダプタを購入することもできます。



環境	対応するビデオ出力アダプタ
Sun 13W3、コンポジット Sync 出力	APSSUN II Guardian コンバータ
Sun HD15、コンポジット Sync 出力	HD15 から 13W3 への変換用の 1396C コンバータ、およびコンポジット Sync をサポートするための APSSUN II Guardian コンバータ
Sun HD15、独立同期出力	APKMSUN Guardian コンバータ

注: 一部の Sun サーバでは、緑が暗い標準の Sun の背景画面が正確に中央 に配置されないことがあります。別の背景を使用するか、画面の左上隅に明るい色 のアイコンを配置してください。

### マウスの設定

#### マウスを設定するには、以下の手順に従います (Sun Solaris 10.1)。

- ランチャーを選択します。 アプリケーション マネージャ デスクトップ コントロー ルが表示されます。
- 2. マウス スタイル マネージャを選択します。 [Style Manager Mouse] (スタイ ル マネージャ - マウス) ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3. 速度のスライダを 1.0 に設定します。
- 4. しきい値のスライダを 1.0 に設定します。
- 5. [OK] をクリックします。

#### コマンド ラインに対するアクセス

- 1. 右クリックします。
- [Tool] (ツール)、[Terminal] (ターミナル)の順に選択します。 ターミナル ウィン ドウが表示されます (ルートでコマンドを発行することをお勧めします)。



## ビデオ設定 (POST)

Sun システムには、2 種類の解像度設定があります。 POST の解像度と GUI の解像度です。 以下のコマンドをコマンド ラインから実行します。

注: ここでは例として 1024x768x75 を使用しています。お使いの解像度と垂直 操作周波数と置き換えてください。

- ▶ 現在の POST の解像度を確認するには、以下の手順に従います。
- 次のコマンドを root として実行します。 # eeprom output-device
- ▶ POST の解像度を変更するには、以下の手順に従います。
- 1. # eeprom output-device=screen:r1024x768x75 を実行します。
- 2. ログオフするか、コンピュータを再起動します。

## ビデオ設定 (GUI)

GUIの解像度は、お使いのビデオ カードに応じたコマンドを使用して確認および設定できます。以下のコマンドをコマンド ラインから実行します。

注: ここでは例として 1024x768x75 を使用しています。お使いの解像度と垂直 操作周波数と置き換えてください。

カード	解像度の確認	解像度の変更
32 ビット	# /usr/sbin/pgxconfig -prconf	1. # /usr/sbin/pgxconfig -res 1024x768x75
		<ol> <li>ログオフするか、コンピュータを再 起動します。</li> </ol>
64 ビット	# /usr/sbin/m64config -prconf	1. # /usr/sbin/m64config -res 1024x768x75
		<ol> <li>ログオフするか、コンピュータを再 起動します。</li> </ol>
32 ビット および 64	# /usr/sbin/fbconfig -prconf	1. # /usr/sbin/fbconfig -res 1024x768x75
ビット		2. ログオフするか、コンピュータを再 起動します。



#### IBM AIX® 5.3 の設定

IBM AIX 5.3 を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、以下の手順に従います。

- マウスを設定するには、以下の手順に従います。
- 1. ランチャーに移動します。
- 2. [Style Manager] (スタイル マネージャ) を選択します。
- 3. [Mouse] (マウス) をクリックします。 [Style Manager Mouse] (スタイル マネ ージャ - マウス) ダイアログ ボックスが表示されます。
- スライダを使用して、[Mouse acceleration] (マウスの加速) を 1.0 に設定し、 [Threshold] (しきい値) を 1.0 に設定します。
- 5. [OK] をクリックします。

#### ビデオを設定するには、以下の手順に従います。

- ランチャーから、[Application Manager] (アプリケーション マネージャ)を選択します。
- 2. [System\_Admin] を選択します。
- [Smit]、[Devices] (デバイス)、[Graphic Displays] (グラフィック表示)、
   [Select the Display Resolution and Refresh Rate] (表示解像度と垂直 操作周波数の選択)の順に選択します。
- 4. お使いのビデオ カードを選択します。
- 5. [List] (リスト) をクリックします。表示モードの一覧が表示されます。
- Dominion KX II でサポートされている解像度および垂直走査周波数を選択します。詳細は、「サポートされている画面解像度『p. 255』」を参照してください。

注: ビデオの解像度を変更した場合は、そのビデオ設定を有効にするために、ター ゲット サーバからログオフし、再度ログインする必要があります。

## UNIX の設定の永続化

注: これらの手順は、お使いの UNIX® の種類 (Solaris や IBM AIX など) お よび特定のバージョンによって少し異なる可能性がああります。

 [Style Manager] (スタイル マネージャ)、[Startup] (起動) の順に選択します。
 [Style Manager - Startup] (スタイル マネージャ - 起動) ダイアログ ボックス が表示されます。



 [Logout Confirmation] (ログアウトの確認) ダイアログ ボックスで、[On] (オン) オプションを選択します。このオプションにより、ログオフ時に現在のセッションを保 存するためのプロンプトが表示されます。

#### Apple Macintosh® の設定

Apple Macintosh オペレーティング システムを実行している KVM ターゲット サー バに対しては、D2CIM-VUSB およびずれないマウス (Absolute Mouse Synchronization) を使用する方法が推奨されます。

注: Dominion KX II の [Port] (ポート) ページの [Absolute Mouse Scaling for the Mac server] (MAC サーバのずれないマウス スケーリング) オプションを有 効にします。

#### ステップ 4: ネットワーク ファイアウォールの設定

Multi-Platform Client を使用してネットワーク ファイアウォールを介して、または [Port Access] (ポート アクセス) ページを介して Dominion KX II にアクセスする には、TCP ポート 5000 または指定した他のポートでの通信を許可するようにファ イアウォールを設定する必要があります。

Dominion KX II の機能	ファイアウォールでインバウンド通信を 許可する必要があるポート
Web アクセス機能	ポート 443 - HTTPS 通信用の標 準 TCP ポート
HTTP リクエストの HTTPS への自動 リダイレクト ("https://xxx.xxx.xxx.xxx" の代わりに より一般的な "http://xxx.xxx.xxx.xxx" を使用でき るようにする機能)	ポート 80 - HTTP 通信用の標準 TCP ポート

別の検出ポートを指定する方法についての詳細は、「*ネットワーク設定* 『p. 133の "[Network Settings] (ネットワーク設定)"参照 』」を参照してください。



## ステップ 3: 装置の接続

Dominion KX II を、電源、ネットワーク、ローカル PC、およびターゲット サーバに 接続します。 図中の文字は、このセクションで接続を解説しているトピックに対応し ています。



A.AC 電源:

- ▶ 電源を接続するには、以下の手順に従います。
- 1. 付属の AC 電源コードを Dominion KX II と AC 電源コンセントに接続します。
- 2. 二重化電源フェイルオーバ保護を実装するには、付属の 2 つ目の AC 電源 コードを、1 つ目の電源コードとは別の電源コンセントに接続します。

注: システムは自動的に 2 つの電源を検出するように設定されているので、電源 コードを 1 本しか接続していない場合、Dominion KX II のフロント パネルの電源 LED が赤色で点灯します。使用されていない電源の自動検出をオフにする方法 については、「電源設定『p. 150の"[Power Supply Setup] (電源設定)"参 照 』」を参照してください。



## B. モデム ポート (オプション)

Dominion KX II は、LAN/WAN が利用できない場合でもリモート アクセス用の 専用モデムポートを搭載しています。ストレート シリアル (RS-232) ケーブルを使 用して、外付けシリアル モデムを、Dominion KX II の背面にある「MODEM」のラ ベルの付いたポートに接続します (認定済みのモデムのリストについては「*仕様*『p. 255』」を、モデムの設定の詳細は「*[Modem Settings] (モデム設定)*『p. 140』」 を参照してください)。

注: モデムは、CD (キャリア検出) 設定を有効にするように設定することをお勧めし ます。

#### C. ネットワーク ポート

Dominion KX II は、フェイルオーバ用に 2 つの Ethernet ポートを提供していま す (負荷分散用ではない)。デフォルトでは LAN1 のみがアクティブで、自動フェイ ルオーバは無効になっています。 自動フェイルオーバが有効な場合、Dominion KX II の内部ネットワーク インタフェース、またはその接続先のネットワークが使用できなく なると、同じ IP アドレスで LAN2 が利用可能になります。

注: フェイルオーバ ポートは実際にフェイルオーバが発生するまで有効にならないの で、フェイル オーバ ポートを監視しないか、フェイルオーバが発生した後にのみ監視 するようにすることをお勧めします。

#### ▶ ネットワークを接続するには、以下の手順に従います。

- 1. (付属の) 標準 Ethernet ケーブルを、「LAN1」のラベルの付いたネットワーク ポートから、Ethernet スイッチ、ハブ、またはルータに接続します。
- オプションの Dominion KX II Ethernet フェイルオーバ機能を使用するには、 以下の手順に従います。
  - 標準 Ethernet ケーブルを、「LAN2」のラベルの付いたネットワーク ポート から、Ethernet スイッチ、ハブ、またはルータに接続します。
  - [Network Configuration] (ネットワーク設定) ページで [Enable Automatic Failover] (自動フェイルオーバを有効にする) をオンにします。

注: 1 つをフェイルオーバ用のポートとして使用する場合のみ、ネットワーク ポートを 2 つ使用してください。


### D. ローカル アクセス ポート (ローカル PC)

Dominion KX が設置されている場所では、Dominion KX II のローカル アクセス ポートを使用することによって、ラックからターゲット サーバに簡単にアクセスできます。 ローカル ポートはインストールおよび設定に必要ですが、それ以降の使用については オプションです。 ローカル ポートでは、管理およびターゲット サーバへのアクセスのた めのグラフィカル ユーザ インタフェース (KX II ローカル コンソール) も使用できま す。

マルチシンク VGA モニタ、マウス、キーボードを各ローカル ユーザ ポートに接続しま す。キーボードとマウスは、PS/2 または USB 接続のものを使用します。

# ▶ ローカル ポートに接続するには、以下の手順に従います。

 マルチシンク VGA モニタ、マウス、キーボードを、対応するローカル ユーザ ポ ートに接続します (キーボードとマウスは、PS/2 または USB 互換のものを使 用します)。

ローカル ポートの物理的な接続位置は、Dominion KX II の背面パネルです。



接続	説明
モニタ	標準マルチシンク VGA モニタを HD15 (メス) ビデオ ポ ートに接続します。
キーボード	標準 PS/2 キーボードを Mini-DIN6 (メス) キーボード ポートに接続するか、標準 USB キーボードを USB タイ プ A (メス) ポートのいずれかに接続します。
マウス	標準 PS/2 マウスを Mini-DIN6 (メス) マウス ポートに 接続するか、標準 USB マウスを USB タイプ A (メス) ポートのいずれかに接続します。



#### E. ターゲット サーバ ポート

Dominion KX II は、標準 UTP ケーブル (Cat5/5e/6) を使用して各ターゲット サーバに接続します。詳細は、「*仕様*『p. 255』」を参照してください。

- ターゲット サーバを Dominion KX II に接続するには、以下の手順に従います。
- 適切なコンピュータ インタフェース モジュール (CIM) を使用します。各オペレ ーティング システムに対応する CIM についての詳細は、「サポートされている CIM およびオペレーティング システム (ターゲット サーノブ)『p. 259』」を参照し てください。
- お使いの CIM の HD15 ビデオ コネクタをターゲット サーバのビデオ ポートに 接続します。ターゲット サーバのビデオが、サポートされている解像度と垂直走 査周波数に設定されていることを確認します。 Sun サーバの場合は、ターゲッ ト サーバのビデオ カードがコンポジット Sync ではなく標準 VGA (H-and-V Sync)を出力するように設定されていることも確認してください。
- お使いの CIM のキーボード/マウス コネクタを、ターゲット サーバの該当するポ ートに接続します。標準ストレート UTP (Cat5/5e/6) ケーブルを使って、 CIM を Dominion KX II デバイスの背面の使用可能なサーバ ポートに接続 します。

注:DCIM-USB G2 には、CIM の背面に小さなスライド スイッチがあります。PC ベースの USB ターゲット サーバでは、スイッチを P に切り替え、Sun USB ターゲ ット サーバではスイッチを S に切り替えます。

CIM の電源を再投入した後のみ新しいスイッチの位置が有効になります。CIM の 電源をオフにしてからオンにするには、ターゲット サーバから USB コネクタを外し、数 秒後に再びこのコネクタを接続します。

# ステップ 2: Dominion KX II の設定

Dominion KX II デバイスの電源を初めてオンにしたときは、Dominion KX II ローカル コンソールで以下の操作を行う必要があります。

- デフォルト パスワードを変更する。
- IP アドレスを割り当てる。
- KVM ターゲット サーバに名前を付ける。



# デフォルト パスワードの変更

Dominion KX II の出荷時には、デフォルトのパスワードが設定されています。 Dominion KX II を初めて起動したときは、このパスワードを変更する必要がありま す。

- デフォルトのパスワードを変更するには、以下の手順に従います。
- Dominion KX II 本体の背面にある電源スイッチをオンにします。Dominion KX II 本体が起動されるのを待ちます (起動プロセスが完了すると、ビープ音 が鳴ります)。
- 本体が起動されると、Dominion KX II ローカル ポートに接続されたモニタに Dominion KX II ローカル コンソールが表示されます。 デフォルトのユーザ名 (admin) とパスワード (raritan) を入力し、[Login] (ログイン) をクリックします。 [Change Password] (パスワードの変更) 画面が表示されます。
- [Old Password] (旧パスワード) フィールドに古いパスワード (raritan) を入力 します。
- [New Password] (新しいパスワード) フィールドに新しいパスワードを入力し、 [Confirm New Password] (新しいパスワードの確認) フィールドに新しいパス ワードを再入力します。パスワードには、最大 64 文字の英数字と特殊文字 を使用できます。
- 5. [Apply] (適用) をクリックします。

パスワードが正常に変更された旨のメッセージが表示されます。 [OK] をクリックしま す。 [Port Access] (ポート アクセス) ページが表示されます。

注: デフォルトのパスワードは Raritan Multi-Platform Client (MPC) からも変 更できます。

#### IP アドレスの割り当て

ここでは、[Network Settings] (ネットワーク設定) ページで IP アドレスを割り当て る方法について説明します。このページのすべてのフィールドおよび操作についての 詳細は、「*ネットワーク設定* 『p. 133の"[Network Settings] (ネットワーク設定)"参 照先 』」を参照してください。

- [Device Settings] (デバイス設定)の [Network] (ネットワーク)を選択します。
   [ネットワーク設定] (Network Settings) ページが開きます。
- 最大 16 文字の英数字と有効な特殊文字を組み合わせて (スペースは使用 できません)、Dominion KX II デバイスにわかりやすいデバイス名を指定しま す。
- [IPv4] セクションで、適切な IPv4 固有のネットワーク設定を入力するか選択 します。



- a. 必要な場合は、[IP Address] (IP アドレス) を入力します。 デフォルトの IP アドレスは「192.168.0.192」です。
- b. [Subnet Mask] (サブネット マスク) を入力します。 デフォルトのサブネット マスクは「255.255.255.0」です。
- c. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) ドロップダウン リストで [None] (設定しない) を選択する場合は、[Default Gateway] (デフォルト ゲート ウェイ) を入力します。
- d. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) ドロップダウン リストで
   [DHCP] を選択する場合は、[Preferred DHCP Host Name] (優先 DHCP ホスト名) を入力します。

注: ホスト名は、最大 232 文字です。

- e. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) を選択します。 次のオプション を使用できます。
- [None] (設定しない) (静的 IP) このオプションを選択した場合は、ネット ワークの IP アドレスを手動で指定する必要があります。

Dominion KX II はインフラストラクチャ デバイスであり、IP アドレスは変更 されないので、このオプションを推奨します。

 [DHCP] - DHCP サーバから一意の IP アドレスとその他のパラメータを取 得するために、ネットワークに接続しているコンピュータ (クライアント) によっ て Dynamic Host Configuration Protocol が使用されます。

このオプションを選択した場合、ネットワーク パラメータは DHCP サーバに よって割り当てられます。 DHCP を使用する場合は、[Preferred host name] (優先ホスト名) を入力します (DHCP のみ)。 最大 63 文字ま で使用できます。

- IPv6 を使用する場合は、[IPv6] セクションで、適切な IPv6 固有のネットワ ーク設定を入力するか、選択します。
  - a. セクション内のフィールドを有効にするには、[IPv6] チェックボックスをオンにします。
  - b. [Global/Unique IP Address] (グローバル/一意の IP アドレス)を入力します。これは、Dominion KX II に割り当てられる IP アドレスです。
  - c. [Prefix Length] (固定長) を入力します。 これは、IPv6 アドレスで使用 されるビット数です。
  - d. [Gateway IP Address] (ゲートウェイ IP アドレス) を入力します。
  - e. [Link-Local IP Address] (リンク ローカル IP アドレス)。このアドレスは、自動的にデバイスに割り当てられます。これは、近隣探索で、またはルータが存在しない場合に使用されます。読み取り専用



- f. [Zone ID]。これは、アドレスが関連付けられているデバイスを識別します。 読み取り専用です。
- g. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定)を選択します。次のオプション を使用できます。
- [None] (設定しない) 自動 IP 設定を使用せず、IP アドレスを自分で 設定する場合は、このオプションを選択します (静的 IP)。 推奨されるデ フォルトのオプションです。

[IP auto configuration] (IP 自動設定) で [None] (設定しない) を選 択すると、次の [Network Basic Settings] (ネットワーク基本設定) フィー ルドが有効になり、IP アドレスを手動で設定できるようになります。

- [Router Discovery] (ルータ検出) このオプションを使用して、直接接続 されるサブネットにのみ適用される [Link Local] (リンク ローカル) を超える [Global] (グローバル) または [Unique Local] (一意ローカル) を意味す る IPv6 アドレスを自動的に割り当てます。
- [DHCP] が選択され、[Obtain DNS Server Address] (DNS サーバ アドレ スを取得) が有効になっている場合は、[Obtain DNS Server Address Automatically] (DNS サーバ アドレスを自動的に取得) を選択します。 DNS サーバ アドレスが自動的に取得されると、DHCP サーバが提供する DNS 情報が使用されます。
- [Use the Following DNS Server Addresses] (次の DNS サーバ アドレス を使用)を選択する場合は、[DHCP] が選択されているかどうかにかかわらず、 このセクションに入力されたアドレスが、DNS サーバの接続に使用されます。

[Use the Following DNS Server Addresses] (次の DNS サーバ アドレス を使用) オプションを選択する場合は、次の情報を入力します。 これらのアドレ スは、停電によりプライマリ DNS サーバ接続が切断された場合に使用されるプ ライマリおよびセカンダリ DNS アドレスです。

- a. [Primary DNS Server IP Address] (プライマリ DNS サーバ IP アドレス)
- b. [Secondary DNS Server IP Address] (セカンダリ DNS サーバ IP ア ドレス)
- 7. 完了したら [OK] をクリックします。 これで、Dominion KX II デバイスはネット ワークにアクセスできます。



[Network Settings] (ネットワーク設定) ページのこのセクションの設定についての詳細は、「*LAN インタフェース設定* 『p. 137』」を参照してください。

注: 一部の環境では、[LAN Interface Speed & Duplex] (LAN インタフェース の速度と二重化) のデフォルトである [Autodetect] (自動検出) (自動ネゴシエーシ ョン) が選択されている場合にネットワーク パラメータが適切に設定されず、ネットワ ーク上の問題が発生する場合があります。 そのような場合は、Dominion KX II の [LAN Interface Speed & Duplex] (LAN インタフェースの速度と二重化) フィール ドを [100 Mbps/Full Duplex] (またはネットワークに合ったオプション) に設定するこ とで問題を解決できます。 詳細は、「ネットワーク設定 『p. 133の"[Network Settings] (ネットワーク設定) "参照先 』」を参照してください。

letwork basic settings	LAN Interface Settings
evice Name *  Dominion  IPv4 Address  IP Address Subnet Mask 192.168.59.173 255.255.255.0  Default Gateway Preferred DHCP Host Name 192.168.59.126 IP Auto Configuration None  Global/Unique IP Address Global/Unique IP Address Link-Local IP Address Link-Local IP Address Link-Local IP Address Difference Configuration None  Obtain DNS Server Address Automatically  Obtain DNS Server IP Address 192.168.59.2  Secondary DNS Server IP Address Secondar	LAN Interface Settings Note: For reliable network communication, configure the Dominion KX II and LAN Switch to the same LAN Interface Speed and Duplex. For example, configure both the Dominion KX II and LAN Switch to Autodetect (recommended) or set both to a fixed speed/duplex such as 100Mbps/Full. Current LAN Interface parameters: autonegotiation off, 100 Mbps, full duplex, link ok LAN Interface Speed 8 Duplex 100 Mbps/Full  Image: Failower: Ping Interval (seconds) * 30 Timeout (seconds) * 60 Bandwidth Limit No Limit



ターゲット サーバの命名

- ▶ ターゲット サーバに名前を付けるには、以下の手順に従います。
- まだすべてのターゲット サーバを接続していない場合は、接続します。装置の 接続についての詳細は、「*手順 1: Dominion KX II の接続*『p. 26の"ス テップ 3: 装置の接続"参照』」を参照してください。
- Dominion KX II ローカル コンソールで、[Device Settings] (デバイス設定)
   の [Port Configuration] (ポート設定)を選択します。 [Port Configuration] (ポート設定) ページが開きます。

A Port Number	Port Nam <mark>l</mark> in	Port Type
1	Win Target	VM
2	Dominion_KSX2_Port2	Not Available
3	Dominion_KSX2_Port3	Not Available
4	KSX-G2 Admin	VM
5	Dominion_KSX2_Port5	Not Available
6	Dominion_KSX2_Port6	Not Available
7	Dominion_KSX2_Port7	Not Available
8	Dominion_KSX2_Port8	Not Available
9	Cisco 2501	Serial
10	SP-2	Serial
11	Serial Port 3	Serial
12	Serial Port 4	Serial
13	SP - 5	Serial
14	Serial Port 6	Serial
15	Serial Port 7	Serial
16	Serial Port 8	Serial
17	Power Port 1 - renamed	PowerStrip
18	Power Port 2	PowerStrip

- 3. 名前を変更するターゲット サーバのポート名をクリックします。 [Port] (ポート) ページが開きます。
- 当該ポートに接続されているサーバを識別するための名前を割り当てます。
   前には最大 32 文字の英数字と特殊文字を使用できます。
- 5. [OK] をクリックします。

# ターゲット名で使用できる有効な特殊文字

文字	説明	文字	説明
!	感嘆符	;	セミコロン
н	二重引用符	=	等号



文字	説明	文字	説明
#	シャープ記号	>	大なり記号
\$	ドル記号	?	疑問符
%	パーセント記号	@	アット記号
&	アンパサンド	[	左角かっこ
(	左かっこ	/	バックスラッシュ
)	右かっこ	]	右角かっこ
*	アスタリスク	٨	キャレット
+	プラス記号	_	アンダースコア
,	コンマ	`	低アクセント
-	ダッシュ	{	左中かっこ
	ピリオド		パイプ記号
/	前方スラッシュ	}	右中かっこ
<	小なり記号	~	ティルデ
:	עחב		

# 電源の自動検出の指定

Dominion KX II には二重化電源が搭載されており、これらの電源の状態を検出 し、通知できます。 正しく設定することで、電源に障害が発生した場合に Dominion KX II によって適切な通知が送信されます。

[Power Supply Setup] (電源設定) ページは、2 つの電源が使用されている場合に両方の電源を自動的に検出するように設定されています。 お使いの設定で電源を 1 つだけ使用している場合は、[Power Supply Setup] (電源設定) ページから自動検出を無効にできます。

#### ▶ 使用されていない電源の自動検出を無効にするには、以下の手順に従います。

- Dominion KX II ローカル コンソールで、[Device Settings] (デバイス設定) の [Power Supply Setup] (電源設定)を選択します。 [Power Supply Setup] (電源設定) ページが開きます。
- 2. 使用されていない電源の自動検出をオフにします。

詳細は、「**電源設定** 『p. 150の"[Power Supply Setup] (電源設定)"参照 』」を 参照してください。



#### CC-SG ユーザへの注意事項

Dominion KX II を CC-SG 設定で使用している場合は、インストールを行い、その後、CommandCenter Secure Gateway のユーザ ガイド、管理者ガイド、 デプロイメント ガイドのいずれかを参照して作業を続行してください (これらのガイド はラリタンの Web サイト (www.raritan.com) 内の「Support」セクションから入手 できます)。

注: このヘルプの以降のセクションでは、CC-SG の統合機能なしに Dominion KX II デバイスを展開する作業を中心に説明します。

#### リモート認証

### CC-SG ユーザへの注意事項

CommandCenter Secure Gateway を使用して Dominion KX II を制御して いる場合、ローカル ポート アクセスを必要とするローカル ユーザを除き、ユーザおよ びグループは CC-SG によって認証されます。 CC-SG で Dominion KX II を制 御している場合、ローカル ポート ユーザは、Dominion KX II 上で設定されている ローカル ユーザ データベースまたはリモート認証サーバ (LDAP/LDAPS または RADIUS) に対して認証され、 CC-SG ユーザ データベースに対して認証されま せん。

CC-SG 認証についての詳細は、*ラリタンの Web サイト* http://www.raritan.comの「Support」セクションからダウンロードできる CommandCenter Secure Gateway のユーザ ガイド、管理者ガイド、またはデプ ロイメント ガイドを参照してください。

# サポートされているプロトコル

ユーザ名とパスワードの管理を容易にするため、Dominion KX II には認証要求を 外部認証サーバへ転送する機能があります。 LDAP/LDAPS と RADIUS の 2 つの外部認証 プロトコルがサポートされています。

#### Microsoft Active Directory についての注意事項

Microsoft Active Directory は、LDAP/LDAPS プロトコルをネイティブに使用し、 LDAP/LDAPS サーバおよび Dominion KX II の認証元として機能することが可 能です。 IAS (インタフェース認可サーバ) のコンポーネントを装備している場合、 Microsoft Active Directory サーバは、RADIUS 認証元としても機能します。



# ユーザ グループとユーザの作成

初期設定の一部として、ユーザが Dominion KX II にアクセスできるようにするため に、ユーザ グループとユーザを定義する必要があります。

Dominion KX II では、システムによって定義されているデフォルトのユーザ グループ を使用することも、グループを作成し、目的に合った適切な許可を指定することもで きます。

Dominion KX II にアクセスするには、ユーザ名とパスワードが必要です。 この情報 は、Dominion KX II にアクセスしようとしているユーザを認証するために使用されま す。

ユーザ グループとユーザを追加および編集する方法についての詳細は、「**ユーザ管** 理『p. 106』」を参照してください。

#### 手順 5 (オプション): キーボード言語の設定

注: 英語 (アメリカ)/インターナショナル キーボードを使用している場合は、この手 順を実行する必要はありません。

英語 (アメリカ) 以外の言語を使用する場合、キーボードを適切な言語に設定する 必要があります。 また、クライアント マシンおよび KVM ターゲット サーバのキーボ ード言語を同じにする必要があります。

キーボード レイアウトを変更する方法についての詳細は、お使いのオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

# キーボード レイアウト コードの変更 (Sun ターゲット)

この手順は、DCIM-SUSB を使用していて、キーボード レイアウトを別の言語に変 更する場合に使用します。

- キーボード レイアウト コードを変更するには、以下の手順に従います (DCIM-SUSB のみ)。
- 1. Sun ワークステーション上で [テキスト エディタ] ウィンドウを開きます。
- Num Lock キーが有効であることを確認した後、キーボードの左の Ctrl キーと Del キーを押します。 Caps Lock ライトが点滅して、CIM がレイアウト コー ド変更モードであることを示します。 テキスト ウィンドウに、「 Raritan Computer, Inc. Current keyboard layout code = 22h (US5 UNIX)」と表示されます。
- 3. 適切なレイアウト コード (たとえば日本語キーボードは 31) を入力します。
- 4. Enter キーを押します。



- 5. デバイスの電源を切った後、再度電源を入れます。 DCIM-SUSB がリセット (電源の再投入) されます。
- 6. 入力した文字が正しく表示されることを確認します。



# ターゲット サーバの使用

# この章の内容

インタフェース	39
Virtual KVM Client	55

# インタフェース

Dominion KX II には、いつでも、どこからでも簡単なアクセスを可能にするいくつか のユーザ インタフェースが用意されています。このようなユーザ インタフェースには、 Dominion KX II ローカル コンソール、Dominion KX II リモート コンソール、およ び Multi-Platform Client (MPC) があります。以下の表に、ターゲット サーバの アクセスおよび管理のためにこれらのインタフェースをローカルおよびリモートで使用でき るかどうかを示します。

ユーザ インタフェース	ローカル		リモート	
	アクセス	管理	アクセス	管理
Dominion KX II ローカル コ ンソール	~	~		
Dominion KX II リモート コン ソール			~	<ul> <li>Image: A start of the start of</li></ul>
Virtual KVM Client			<ul> <li>Image: A set of the set of the</li></ul>	
Multi-Platform Client (MPC)			~	<b>√</b>

ヘルプの以降のセクションでは、以下のインタフェースを使用した Dominion KX II へのアクセスおよびターゲット管理の方法について説明します。

- ローカル コンソール
- リモート コンソール
- Virtual KVM Client
- Multi-Platform Client



# Dominion KX II ローカル コンソール インタフェース

サーバ ラックに設置した Dominion KX II の場合は、Dominion KX II ローカル コンソールを介して、標準 KVM 管理を行います。 Dominion KX II ローカル コン ソールは接続されたサーバへの直接 KVM (アナログ) 接続を提供し、これにより、サ ーバのキーボード、マウス、ビデオ ポートに直接接続しているかのように機能すること が可能になります。

Dominion KX II ローカル コンソールと Dominion KX II リモート コンソールのグラ フィカル ユーザ インタフェースには、多くの類似点があります。相違点については、 ヘルプに記載されています。

[Dominion KX II Local Console Factory Reset] (Dominion KX II ローカル コ ンソール ファクトリ リセット) オプションは、Dominion KX II ローカル コンソールには 用意されていますが、Dominion KX II リモート コンソールには用意されていませ ん。

#### Dominion KX II リモート コンソール インタフェース

Dominion KX II リモート コンソールは、ブラウザ ベースのグラフィカル ユーザ イン タフェースで、このコンソールを通じて、Dominion KX II に接続されている KVM タ ーゲット サーバおよびシリアル ターゲットにアクセスして、Dominion KX II をリモート 管理できます。

Dominion KX II リモート コンソールは、接続されているターゲット サーバへのデジタ ル接続を提供します。 Dominion KX II リモート コンソールを使用して KVM ター ゲット サーバにログインすると、Virtual KVM Client のウィンドウが開きます。

Dominion KX II ローカル コンソールと Dominion KX II リモート コンソールの グ ラフィカル ユーザ インタフェースには多くの類似点があります。相違点については、ユ ーザ マニュアルに記載されています。 以下のオプションは Dominion KX II リモート コンソールに用意されていますが、Dominion KX II ローカル コンソールには用意さ れていません。

- [Virtual Media] (仮想メディア)
- [Favorites] (お気に入り)
- [Backup/Restore] (バックアップ/リストア)
- [Firmware Upgrade] (ファームウェアのアップグレード)
- [Upgrade Report] (アップグレード レポート)
- [Diagnostics] (診断)
- [USB Profile Selection] (USB プロファイル選択)
- [USB Profile Management] (USB プロファイル管理)
- [SSL Certificates] (SSL 証明書)



Dominion KX II リモート コンソールの起動

重要: ブラウザの種類を問わず、Dominion KX II リモート コンソール を起動するためには、Dominion デバイスの IP アドレスからのポップ アップを許可する必要があります。

お使いのブラウザおよびセキュリティの設定により、セキュリティと証明書に関する各種の警告が表示されることがあります。 Dominion KX II リモート コンソールを起動するには、これらの警告を承諾する必要があります。

セキュリティと証明書に関する警告メッセージに対して以下のオプションをオンにすることにより、それ以降にログオンしたときに表示される警告メッセージを減らすことができます。

- [今後、この警告を表示しない]
- [この発行元からのコンテンツを常に信頼する]
- Dominion KX II リモート コンソールを起動するには、以下の手順に従います。
- Dominion KX II にネットワークを介して接続でき、Java Runtime Environment (JRE) がインストールされている、任意のコンピュータにログオンし ます (JRE は *http://java.sun.com/* http://java.sun.com から入手できま す)。
- 2. サポートされている Web ブラウザ (Internet Explorer (IE) や Firefox など) を起動します。



 Web ブラウザのアドレス ボックスに「http://IP-ADDRESS」と入力します。 IP-ADDRESS は、Dominion KX II に割り当てた IP アドレスです。また、 HTTPS を使用することや、管理者によって割り当てられた Dominion KX II の DNS 名を使用することもできます (DNS サーバが設定されている場合)。 IP アドレスをそのまま入力してもかまいません (Dominion KX II では常に IP アドレスが HTTP から HTTPS にリダイレクトされます)。[Login] (ログイン) ペ ージが開きます。

Username:		76
Password:		
	Logia	
	Login	

- ユーザ名とパスワードを入力します。初めてログオンする場合は、工場出荷時 のデフォルト ユーザ名 (admin) とパスワード (すべて小文字の raritan)を使 用してログオンします。デフォルトのパスワードを変更するように求められます。 詳細は、「*デフォルトのパスワードの変更*『p. 30の"デフォルト パスワードの変更 "参照』」を参照してください。
- 5. [Login] (ログイン) をクリックします。
- リモート コンソールを介して利用できる Dominion KX II の機能についての詳細は、「Virtual KVM Client 『p. 55』」を参照してください。

#### Dominion KX II コンソールのレイアウト

Dominion KX II リモート コンソール インタフェースと Dominion KX II ローカル コ ンソール インタフェースは、設定および管理、ターゲット サーバのリストおよび選択用 に、HTML (Web ベース) インタフェースを備えています。 オプションは複数のタブに 配置されています。

正常にログインすると、[Port Access] (ポート アクセス) ページが表示され、すべて のポートについて、そのステータスと可用性が表示されます。 このページの 2 つのタ ブでは、ポート別またはグループ別に表示できます。 列の見出しをクリックすることで、 ポート番号、ポート名、ステータス ([Up] (アップ) および [Down] (ダウン))、可用性 ([Idle] (アイドル)、[Connected] (接続済み)、[Busy] (ビジー)、[Unavailable] (使 用不可能)、[Connecting] (接続中)) で並べ替えを行うことができます。 詳細は、 「**[Port Access] (ポート アクセス) ページ** [p. 44]」を参照してください。



# Dominion KX II コンソールでの案内

Dominion KX II コンソール インタフェースでは、いくつかの方法でナビゲーションや 選択を行うことができます。

- ▶ オプションを選択するには、以下のいずれかの手順に従います。
- タブをクリックします。利用可能なオプションのページが表示されます。
- タブ上にカーソルを移動し、メニューから適切なオプションを選択します。
- 表示されるメニュー階層 (階層リンク) からオプションを直接クリックします。
- ▶ 画面に収まらないページをスクロールするには、以下のいずれかの手順に従います。
- キーボードの Page Up キーと Page Down キーを使用します。
- 右側にあるスクロール バーを使用します。



#### [Port Access] (ポート アクセス) ページ

Dominion KX II リモート コンソールへのログオンが正常に完了すると、[Port Access] (ポート アクセス) ページが表示されます。このページには、Dominion KX II ポート、接続されている KVM ターゲット サーバ、それらのステータスと可用 性がすべてリスト表示されます。 [Port Access] (ポート アクセス) ページは、 Dominion KX II に接続されている KVM ターゲット サーバへのアクセスを提供し ます。 KVM ターゲット サーバは、Dominion KX II デバイスを介して制御するサー バです。これらは、デバイスの背面にある Dominion KX II ポートに接続されます。

注: KVM ターゲット サーバへの接続ごとに、新しい Virtual KVM Client ページ が開きます。

[Port Access] (ポート アクセス) ページには、Dominion KX II で設定されている ブレード シャーシも表示されます。 ブレード サーバは、[Port Access] (ポート アク セス) ページ上の展開可能な階層リストに表示されます。階層のルートはブレード シャーシで、個別のブレードはルートの下にラベルが付けられて表示されます。

注: ブレード シャーシを階層順に表示するには、ブレード サーバ シャーシにブレー ド シャーシのサブタイプを設定する必要があります。

デフォルトで、[Port Access] (ポート アクセス) ページには [View by Port] (ポート 別表示) タブが表示されます。 [View by Group] (グループ別表示) タブには、 [View by Port] (ポート別表示) タブと同じ情報が表示されますが、ポートは既存の ポート グループ割り当てに基づいて並べられています。

- ▶ [Port Access] (ポート アクセス) ページを使用するには、以下の手順に従い ます。
- 1. Dominion KX II リモート コンソールで、[Port Access] (ポート アクセス) タブ をクリックします。 [Port Access] (ポート アクセス) ページが開きます。

KVM ターゲット サーバは当初ポート番号順に並んでいますが、 列のいずれか を基準に表示順を変更できます。

- [Port Number] (ポート番号) 1 から Dominion KX II デバイスで使用 できるポートの合計数までの番号が振られています。 電源タップに接続さ れているポートはリストに表示されないため、ポート番号が抜ける場合があ ることに注意してください。
- [Port Name] (ポート名) Dominion KX II ポートの名前です。最初は、 「Dominion-KX2-Port#」に設定されていますが、わかりやすい名前に変 更できます。 [Port Name] (ポート名)のリンクをクリックすると、[Port Action] (ポート アクション)メニューが表示されます。

注: ポート (CIM) 名にアポストロフィ (" ' ") を使用することはできません。



- [Status] (ステータス) ステータスは [up] (アップ) または [down] (ダウン) のどちらかです。
- [Type] (タイプ) サーバまたは CIM のタイプです。 ブレード シャーシの場合、タイプは、[Blade Chassis] (ブレード シャーシ)、[Blade] (ブレード)、 [BladeChassisAdmin] (ブレードシャーシ管理)、および [BladeChassisURL](ブレードシャーシ URL) です。
- [Availability] (可用性) 可用性は、[Idle] (アイドル)、[Connected] (接 続済み)、[Busy] (ビジー)、または [Unavailable] (使用不可能) のいず れかです。 ブレード サーバの場合、そのサーバへの接続が存在する際の 可用性は、[shared] (共有) または [exclusive] (排他) です。
- [View by Port] (ポート別表示) または [View by Group] (グループ別表示) をクリックして、表示を切り替えます。
  - [View by Group] (グループ別表示) タブには、ポート番号、ポート名、ステ ータス、タイプ、可用性の他に、[Group] (グループ) 列も表示されます。こ の列には、利用可能なポート グループが表示されます。
- アクセスするターゲット サーバのポート名をクリックします。 [Port Action] (ポート アクション) メニューが表示されます。 使用可能なメニュー オプションについての 詳細は、「[Port Action] (ポート アクション) メニュー 『p. 46』」を参照してくだ さい。
- 4. [Port Action] (ポート アクション) メニューから、目的のメニュー コマンドを選択 します。
- ▶ 表示順を変更するには、以下の手順に従います。
- 並べ替えで基準にする列の見出しをクリックします。その列に基づいて KVM ターゲット サーバのリストが並べ替えられます。

				<i></i>		
e > Port Ac	oess					
	111					
OIT ACC	ess					
lick on	the individual poi	rt name to see allo	wable operation	15.		
of 2 Re	mote KVM chann	els currently in us	e.			
View By P	ort View By Group				 	
View By P 4 No.	ort View By Group Name			Туре	 Status	Av
View By P ▲ No. 1	ort View By Group Name Dominion_Port1			<b>Type</b> Not Available	Status down	Avi
View By P No. 1 2	View By Group           Name           Dominion_Port1           Blade_Chassis_Point	ort2		Type Not Available BladeChassis	Status down up	Avr idle idle
View By P A No. 1 2 3	View By Group Name Dominion_Port1 Blade_Chassis_P Connection_To_1	ort2 08_LP		Type Not Available BladeChassis DCIM	Status down up up	Avr icle icle
View By P A No. 1 2 3 4	View By Group Name Dominion_Port1 Blade_Chassis_Pr Connection_To_1 Dominion_Port4	ort2 08_LP		Type Not Available BladeChassis DCIM Not Available	Status down up down	Avr idle idle idle idle
View By P 4 No. 1 2 3 4 5	View By Group Name Dominion_Port1 Blade_Chassis_Pr Connection_To_1 Dominion_Port4 Dominion_Port5	ort2 08_LP		Type Not Available BladeChassis DCIM Not Available Not Available	Status down up up down down	Av idk idk idk idk
View By P 4 No. 1 2 3 4 5 6	View By Group Name Dominion_Port1 Blade_Chassis_Pr Connection_To_1 Dominion_Port4 Dominion_Port5 Dominion_Port6	ort2 08_LP		Type Not Available BladeChassis DCIM Not Available Not Available Not Available	Status down up up down down down	Av idle idle idle idle idle idle



# [Port Action] (ポート アクション) メニュー

[Port Access] (ポート アクセス) リストで [Port Name] (ポート名) をクリックすると、 [Port Action] (ポート アクション) メニューが表示されます。 対象のポートに対して 適切なメニュー オプションを選択して実行します。 [Port Action] (ポート アクション) メニューには、ポートのステータスと可用性に応じて、その時点で利用可能なオプショ ンだけが表示されます。

 [Connect] (接続) - ターゲット サーバへの新しい接続を作成します。 Dominion KX II リモート コンソールの場合は、新しい Virtual KVM Client 『p. 55』ページが表示されます。 Dominion KX II ローカル コンソールの場 合は、ローカル ユーザ インタフェースからターゲット サーバに表示が切り替わり ます。 ローカル ポートで切り替えを行うためには、Dominion KX II ローカル コ ンソール インタフェースが表示されている必要があります。 ローカル ポートから のホット キー切り替えも利用できるようになりました。

注: すべての接続がビジー状態の場合、Dominion KX II リモート コンソール では使用可能なポートに対して、このオプションを使用できません。

[Switch From] (切り替え元) - 既存の接続から選択したポート (KVM ターゲット サーバ) に切り替えます。このメニュー項目は、KVM ターゲットに対してのみ使用できます。このオプションは Virtual KVM Client が開いている場合にのみ表示されます。

注: Dominion KX II ローカル コンソールでは、このメニュー項目は使用できません。

 [Disconnect] (切断) - このポートを切断し、このターゲット サーバの Virtual KVM Client ページを閉じます。このメニュー項目は、ポート ステータスが [up] (アップ) および [connected] (接続済み) であるか、または [up] (アップ) および [busy] (ビジー) であるときにのみ使用できます。

注: Dominion KX II ローカル コンソールでは、このメニュー項目は使用できま せん。ローカル コンソールで切り替えたターゲットを切断する唯一の方法は、ホッ トキー『p. 246』を使用することです。



- [Power On] (電源オン) 関連付けられているコンセントを介してターゲット サ ーバの電源をオンにします。このオプションは、1 つ以上の電源がターゲットに関 連付けられているときにのみ表示されます。
- [Power Off] (電源オフ) 関連付けられているコンセントを介してターゲット サーバの電源をオフにします。このオプションは、1 つ以上の電源がターゲットに関連付けられているとき、ターゲットがオン (ポート ステータスが [up] (アップ))のとき、およびこのサービスを操作する許可がユーザに与えられているときにのみ表示されます。
- [Power Cycle] (電源の再投入) 関連付けられているコンセントを介してター ゲット サーバの電源をいったんオフにしてから再びオンにします。このオプションは、
   1 つ以上の電源がターゲットに関連付けられているとき、およびこのサービスを操作する許可がユーザに与えられているときにのみ表示されます。



# お気に入りの管理

お気に入り機能を利用すると、よく使用するデバイスにすばやくアクセスできます。 [Port Access] (ポート アクセス) ページの左下隅 (サイドバー) にある [Favorite Devices] (お気に入りデバイス) セクションでは、以下の操作が可能です。

- お気に入りデバイスのリストを作成および管理する。
- よく使用するデバイスにすばやくアクセスする。
- 名前、IP アドレス、または DNS ホスト名別にお気に入りのリストを表示する。
- サブネット上の Dominion KX II デバイスを検出する (ログインの前および 後)。
- 検出された Dominion KX II デバイスを接続されている KX デバイスから取得する (ログインの後)。

注: この機能は、Dominion KX II リモート コンソールでのみ使用できます (Dominion KX II ローカル コンソールでは使用できません)。

- お気に入りの Dominion KX II デバイスにアクセスするには、以下の手順に従います。
- ([Favorite Devices] (お気に入りデバイス)の下に表示されている)デバイス 名をクリックします。新しいブラウザが開き、デバイスが表示されます。
- ▶ お気に入りを名前順に表示するには、以下の手順に従います。
- [Display by Name] (名前順) をクリックします。
- ▶ お気に入りを IP アドレス順に表示するには、以下の手順に従います。
- [Display by IP] (IP 順) をクリックします。
- ▶ お気に入りをホスト名順に表示するには、以下の手順に従います。
- [Display by Host Name] (ホスト名順) をクリックします。





注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

[Manage Favorites] (お気に入りの管理) ページ

- [Manage Favorites] (お気に入りの管理) ページを開くには、以下の手順に 従います。
- 左のパネルの [Manage] (管理) ボタンをクリックします。次の内容を含む [Manage Favorites] (お気に入りの管理) ページが表示されます。

א דב_⊀	目的
[Favorites List] (お気に入りリスト)	お気に入りデバイスのリストを管理しま す。
[Discover Devices - Local Subnet] (デバイス検出 - ローカル サブネット)	クライアント PC のローカル サブネット 上のラリタン デバイスを検出します。
[Discover Devices - Dominion KX II Subnet] (デバイス検出 - Dominion KX II サブネット)	Dominion KX II デバイス サブネット 上のラリタン デバイスを検出します。
[Add New Device to Favorites] (お 気に入りへの新しいデバイスの追加)	お気に入りリストのデバイスを追加、編 集、および削除します。



# [Favorites List] (お気に入りリスト) ページ

[Favorites List] (お気に入りリスト) ページでは、お気に入りリストのデバイスを追加、 編集、および削除できます。

- [Favorites List] (お気に入りリスト) ページを開くには、以下の手順に従います。
- [Manage] (管理)の [Favorites List] (お気に入りリスト)を選択します。
   [Favorites List] (お気に入りリスト)ページが開きます。

# ローカル サブネット上のデバイスの検出

ローカル サブネット (Dominion KX II リモート コンソールが実行されているサブネット) 上のデバイスを検出します。このページから直接これらのデバイスにアクセスしたり、お気に入りのリストにデバイスを追加したりできます。「*[Favorites List] (お気に入り リスト) ページ* 『p. 50』」を参照してください。

# ローカル サブネット上のデバイスを検出するには、以下の手順に従います。

- [Manage] (管理) の [Discover Devices Local Subnet] (デバイス検出 -ローカル サブネット) を選択します。[Discover Devices - Local Subnet] (デ バイス検出 - ローカル サブネット) ページが表示されます。
- 2. 目的の検出ポートを選択します。
  - デフォルトの検出ポートを使用するには、[Use Default Port 5000] (デフォ ルト ポート 5000 を使用) チェックボックスをオンにします。
  - 別の検出ポートを使用するには、以下の手順に従います。
  - a. [Use Default Port 5000] (デフォルト ポート 5000 を使用) チェックボッ クスをオフにします。
  - b. [Discover on Port] (検出ポート) フィールドに、ポート番号を入力します。
  - c. [Save] (保存) をクリックします。
- 3. [Refresh] (更新) をクリックします。ローカル サブネット上のデバイスのリストが 更新されます。
- デバイスを [Favorites List] (お気に入りリスト) に追加するには、以下の手順 に従います。
- 1. デバイス名または IP アドレスの横にあるチェックボックスをオンにします。
- 2. [Add] (追加) をクリックします。



ヒント: [Select All] (すべて選択) および [Deselect All] (すべての選択を解除) ボ タンを使用すれば、リモート コンソール サブネット上のデバイスをすべて選択したり、 すべての選択を解除したりできます。

# ▶ 検出されたデバイスにアクセスするには、以下の手順に従います。

 対象のデバイスのデバイス名または IP アドレスをクリックします。新しいブラウザ が開き、デバイスが表示されます。

Use Det	ault Port 5000			
0				
ve	- Anna Anna			_
_	Name	IP Address	Host Name	
	DominionSX	192.168.58.13		
	DominionSX	192.168.58.29		
	KX2-64	192.168.58.202		

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

# Dominion KX II サブネット上のデバイスの検出

デバイス サブネット (Dominion KX II デバイスの IP アドレスそのもののサブネット) 上のデバイスを検出します。このページから直接これらのデバイスにアクセスしたり、お 気に入りのリストにデバイスを追加したりできます。「*[Favorites List] (お気に入りリ スト) ページ*『p. 50』」を参照してください。

この機能を使用すると、複数の Dominion KX II デバイスが相互に作用し合い、 自動的にデバイスを検知し構成を拡張します。Dominion KX II リモート コンソー ルは、Dominion KX II のサブネット内の Dominion KX II デバイスおよびその他の ラリタン デバイスを自動的に検出します。

Name	IP Address	Host Name	
Neptune	192.168.59.7		
Franklin	192.168.59.8		



- ▶ デバイス サブネット上のデバイスを検出するには、以下の手順に従います。
- [Manage] (管理)の [Discover Devices Dominion KX II Subnet] (デバイス検出 Dominion KX II サブネット)を選択します。[Discover Devices Dominion KX II Subnet] (デバイス検出 Dominion KX II サブネット)ページが表示されます。
- 2. [Refresh] (更新) をクリックします。ローカル サブネット上のデバイスのリストが 更新されます。
- デバイスを [Favorites List] (お気に入りリスト) に追加するには、以下の手順 に従います。
- 1. デバイス名または IP アドレスの横にあるチェックボックスをオンにします。
- 2. [Add] (追加) をクリックします。

ヒント: [Select All] (すべて選択) および [Deselect All] (すべての選択を解除) ボ タンを使用すれば、Dominion KX II デバイス サブネット上のデバイスをすべて選択 したり、すべての選択を解除したりできます。

- ▶ 検出されたデバイスにアクセスするには、以下の手順に従います。
- 対象のデバイスのデバイス名または IP アドレスをクリックします。新しいブラウザ が開き、デバイスが表示されます。
- 注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

### お気に入りの追加、削除、および編集

- デバイスを [Favorites List] (お気に入りリスト) に追加するには、以下の手順 に従います。
- [Manage] (管理)の [Add New Device to Favorites] (お気に入りへの新し いデバイスの追加)を選択します。 [Add New Favorite] (新しいお気に入りの 追加)ページが表示されます。
- 2. わかりやすい説明を入力します。
- 3. デバイスの IP アドレス/ホスト名を入力します。
- 4. 必要に応じて検出ポートを変更します。
- 5. 製品タイプを選択します。



6. [OK] をクリックします。デバイスがお気に入りのリストに追加されます。

Add New Favo	ite		
All fields are requ	red		
Description			
1		- 1	
IP Address Ho	st Name		
1			
Port			
5000			
Product Type			
Dominion KSX (	1 💌		
1			

# ▶ お気に入りを編集するには、以下の手順に従います。

- 1. [Favorites List] (お気に入りリスト) ページで、目的の Dominion KX II デバ イスの横にあるチェックボックスをオンにします。
- 2. [Edit] (編集) ボタンをクリックします。 [Edit] (編集) ページが表示されます。
- 3. 必要に応じてフィールドを更新します。
  - [Description] (説明)
  - [IP Address/Host Name] (IP アドレス/ホスト名) Dominion KX II デ バイスの IP アドレスを入力します。
  - [Port] (ポート) (必要な場合)
  - [Product Type] (製品タイプ)
- 4. [OK] をクリックします。
- お気に入りを削除するには、以下の手順に従います。

重要:お気に入りを削除する場合は注意してください。削除を確認する プロンプトは表示されません。

- 1. 目的の Dominion KX II デバイスの横にあるチェックボックスをオンにします。
- [Delete] (削除) ボタンをクリックします。お気に入りのリストからお気に入りが削除されます。



注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

ログオフ

- Dominion KX II リモート コンソールを終了するには、以下の手順に従います。
- ページの右上隅の [Logout] (ログアウト) をクリックします。

注: ログオフすると、開いているすべての Virtual KVM Client セッションとシリアル クライアント セッションが閉じられます。

#### Multi-Platform Client インタフェース

Raritan Multi-Platform Client (MPC) は、ラリタン製品ラインに対応するグラフィカ ル ユーザ インタフェースです。Raritan KVM over IP デバイスに接続されているタ ーゲット サーバへのリモート アクセスを提供します。 MPC の使用方法については、 ラリタンの Web サイトで KX II ユーザ ガイドと同じページから入手できる『KVM and Serial Access Client Guide』を参照してください。 MPC の起動手順に ついては、ここで説明します。

#### Web ブラウザからの MPC の起動

重要: ブラウザの種類を問わず、MPC を開くためには、Dominion デ バイスの IP アドレスからのポップアップを許可する必要があります。

サポートされるブラウザを実行しているクライアントから MPC を開くには、アドレス フィールドに「*http://IP-ADDESS/mpc*」と入力します (IP-ADDESS はラリタン デバイスの IP アドレスに置き換えてください)。 MPC が新しいウィンドウに開かれます。

注: Alt+Tab コマンドで、ローカル システム上のウィンドウ間のみでの切り替え ができます。

MPC が開かれると、自動的に検出されたラリタン デバイスおよびサブネット上で 見つかったラリタン デバイスがナビゲータにツリー形式で表示されます。

- 2. 使用しているデバイスの名前がナビゲータに表示されていない場合は、以下の 手順に従って手動で追加します。
  - a. [Connection] (接続)、[New Profile] (新しいプロファイル) の順に選択し ます。 [Add Connection] (接続の追加) ウィンドウが開きます。
  - b. [Add Connection] (接続の追加) ウィンドウで、デバイスの説明を入力し、 接続タイプを指定し、デバイスの IP アドレスを追加して、[OK] をクリックし ます。この指定内容は後で編集できます。



 画面左のナビゲータ パネルで、接続するラリタン デバイスに対応するアイコンを ダブルクリックします。

注: お使いのブラウザおよびブラウザのセキュリティ設定によっては、さまざまなセキュリ ティや証明書に関する確認メッセージまたは警告メッセージが表示されることがありま す。 MPC を開くには、オプションを承諾する必要があります。

注: FireFox 3.0.3 を使用している場合は、アプリケーションの起動で問題が発生 することがあります。 この場合は、ブラウザのキャッシュをクリアして、アプリケーションを 再起動してください。

# **Virtual KVM Client**

# 概要

Dominion KX II リモート コンソールを使用してターゲット サーバにアクセスすると、 Virtual KVM Client (VKC) のウィンドウが開かれます。 接続されているターゲット サーバごとに 1 つの Virtual KVM Client ウィンドウが表示されます。 これらのウィ ンドウには、Windows のタスクバーからアクセスできます。

Virtual KVM Client ウィンドウは、お使いのコンピュータのデスクトップ上で最小化、 最大化、および移動できます。

注: HTML ブラウザ表示を更新すると Virtual KVM Client 接続が切断されて しまうので注意してください。

注: FireFox 3.0.3 を使用している場合は、アプリケーションの起動で問題が発生 することがあります。 この場合は、ブラウザのキャッシュをクリアして、アプリケーションを 再起動してください。

#### KVM ターゲット サーバへの接続

#### ▶ KVM ターゲット サーバに接続するには、以下の手順に従います。

- 1. Dominion KX II リモート コンソールで、[Port Access] (ポート アクセス) タブ をクリックします。 [Port Access] (ポート アクセス) ページが開きます。
- アクセスするターゲットの [Port Name] (ポート名) をクリックします。 [Port Action] (ポート アクション) メニューが表示されます。
- 3. [Connect] (接続) をクリックします。 *Virtual KVM Client* 『p. 55』 ウィンド ウが開き、そのポートに接続されているターゲット サーバが表示されます。



VKC ツールバー

帯域幅のオプションを (接続スピード、色深度な ど) を手動で調節するための [Modify Connection Properties] (接続プロパティの変 更) ダイアログ ボックスを開きます。
[Connection] (接続) の [Properties] (プロパティ) を選択するか、ショートカット メニューの [Connection Properties] (接続プロパティ) を 選択した場合と同じです。ショートカット メニュー は、Ctrl+ 左 Alt+M キーを押すと表示されま す。
ビデオ変換パラメータを手動で調節するための [ビ デオ設定] ダイアログ ボックスを開きます。
[Video] (ビデオ) の [Video Settings] (ビデオ設定) を選択するか、ショートカット メニューの [Video Settings] (ビデオ設定) を選択した場合 と同じです。ショートカット メニューは、Ctrl+ 左 Alt+M キーを押すと表示されます。
色設定を調節し、余分な色ノイズを低減します。 [Video] (ビデオ)の [Color Calibrate] (色調整 ) を選択した場合と同じです。
クリックすると、ターゲット サーバのスクリーンショット を取得して、それを選択したファイルに保存しま す。
デュアルマウス モードで、マウス ポインタとターゲッ ト サーバのマウス ポインタを同期させます。 [Mouse] (マウス) の [Synchronize Mouse] (マウスの同期) を選択するか、ショートカット メニ ューの [Synchronize Mouse] (マウスの同期) を選択した場合と同じです。ショートカット メニュー は、Ctrl+ 左 Alt+M キーを押すと表示されま



ボタン	ボタン名	説明
2	[Refresh	ビデオ画面を強制的に更新します。
•	Screen] (画面 の更新)	[Video] (ビデオ) の [Refresh Screen] (画面の 更新) を選択するか、ショートカット メニューの [Refresh Screen] (画面の更新) を選択した場 合と同じです。ショートカット メニューは、Ctrl+ 左 Alt+M キーを押すと表示されます。
6	[Auto-sense Video Settings] (ビデ オ設定の自動 検出)	ビデオ設定を強制的に更新します (解像度、垂 直走査周波数)。
		[Video] (ビデオ) の [Auto-sense Video Settings] (ビデオ設定の自動検出) を選択した 場合と同じです。
[S Ct	[Send Ctrl+Alt+Del]	ターゲット サーバに Ctrl+Alt+Del のキー操作を 送信します。
	(ClintAlt+Del の送信)	[Keyboard] (キーボード) の [Send Ctrl+Alt+Del] (Ctrl+Alt+Del の送信) を選択 した場合と同じです。
	[Single Cursor Mode]	ローカルのマウス ポインタを画面に表示しない「シ ングル カーソルモード」になります。
(シングル カー ソル モード)		[Mouse] (マウス) の [Single Cursor Mode] (シングル カーソル モード) を選択した場合と同 じです。このモードを終了するには、Ctrl+Alt+X キーを押します。または、ショートカット メニューの [Single/Double Cursor] (シングル/ダブル カーソ ル) を選択します。ショートカット メニューは、 Ctrl+ 左 Alt+M キーを押すと表示されます。
	[Full Screen Mode] (全画	ターゲット サーバのデスクトップを表示する画面を 最大化します。
	面モード)	[View] (表示) の [Target Screen Resolution] (ターゲット画面解像度) (MPC の 場合) または [Full Screen] (全画面) (RRC の場合) を選択する場合と同じです。Ctrl+ 左 Alt+M キーを押してショートカット メニューを開 き、[Full/Normal Screen] (全画面/標準画面) を選択するか、キーボードの F キーを押します。
	[Scaling] (拡 大、縮小)	ターゲットのビデオ サイズを拡大、縮小して、スク ロール バーを使用せずにターゲット サーバ ウィン ドウの内容をすべて表示できるようにします。



#### KVM ターゲット サーバの切り替え

Dominion KX II では、複数の KVM ターゲット サーバにアクセスできます。 Dominion KX II は、ターゲット サーバを切り替える機能を備えています。

注: この機能は、Dominion KX II リモート コンソールでのみ使用できます。

#### ▶ KVM ターゲット サーバを切り替えるには、以下の手順に従います。

- ターゲット サーバを使用しているときに、Dominion KX II の [Port Access] (ポート アクセス) ページを開きます。
- 2. アクセスするターゲットの [Port Name] (ポート名) をクリックします。[Port Action Menu] (ポート アクション メニュー) が表示されます。
- [Port Action] (ポート アクション) メニューの [Switch From] (切り替え元) を 選択します。選択した新しいターゲット サーバが [Virtual KVM Client] (仮 想 KVM クライアント) ウィンドウに表示されます。

#### ターゲット サーバの電源管理

注: これらの機能は、電源の関連付けを行っている場合にのみ使用できます。

#### ▶ KVM ターゲット サーバの電源を再投入するには、以下の手順に従います。

- Dominion KX II リモート コンソールで、[Port Access] (ポート アクセス) タブ をクリックします。 [Port Access] (ポート アクセス) ページが開きます。
- 適切なターゲット サーバのポート名をクリックします。 [Port Action] (ポート ア クション) メニューが表示されます。
- [Power Cycle] (電源の再投入) を選択します。 確認メッセージが表示されます。

#### ▶ ターゲット サーバの電源をオンにするには、以下の手順に従います

- 1. Dominion KX II リモート コンソールで、[Port Access] (ポート アクセス) タブ をクリックします。 [Port Access] (ポート アクセス) ページが開きます。
- 適切なターゲット サーバのポート名をクリックします。 [Port Action] (ポート ア クション) メニューが表示されます。
- 3. [Power On] (電源オン) を選択します。 確認メッセージが表示されます。

#### ▶ ターゲット サーバの電源をオフにするには、以下の手順に従います

 Dominion KX II リモート コンソールで、[Port Access] (ポート アクセス) タブ をクリックします。 [Port Access] (ポート アクセス) ページが開きます。



- 2. 適切なターゲット サーバのポート名をクリックします。 [Port Action] (ポート ア クション) メニューが表示されます。
- 3. [Power Off] (電源オフ) を選択します。 確認メッセージが表示されます。

rt Access		
ck on the individual port n f 4 Remote KVM channels	ame to see allowable operations. currently in use.	Status
Port number	Domining-KX2 Port1	JID
2	Dominion-KX2 Port2	down
1	Disconnect	down
	Power Off	down
;	Power Cycle	up
;	Dominion-KX2_Port6	down
1	Dominion-KX2_Port7	down
J	Dominion-KX2_Port9	down

# KVM ターゲット サーバの切断

注: Dominion KX II ローカル コンソールでは、この項目は使用できません。 ロー カル コンソールで切り替えたターゲットを切断する唯一の方法は、ホットキーを使用 することです。

#### ▶ ターゲット サーバを切断するには、以下の手順に従います。

- 1. 切断するターゲットのポート名をクリックします。[Port Action Menu] (ポート ア クション メニュー) が表示されます。
- 2. [Disconnect] (切断)を選択します。

ヒント: Virtual KVM メニューの [Connection] (接続)の [Exit] (終了)を選択 することによっても Virtual KVM Client ウィンドウを閉じることができます。



# USB プロファイルの選択

KVM ターゲット サーバに初めて接続する場合は、「*KVM ターゲット サーバへの接続* 『p. 55』」で説明されているように、ポートの優先 USB プロファイルが自動的に 使用されます。前に別のプロファイルを使用してターゲット サーバに接続したことがあ る場合は、最後に接続したときの USB プロファイルが使用されます。 優先プロファ イル以外のプロファイルが使用される場合は、次のような警告で通知されます。



ターゲット サーバに接続した後、必要に応じて USB プロファイルを変更できます。 デフォルトでは、VKC の [USB Profile] (USB プロファイル) メニューの下に表示さ れるプロファイルが、最もよく使用されているプロファイルです。 これらのプロファイルは、 接続されるターゲット サーバで使用されるものとして操作要件に基づいて管理者が あらかじめ選択しています。 ただし、すべてのプロファイルは、[USB Profile] (USB プロファイル) メニューの [Other Profile] (他のプロファイル) オプションを使用して選 択できます。

- ▶ USB プロファイルを選択するには、以下の手順に従います。
- 「KVM ターゲット サーバへの接続 『p. 55』」の説明にしたがって、KVM ター ゲット サーバに接続します。
- VKC で、[USB Profile] (USB プロファイル) メニューから USB プロファイルを 選択します。

プロファイルの名前は、それが使用されるオペレーティング システムまたはサーバ を示しています。 USB プロファイルについての詳細は、「**USB プロファイルの設** 定 『p. 96』」を参照してください。



# [Connection Properties] (接続プロパティ)

Dominion KX II の動的ビデオ圧縮アルゴリズムは、さまざまな帯域幅条件で KVM コンソールの使用を可能にします。 Dominion KX II デバイスの KVM 出 力は、LAN 経由だけでなく WAN 経由でも使用できるように最適化されます。 さ らに、色深度を制御してビデオ出力を制限できるため、さまざまな帯域幅でビデオ画 質とシステム応答性のバランスを最適に維持することができます。

- [Properties] (プロパティ) ダイアログ ボックスのパラメータは、さまざまな動作環境の要件に合わせて最適に設定できます。
- ▶ 接続プロパティを設定するには、以下の手順に従います。
- 1. [Connection] (接続)の [Properties] (プロパティ)を選択するか、ツールバー

の [Connection Properties] (接続プロパティ) ボタン 🌌 をクリッ	りします。
[Properties] (プロパティ) ダイアログ ボックスが表示されます。	

Properties		X
Connection Speed	1G Ethernet	×
Color Depth	15-bit RGB Color	~
Smoothing	<u>¢</u>	Low
OK	Cancel	Amply.

注: KX II-101 は 1G Ethernet をサポートしていません。

- ドロップダウン リストから接続スピードを選択します。デバイスでは、使用可能 な帯域幅を自動的に検出できるため、帯域幅利用は制限されません。ただし、 帯域幅の制限に応じて帯域幅利用を調整することもできます。
  - [Auto] (自動)
  - [1G Ethernet] (1G Ethernet)
  - [100 Mb Ethernet] (100 Mbps Ethernet)
  - [10 Mb Ethernet] (10 Mbps Ethernet)
  - [1.5 Mb (MAX DSL/T1)] (1.5 Mbps (最高速 DSL/T1))
  - [1 Mb (Fast DSL/T1)] (1 Mbps (高速 DSL/T1))
  - [512 Kb (Medium DSL/T1)] (512 Kbps (中速 DSL/T1))



- [384 Kb (Slow DSL/T1)] (384 Kbps (低速 DSL/T1))
- [256 Kb (Cable)] (256 Kbps (ケーブル))
- [128 Kb (Dual ISDN)] (128 Kbps (デュアル ISDN))
- [56 kb (ISP Modem)] (56 Kbps (ISP モデム))
- [33 kb (Fast Modem)] (33 Kbps (高速モデム))
- [24 kb (Slow Modem)] (24 Kbps (低速モデム))

これらの設定は、実際の速度ではなく特定の条件に対して最適化されています。 クライアントおよびサーバは、現在のネットワーク速度やエンコード設定に関係なく、 常に最高速度でネットワークにビデオを配信しようとします。ただし、システムの 応答性が最も高くなるのは、設定が実際の環境と一致するときだけです。

- ドロップダウン リストから色深度を選択します。 デバイスでは、リモート ユーザに 送信される色深度を動的に調整することで、さまざまな帯域幅で最適な使いや すさを実現します。
  - [15-bit RGB Color] (15 ビット RGB カラー)
  - [8-bit RGB Color] (8 ビット RGB カラー)
  - [4-bit Color] (4 ビット カラー)
  - [4-bit Gray] (2 ビット グレー)
  - [3-bit Gray] (3 ビット グレー)
  - [2-bit Gray] (2 ビット グレー)
  - [Black and White] (モノクロ)

重要: 多くの管理タスク (サーバの監視、再設定等) において、最新のビデオ グラフィック カードのほとんどで利用できる 24 ビットまたは 32 ビットのフルカラ ー表示は必要ありません。このような高い色深度を送信すると、ネットワークの 帯域幅を浪費することになります。

- スライダを使用して、スムージングのレベルを指定します (15 ビット カラー モードのみ)。ここで設定したスムージングのレベルにより、色がわずかに異なる画面 領域をできるだけ滑らかな単色の組み合わせにするかが決まります。スムージングにより、表示されるビデオノイズを軽減することで、対象ビデオの画質が向上します。
- 5. [OK] をクリックして、これらのプロパティを保存します。



# 接続情報

- Virtual KVM Client 接続に関する情報を取得するには、以下の手順に従います。
- [Connection] (接続)、[Connection Info] (接続情報)を選択します。
   [Connection Info] (接続情報) ウィンドウが開きます。

現在の接続に関する以下の情報が表示されます。

- [Device Name] (デバイス名) Dominion KX II デバイスの名前です。
- [IP Address] (IP アドレス名) Dominion KX II デバイスの IP アドレスです。
- [Port] (ポート) ターゲット デバイスへのアクセスに使用される KVM 通信 TCP/IP ポートです。
- [Data In/Second] (データ入力/秒) 入力データレートです。
- [Data Out/Second] (データ出力/秒) 出力データレートです。
- [Connect Time] (接続時間) 接続時間です。
- [FPS] (FPS) ビデオで送信される毎秒フレーム数です。
- [Horizontal Resolution] (水平解像度) 水平方向の画面解像度です。
- [Vertical Resolution] (垂直解像度) 垂直方向の画面解像度です。
- [Refresh Rate] (垂直走査周波数) 画面の更新頻度を表します。
- [Protocol Version] (プロトコル バージョン) RFB プロトコル バージョンです。
- ▶ この情報をコピーするには、以下の手順に従います。
- [Copy to Clipboard] (クリップボードにコピー)をクリックします。これにより、任意のプログラムにこの情報を貼り付けることができます。

# キーボードのオプション

# キーボード マクロ

キーボード マクロを利用することで、ターゲット サーバに対するキー入力が確実にタ ーゲット サーバに送信され、ターゲット サーバのみで解釈されます。 キーボード マク ロを利用しない場合、Virtual KVM Client が実行されているコンピュータ (クライア ント PC) によって解釈される可能性があります。

マクロはクライアント PC に保存され、その PC 専用になります。したがって、別の PC を使用したときは、作成したマクロを使用できません。さらに、キーボード マクロ はコンピュータ単位で管理されるので、あるユーザが使用している PC に別のユーザ が自分の名前でログインした場合でも、1 人目のユーザが作成したマクロが 2 人目 のユーザに対して表示されます。 Virtual KVM Client 内で作成したキーボード マ クロは MPC で使用でき、またその逆も可能です。


#### キーボード マクロの作成

- ▶ マクロを作成するには、以下の手順に従います。
- [Keyboard] (キーボード)の [Keyboard Macros] (キーボード マクロ) をクリ ックします。 [Keyboard Macros] (キーボード マクロ) ダイアログ ボックスが表 示されます。
- [Add] (追加) をクリックします。 [Add Keyboard Macro] (キーボード マクロの 追加) ダイアログ ボックスが表示されます。
- [Keyboard Macro Name] (キーボード マクロ名) フィールドにマクロの名前を 入力します。この名前は、マクロが作成された後に [Keyboard] (キーボード) メニューに表示されます。
- [Hot-Key Combination] (ホットキーの組み合わせ) フィールドで、ドロップダウンリストからキー操作の組み合わせを選択します。これにより、定義済みのキー入力を使ってマクロを実行することができます。オプションです。
- [Keys to Press] (押すキー) ドロップダウン リストで、コマンドの実行に使用されるキー操作をエミュレートするために使用するキーを選択します。 キーは、押す順番で選択します。 1 つ選択するごとに、[Add Key] (キーを追加) を選択します。 キーを選択するごとに、[Macro Sequence] (マクロ シーケンス) フィールドに表示されます。また、1 つ選択するごとに、その [Release Key] (キーのリリース) コマンドが自動的に追加されます。
- たとえば、左 Ctrl + Esc キーを選択してウィンドウを閉じるマクロを作成します。 これにより、以下の [Macro Sequence] (マクロ シーケンス) ボックスが表示されます。

[Press Left Ctrl] (左 Ctrl の押下)

[Release Left Ctrl] (左 Ctrl のリリース)

[Press Esc] (Esc の押下)

[Release Escc] (Esc のリリース)

- 7. [Macro Sequence] (マクロ シーケンス) フィールドで、マクロ シーケンスが正し く定義されていることを確認します。
  - a. キー操作の 1 つの手順を削除するには、手順を選択して [Remove] (削除)をクリックします。
  - b. キー操作の手順の順番を変更するには、手順をクリックし、上向きまたは下 向きの矢印ボタンを使用して必要に応じて並べ替えます。



 [OK] をクリックしてマクロを保存します。 [Clear] (クリア) をクリックすると、すべてのフィールドがクリアされ、最初の状態に戻ります。 [OK] をクリックすると [Keyboard Macros] (キーボード マクロ) ダイアログ ボックスが現れ、新しいキーボード マクロがリスト表示されます。

Add Keyboard Macro	×
Keyboard Macro Name Close Window Keyboard Macro Hotkey No Hot-Key 💌	
Keys to Press Macro Sequence	
Num Lock Left Windows Key Right Windows Key Menu Key Print Screen/SysRq Pause ESC Enter	
Add Key Remove ^ v	



 [Close] (閉じる) をクリックして、[Keyboard Macro] (キーボード マクロ) ダイ アログ ボックスを閉じます。マクロがアプリケーションの [Keyboard] (キーボー ド) メニューに表示されます。マクロを実行するには、メニューで新しいマクロを選 択するか、マクロに割り当てたキー操作を使用します。

Minimize All Windows	=
	Add
	16 all and the second
	lois doite.
	Close

#### キーボード マクロの実行

作成したキーボード マクロは、割り当てたキーボード マクロを使用するか、 [Keyboard] (キーボード) メニューからそれを選択して起動します。

## メニュー バーからのマクロの実行

マクロを作成すると、そのマクロが [Keyboard] (キーボード) メニューに表示されます。 キーボード マクロを実行するには、[Keyboard] (キーボード) メニューでそれをクリック します。

#### キー操作の組み合わせを使用したマクロの実行

マクロの作成時にキー操作の組み合わせを割り当てた場合は、割り当てたキー入力 を押すことでマクロを実行できます。たとえば、Ctrl+Alt+0 キーを同時に押すと、 Windows ターゲット サーバの全ウィンドウが最小化されます。

#### キーボード マクロの変更および削除

- ▶ マクロを変更するには、以下の手順に従います。
- [Keyboard] (キーボード)の [Keyboard Macros] (キーボード マクロ) を選 択します。 [Keyboard Macros] (キーボード マクロ) ダイアログ ボックスが表 示されます。
- 2. マクロのリストから目的のマクロを選択します。



- 3. [Modify] (変更) をクリックします。 [Add/Edit Keyboard Macro] (キーボード マクロの追加/編集) ダイアログ ボックスが表示されます。
- 4. 必要な変更を加えます。
- 5. [OK] をクリックします。
- ▶ マクロを削除するには、以下の手順に従います。
- [Keyboard] (キーボード)の [Keyboard Macros] (キーボード マクロ) を選 択します。 [Keyboard Macros] (キーボード マクロ) ダイアログ ボックスが表 示されます。
- 2. マクロのリストから目的のマクロを選択します。
- 3. [Remove] (削除) をクリックします。 マクロが削除されます。

ブレード シャーシの切り替えキー シーケンスと一致するホットキーの組み合わせは、 それらのシャーシ内のブレードには送信されません。

#### CIM キーボード/マウス オプションの設定

- ▶ DCIM-USBG2の設定メニューにアクセスするには、以下の手順に従います。
- 1. メモ帳 (Windows) などのウィンドウをマウスでフォーカスします。
- 2. 左 Ctrl キーと Num Lock キーを同時に押します。 アクティブ ウィンドウに CIM 設定メニューが表示されます。
- 3. 言語とマウスを設定します。
- 4. メニューを終了し、通常の CIM 機能に戻ります。

Connection US3 Profile	Keyboard	Video	Mouse	Tools	View	Virtual Media	Help
	Send Ct	H+Alt+E	)el				
<b>N- 25 mm</b> Ch	Se: CIM Keyboard/Mouse Options						
	Import k	eyboard	d Macros.				
	Export k	(eyboard	d Macros.				
	Keyboar	rd Macro	IS				
	Minimize	All Wind	lows		Ctrl-	+Alt+C	



#### ビデオのプロパティ

#### [Refresh Screen] (画面の更新)

[Refresh Screen] (画面の更新) コマンドを使用すると、ビデオ画面が更新されま す。ビデオの設定を自動的に更新する方法はいくつかあります。

- [Refresh Screen] (画面の更新) コマンドを使用すると、ビデオ画面が更新されます。
- [Auto-sense Video Settings] (ビデオ設定の自動検出) コマンドを使用する と、ターゲット サーバのビデオ設定が自動的に検出されます。
- [Calibrate Color] (色調整) コマンドを使用すると、ビデオの表示色が調整されます。

これに加え、[Video Settings] (ビデオ設定) コマンドを使用すると、手動で設定を 調整できます。

#### ▶ ビデオ設定を更新するには、次のいずれかの手順に従います。

 [Video] (ビデオ)の [Refresh Screen] (画面の更新)を選択するか、ツール バーの [Refresh Screen] (画面の更新) ボタン Septyvpします。

#### [Auto-sense Video Settings] (ビデオ設定の自動検出)

[Auto-sense Video Settings] (ビデオ設定の自動検出) コマンドを使用すると、ビデオ設定 (解像度、垂直走査周波数) が再検出され、ビデオ画面が再描画されます。

- ▶ ビデオ設定を自動的に検出するには、以下の手順に従います。
- [Video] (ビデオ)の [Auto-sense Video Settings] (ビデオ設定の自動検出) を選択するか、ツールバーの [Auto-sense Video Settings] (ビデオ設定の自 動検出) ボタン ジジ をクリックします。 調整が行われていることを示すメッセー ジが表示されます。



#### [Calibrate Color] (色調整)

[Calibrate Color] (色調整) コマンドは、送信されたビデオ画像の色レベル (色相、 輝度、彩度) を最適化するために使用します。 Dominion KX II の色設定は、タ ーゲット サーバごとに適用されます。

注: [Calibrate Color] (色調整) コマンドは、現在の接続のみに適用されます。

#### ● 色を調整するには、以下の手順に従います。

[Video] (ビデオ)の [Calibrate Color] (色調整)を選択するか、ツールバーの

[Calibrate Color] (色調整) ボタン 🔤 をクリックします。 ターゲット デバイ ス画面の色が調整されます。

#### [Video Settings] (ビデオ設定)

[Video Settings] (ビデオ設定) コマンドを使用すると、ビデオ設定を手動で調整できます。

#### ビデオ設定を変更するには、以下の手順に従います。

 [Video] (ビデオ)の [Video Settings] (ビデオ設定)を選択するか、ツールバ ーの [Video Settings] (ビデオ設定)ボタン ジン をクリックして、[Video

Settings] (ビデオ設定) ダイアログ ボックスを開きます。

- 2. 必要に応じて、以下の設定を調整します。設定を調整すると、その効果が即 座に表示に反映されます。
  - a. [Noise Filter] (ノイズ フィルタ)

Dominion KX II デバイスでは、グラフィック カードからのビデオ出力の電気 的干渉を除去することができます。この機能により、画質が最適化され、 消費される帯域幅が低減されます。設定値を大きくすると、ピクセル変動 は隣接するピクセルと比較して大きな色変化がある場合にのみ送信されま す。ただし、しきい値を高く設定しすぎると、正常な画面変更が意図せず フィルタリングされてしまう場合があります。 設定値を低くすると、ほとんどのピクセルの変更が送信されます。しきい値 を低く設定しすぎると、帯域幅の使用量が高くなることがあります。

- b. [Brightness] (明るさ): この設定は、ターゲット サーバの画面表示の輝度 を調整するために使用します。
- c. [Brightness Red] (赤輝度) ターゲット サーバの画面に表示される赤の 信号の輝度を制御します。
- d. [Brightness Green] (緑輝度) 緑の信号の輝度を制御します。
- e. [Brightness Blue] (青輝度) 青の信号の輝度を制御します。



- f. [Contrast Red] (赤コントラスト) 赤の信号のコントラストを制御します。
- g. [Contrast Green] (緑コントラスト) 緑の信号のコントラストを制御しま す。
- h. [Contrast Blue] (青コントラスト) 青の信号のコントラストを制御します。

ビデオ画像が大幅にぼやけている場合、設定でクロックと位相を調節することで、アクティブなターゲット サーバの画像を改善します。

警告: クロック設定と位相設定を変更する際には、注意が必要です。ビデオ 画像が消えたり歪んだりする可能性があるだけでなく、元の状態に戻せなくなる ことがあります。変更を加える前に、ラリタン テクニカル サポートにお問い合わ せください。

- i. [Clock] (クロック) ビデオ画面上にビデオ ピクセルが表示される速度を制御します。クロック設定値を変更すると、ビデオ画像が水平方向に伸縮します。設定値は奇数を推奨します。通常は自動検出機能によって適切に設定されるため、ほとんどの環境ではこの設定を変更する必要はありません。
- j. [Phase] (位相) 位相の値の範囲は 0~31 です。これより大きな値は 反復されます。アクティブなターゲット サーバ用に最適なビデオ画像が得ら れる位相の位置で停止してください。
- k. [Horizontal Offset] (水平オフセット) ターゲット サーバの画面がモニタに 表示されるときの水平位置を制御します。
- [Vertical Offset] (垂直オフセット) ターゲット サーバの画面がモニタに表示されるときの垂直位置を制御します。
- 3. [Auto Color Calibration] (自動色調節) を選択して、この機能を有効にしま す。
- 4. ビデオ検出モードを選択します。
  - [Best possible video mode] (最適ビデオ モード)

ターゲットやターゲットの解像度が変更されたときに、すべての自動検出処 理が実行されます。このオプションを選択すると、最適な画像品質になるようにビデオが調整されます。

[Quick sense video mode] (クイック検出ビデオ モード)

このオプションを使用すると、クイック ビデオ自動検出が使用され、ターゲット のビデオがより早く表示されます。このオプションは、再起動直後のターゲット トサーバの BIOS 設定を入力するときに特に有効です。

5. 設定を適用してダイアログ ボックスを閉じるには、[OK] をクリックします。 ダイア ログ ボックスを閉じずに設定を適用するには、[Apply] (適用) をクリックします。



注: 一部の Sun サーバでは、ある種の Sun 背景画面 (外周部が非常に暗い ものなど)が中央の位置に正確に表示されない場合があります。別の背景を使用 するか、画面の左上隅に明るい色のアイコンを配置してください。

Noise Filter	<			>	2
Brightness Red	<			>	45
rlghtness Green	<			>	61
Brightness Blue	<			>	46
Contract Rod	<		0	>	192
Contrast Green	<			>	196
Contrast Blue	<		1	>	194
Clock	<	1		>	1056
Phase	<			5	19
Horizontal Offset	<		1	>	214
Vertical Offset	<			>	23
	I Aut	o Color C: st possibli ick sense OK	alibratio e video r videu m Cancel	node ude	hv.l

#### [Screenshot from Target server] (ターゲット サーバのスクリーンショット)

[Screenshot from Target server] (ターゲット サーバのスクリーンショット) コマンド を使用すると、ターゲット サーバのスクリーンショットを取得できます。 このスクリーンシ ョットを、選択した場所にビットマップ、JPEG、または PNG ファイルとして保存できま す。

- ▶ ターゲット サーバのスクリーンショットを取得するには、以下の手順に従います。
- 1. [Video] (ビデオ)の [Screenshot from Target server] (ターゲット サーバの スクリーンショット)を選択するか、ツールバーの [Screenshot from Target server] (ターゲット サーバのスクリーンショット) ボタン ジ をクリックします。



- [Save] (保存) ダイアログ ボックスで、ファイルを保存する場所を選択し、ファイ ルに名前を付け、[Files of type] (ファイルの種類) ドロップダウン リストからファ イル形式を選択します。
- 3. [Save] (保存) をクリックしてスクリーンショットを保存します。

Save		
Save <u>i</u> n:	My Downloads	
📑 Miscellane	ous	
HTMLback	ground.jpg	
File <u>n</u> ame:	Server Screenshot	
Files of type:	JPEG image files	
		Saus Casal
		Save Cancer

### マウス オプション

ターゲット サーバを制御しているとき、Dominion KX II リモート コンソールには、2 つのマウス カーソルが表示されます。 1 つはクライアント ワークステーションのマウス カーソルで、もう 1 つはターゲット サーバのマウス カーソルです。

この場合、シングル マウス モードとデュアル マウス モードのどちらかを使用できます。 デュアル マウス モードにおいてオプションが適切に設定されている場合、2 つのマウ ス カーソルは同調します。

Dominion KX II デバイスでは、2 つのマウス カーソルが存在するときに以下のマウス モードが提供されます。

- Absolute (ずれない) (マウス同期)
- Intelligent (インテリジェント) (マウス モード)
- Standard (標準) (マウス モード)



#### マウス ポインタの同期

マウスが使用されているターゲット サーバをリモートで表示する場合、2 つのマウス カ ーソルが表示されます。 1 つはリモート クライアント ワークステーションのマウス カー ソルで、もう 1 つはターゲット サーバのマウス カーソルです。 マウス ポインタが Virtual KVM Client ターゲット サーバ ウィンドウ内にある場合、マウスの動作やク リックは、接続されているターゲット サーバに直接送信されます。 クライアントのマウ ス ポインタは、マウスの加速設定により、動作がわずかにターゲット マウス ポインタよ り先行します。

高速 LAN 接続の場合、Virtual KVM Client のマウス ポインタを無効にしてター ゲット サーバのマウス ポインタのみを表示することもできます。 この 2 つのモード (シングル マウスとデュアル マウス) は自由に切り替えることができます。

#### マウス同期のヒント

マウスの同期を設定するには、以下の手順に従います。

- 選択したビデオ解像度と垂直走査周波数が Dominion KX II デバイスでサポ ートされていることを確認します。 [Virtual KVM Client Connection Info] (Virtual KVM Client 接続情報) ダイアログ ボックスには、Dominion KX II の表示で使用している実際の値が表示されます。
- ケーブルの長さが選択したビデオ解像度に指定されている限度内であることを確認します。
- 3. インストール プロセス中にマウスとビデオが正しく構成されていることを確認しま す。
- [Virtual KVM Client auto-sense] (Virtual KVM Client の自動検出) ボタ ンをクリックして自動検出を強制します。
- 5. 以上の手順で Linux、UNIX、Solaris KVM ターゲット サーバのマウス同期 が改善しない場合は、以下の手順に従います。
  - a. ターミナル ウィンドウを開きます。
  - b. コマンド「xset mouse 1 1」を入力します。
  - c. ターミナル ウィンドウを閉じます。
- 6. [Virtual KVM Client mouse synchronization] (Virtual KVM Client マウ ス同期) ボタン たりリックします。



#### インテリジェント マウス モードでの追加の注意事項

- 同期ルーチンが利用する領域を空けるため、画面の左上隅にアイコンやアプリケーションがないことを確認します。
- アニメーション カーソルを使用しないでください。
- KVM ターゲット サーバでアクティブなデスクトップを無効にします。

#### マウスの同期

デュアル マウス モードで [Synchronize Mouse] (マウスの同期) コマンドを使用す ると、ターゲット サーバのマウス ポインタと Virtual KVM Client のマウス ポインタと の同期化が再実行されます。

## ▶ マウスを同期するには、次のいずれかの手順に従います。

• [Mouse] (マウス)の [Synchronize Mouse] (マウスの同期)を選択するか、

ツールバーの [Synchronize Mouse] (マウスの同期) ボタン k をクリックします。

## Standard (標準) マウス モード

標準マウス モードは、相対マウス位置を使用した標準のマウス同期アルゴリズムです。 標準マウス モードを使用する場合、クライアントとサーバのカーソルが同期するように、 マウスの加速を無効にし、マウスに関連するその他のパラメータを適切に設定する必 要があります。 標準マウス モードはデフォルトです。

- ▶ 標準マウス モードに切り替えるには、以下の手順に従います。
- [Mouse] (マウス)の [Standard] (標準)を選択します。



## Intelligent (インテリジェント) マウス モード

Dominion KX II デバイスでは、インテリジェント マウス モードにおいて、ターゲットの マウス設定を検出し、それに応じてマウス カーソルを同期できるので、ターゲットでマ ウスの加速を設定できます。 このモードでは、マウス カーソルが画面の左上隅で " ダンス"をし、加速を計算します。 このモードが正常に動作するには、特定の条件 が満たされる必要があります。

- ▶ インテリジェント マウス モードに切り替えるには、以下の手順に従います。
- [Mouse] (マウス)の [Intelligent] (インテリジェント)を選択します。

## インテリジェント マウス同期の条件

[Mouse] (マウス) メニューにある [Intelligent Mouse Synchronization] (インテリ ジェント マウス同期) コマンドを選択すると、マウスが動いていないときにマウス カー ソルが自動的に同期されます。この機能を適切に動作させるには、次の条件が満 たされている必要があります。

- ターゲットにおいて、アクティブ デスクトップが無効であること。
- ターゲット ページの左上隅にウィンドウが表示されていないこと。
- ターゲットページの左上隅にアニメーション背景が表示されていないこと。
- ターゲットのマウス カーソルが通常のものであり、アニメーション カーソルでないこと。
- ターゲット マウスの速度が、非常に遅い値や非常に速い値に設定されていないこと。
- [ポインタの精度を高める]や [ポインタを自動的に既定のボタン上に移動する] などの高度なマウス プロパティが無効であること。
- [ビデオ設定] ウィンドウで [最適ビデオ モード] を選択していること。
- ターゲットのビデオの外周部が明確に表示されていること (つまり、ターゲットのビデオ画像の端にスクロールしたときに、ターゲット デスクトップとリモート KVM コンソール ウィンドウの間に黒いボーダーが表示されている必要があります)。
- インテリジェント マウス同期機能を使用中に、デスクトップの左上隅にファイル アイコンやフォルダ アイコンがあると、この機能が正しく動作しない可能性があり ます。この機能での問題を避けるために、デスクトップの左上隅にファイル アイ コンやフォルダ アイコンを置かないことを推奨します。

ターゲット ビデオが自動検出された後で、ツール バーの [Synchronize Mouse] (マウス同期) ボタンをクリックして、手動でマウス同期を開始する必要があります。 タ ーゲットの解像度が変更された場合や、マウス カーソルが互いに同期しなくなった場 合にも、この操作を行います。

インテリジェント マウス同期が失敗した場合、標準マウス同期と同じ動作になります。



マウス設定は、ターゲットのオペレーション システムよって異なります。詳細について は、使用する OS のマニュアルを参照してください。また、インテリジェント マウス同 期は UNIX ターゲットでは機能しません。

#### Absolute (ずれない) マウス モード

このモードでは、ターゲット マウスの加速または速度が異なる値に設定されている場合でも、クライアントとターゲットのカーソルを同期するために絶対座標が使用されます。このモードは、USB ポートを備えたサーバでサポートされます。

#### ▶ ずれないマウス モードに切り替えるには、以下の手順に従います。

• [Mouse] (マウス)の [Absolute] (ずれない)を選択します。

注: ずれないマウス設定を適用するには USB ターゲット システムが必要です。 KX II-101 の場合、これが推奨のマウス設定です。

注: ずれないマウス (Absolute Mouse Synchronization) は、仮想メディアに対応する USB CIM (D2CIM-VUSB および D2CIM-DVUSB) でのみ使用できます。

#### シングル マウス カーソル

シングル マウス モードでは、ターゲット サーバのマウス カーソルだけを使用します。ロ ーカル マウス ポインタは画面に表示されません。 シングル マウス モードでは、 [Synchronize Mouse] (マウスの同期) コマンドは使用できません (単独のマウス カーソルを同期化する必要がないため)。

- ▶ シングル マウス モードに入るには、以下の手順に従います。
- [Mouse] (マウス)の [Single Mouse Cursor] (シングル マウス カーソル)を 選択します。



 ツール バーの [Single/Double Mouse Cursor] (シングル/ダブル マウス カー ソル) ボタン をクリックします。



- ▶ シングル マウス モードを終了するには、以下の手順に従います。
- 1. シングル マウス モードを終了するには、キーボードの Ctrl+Alt+O を押します。

#### VKC 仮想メディア

仮想メディアの設定方法および使用方法についての詳細は、「仮想メディア」を参照 してください。

#### ツール オプション

[Tools] (ツール) メニューでは、Virtual KVM Client に関する特定のオプション (ロ グ記録、キーボードの種類の設定、全画面モードおよびシングル カーソル モードを 終了するホットキーの定義) を指定できます。

- ツール オプションを設定するには、以下の手順に従います。
- [Tools] (ツール)の [Options] (オプション)を選択します。 [Options] (オプション) ウィンドウが表示されます。
- テクニカル サポートから指示されたときだけ、[Enable Logging] (ログ記録を有 効にする) チェックボックスをオンにします。このオプションをオンにすると、ホーム ディレクトリにログ ファイルが作成されます。
- 3. 必要に応じて、ドロップダウン リストからキーボードの種類を選択します。 含ま れるオプションは次のとおりです。
  - [US/International] (英語 (アメリカ)/(インターナショナル))
  - [French (France)] (フランス語 (フランス))
  - [German (Germany)] (ドイツ語 (ドイツ))



- [Japanese] (日本語)
- [United Kingdom] (英語 (イギリス))
- [Korean (Korea)] (韓国語 (韓国))
- [Belgian (Belgium)] (ベルギー語 (ベルギー))
- [Norwegian (Norway)] (ノルウェー語 (ノルウェー))
- [Danish (Denmark)] (デンマーク語 (デンマーク))
- [Swedish (Sweden)] (スウェーデン語 (スウェーデン))
- [German (Switzerland)] (ドイツ語 (スイス))
- [Hungarian (Hungary)] (ハンガリー語 (ハンガリー))
- [Spanish (Spain)] (スペイン語 (スペイン))
- [Italian (Italy)] (イタリア語 (イタリア))
- [Slovenian] (スロベニア語)
- [Exit Full Screen Mode] (全画面モードの終了) ホットキー。 全画面モードに切り替えると、ターゲット サーバの表示が全画面表示になり、ターゲット サーバと同じ解像度が取得されます。 これは、このモードを終了するためのホットキーです。
- [Exit Single Cursor Mode] (シングル カーソル モードの終了) ホットキー。 シングル カーソル モードに入ると、ターゲット サーバのマウス カーソルのみが表 示されます。これは、シングル カーソル モードを終了して、クライアント マウス カーソルに戻るために使用するホットキーです。
- 6. [OK] をクリックします。
- キーボードの制限

スロベニア語キーボード

JRE の制限により、< キーは、スロベニア語キーボードでは機能しません。

Linux での言語設定

Linux 上の Sun JRE では、システムの環境設定を使用して設定される外国語の キーボードで正しいキー イベントを生成する際に問題があるので、外国語キーボード は、次の表で説明する方法を使用して設定することをお勧めします。

言語	設定方法
英語 (アメリカ)/ インターナショナ ル	デフォルト
フランス語	キーボード インジケータ



言語	設定方法
ドイツ語	システム設定 (コントロール センター)
日本語	システム設定 (コントロール センター)
英語 (イギリス)	システム設定 (コントロール センター)
韓国語	システム設定 (コントロール センター)
ベルギー語	キーボード インジケータ
ノルウェー語	キーボード インジケータ
デンマーク語	キーボード インジケータ
スウェーデン語	キーボード インジケータ
ハンガリー語	システム設定 (コントロール センター)
スペイン語	システム設定 (コントロール センター)
イタリア語	システム設定 (コントロール センター)
スロベニア語	システム設定 (コントロール センター)

注: デスクトップ環境として Gnome を使用する Linux システムでは、キーボード インジケータを使用する必要があります。



#### 表示オプション

#### [View Toolbar] (ツール バーの表示)

Virtual KVM Client では、ツール バーの表示/非表示を切り替えることができます。

- ツール バーの表示/非表示 (オン/オフ) を切り替えるには、以下の手順に従います。
- [View] (表示) の [View Toolbar] (ツール バーの表示) を選択します。

#### [Scaling] (拡大、縮小)

ターゲットのウィンドウを拡大、縮小することで、ターゲット サーバ ウィンドウ全体の内 容を表示することができます。 Virtual KVM Client のウィンドウ サイズに合わせて、 縦横比を維持したまま、ターゲット ビデオのサイズを拡大または縮小することができる ため、スクロール バーを使用することなくターゲット サーバのデスクトップ全体を表示 することができます。

- 拡大、縮小(オン/オフ)を切り替えるには、以下の手順に従います。
- [View] (表示)の [Scaling] (拡大、縮小)を選択します。

#### [Target Screen Resolution] (ターゲット画面解像度)

全画面モードに切り替えると、ターゲット サーバの表示が全画面表示になり、ターゲット サーバと同じ解像度が取得されます。 このモードを終了するためのホットキーは、 [Options] (オプション) ダイアログ ボックスで指定します (デフォルトは Ctrl+Alt+M です)。

- ▶ 全画面モードに切り替えるには、以下の手順に従います。
- [View] (表示) の [Full Screen] (全画面) を選択します。

## ▶ 全画面モードを終了するには、以下の手順に従います。

[Tools] (ツール)の [Options] (オプション) ダイアログで設定されているホットキーを 押します。 デフォルトは Ctrl+Alt+M です。



## ヘルプのオプション

#### [About Raritan Virtual KVM Client] (バージョン情報)

このメニュー コマンドを選択すると、Virtual KVM Client のバージョン情報が表示されます。このバージョン情報は、ラリタン テクニカル サポートを利用するときに必要になります。

#### ▶ バージョン情報を調べるには、以下の手順に従います。

 [Help] (ヘルプ)の [About Raritan Virtual KVM Client] (バージョン情報) を選択します。

後でサポート時にアクセスできるように、[Copy to Clipboard] (クリップボードにコピー) ボタンを使用して、ダイアログ ボックスに含まれている情報をクリップボード ファイルにコピーします (必要な場合)。

About Raritan Virtual KVM Client	×
💐 Raritan.	
Raritan Virtual KVM Client	
Version 2.1.J.1.4	
JVM Version 1.5.3_10 JVM Vendor Sun Microsystems Inc. Operating System Windows XP Operating System Version 5.1 System Architecture X86	
Copyright (C) 2004-2008 Raritan Computer, Inc. All rights reserv	/ed.
Copy to Clipboard Close	



# 仮想メディア

## この章の内容

4

概要	83
仮想メディアを使用するための前提条件	86
ファイル サーバのセットアップ (ファイル サーバ ISO イメージの場合のみ).	87
仮想メディアの使用	89
仮想メディアへの接続	91
仮想メディアの切断	95



KVM の機能を拡張する仮想メディアを使うことで、クライアント PC やネットワーク ファイル サーバ上のメディアに、リモートの KVM ターゲット サーバからアクセスできる ようになります。この機能を使用すると、クライアント PC やネットワーク ファイル サ ーバでマウントされたメディアが、ターゲット サーバでも仮想的にマウントされます。こ れにより、そのメディアはターゲット サーバ自体に物理的に接続されているような形で 読み書きできるようになります。

仮想メディアには、内蔵または USB マウントされた CD ドライブや DVD ドライブ、 USB マス ストレージ デバイス、PC のハード ディスク ドライブ、ISO イメージ (デ ィスク イメージ) などを使用できます。

注: ラリタンは ISO9660 を標準でサポートしています。ただし、他の ISO 標準 も使用できます。

仮想メディアを使用することで、以下のような作業をリモートから実行できるようになります。

- ファイルの転送
- 診断の実行
- アプリケーションのインストールと修正パッチ (patch) の適用
- オペレーティング システムの完全インストール

この拡張 KVM コントロールを利用することで、データ センタに出向く必要がなくなり、 時間と費用の節約になります。このように、仮想メディアは非常に有用な機能です。







## 4: 仮想メディア

図の説明	归		
1	デスクトップ PC	A	CD/DVD ドライブ
2	Dominion KX II	₿	USB マス ストレージ デバイス
3	CIM	•	PC ハード ディスク ドライブ
4	ターゲット サーバ	Ð	リモート ファイル サーバ (ISO イメージ)



## 仮想メディアを使用するための前提条件

Dominion KX II 仮想メディア機能を使用する場合、現在ターゲットに適用されて いる USB プロファイルでサポートされている異なる種類のドライブを 2 台までマウン トできます。このドライブは、KVM セッションの間のみアクセスできます。

たとえば、特定の CD-ROM をマウントして、それを使用し、作業が終了したら切断 することができます。 それでも、別の CD-ROM を仮想的にマウントできるように、こ の CD-ROM 仮想メディアの "チャンネル" は開いたままになります。 このような仮 想メディアの "チャンネル" は、USB プロファイルがサポートしている限り、KVM セッ ションが閉じられるまで開いたままになっています。

仮想メディアを使用するには、次の条件が満たされている必要があります。

#### Dominion KX II

- 仮想メディアへのアクセスを要求するユーザに対して、該当するポートへのアクセスや、これらのポートの仮想メディアアクセス (VM アクセス ポート権限)を許可するように Dominion KX II デバイスを設定する必要があります。ポート権限はグループレベルで設定されます。
- Dominion KX II デバイスとターゲット サーバ間に USB 接続が存在する必要があります。
- PC 共有を使用する場合は、[Security Settings] (セキュリティ設定) ページ で *セキュリティ設定* 『p. 192の"セキュリティの設定"参照 』を有効にする必要 があります。オプションです。
- 接続先の KVM ターゲット サーバの適切な USB プロファイルを選択する必要があります。

クライアント PC

仮想メディアの一部のオプションを使用するには、クライアント PC に対する管理者特権が必要です(ドライブ全体のドライブ リダイレクト機能など)。

注: Microsoft Vista を使用している場合は、[ユーザ アカウント制御] をオフ にする必要があります。[コントロール パネル]、[ユーザ アカウント] の順に選択 し、[ユーザ アカウント制御] をオフにします。

Vista アカウントの許可を変更したくない場合は、Internet Explorer を管理 者として実行します。このためには、[スタート] メニューの [Internet Explorer] を右クリックし、[管理者として実行] を選択します。



ターゲット サーバ

- KVM ターゲット サーバは USB 接続のドライブをサポートする必要があります。
- Windows 2000 が稼動する KVM ターゲット サーバには、最新の修正プログ ラムがすべてインストールされている必要があります。
- USB 2.0 ポートの方が高速なため、推奨されます。
- ▶ 仮想メディアを使用するには、以下の手順に従います。
- ターゲット サーバからアクセスできるようにするメディアを、クライアントまたはネット ワーク ファイル サーバに接続します。この手順を最初に行う必要はありません が、このメディアへのアクセスする前に行う必要があります。

## ファイル サーバのセットアップ (ファイル サーバ ISO イメージの場合のみ)

注: この機能は、仮想メディアを使用してファイル サーバ ISO イメージにアクセスす る場合にのみ必要です。

Raritan は ISO9660 形式を標準でサポートしています。ただし、その他の CD-ROM 拡張も動作します。

Dominion KX II リモート コンソールの [File Server Setup] (ファイル サーバのセ ットアップ) ページで、Dominion KX II 仮想メディアを使用してアクセスするファイル サーバとイメージのパスを指定します。ここで指定されたファイル サーバ ISO イメー ジは、[Remote Server ISO Image] (リモート サーバの ISO イメージ) で [Hostname] (ホスト名) および [Image] (イメージ) ドロップダウン リスト ([Map Virtual Media CD/ISO Image] (仮想メディア CD/ISO イメージの割り当て) ダイ アログ ボックス) の選択肢として表示されます。「*CD-ROM/DVD-ROM/ISO イメ* ージ『p. 93の"[CD-ROM/DVD-ROM/ISO Images] (CD-ROM/DVD-ROM/ISO イメージ)"see 』」を参照してください。

- 仮想メディアとしてアクセスするファイル サーバ ISO イメージを指定するには、以下の手順に従います。
- 1. Dominion KX II リモート コンソールから仮想メディアを選択します。[File Server Setup] (ファイル サーバのセットアップ) ページが開きます。
- 仮想メディアとしてアクセスするすべてのメディアについて、[Selected] (選択) チ エックボックスをオンにします。
- 3. アクセスするファイル サーバ ISO イメージに関する情報を入力します。
  - [IP Address/Host Name] (IP アドレス/ホスト名) ファイル サーバのホス ト名または IP アドレスです。
  - [Image Path] (イメージのパス) ISO イメージの場所を表す完全パス名です。



#### 注: ホスト名は 232 文字以内で指定してください。

4. [Save] (保存) をクリックします。これで、指定したすべてのメディアが [Map Virtual Media CD/ISO Image] (仮想メディア CD/ISO イメージの割り当て) ダイアログ ボックスで選択できるようになります。

Server St	etup		
Address i ge Path: E	Host Name: Enter name of the host na nter path to ".iso" image on shared d	ime or IP Address of shared drive containing ".is rive. Do not include host name or IP Address in t	o" image. he path.
elected	Host Name/IPAddress	Image Path	
			]
			]
]			]
			]
1			

注: KX2 で使用されるサードパーティ ソフトウェアの技術的な制限により、IPv6 アドレスを使用して仮想メディア経由でリモート ISO イメージにアクセスすることはで きません。



## 仮想メディアの使用

Dominion KX II 仮想メディア機能を使用する場合、現在ターゲットに適用されて いる USB プロファイルでサポートされている異なる種類のドライブを2 台までマウン トできます。このドライブは、KVM セッションの間のみアクセスできます。

たとえば、特定の CD-ROM をマウントして、それを使用し、作業が終了したら切断 することができます。 それでも、別の CD-ROM を仮想的にマウントできるように、こ の CD-ROM 仮想メディアの "チャンネル" は開いたままになります。 このような仮 想メディアの "チャンネル" は、USB プロファイルがサポートしている限り、KVM セッ ションが閉じられるまで開いたままになっています。

- 仮想メディアを使用するには、次の条件が満たされている必要があります。
- 接続先の KVM ターゲット サーバの適切な USB プロファイルを選択する必要があります。

#### クライアント PC

仮想メディアの一部のオプションを使用するには、クライアント PC に対する管理者特権が必要です(ドライブ全体のドライブ リダイレクト機能など)。

注: Microsoft Vista を使用している場合は、[ユーザ アカウント制御] をオフ にする必要があります。[コントロール パネル]、[ユーザ アカウント] の順に選択 し、[ユーザ アカウント制御] をオフにします。

Vista アカウントの許可を変更したくない場合は、Internet Explorer を管理 者として実行します。このためには、[スタート] メニューの [Internet Explorer] を右クリックし、[管理者として実行] を選択します。

#### ターゲット サーバ

- KVM ターゲット サーバは USB 接続のドライブをサポートする必要があります。
- Windows 2000 が稼動する KVM ターゲット サーバには、最新の修正プログ ラムがすべてインストールされている必要があります。
- USB 2.0 ポートの方が高速なため、推奨されます。
- ファイル サーバ ISO イメージにアクセスする場合は、Dominion KX II リモート コンソールの [File Server Setup] (ファイル サーバのセットアップ) ページを使用 して、ファイル サーバとイメージを指定してください。「ファイル サーバのセットアップ (ファイル サーバ ISO イメージの場合のみ) 『p. 87』」を参照してください。

注: ラリタンは ISO9660 形式を標準でサポートしています。ただし、その他 の CD-ROM 拡張も動作します。

2. 適切なターゲット サーバとの KVM セッションを開きます。



- a. Dominion KX II リモート コンソールで [Port Access] (ポート アクセス) ページを開きます。
- b. [Port Access] (ポート アクセス) ページでターゲット サーバに接続します。
- 適切なサーバのポート名をクリックします。
- [Port Action] (ポート アクション) メニューの [Connect] (接続) コマンドを 選択します。 Virtual KVM Client ウィンドウにターゲット サーバが表示されます。
- 3. 仮想メディアに接続します。

対象メディア	この VM オプションを選択
ローカル ドライブ	<b>[Local Drives] (<i>ローカル ドライブ</i>)</b> 『p. 91』
ローカル CD/DVD ドライブ	[CD-ROM/DVD-ROM/ISO Images] (CD-ROM/DVD-ROM/ISO イメージ)
ISO イメージ	[Connect CD-ROM/ISO Image] (CD-ROM/ISO イメージに接続)
ファイル サーバ ISO イメージ	[Connect CD-ROM/ISO Image] (CD-ROM/ISO イメージに接続)

作業が終わったら、仮想メディアを切断します。「*仮想メディアの切断* 『p. 95』」を 参照してください。



## 仮想メディアへの接続

#### [Local Drives] (ローカル ドライブ)

このオプションを使用すると、ドライブ全体がマウントされます。つまり、クライアントコン ピュータのディスク ドライブ全体がターゲット サーバに仮想的にマウントされます。 こ のオプションは、ハード ディスク ドライブと外部ドライブにのみ使用してください。 ネッ トワーク ドライブ、CD-ROM ドライブ、または DVD-ROM ドライブは対象外です。 これは、[Read/Write] (読み取り/書き込み可能) を指定できる唯一のオプションで す。

注: 特定のバージョンの Windows オペレーティング システムが動作している KVM ターゲット サーバでは、NTFS 形式のパーティション (ローカル C ドライブな ど) がリダイレクトされた後で新しいマス ストレージ接続を行うことができない場合が あります。

その場合には、Dominion KX II リモート コンソールを閉じて再接続した後で、別の 仮想メディア デバイスをリダイレクトしてください。同じターゲット サーバに別のユーザ が接続している場合、そのユーザの接続も閉じる必要があります。

#### クライアント コンピュータのドライブにアクセスするには、以下の手順に従います。

 Virtual KVM Client で、[Virtual Media] (仮想メディア)の [Connect Drive] (ドライブの接続)を選択します。 [Map Virtual Media Drive] (仮想メ ディア ドライブの割り当て) ダイアログ ボックスが表示されます。

Map Virtual Media Drive:	DominionKXII_P	ort_1 🛛 🗙
Select a local drive for mou	nting onto the tar	get server.
Local Drive :		
C: (Hard Disk)	×	
🗖 Read-Write		
	Connect	Cancel

- [Local Drive] (ローカル ドライブ) ドロップダウン リストから、ドライブを選択します。
- 読み取りと書き込みの機能が必要な場合には、[Read-Write] (読み取り/書き 込み可能) チェックボックスをオンにします。このオプションは、リムーバブル ドラ イブ以外では無効になっています。詳細は、「読み取り/書き込み可能に設定 できない状況 『p. 92』」を参照してください。このチェックボックスをオンにすると、 接続した USB ディスクに読み取りと書き込みを実行できるようになります。



警告: 読み取り/書き込みアクセスを有効にすると危険な場合があります。 同 じドライブに対して同時に複数のクライアント PC からアクセスすると、データが 壊れる恐れがあります。 書き込みアクセスが不要な場合は、このオプションをオ フのままにしてください。

 [Connect] (接続) をクリックします。メディアがターゲット サーバに仮想的にマ ウントされます。このメディアには、他のドライブとまったく同じようにアクセスするこ とができます。

#### 読み取り/書き込み可能に設定できない状況

以下の場合、仮想メディアを読み取り/書き込み可能にすることはできません。

- 複数のハード ディスク ドライブすべてが対象の場合。
- ドライブが書き込み保護されている場合。
- ユーザに読み取り/書き込みの権限がない場合。
  - ポート権限の [Access] (アクセス) が [None] (なし) または [View] (表示) に設定されている場合。
  - ポート権限の [VM Access] (VM アクセス) が [Read-Only] (読み取り 専用) または [Deny] (拒否) に設定されている場合。



[CD-ROM/DVD-ROM/ISO Images] (CD-ROM/DVD-ROM/ISO イメージ)

このオプションを使用して、CD-ROM、DVD-ROM、ISO イメージをマウントします。

注: Raritan は ISO9660 形式を標準でサポートしています。ただし、その他の CD-ROM 拡張でも動作します。

- CD-ROM、DVD-ROM、ISO イメージにアクセスするには、以下の手順に従い ます。
- Virtual KVM Client で、[Virtual Media] (仮想メディア)の [Connect CD-ROM/ISO Image] (CD-ROM/ISO イメージに接続)を選択します。 [Map Virtual Media CD/ISO Image] (仮想メディア CD/ISO イメージの割 り当て) ダイアログ ボックスが表示されます。

Map Virtual Media CD/ISO Image: LPmachine			×
Select a CD/DVD drive or an ISO in	nage to mou	nt onto the target server.	
CLocal CD/DVD Drive:			
D: (CD-ROM)	•		
C ISO Image:			
Image Path:			
		Browse	
C Romoto Sonior ISO Imago			
Hostname:		Image:	
	¥.		
File Server Username:		File Server Password:	
	_		
		Connect Cancel	

- 2. 内部および外部の CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブの場合
  - a. [Local CD/DVD Drive] (ローカル CD/DVD ドライブ) を選択します。
  - b. [Local CD/DVD Drive] (ローカル CD/DVD ドライブ) ドロップダウン リストから、ドライブを選択します。使用可能なすべての内部/外部の CD ドライブおよび DVD ドライブの名前が、ドロップダウン リストに表示されます。
  - c. [Connect] (接続) をクリックします。
- 3. ISO イメージの場合
  - a. [ISO Image] (ISO イメージ) オプションを選択します。CD、DVD、または ハード ディスクのディスク イメージにアクセスする場合に、このオプションを使 用します。サポートされる形式は ISO 形式のみです。



- b. [Browse] (参照) ボタンをクリックします。
- c. 使用するディスク イメージが含まれるパスを指定して、[Open] (開く) をクリ ックします。パスが [Image Path] (イメージのパス) フィールドに入力されま す。
- d. [Connect] (接続) をクリックします。
- 4. ファイル サーバ上のリモート ISO イメージの場合
  - a. [Remote Server ISO Image] (リモート サーバの ISO イメージ) オプションを選択します。
  - b. ドロップダウン リストから、ホスト名とイメージを選択します。ファイル サーバ とイメージ パスは、[File Server Setup] (ファイル サーバのセットアップ) ペ ージを使用して設定できます。[Dominion KX II File Server Setup] (Dominion KX II ファイル サーバのセットアップ) ページで設定した項目が ドロップダウン リストに表示されます。詳細については、「」を参照してください。
  - c. [File Server Username] (ファイル サーバ ユーザ名) ファイル サーバへのアクセスに必要なユーザ名です。
  - d. [File Server Password] (ファイル サーバ パスワード) ファイル サーバ へのアクセスに必要なパスワードです (入力時、フィールドはマスクされます)。
  - e. [Connect] (接続) をクリックします。

メディアがターゲット サーバに仮想的にマウントされます。このメディアには、他の ドライブとまったく同じようにアクセスすることができます。

注: Linux ターゲット上のファイルを操作する場合、仮想メディアを使用してコピーし たファイルを表示するには、コピー後に Linux の Sync コマンドを使用します。 Sync コマンドを実行するまではファイルを表示できません。

注: KX2 で使用されるサードパーティ ソフトウェアの技術的な制限により、IPv6 アドレスを使用して仮想メディア経由でリモート ISO イメージにアクセスすることはで きません。



仮想メディアの切断

- ▶ 仮想メディア ドライブを切断するには、以下の手順に従います。
- ローカル ドライブの場合は、[Virtual Media] (仮想メディア)の [Disconnect Drive] (ドライブの切断) を選択します。
- CD-ROM、DVD-ROM、ISO イメージの場合は、[Virtual Media] (仮想メディア)の [Disconnect CD-ROM/ISO Image] (CD-ROM/ISO イメージの切断) を選択します。

注: 切断コマンドを使用する方法だけでなく、KVM 接続を閉じても仮想メディアが 切断されます。



## USB プロファイルの設定

#### この章の内容

概要	96
CIM の互換性	97
使用できる USB プロファイル	97
KVM ポート用のプロファイルの選択	105

## 概要

さまざまな KVM ターゲット サーバと Dominion KX II との互換性を高めるために、 ラリタンは、幅広いオペレーティング システムおよび BIOS レベルのサーバ実装に対 応する USB 設定プロファイルの標準的な選択肢を提供しています。

Generic (デフォルト) USB プロファイルは、展開された KVM ターゲット サーバ設 定の大部分のニーズを満たしています。その他のプロファイルは、一般的に展開され る他のサーバ設定 (Linux や Mac OS X など)の特定のニーズを満たすように提 供されています。たとえば BIOS レベルで実行される場合に、ターゲット サーバとの 仮想メディア機能の互換性を強化するための、(プラットフォーム名および BIOS のリ ビジョンによって指定された)プロファイルも多数あります。

USB プロファイルは、Dominion KX II リモート コンソールおよびローカル コンソー ルで、[Device Settings] (デバイス設定)、[Port Configuration] (ポート設定)、 [Port] (ポート) ページの順に選択して設定します。 デバイス管理者は、ユーザおよ びターゲット サーバの設定のニーズに最適なプロファイルでポートを設定できます。

KVM ターゲット サーバに接続するユーザは、KVM ターゲット サーバの動作状態 に応じて、Virtual KVM Client 『p. 55』で、これらの設定済みのプロファイルの中 から選択します。たとえば、サーバが実行中で、ユーザが Windows オペレーティン グ システムを使用することを希望している場合は、Generic プロファイルが最適です。 しかし、BIOS メニューの設定の変更または仮想メディア ドライブからの起動を行う 場合は、ターゲット サーバ モデルに応じた BIOS プロファイルの方が適している場 合があります。

特定の KVM ターゲットで、ラリタンが提供する標準 USB プロファイルがいずれも 適切に機能しない場合は、ラリタン テクニカル サポートにお問い合わせください。



## CIM の互換性

USB プロファイルを使用するためには、D2CIM-VUSB または D2CIM-DVUSB を更新済みのファームウェアとともに使用する必要があります。ファームウェアを更新し ていない VM-CIM は、幅広い設定 (キーボード、マウス、CD-ROM、およびリムー バブル ドライブ) をサポートしますが、特定のターゲット設定用に最適化されたプロフ ァイルを使用することはできません。この場合に、USB プロファイルにアクセスするた めには、既存の VM-CIM を最新のファームウェアでアップグレードする必要がありま す。既存の VM-CIM は、アップグレードされるまでは、[Generic] (汎用) プロファ イルと同等の機能を提供できます。

VM-CIM ファームウェアは、Dominion KX II のファームウェアのアップグレード中に自動的にアップグレードされますが、ファームウェアをアップグレードしていない VM-CIM は、「*CIM をアップグレードする*『p. 213』」の説明に従ってアップグレードできます。

詳細は、「*コンピュータ インタフェース モジュール (CIM)* 『p. 268』」を参照してください。

## 使用できる USB プロファイル

現在のリリースの Dominion KX II には、次の表に示した USB プロファイルが用 意されています。新しいプロファイルは、ラリタンが提供する各ファームウェア アップグ レードに含まれています。新しいプロファイルが追加されると、それがヘルプに記載さ れます。

USB プロファイル	説明
BIOS Dell PowerEdge 1950/2950/2970/6950/R200	Dell PowerEdge 1950/2950/2970/6950/R200 BIOS
	Dell PowerEdge 1950/2950/2970/6950/R200 BIOS には 、このプロファイルまたは 'Generic' プロファイ ルを使用します。
	制限:
	• なし



#### 5: USB プロファイルの設定

USB	プロファイル	誽明	月
BIOS DellOptiplex Keyboard Only	Del のみ	l Optiplex BIOS アクセス (キーボード ・)	
		D20 のブ BIC しい 'Ge	CIM-VUSB を使用している場合に、こ ロファイルを使用して、Dell Optiplex OS のキーボード機能を持たせます。 新 D2CIM-DVUSB を使用する場合は、 neric' プロファイルを使用します。
		注意	노. 크.
		•	Optiplex 210L/280/745/GX620 で は、仮想メディアをサポートするために、 D2CIM-DVUSB を 'Generic' プロフ ァイルで使用する必要があります。
		制队	艮:
		•	USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。
		•	仮想メディアはサポートされていません。



USB プロファイル	説明	
BIOS DellPowerEdge Keyboard Only	Dell PowerEdge BIOS アクセス(キーボ ードのみ)	
	D2CIM-VUSB を使用している場合に、こ のプロファイルを使用して、Dell PowerEdge BIOS のキーボード機能を持たせます。 新 しい D2CIM-DVUSB を使用する場合は、 'Generic' プロファイルを使用します。	
	注意:	
	<ul> <li>PowerEdge 650/1650/1750/2600/2650 BIOS では、USB CD-ROM およびディスク ドライブは起動可能デバイスとしてはサポ ートされていません。</li> </ul>	
	<ul> <li>PowerEdge 750/850/860/1850/2850/SC1425 BIOS で仮想メディアをサポートするに は、D2CIM-DVUSB を 'Generic' プ ロファイルで使用する必要があります。</li> </ul>	
	<ul> <li>BIOS で実行している場合は、 PowerEdge 1950/2950/2970/6950/R200 に 'BIOS Dell PowerEdge 1950/2950/2970/6950/R200' または 'Generic' プロファイルを使用します。</li> </ul>	
	制限:	
	<ul> <li>USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。</li> </ul>	
	<ul> <li>ずれないマウス (Absolute mouse synchronization™) はサポートされて いません。</li> </ul>	
	<ul> <li>仮想メディアはサポートされていません。</li> </ul>	


	USB プロファイル	説明
	BIOS Generic	BIOS 汎用
		このプロファイルは Generic OS プロファイル が BIOS で機能しない場合に使用します。
		警告: USB の列挙は、仮想メディアが接 続または切断されるときに開始されます。
		制限:
		• USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。
		<ul> <li>ずれないマウス (Absolute mouse synchronization™) はサポートされて いません。</li> </ul>
		<ul> <li>仮想 CD-ROM およびディスク ドライ ブを同時に使用することはできません。</li> </ul>
	BIOS HP Proliant DL145	HP Proliant DL145 PhoenixBIOS
		HP Proliant DL145 PhoenixBIOS では、 OS のインストール中に、このプロファイルを使 用します。
		制限:
		<ul> <li>USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。</li> </ul>
	BIOS HPCompaq DC7100/DC7600	BIOS HP Compaq DC7100/DC7600
		HP Compaq DC7100/DC7600 シリーズ のデスクトップを仮想メディアから起動するに はこのプロファイルを使用します。
		制限:
		<ul> <li>仮想 CD-ROM およびディスク ドライ ブを同時に使用することはできません。</li> </ul>



US	SB プロファイル	説明
BI	BIOS IBM ThinkCentre Lenovo	IBM Thinkcentre Lenovo BIOS
Le		BIOS 操作中は IBM Thinkcentre Lenovo システム ボード (828841U モデ ル) にこのプロファイルを使用します。
		制限:
		<ul> <li>USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。</li> </ul>
		<ul> <li>仮想 CD-ROM およびディスク ドライ ブを同時に使用することはできません。</li> </ul>
BI & 2	OS Lenovo ThinkPad T61 X61	BIOS Lenovo ThinkPad T61 および X61 (仮想メディアから起動)
		T61 および X61 シリーズのラップトップを仮 想メディアから起動するには、このプロファイル を使用します。
		制限:
		<ul> <li>USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。</li> </ul>
BI	OS Mac	BIOS Mac
		このプロファイルは Mac BIOS に使用しま す。
		制限:
		<ul> <li>ずれないマウス (Absolute mouse synchronization™) はサポートされて いません。</li> </ul>
		<ul> <li>仮想 CD-ROM およびディスク ドライ ブを同時に使用することはできません。</li> </ul>
Ge	eneric	汎用 USB プロファイルは、オリジナルの KX2 リリースの動作と似ています。 これは、 Windows 2000、XP、Vista 以降に使用 します。
		制限:
		<ul> <li>なし</li> </ul>



USB プロファイル	説明
HP Proliant DL360/DL380 G4 (HP SmartStart CD)	HP Proliant DL360/DL380 G4 (HP SmartStart CD)
	このプロファイルは、HP Proliant DL360/DL380 G4 シリーズのサーバで HP SmartStart CD を使用して OS をインスト ールする場合に使用します。
	制限:
	<ul> <li>USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。</li> </ul>
	<ul> <li>ずれないマウス (Absolute mouse synchronization™) はサポートされて いません。</li> </ul>
HP Proliant DL360/DL380 G4 (Windows 2003 Server Installation)	HP Proliant DL360/DL380 G4 (Windows 2003 Server インストール)
	このプロファイルは、HP Proliant DL360/DL380 G4 シリーズのサーバで HP SmartStart CD を使用せずに Windows 2003 Server をインストールする場合に使 用します。
	制限:
	<ul> <li>USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。</li> </ul>
Linux	汎用 Linux プロファイル
	これは、汎用 Linux プロファイルです。 Redhat Enterprise Linux、SuSE Linux Enterprise Desktop、および類似のディスト リビューションで使用されます。
	制限:
	<ul> <li>ずれないマウス (Absolute mouse synchronization<sup>™</sup>) はサポートされて いません。</li> </ul>



USB プロファイル	説明
MAC OS X (10.4.9 and later)	MAC OS X (10.4.9 以降)
	このプロファイルは、最近のバージョンの Mac OS-X で導入されたマウス座標のスケーリン グを補正します。リモートおよびローカルのマウ スの位置がデスクトップの境界の近くで同期 しない場合はこれを選択します。
	制限:
	<ul> <li>仮想 CD-ROM およびディスク ドライ ブを同時に使用することはできません。</li> </ul>
RUBY Industrial Mainboard	RUBY 工業用メインボード (AwardBIOS)
(AwardbiOS)	このプロファイルは、Phoenix/AwardBIOS v6.00PG を使用する RUBY-9715VG2A シリーズの工業用メインボードで使用します。
	制限:
	<ul> <li>USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。</li> </ul>
	<ul> <li>仮想 CD-ROM およびディスク ドライ ブを同時に使用することはできません。</li> </ul>
Supermicro Mainboard Phoenix (AwardBIOS)	Supermicro メインボード Phoenix (AwardBIOS)
	このプロファイルは、Phoenix AwardBIOS を使用する Supermicro シリーズのメインボ ードで使用されます。
	制限:
	<ul> <li>仮想 CD-ROM およびディスク ドライ ブを同時に使用することはできません。</li> </ul>
Suse 9.2	SuSE Linux 9.2
	これは SuSE Linux 9.2 ディストリビューショ ンで使用されます。
	制限:
	<ul> <li>ずれないマウス (Absolute mouse synchronization™) はサポートされて いません。</li> </ul>
	<ul> <li>USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。</li> </ul>



#### 5: USB プロファイルの設定

USB プロファイル	説明
Troubleshooting 1	トラブルシューティング プロファイル 1
	• マス ストレージが優先
	<ul> <li>キーボードおよびマウス (タイプ 1)</li> </ul>
	<ul> <li>USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。</li> </ul>
	<ul> <li>仮想 CD-ROM およびディスク ドライ ブを同時に使用することはできません。</li> </ul>
	警告: USB の列挙は、仮想メディアが接 続または切断されるときに開始されます。
Troubleshooting 2	トラブルシューティング プロファイル 2
	<ul> <li>キーボードおよびマウス (タイプ 2) 優先</li> </ul>
	• マス ストレージ
	<ul> <li>USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。</li> </ul>
	<ul> <li>仮想 CD-ROM およびディスク ドライ ブを同時に使用することはできません。</li> </ul>
	警告: USB の列挙は、仮想メディアが接 続または切断されるときに開始されます。
Troubleshooting 3	トラブルシューティング プロファイル 3
	• マス ストレージが優先
	<ul> <li>キーボードおよびマウス (タイプ 2)</li> </ul>
	<ul> <li>USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。</li> </ul>
	<ul> <li>仮想 CD-ROM およびディスク ドライ ブを同時に使用することはできません。</li> </ul>
	警告: USB の列挙は、仮想メディアが接 続または切断されるときに開始されます。



USB プロファイル	説明
Use Full Speed for Virtual Media CIM	仮想メディア CIM でフルスピードを使用 このプロファイルは、[Full Speed for Virtual Media CIM] (仮想メディア CIM でフルスピ ードを使用) オプションを選択したオリジナル の KX2 リリースの動作に似ています。 高速 USB デバイスを処理できない BIOS に便 利です。
	制限:
	<ul> <li>USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。</li> </ul>

# KVM ポート用のプロファイルの選択

Dominion KX II には、USB プロファイルのセットが含まれているので、接続先の KVM ターゲット サーバの特性に基づいて KVM ポートを割り当てることができます。 Dominion KX II リモートまたはローカル コンソールで、[Device Settings] (デバイ ス設定)、[Port Configuration] (ポート設定)、[Port](ポート) ページの順に選択し、 USB プロファイルを KVM ポートに割り当ています。

特定のターゲットで必要になる可能性が最も高いプロファイルを指定するのは、管理 者です。これらのプロファイルは、MPC/VKC 経由での選択に使用できるようになり ます。プロファイルを利用できない場合は、[USB Profile] (USB プロファイル) の [Other Profiles] (他のプロファイル) を選択して、使用可能なプロファイルにアクセス できます。

USB プロファイルを KVM ポートに割り当てると、ユーザが KVM ターゲット サーバ に接続するときにそれらのプロファイルを使用できるようになります。 必要な場合は、 VKC または MPC の [USB Profile] (USB プロファイル) メニューから USB プロ ファイルを選択できます。

USB プロファイルを KVM ポートに割り当てる方法の詳細は、「USB プロファイル の設定 ([Port] (ポート) ページ) 『p. 185』」を参照してください。



# ユーザ管理

# この章の内容

ユーザ グループ1	06
ユーザ1	17
[Authentication Settings] (認証設定)1	20
パスワードの変更1	32

# ユーザ グループ

6

Dominion KX II は、アクセスの認可と許可を決定するためにユーザ名とグループ名 の内部リストを保持しています。この情報は、暗号化形式で内部に保存されます。 認証にはいくつかの方式があり、この方式は「ローカル認証」と呼ばれます。すべての ユーザは認証を受ける必要があります。 LDAP/LDAPS または RADIUS 認証を 行うように Dominion KX II が設定されている場合、その認証が行われた後に、ロ ーカル認証が行われます。

すべての Dominion KX II には、3 つのデフォルト ユーザ グループが存在します。 これらのグループは削除できません。

ユーザ	説明
Admin(管理 者)	このグループに所属するユーザは、完全な管理者特権を持ち ます。 元の製品出荷時のデフォルト ユーザはこのグループのメ ンバーであり、完全なシステム特権を持ちます。 さらに、 Admin (管理者) ユーザは Admin (管理者) グループのメン バーである必要があります。
Unknown (不 明)	LDAP/LDAPS または RADIUS を使用して外部的に認証 されるユーザまたはシステムで既知のユーザのデフォルト グルー プです。外部 LDAP/LDAPS サーバまたは RADIUS サー バによって有効なユーザ グループが識別されなかった場合、 Unknown (不明) グループが使用されます。さらに、新規に 作成されたユーザは別のグループに割り当てられるまでこのグル ープに自動的に配置されます。
Individual Group (個別 グループ)	個別グループとは、基本的に個人の「グループ」です。 つまり、 特定のユーザは独自のグループに属し、他の実際のグループに は属しません。 個別グループは、グループ名の先頭に "@" が 付けられているので区別できます。 個別グループでは、グルー プと同じ権限をユーザ アカウントに割り当てることができます。



### [User Group List] (ユーザ グループ リスト)

ユーザ グループは、ローカル認証とリモート認証 (RADIUS または LDAP/LDAPS) で使用されます。 個別のユーザを作成する場合は、事前にユー ザ グループを定義しておいてください。それは、ユーザを追加するときに、ユーザを既 存のユーザ グループに割り当てる必要があるからです。

[User Group List] (ユーザ グループ リスト) ページには、すべてのユーザ グループ のリストが表示されます。このリストは、[Group Name] (グループ名) 列見出しをクリ ックすることで、昇順または降順に並べ替えることができます。 [User Group List] (ユーザ グループ リスト) ページでは、ユーザ グループを追加、変更、または削除す ることもできます。

# ▶ ユーザ グループのリストを表示するには、以下の手順に従います。

 [User Management] (ユーザ管理)の [User Group List] (ユーザ グループ リスト)を選択します。 [User Group List] (ユーザ グループ リスト) ページが 開きます。

	A Group Hame	
	<unknown></unknown>	
Г	@marketing	
	Otesting	
	Admin	

# ユーザとグループの関係

ユーザはグループに属し、グループには特権が割り当てられています。 Dominion KX II の各種のユーザをグループに分けることにより、ユーザごとに許可を管理する必要がなくなり、あるグループ内のすべてユーザの許可を一度に管理できるようになるので、時間の節約につながります。

また、特定のユーザをグループに割り当てないようにすることも可能です。その場合は、 ユーザを「個別」として分類します。

認証が成功すると、デバイスは、グループ情報を使用して、アクセスできるサーバポ ート、デバイスの再起動を許可するかどうかなど、そのユーザの許可を決定します。



# 新規ユーザ グループの追加

### ▶ 新規ユーザ グループを追加するには、以下の手順に従います。

 [User Management] (ユーザ管理)の [Add New User Group] (ユーザ グ ループを新規に追加)を選択するかまたは [User Group List] (ユーザ グルー プー覧)ページの [Add] (追加) ボタンをクリックして、[Group] (グループ)ペー ジを開きます。

[Group] (グループ) ページには、[Group] (グループ)、[Permissions] (権限)、 [Port Permissions] (ポート使用権限)、[IP ACL] の 4 つのカテゴリがありま す。

- [Group Name] (グループ名) フィールドに、新しいユーザ グループのわかりやす い名前 (最大 30 文字) を入力します。
- グループの権限を設定します。このグループに属するすべてのユーザに対して割り 当てる許可の左にあるチェックボックスをオンにします。「
   *許可の設定*『p. 113』」 を参照してください。
- [Port Permissions] (ポート使用権限)を設定します。このグループに属するユ ーザがアクセスできるサーバ ポート (およびアクセスのタイプ)を指定します。「ポ ート権限の設定『p. 111』」を参照してください。
- IP ACL を設定します。「グループベースの IP ACL (アクセス制御リスト)『p. 112』」を参照してください。この機能は、IP アドレスを指定することで、 Dominion KX II デバイスへのアクセスを制限します。この機能は、特定のグル ープに属するユーザにのみ適用されます。このデバイスに対するすべてのアクセス 試行に適用され、優先される、IP アクセス制御リスト機能とは異なります。(オ プション)
- 6. [OK] (OK) をクリックします。



注: 複数の管理機能を MPC 内および Dominion KX II ローカル コンソールか ら利用できます。これらの機能を利用できるのは、デフォルトの Admin (管理者) グループのメンバーに限られます。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。



# 6: ユーザ管理

Group			
Group Hame *			
a set mane			
V Permissions			
D Durito Cattings			
Discussion			
Diagnostics			
Modeto Access			
PC.Share			
Security			
User Management			
over management			
Port Permissions			
ort	Access	VM Access	Power Control
: BC_Port1_R8_from_KX	Deny 😁	Deny	Deny 💌
1: BC_Port1_Slot1_To_Local_Port	Deny 💌	Deny	Deny 💌
2: Blade_Chassis_Port1_Slot2	Deny 🗙	Dervy	Deny 💌
3: Blade_Chassis_Port1_Slot3	Deny 💌	Deny Y	Deny Y
& Blade_Chassis_Port1_Slot4	Deny 💌	Deny	Deny 💌
5: Blade_Chassis_Port1_Slot5	Deny 💌	Deny Y	Deny 💌
6: Blade_Chassis_Port1_Slot6	Deny	Deny	Deny M
7: Blade_Chassis_Port1_Slot7	Deny Y	Deny	Deny Y
-8: Blade_Chassis_Port1_Slot8	Deny 💌	Deny Y	Deny Y
9: Blade_Chassis_Port1_Slot9	Deny V	Deny Y	Deny X
-10: Blade_Chassis_Port1_Slot10	Deny 💌	Deny M	Deny
-11: Blade_Chassis_Port1_Slot11	Deny M	Deny M	Deny
-12: Blade_Chassis_Port1_Slot12	Deny	Deny M	Deny
13: Blade_Chassis_Port1_Slot13	Deciv	Date:	Demy
-14: Blade_Chassis_Port1_Slot14	Derry	Deny	Deny V
15: biade_Chassis_Port1_Slot15	Deny	Deny	Depy
-16: biade_chassis_Port1_Slot16	Deny	Dany	Deny
KX2_Port2_R9_Irom_CC	Deny	Dervi	Dend
KY5 Ports Ra Irom CC	CARLY 14	Partit.	Parity 14
	Set All to Deny	Set All VM Access to Deny	Set All Power to Deny
	Set All to View	Set All VM Access to Read-Only	
	Set All to Control	Set All VM Access to Read-Write	Set All Power to Access
7 IP ACL			
▼ IP ACL Rule # Starting IP	Endi	ng IP	Action



OK Cancel

## ポート権限の設定

それぞれのサーバ ポートに対して、そのグループが持つアクセスのタイプ、仮想メディア へのポート アクセスのタイプ、および電源管理を指定できます。 すべての権限につい てデフォルト設定はすべて [Deny] (拒否) になっていることに注意してください。

# ポート アクセス

オプションです。	説明
[Deny] (拒否)	アクセスを完全に拒否します。
[View] (表示)	接続先のターゲット サーバのビデオを表示します (操作はできません)。
[Control] (制 御)	接続先のターゲット サーバを制御します。 VM および電源管 理アクセスも付与される場合は、[Control] (制御) を割り当て る必要があります。

# VM アクセス

オプションです。	説明
[Deny] (拒否)	ポートに対して仮想メディア許可はすべて拒否されます。
[Read-Only] ( 読み取り専用)	仮想メディア アクセスは、読み取りアクセスのみに制限されま す。
[Read-Write] (読み取り/書き 込み可能)	仮想メディアに対する完全なアクセス (読み取り、書き込み) が許可されます。

### 電源管理アクセス

オプションです。	説明
[Deny] (拒否)	ターゲット サーバに対する電源管理を拒否します。
[Access] (アク セス)	ターゲット サーバでの電源管理を完全に許可します。

ブレード シャーシの場合、ポート アクセス権限によって、そのブレード シャーシに設 定されている URL へのアクセスを制御します。 オプションは、[Deny] (拒否) また は [Control] (制御) です。また、シャーシ内の各ブレードには、固有の独立ポート 権限設定があります。



グループベースの IP ACL (アクセス制御リスト)

重要: グループベースの IP アクセス制御を使用する場合は注意が必要 です。 アクセスが拒否されている IP アドレスの範囲に自分の IP アド レスが含まれている場合、Dominion KX II がロックアウトされてしまい ます。

この機能は、選択したグループに含まれるユーザによる Dominion KX II デバイスへ のアクセスを特定の IP アドレスに制限します。この機能は、デバイスへのすべての アクセス試行に適用される (および最初に処理され、優先される) IP アクセス制御リ スト機能とは異なり、特定のグループに属するユーザにのみ適用されます。

重要: Dominion KX II ローカル ポートでは、IP アドレス 127.0.0.1 が使用され、ブロックはできません。

グループレベルで IP アクセス制御ルールの追加、挿入、置換、削除を行うには、 [Group] (グループ) ページの [IP ACL] (IP ACL) セクションを使用します。

ule #	Starting IP	Ending IP	Action	
			ACCEPT	
Append	Insert Replace Delete	1		
	· ·			

#### 新しいルールを追加するには、以下の手順に従います。

- 1. [Starting IP] (開始 IP) フィールドに、開始 IP アドレスを入力します。
- 2. [Ending IP] (終了 IP) フィールドに、終了 IP アドレスを入力します。
- 3. 利用可能なオプションからアクションを選択します。
  - [Accept] (承諾) その IP アドレスによる Dominion KX II デバイスへの アクセスが許可されます。
  - [Drop] (拒否) その IP アドレスによる Dominion KX II デバイスへのア クセスが拒否されます。
- [Append] (追加) をクリックします。 ルール リストの 1 番下にルールが追加されます。 入力する各ルールについて、手順 1 ~ 4 を繰り返します。
- ルールを挿入するには、以下の手順に従います。
- 1. ルール番号 (#) を入力します。 [Insert] (挿入) コマンドを使用する際にルー ル番号が必要です。



- [Starting IP] (開始 IP) フィールド と [Ending IP] (終了 IP) フィールドに IP アドレスを入力します。
- 3. [Action] (アクション) ドロップダウン リストからアクションを選択します。
- [Insert] (挿入) をクリックします。入力したルール番号が既存のルール番号と 同じである場合は、新しいルールは既存のルールの上に挿入され、リスト内のす べてのルールが下に下がります。
- ルールを置き換えるには、以下の手順に従います。
- 1. 置き換えるルール番号を指定します。
- [Starting IP] (開始 IP) フィールド と [Ending IP] (終了 IP) フィールドに IP アドレスを入力します。
- 3. ドロップダウン リストからアクションを選択します。
- 4. [Replace] (置き換え) を選択します。 同じルール番号を持つ元のルールが新 しいルールに置き換わります。
- ルールを削除するには、以下の手順に従います。
- 1. 削除するルール番号を指定します。
- 2. [Delete] (削除) をクリックします。
- 3. 削除を確認するプロンプトが表示されたら、[OK] をクリックします。

重要: ACL のルールは、リスト表示されている順に評価されます。 た とえばこの例において、2 つの ACL ルールの順番が逆になると、 Dominion は通信を全く受けることができなくなります。

*ヒント: ルール番号を使用すると、ルールが作成された順番を基により詳細に制御 できます。* 

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

#### 許可の設定

重要: [User Management] (ユーザ管理) チェックボックスをオンにすると、グループのメンバーは、自身も含むすべてのユーザの許可を変更することができます。 これらの許可を付与する場合は注意してください。



許可	説明
[Device Settings] ( デバイス設定)	ネットワーク設定、日付/時刻設定、ポート設定 (チャ ンネル名、電源の関連付け)、イベント管理 (SNMP、 Syslog)、仮想メディア ファイル サーバのセットアップ
[Diagnostics] (診 断)	ネットワーク インタフェース ステータス、ネットワーク統 計、ホストへの Ping、ホストへのトレース ルート、 Dominion KX II 診断
[Maintenance] (メ ンテナンス)	データベースのバックアップとリストア、ファームウェアのアッ プグレード、ファクトリ リセット、再起動
[Modem Access] ( モデム アクセス)	モデムを使用して Dominion KX II デバイスに接続す る許可
[PC-Share] (PC 共有)	複数のユーザによる同一ターゲットへの同時アクセス
[Security] (セキュリ ティ)	SSL 証明書、セキュリティ設定 (VM 共有、PC 共 有)、IP ACL
[User Management] (ユ ーザ管理)	ユーザおよびグループの管理、リモート認証 (LDAP/LDAPS/RADIUS)、ログイン設定

### 個別グループの許可の設定

- ▶ 個別ユーザ グループに許可を設定するには、以下の手順に従います。
- リストから目的のグループを探します。個別グループは、グループ名の先頭に

   が付けられているので区別できます。
- 2. グループ名をクリックします。 [Group] (グループ) ページが開きます。
- 3. 適切な許可を選択します。
- 4. [OK] をクリックします。

# 新規ユーザ グループの追加

- ▶ 新規ユーザ グループを追加するには、以下の手順に従います。
- [User Management] (ユーザ管理)の [Add New User Group] (ユーザ グ ループを新規に追加)を選択するかまたは [User Group List] (ユーザ グルー プー覧) ページの [Add] (追加) ボタンをクリックして、[Group] (グループ) ペー ジを開きます。



[Group] (グループ) ページには、[Group] (グループ)、[Permissions] (権限)、 [Port Permissions] (ポート使用権限)、[IP ACL] の 4 つのカテゴリがありま す。

- [Group Name] (グループ名) フィールドに、新しいユーザ グループのわかりやす い名前 (最大 30 文字) を入力します。
- グループの権限を設定します。このグループに属するすべてのユーザに対して割り 当てる許可の左にあるチェックボックスをオンにします。「
   *許可の設定* 『p. 113』」 を参照してください。
- [Port Permissions] (ポート使用権限) を設定します。このグループに属するユ ーザがアクセスできるサーバ ポート (およびアクセスのタイプ) を指定します。「ポ ート権限の設定 『p. 111』」を参照してください。
- IP ACL を設定します。「グループベースの IP ACL (アクセス制御リスト)『p. 112』」を参照してください。この機能は、IP アドレスを指定することで、 Dominion KX II デバイスへのアクセスを制限します。この機能は、特定のグル ープに属するユーザにのみ適用されます。このデバイスに対するすべてのアクセス 試行に適用され、優先される、IP アクセス制御リスト機能とは異なります。(オ ブション)
- 6. [OK] (OK) をクリックします。



注: 複数の管理機能を MPC 内および Dominion KX II ローカル コンソールか ら利用できます。これらの機能を利用できるのは、デフォルトの Admin (管理者) グループのメンバーに限られます。

ne > User Management > G	roup		
Group			
aroup			
Group Name *			
Permissions			
Device Setting	IS		
Diagnostics	,-		
Maintenance			
Modem Acces	ss		
PC-Share			
Security			
User Manager	ment		
• Port Permissions			
Port	Access	VM Access	Power Control
Win Target	Deny 💙	Deny 💌	Deny 💌
Dominion	Deny 🔽	Deny 🖌	Deny 💌
Dominion	Deny 🔽	Deny 💌	Deny 🔽
Admin	Deny 💙	Deny	Deny 💙
Dominion	Deny 💙	Deny 👻	Deny V
Dominion	Deny Y		
Dominion	Deny V		
Cisco 2501	Deny 🗸		Deny V
SP-2	Deny 🗸		Deny 🗸
Serial Port 3	Deny 🔽		Deny 💌
Serial Port 4	Deny 🔽		Deny 💌
SP - 5	Deny 💙		Deny 💌
Serial Port 6	Deny 💙		Deny V
Serial Port 7	Deny V		Deny V
Serial Port 8			Dony
	Set All to Deny	Set All VM Access to Deny	Set All Power to Deny
	Set All to View	Set All VM Access to Read-Only	
	Set All to Control	Set All VM Access to Read-Write	Set All Power to Access
TIP ACL			
Rule # Starting	IP	Ending IP Action	n
		ACCE	EPT 🔽
Annond Incost	Baplace	Delete	
Appena	керіасе	Delete	
OK Cancel			

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。



#### 既存のユーザ グループの変更

注: Admin (管理者) グループに対しては、すべての許可が有効になっています (この設定は変更できません)。

- 既存のユーザ グループを変更するには、以下の手順に従います。
- [Group] (グループ) ページで、適切なフィールドを変更し、適切な許可を設定 します。
- グループの許可を設定します。このグループに属するすべてのユーザに対して割 り当てる許可の左にあるチェックボックスをオンにします。「許可の設定」を参照 してください。
- [Port Permissions] (ポート権限) を設定します。このグループに属するユー ザがアクセスできるサーバ ポート (およびアクセスのタイプ) を指定します。「ポ ート権限の設定」を参照してください。
- IP ACL を設定します (オプション)。この機能は、IP アドレスを指定することで、 Dominion KX II デバイスへのアクセスを制限します。「グループベースの IP ACL (アクセス制御リスト)」を参照してください。
- 5. [OK] をクリックします。
- ▶ ユーザ グループを削除するには、以下の手順に従います。

重要: ユーザを含むグループを削除すると、そのユーザは **<Unknown** (不明)**>** ユーザ グループに自動的に割り当てられます。

ヒント: 特定のグループに属しているユーザを調べるには、ユーザ グループ別にユー ザ リストを並べ替えます。

- リストのグループ名の左にあるチェックボックスをオンにして、目的のグループを選択します。
- 2. [Delete] (削除) をクリックします。
- 3. 削除を確認するプロンプトが表示されたら、[OK] をクリックします。

# ユーザ

ユーザが Dominion KX II にアクセスするには、ユーザ名とパスワードを付与されて いる必要があります。この情報は、Dominion KX II にアクセスしようとしているユー ザを認証するために使用されます。



## [User List] (ユーザ リスト)

[User List] (ユーザ リスト) ページには、すべてのユーザについて、ユーザ名、フル ネ ーム、およびユーザ グループが表示されます。 このリストは、任意の列名をクリックす ることで並べ替えることができます。 [User List] (ユーザ リスト) ページでは、ユーザ を追加、変更、または削除することもできます。

- ユーザリストを表示するには、以下の手順に従います。
- [User Management] (ユーザ管理)の [User List] (ユーザリスト)を選択します。 [User List] (ユーザリスト)ページが開きます。

	(#Username)	Tall Name	User Group
	admin	Admin	Adhin
-	marketing	Addie Consumer	gearketing
	tester	Joe Tester	Genter

### 新規ユーザの追加

Dominion KX II ユーザを作成する場合は、事前にユーザ グループを定義しておい てください。それは、ユーザを追加するときに、ユーザを既存のユーザ グループに割り 当てる必要があるからです。 「新規ユーザ グループの追加」を参照してください。

[User] (ユーザ) ページでは、新規ユーザの追加、ユーザ情報の変更、無効化されているユーザの再有効化を行うことができます。

注: ユーザがログインに失敗した回数が [Security Settings] (セキュリティ設定) ページで設定されているログイン失敗の最大許容回数を超えた場合、そのユーザ名 は無効化されます。「セキュリティの設定」を参照してください。

#### 新規ユーザを追加するには、以下の手順に従います。

- [User Management] (ユーザ管理)の [Add New User] (新規ユーザの追加)を選択するか、[User List] (ユーザ リスト)ページの [Add] (追加) ボタンをクリックして、[User] (ユーザ)ページを開きます。
- [Username] (ユーザ名) フィールドに、一意のユーザ名を入力します (最大 16 文字)。
- [Full Name] (フル ネーム) フィールドに、ユーザのフル ネームを入力します (最大 64 文字)。



- [Password] (パスワード) フィールドにパスワードを入力し、[Confirm Password] (パスワードの確認) フィールドにパスワードを再入力します (最大 64 文字)。
- [User Group] (ユーザ グループ) ドロップダウン リストからグループを選択します。 このリストには、システムによって定義されているデフォルト グループに加えて、ユ ーザによって作成されたグループを含むすべてのグループが表示されます。 デフォ ルト グループは、デフォルト設定である [Unknown] (不明)、[Admin] (管理 者)、[Individual Group] (個別グループ) です。

このユーザを既存のユーザ グループに関連付けたくない場合は、ドロップダウン リストから [Individual Group] (個別グループ) を選択します。 個別グループの 許可についての詳細は、「*個別グループの許可の設定*『p. 114』」を参照してく ださい。

- 新規ユーザを有効にするには、[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにしま す。デフォルトはアクティブ状態 (有効) です。
- 7. [OK] をクリックします。

# 既存のユーザ グループの変更

- ▶ 既存のユーザを変更するには、以下の手順に従います。
- [User Management] (ユーザ管理)の [User List] (ユーザリスト)を選択して、[User List] (ユーザリスト)ページを開きます。
- 2. [User List] (ユーザ リスト) ページのリストから目的のユーザを探します。
- 3. ユーザ名をクリックします。 [User] (ユーザ) ページが開きます。
- [User] (ユーザ) ページで、目的のフィールドを変更します ([User] (ユーザ) ページにアクセスする方法についての詳細は、「新規ユーザの追加『p. 118』」 を参照してください)。
- 5. ユーザを削除するには、[Delete] (削除) をクリックします。 削除を確認するプロンプトが表示されます。
- 6. [OK] をクリックします。

### ユーザのログオフ (強制ログオフ)

管理者である場合は、Dominion KX II にログオンしている他のユーザのうち、ローカルに認証されているユーザをログオフすることができます。

ユーザをログオフするには、以下の手順に従います。

[User Management] (ユーザ管理)の [User List] (ユーザリスト)を選択して [User List] (ユーザリスト)ページを開くか、ページの左側のパネルの [Connected User] (接続中のユーザ) リンクをクリックします。



- [User List] (ユーザ リスト) ページのリストから目的のユーザを探し、その名前の 横のチェックボックスをオンにします。
- 3. [Force User Logoff] (ユーザの強制ログオフ) ボタンをクリックします。
- Logoff User] (ユーザのログオフ) ダイアログ ボックスで[OK] をクリックして、そのユーザを強制的にログオフします。

The pa	ge at https://192.168.59.248 says:	X
?	Do you really want to logoff the selected users?	

5. ユーザがログオフしたことを示す確認メッセージが表示されます。このメッセージに は、ログオフした日時が表示されます。[OK] をクリックして、メッセージを閉じま す。

# [Authentication Settings] (認証設定)

認証とは、ユーザが本物であることを確認するプロセスです。 ユーザが認証されると、 ユーザの属するグループに基づいて、システムおよびポートに対する許可が決定されま す。 ユーザに割り当てられた特権により、どのようなタイプのアクセスが許可されるか が決まります。 これを「認可」と呼びます。

Dominion KX II がリモート認証用に構成されている場合、外部認証サーバは主に 認証を目的として使用され、認可用には使用されません。

[Authentication Settings] (認証設定) ページでは、Dominion KX II へのアクセスに使用する認証の種類を設定できます。

注: ローカル認証はリモート認証 (LDAP/LDAPS または RADIUS) を選択した 場合でも使用されます。

#### ▶ 認証を設定するには、以下の手順に従います。

- [User Management] (ユーザ管理)の [Authentication Settings] (認証設定)を選択します。 [Authentication Settings] (認証設定) ページが開きます。
- 使用する認証プロトコルのオプションを選択します ([Local Authentication] (ロ ーカル認証)、[LDAP/LDAPS] (LDAP/LDAPS)、または [RADIUS] (RADIUS))。 [LDAP] (LDAP) オプションを選択した場合、LDAP に関連す るフィールドが有効になります。[RADIUS] (RADIUS) オプションを選択した場 合、RADIUS に関連するフィールドが有効になります。



- [Local Authentication] (ローカル認証)を選択した場合は、手順 6 に進みます。
- [LDAP/LDAPS] (LDAP/LDAPS) を選択した場合は、「LDAP/LDAPS リモート認証の実装」を参考にして、[Authentication Settings] (認証設定) ページの [LDAP] (LDAP) セクションの各フィールドを指定してください。
- [RADIUS] (RADIUS) を選択した場合は、「RADIUS リモート認証の実装」 を参考にして、[Authentication Settings] (認証設定) ページの [RADIUS] (RADIUS) セクションの各フィールドを指定してください。
- 6. [OK] をクリックして保存します。
- 工場出荷時のデフォルトに戻すには、以下の手順に従います。
- 1. [Reset To Defaults] (デフォルトに戻す) ボタンをクリックします。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

### LDAP/LDAPS リモート認証の実装

Lightweight Directory Access Protocol (ライトウェイト ディレクトリ アクセス プ ロトコル: LDAP/LDAPS) は、TCP/IP 上で動作するディレクトリ サービスを照会お よび変更するためのネットワーキング プロトコルです。 クライアントは、 LDAP/LDAPS サーバ (デフォルトの TCP ポートは 389) に接続して、LDAP セッションを開始します。 次に、クライアントは、オペレーション要求をサーバに送信し ます。サーバは、この要求に対して応答を返します。

メモ: Microsoft Active Directory は、LDAP/LDAPS 認証サーバとしてネイティブ に機能します。

#### ▶ LDAP 認証プロトコルを使用するには、以下の情報を入力します。

- [User Management] (ユーザ管理)の [Authentication Settings] (認証設定) をクリックして、[Authentication Settings] (認証設定) をページを開きます。
- 2. [LDAP] (LDAP) ラジオ ボタンを選択して、ページの [LDAP] (LDAP) セクションを有効にします。
- 3. ► LDAP アイコンをクリックして、ページの [LDAP] (LDAP) セクションを展開します。
- [Primary LDAP Server] (プライマリ LDAP サーバ) フィールドに、 LDAP/LDAPS リモート認証サーバの IP アドレスまたは DNS 名を入力しま す (最大 37 文字)。[Enable Secure LDAP] (セキュア LDAP を有効に する) オプションをオンにした場合は、DNS 名を使用する必要があります。



- [Secondary LDAP Server] (セカンダリ LDAP サーバ) フィールドに、バックア ップ LDAP/LDAPS サーバの IP アドレスまたは DNS 名を入力します (最 大 37 文字)。[Enable Secure LDAP] (セキュア LDAP を有効にする) オ プションをオンにした場合は、DNS 名を使用する必要があります。残りのフィー ルドについては、[Primary LDAP Server] (プライマリ LDAP サーバ) フィール ドの場合と同じ設定を使用します。オプションです。
- [Secret Phrase] (秘密フレーズ) フィールドに、リモート認証サーバへの認証に 必要となるサーバの秘密フレーズ (パスワード)を入力します (最大 45 文字)。 次に、[Confirm Secret Phrase] (秘密フレーズの確認) フィールドに、サーバ の秘密フレーズ (パスワード)を再入力します。LDAP/LDAPS サーバで使用 しているパスワードを入力します。
- [Dialback Query String] (ダイヤルバック クエリ文字列) フィールドに、ダイヤル バック クエリ文字列を入力します。 Microsoft Active Directory を使用して いる場合は、以下の文字列を入力する必要があります。 msRADIUSCallbackNumber

注: この文字列では大文字と小文字が区別されます。

- SSL を使用する場合は、[Enable Secure LDAP] (セキュア LDAP を有効 にする) チェックボックスをオンにします。これで、[Secure LDAP Port] (セキュ ア LDAP ポート) フィールドが有効になります。Secure Sockets Layer (SSL) は、Dominion KX II が LDAP/LDAPS サーバと安全に通信できる ようにする暗号プロトコルです。
- 9. [Port] (ポート) のデフォルトは 389 です。標準 LDAP TCP ポートを使用す るか、または別のポートを指定します。
- [Secure LDAP Port] (セキュア LDAP ポート)のデフォルトは 636 です。デ フォルトのポートを使用するか、または別のポートを指定します。このフィールド は、[Enable Secure LDAP] (セキュア LDAP を有効にする)チェックボックス がオンのときに有効になります。
- [Certificate File] (証明書ファイル) LDAP/LDAPS サーバ用の Base64 エンコードの X-509 形式の CA 証明書ファイルについては、担当の認証サー バ管理者に問い合わせてください。[Browse] (参照) ボタンを使用して証明 書ファイルを選択します。このフィールドは、[Enable Secure LDAP] (セキュア LDAP を有効にする) チェックボックスがオンのときに有効になります。
- [DN of administrative User] (管理者ユーザのDN) 管理者ユーザの識別 名です (最大 31 文字)。このフィールドに入力する適切な値については、担 当の認証サーバ管理者に問い合わせてください。たとえば、管理者ユーザの DN として、以下のように設定します。 cn=Administrator, cn=Users, dc=testradius, dc=com



- 13. [User Search DN] (ユーザ検索 DN) LDAP/LDAPS に対しバインドする名 前 (最大 31 文字)、およびデータベース内で指定されたベース DN の検索を 開始する場所を入力します。たとえば、以下のようにベース検索値を設定しま す。 cn=Users,dc=raritan,dc=com このフィールドに入力する適切な 値については、担当の認証サーバ管理者に問い合わせてください。
- 14. [Type of external LDAP server] (外部 LDAP/LDAPS サーバの種類) 使用可能なオプションを選択します。
  - [Generic LDAP Server] (一般的な LDAP サーバ)。
  - [Microsoft Active Directory]。Active Directory は、Windows 環境 向けの Microsoft による LDAP/LDAPS ディレクトリ サービスの実装で す。



 [Active Directory Domain] (Active Directory ドメイン) - Active Directory ドメインの名前を入力します。たとえば、「testradius.com」と入力 します。特定のドメインの名前については、Active Directive 管理者にお問い 合わせください。

RADIUS			
T LDAP			
Primary I DAP Server			
192.168.51.92			
Secondary LDAP Server			
Secret Phrase			
Confirm Secret Phrase			
commission contentinase			
Enable Secure LDAP			
Port			
389			
Secure LDAP Port			
636			
Certificate File			
	Browse .		
DII of Administrative Use cn=administrator cn=users	dc=testradi		
en-daministrator,en-dsers,	ac-restradi		
User Search DII	com		
Turna of Extornal LDAD Co	-com		
Microsoft Active Directory	v		
Active Directory Domain			
testradius.com			
IN DROBUC		-	
10101010			



# ユーザ グループ情報を Active Directory サーバから返す

Dominion KX II では、ユーザを Dominion KX II でローカルに定義する必要なく、 Active Directory (AD) へのユーザ認証がサポートされます。これにより、Active Directory のユーザ アカウントとパスワードは、AD サーバ上に排他的に維持されます。 認可と AD ユーザ特権は、標準の Dominion KX II ポリシー、および AD ユーザ グループにローカルに適用されるユーザ グループ特権によって制御および管理されます。

重要: Raritan, Inc. の既存のお客様がすでに AD スキーマを変更して Active Directory サーバを設定している場合、Dominion KX II はこの設 定をサポートします。この場合、以下に示す手順を実行する必要はあり ません。 AD LDAP/LDAPS スキーマを更新する方法についての詳細は、 「LDAP スキーマの更新」を参照してください。

#### Dominion KX II で AD サーバを有効にするには、以下の手順に従います。

- Dominion KX II を使用して、特殊なグループを作成し、適切な許可および特 権をグループに割り当てます。たとえば、KVM\_Admin や KVM\_Operator というグループを作成します。
- 2. Active Directory サーバで、前の手順で作成したのと同じグループ名を持つ新 しいグループを作成します。
- 3. AD サーバ上で、手順 2 で作成したグループに Dominion KX II ユーザを割 り当てます。
- Dominion KX II で、AD サーバを有効にし、適切に設定します。
   「LDAP/LDAPS リモート認証の実装」を参照してください。

#### 重要な注記:

- グループ名では大文字と小文字が区別されます。
- Dominion KX II には、Admin (管理者) と <Unknown> (不明) のデフォ ルト グループが用意されています。これらのグループを変更したり削除したりする ことはできません。Active Directory サーバでこれらと同じグループ名が使用さ れていないことを確認してください。
- Active Directory サーバから返されたグループ情報が Dominion KX II のグ ループ設定と一致しない場合、正常に認証されたユーザに対して自動的に [<Unknown>] (不明) グループが割り当てられます。
- ダイヤルバック番号を使用する場合は、次の文字列を入力する必要があります。
   大文字と小文字は区別されます。 msRADIUSCallbackNumber
- Microsoft からの推奨に基づいて、ドメイン ローカル グループではなく、ユーザ アカウントを含むグローバル グループを使用する必要があります。



# RADIUS リモート認証の実装

Remote Authentication Dial-in User Service (RADIUS) は、ネットワーク アク セス アプリケーションのための AAA (認証 (authentication)、認可 (authorization)、アカウンティング (accounting)) プロトコルです。

- ▶ RADIUS 認証プロトコルを使用するには、以下の手順に従います。
- [User Management] (ユーザ管理)の [Authentication Settings] (認証設定) をクリックして、[Authentication Settings] (認証設定) をページを開きます。
- [RADIUS] (RADIUS) ラジオ ボタンを選択して、ページの [RADIUS] (RADIUS) セクションを有効にします。
- 3. ► RADIUS アイコンをクリックして、ページの [RADIUS] (RADIUS) セクション を展開します。
- [Primary Radius Server] (プライマリ Radius サーバ) フィールドおよび [Secondary Radius Server] (セカンダリ Radius サーバ) フィールドに、プラ イマリ認証サーバの IP アドレスおよびオプションでセカンダリ認証サーバの IP アドレスを入力します (最大 37 文字)。
- [Shared Secret] (共有の秘密) フィールドに、認証に使用するサーバの秘密フレーズを入力します (最大 37 文字)。

共有の秘密とは、Dominion KX II と RADIUS サーバとの間で安全に通信 を行うために両者で共有される文字列です。これは、基本的にはパスワードで す。

- [Authentication Port] (認証ポート)のデフォルトは 1812 ですが、必要に応じて変更できます。
- [Accounting Port] (アカウンティング ポート) のデフォルトは 1813 ですが、必要に応じて変更できます。
- [Timeout] (タイムアウト) は秒単位で記録され、デフォルトは 1 秒ですが、必要に応じて変更できます。

このタイムアウトは、Dominion KX II が次の認証要求を送信する前に RADIUS サーバからの応答を待つ時間です。

9. デフォルトの再試行回数は 3 回です。

これは、Dominion KX II が RADIUS サーバに対して認証要求を送信する 回数です。

10. ドロップダウン リストのオプションから、適切な [Global Authentication Type] (グローバル認証タイプ)を選択します。



- [PAP] (PAP) PAP の場合、パスワードは平文(ひらぶん) 暗号化されないテキストとして送信されます。 PAP は対話型ではありません。 サーバがログイン プロンプトを送信してその応答を待つ方式ではなく、接続が確立された時点でユーザ名とパスワードが1 つのデータ パッケージとして送信されます。
- [CHAP] (CHAP) CHAP の場合、サーバはいつでも認証を要求できます。 CHAP は、PAP よりも高いセキュリティを実現します。

Authentication Settings	-
Authentication Settings	-
O Local Authentication	
O LDAP	
RADIUS	
► LDAP	
<b>TRADIUS</b>	
Primary RADIUS Server	
Shared Secret	
1812	
Accounting Port	
1813	
Timeout (in seconds)	
1	
Retries 3	
Secondary PADIUS Server	
occontaily is bloc correct	
Shared Secret	
Authentication Port	
Accounting Port	
1813	
Timeout (in seconds)	
1	
Retries	
2	
Global Authentication Type	
PAP 🝸	

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。



### ユーザ グループ情報を RADIUS 経由で返す

RADIUS 認証の試行が成功したら、Dominion KX II は、ユーザのグループの許可に基づいて、そのユーザの許可を決定します。

リモート RADIUS サーバは、RADIUS FILTER-ID として実装された属性を返す ことによって、これらのユーザ グループ名を提供できます。FILTER-ID は、 *Raritan:G{GROUP\_NAME}* という形式となります。GROUP\_NAME は、ユー ザが属するグループの名前を示す文字列です。

Raritan:G{GROUP\_NAME}:D{Dial Back Number}

GROUP\_NAME は、ユーザが属するグループの名前を示す文字列です。Dial Back Number は、ユーザ アカウントに関連付けられている番号で、Dominion KX II モデムがユーザ アカウントへのダイヤルバックに使用します。

# RADIUS 通信交換仕様

Dominion KX II は、以下の RADIUS 属性を RADIUS サーバに送信します。

属性	データ
ログオン	
Access-Request(1)	
NAS-Port-Type (61)	ネットワーク接続の場合は VIRTUAL (5)
NAS-IP-Address (4)	Dominion KX II の IP アドレス
User-Name (1)	ログイン画面で入力されたユーザ名
Acct-Session-ID (44)	アカウンティングのセッション ID
User-Password(2):	暗号化されたパスワード
Accounting-Request(4)	
Acct-Status (40)	Start(1) - アカウンティングを開始する
NAS-Port-Type (61)	ネットワーク接続の場合は VIRTUAL (5)
NAS-Port (5)	常に 0
NAS-IP-Address (4)	Dominion KX II の IP アドレス
User-Name (1)	ログイン画面で入力されたユーザ名
Acct-Session-ID (44)	アカウンティングのセッション ID



属性	データ
ログオン	
ログオフ	
Accounting-Request(4)	
Acct-Status (40)	Stop(2) - アカウンティングを停止する
NAS-Port-Type (61)	ネットワーク接続の場合は VIRTUAL (5)
NAS-Port (5)	常に 0
NAS-IP-Address (4)	Dominion KX II の IP アドレス
User-Name (1)	ログイン画面で入力されたユーザ名
Acct-Session-ID (44)	アカウンティングのセッション ID









リモート認証は、その後のフローチャートに指定されたプロセスに従います。



# パスワードの変更

### ▶ パスワードを変更するには、以下の手順に従います。

 [User Management] (ユーザ管理)の [Change Password] (パスワードの 変更)を選択します。 [Change Password] (パスワードの変更) ページが開 きます。

Home > User Management > Change Password
Change Password
Old Password
New Password
Confirm New Password
OK Cancel

- 2. [Old Password] (旧パスワード) フィールドに現在のパスワードを入力します。
- [New Password] (新しいパスワード) フィールドに新しいパスワードを入力しま す。[Confirm New Password] (新しいパスワードの確認) フィールドにパスワ ードを再入力します。パスワードには、最大 64 文字の英数字と特殊文字を 使用できます。
- 4. [OK] をクリックします。
- 5. パスワードが正常に変更された旨のメッセージが表示されます。 [OK] をクリック します。

注: 強力なパスワードが使用されている場合は、パスワードに必要な形式に関する 情報がこのページに表示されます。パスワードと強力なパスワードについての詳細は、 /[Strong Passwords] (強力なパスワード) 『p. 195』」を参照してください。



# デバイス管理

# この章の内容

[Network Settings] (ネットワーク設定)	133
[Device Services] (デバイス サービス)	139
[Modem Settings] (モデム設定)	140
日付/時刻の設定	142
イベント管理	143
[Power Supply Setup] (電源設定)	150
[Port Configuration] (ポート設定)	152

# [Network Settings] (ネットワーク設定)

7

[Network Settings] (ネットワーク設定) ページを使用して、Dominion KX II のネ ットワーク設定 (たとえば、IP アドレス、検出ポート、LAN インタフェース パラメータ など) をカスタマイズします。

IP 設定を行うには 2 つのオプションがあります。

- [None] (なし) (デフォルト) 推奨されるオプションです (静的 IP)。Dominion KX II はネットワーク インフラストラクチャの一部であるため、IP アドレスを頻繁 に変更されると手間がかかります。このオプションにより、ネットワーク パラメータを 固定できます。
- [DHCP] (DHCP) DHCP サーバによって IP アドレスが自動的に割り当てら れます。
- ▶ ネットワーク設定を変更するには、以下の手順に従います。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Network] (ネットワーク)を選択します。
   [ネットワーク設定] (Network Settings) ページが開きます。
- 2. ネットワーク基本設定を更新します。「ネットワーク基本設定」を参照してください。
- 3. LAN インタフェースの設定を更新します。「LAN インタフェース設定」を参照し てください。
- 4. [OK] (OK) をクリックして、これらの設定を保存します。変更を適用するために 再起動が必要な場合は、再起動メッセージが表示されます。
- ▶ 工場出荷時のデフォルトに戻すには、以下の手順に従います。
- [Reset to Defaults] (デフォルトに戻す)をクリックします。
- 注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。



# ネットワーク基本設定

ここでは、[Network Settings] (ネットワーク設定) ページで IP アドレスを割り当て る方法について説明します。このページのすべてのフィールドおよび操作についての 詳細は、「*ネットワーク設定* 『p. 133の"[Network Settings] (ネットワーク設定)"参 照先 』」を参照してください。

- [Device Settings] (デバイス設定)の [Network] (ネットワーク)を選択します。
   [ネットワーク設定] (Network Settings) ページが開きます。
- 最大 16 文字の英数字と有効な特殊文字を組み合わせて (スペースは使用 できません)、Dominion KX II デバイスにわかりやすいデバイス名を指定しま す。
- [IPv4] セクションで、適切な IPv4 固有のネットワーク設定を入力するか選択 します。
  - a. 必要な場合は、[IP Address] (IP アドレス) を入力します。 デフォルトの IP アドレスは「192.168.0.192」です。
  - b. [Subnet Mask] (サブネット マスク) を入力します。 デフォルトのサブネット マスクは「255.255.255.0」です。
  - c. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) ドロップダウン リストで [None] (設定しない) を選択する場合は、[Default Gateway] (デフォルト ゲート ウェイ) を入力します。
  - d. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) ドロップダウン リストで
     [DHCP] を選択する場合は、[Preferred DHCP Host Name] (優先 DHCP ホスト名) を入力します。

注: ホスト名は、最大 232 文字です。

- e. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) を選択します。 次のオプション を使用できます。
- [None] (設定しない) (静的 IP) このオプションを選択した場合は、ネット ワークの IP アドレスを手動で指定する必要があります。

Dominion KX II はインフラストラクチャ デバイスであり、IP アドレスは変更 されないので、このオプションを推奨します。

 [DHCP] - DHCP サーバから一意の IP アドレスとその他のパラメータを取 得するために、ネットワークに接続しているコンピュータ (クライアント) によっ て Dynamic Host Configuration Protocol が使用されます。

このオプションを選択した場合、ネットワーク パラメータは DHCP サーバに よって割り当てられます。 DHCP を使用する場合は、[Preferred host name] (優先ホスト名) を入力します (DHCP のみ)。 最大 63 文字ま で使用できます。



- IPv6 を使用する場合は、[IPv6] セクションで、適切な IPv6 固有のネットワ ーク設定を入力するか、選択します。
  - a. セクション内のフィールドを有効にするには、[IPv6] チェックボックスをオンにします。
  - b. [Global/Unique IP Address] (グローバル/一意の IP アドレス)を入力します。これは、Dominion KX II に割り当てられる IP アドレスです。
  - c. [Prefix Length] (固定長) を入力します。 これは、IPv6 アドレスで使用 されるビット数です。
  - d. [Gateway IP Address] (ゲートウェイ IP アドレス) を入力します。
  - e. [Link-Local IP Address] (リンク ローカル IP アドレス)。このアドレス は、自動的にデバイスに割り当てられます。これは、近隣探索で、またはル ータが存在しない場合に使用されます。 読み取り専用
  - f. [Zone ID]。これは、アドレスが関連付けられているデバイスを識別します。 読み取り専用です。
  - g. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) を選択します。 次のオプション を使用できます。
  - [None] (設定しない) 自動 IP 設定を使用せず、IP アドレスを自分で 設定する場合は、このオプションを選択します (静的 IP)。 推奨されるデ フォルトのオプションです。

[IP auto configuration] (IP 自動設定) で [None] (設定しない) を選 択すると、次の [Network Basic Settings] (ネットワーク基本設定) フィー ルドが有効になり、IP アドレスを手動で設定できるようになります。

- [Router Discovery] (ルータ検出) このオプションを使用して、直接接続 されるサブネットにのみ適用される [Link Local] (リンク ローカル) を超える [Global] (グローバル) または [Unique Local] (一意ローカル) を意味す る IPv6 アドレスを自動的に割り当てます。
- [DHCP] が選択され、[Obtain DNS Server Address] (DNS サーバ アドレ スを取得) が有効になっている場合は、[Obtain DNS Server Address Automatically] (DNS サーバ アドレスを自動的に取得) を選択します。 DNS サーバ アドレスが自動的に取得されると、DHCP サーバが提供する DNS 情報が使用されます。
- [Use the Following DNS Server Addresses] (次の DNS サーバ アドレス を使用)を選択する場合は、[DHCP] が選択されているかどうかにかかわらず、 このセクションに入力されたアドレスが、DNS サーバの接続に使用されます。

[Use the Following DNS Server Addresses] (次の DNS サーバ アドレス を使用) オプションを選択する場合は、次の情報を入力します。 これらのアドレ スは、停電によりプライマリ DNS サーバ接続が切断された場合に使用されるプ ライマリおよびセカンダリ DNS アドレスです。


- a. [Primary DNS Server IP Address] (プライマリ DNS サーバ IP アドレス)
- b. [Secondary DNS Server IP Address] (セカンダリ DNS サーバ IP ア ドレス)
- 7. 完了したら [OK] をクリックします。 これで、 Dominion KX II デバイスはネット ワークにアクセスできます。



[Network Settings] (ネットワーク設定) ページのこのセクションの設定についての詳細は、「*LAN インタフェース設定*『p. 137』」を参照してください。

注: 一部の環境では、[LAN Interface Speed & Duplex] (LAN インタフェース の速度と二重化) のデフォルトである [Autodetect] (自動検出) (自動ネゴシエーシ ョン) が選択されている場合にネットワーク パラメータが適切に設定されず、ネットワ ーク上の問題が発生する場合があります。 そのような場合は、Dominion KX II の [LAN Interface Speed & Duplex] (LAN インタフェースの速度と二重化) フィール ドを [100 Mbps/Full Duplex] (またはネットワークに合ったオプション) に設定するこ とで問題を解決できます。 詳細は、「ネットワーク設定『p. 133の"[Network Settings] (ネットワーク設定)"参照先 』」を参照してください。

letwork Basic Settings	LAN Interface Settings
Ietwork Basic Settings      evice Hame '      ominion      IPv4 Address      IP Address      Subnet Mask      192.168.59.173      Default Gateway      Preferred DHCP Host Name      192.168.59.126      IP Auto Configuration      None      Global.Unique IP Address      Ink-Local IP Address      Zone ID      II/A      %1      IP Auto Configuration      None	LAN Interface Settings      Note: For reliable network communication, configure the      Dominion KX II and LAN Switch to the same LAN Interface      Speed and Duplex, For example, configure both the Dominion      KX II and LAN Switch to Antodetect (recommended) or set      both to a fixed speed/duplex such as 100Mbps/Full.      Current LAN interface parameters:      autonegotiation off, 100 Mbps, full duplex, link ok      LAN Interface Speed & Duplex      100 Mbps/Full      Enable Automatic Failover.      Ping Interval (seconds) *      30      Timeout (seconds) *      80      Bandwidth Limit      No Limit
Ose the Following DIIS Server Addresses  Primary DIIS Server IP Address  192.168.59.2	
Secondary DHS Server IP Address 192.168.51.10	

LAN インタフェース設定

 現在のパラメータ設定は、[Current LAN interface parameters] (現在の LAN インタフェース パラメータ) フィールドで確認します。



- 以下の [LAN Interface Speed & Duplex] (LAN インタフェースの速度と二 重化)のオプションから適切なものを選択します。
  - [Autodetect] (自動検出) (デフォルト オプション)
  - [10 Mbps/Half] (10 Mbps/半二重) 両方の LED が点滅
  - [10 Mbps/Full] (10 Mbps/全二重) 両方の LED が点滅
  - [100 Mbps/Half] (100 Mbps/半二重) 黄色の LED が点滅
  - [100 Mbps/Full] (100 Mbps/半二重) 黄色の LED が点滅
  - [1000 Mbps/Full] (1000 Mbps/全二重) (ギガビット) 緑色の LED が 点滅
  - [Half-duplex] (半二重)の場合、双方向の通信は可能ですが、一度に 通信できるのは一方向だけです(同時に通信できません)。
  - [Full-duplex] (全二重)の場合、同時に双方向の通信が可能です。

注: 半二重または全二重で 10 Mbps で実行しているときに、問題が発生 する場合があります。問題が発生した場合は、別の速度と二重化の設定を選 択してください。

詳細は、「*Network Speed Settings* 『p. 273の"ネットワーク速度の設定" 参照先 』」を参照してください。

 この [Enable Automatic Failover] (自動フェイルオーバを有効にする) チェッ クボックスをオンにすると、アクティブなネットワーク ポートに障害が発生した場合、 Dominion KX II では 2 番目のネットワーク ポートを使用して、自動的にネッ トワーク接続を回復します。

注: フェイルオーバ ポートは実際にフェイルオーバが発生するまで有効にならな いので、ポートを監視しないか、フェイルオーバが発生した後にのみ監視するよう にすることをお勧めします。

このオプションを有効にすると、次の 2 つのフィールドが使用されます。

- [Ping Interval (seconds)] (Ping インターバル (秒)) Ping インターバルの設定により、Dominion KX II がネットワーク接続の状態をチェックする 頻度が決まります (インターバルの値を小さくしすぎると、ネットワークトラフィックが混雑します)。 デフォルトの Ping インターバルは 30 秒です。
- [Timeout (seconds)] (タイムアウト (秒)) タイムアウトの設定により、ネットワーク ポートが使用不可であると判断されてから切り替えが実行されるまでの時間が決まります。 ネットワーク ポートは両方ともネットワークに接続している必要があります。 自動フェイルオーバを機能させるには、このオプションを有効にする必要があります。 デフォルトのタイムアウトは 60 秒です。



注: デフォルトの Ping インターバルとタイムアウトによって、Dominion KX II が切り替わる際にリモート セッションが切断されます。この場合は、リモート セ ッションの接続を再度確立する必要があります。これらのインターバルをさらに小 さな値に設定するとセッションは切断されませんが、結果的にネットワーク トラフ ィックが増加します。

- 4. [Bandwidth] (帯域幅) で、適切なオプションを選択します。
  - [100 Megabit] (100 メガビット)
  - [10 Megabit] (10 メガビット)
  - [5 Megabit] (5 メガビット)
  - [2 Megabit] (2 メガビット)
  - [512 Kilobit] (512 キロビット)
  - [256 Kilobit] (256 キロビット)
  - [128 Kilobit] (128 キロビット)
- 5. [OK] をクリックして LAN 設定を適用します。

### [Device Services] (デバイス サービス)

- [Device Settings] (デバイス設定)の [Device Services] (デバイス サービス) を選択します。 [Device Services Settings] (デバイス サービス設定) ページが表示されます。
- 2. [Discovery Port] (検出ポート) を入力します。

Dominion KX II の検出は、設定可能な 1 つの TCP ポートで行われます。 デフォルトではポート 5000 に設定されていますが、80 と 443 以外であれば、 どの TCP ポートを使用するよう設定してもかまいません。ファイアウォールの外 側から Dominion KX II にアクセスするには、お使いのファイアウォールの設定 で、デフォルト ポート 5000 または上記で設定したデフォルト以外のポートを使 用する双方向通信を有効にする必要があります。

- 管理者が SSH v2 アプリケーションを介して Dominion KX II にアクセスでき るようにするには、[Enable SSH Access] (SSH アクセスを有効にする) を選 択します。
- 4. [SSH Port Information] (SSH ポート情報) を入力します。



標準の SSH TCP ポート番号は 22 ですが、ポート番号を変更して高いレベ ルのセキュリティ処理を提供することもできます。

Home > Device Settings > Device Services
Services
Discovery Port * 5000
Enable SSH Access
SSH Port 22
OK Reset To Defaults Cancel

## [Modem Settings] (モデム設定)

- ▶ モデムを設定するには、以下の手順に従います。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Modem Settings] (モデム設定)をク リックし、[Modem Settings] (モデム設定) ページを開きます。
- [Enable Modem] (モデムを有効にする) チェックボックスをオンにします。これで、[Serial Line Speed] (シリアル ライン速度) フィールドと [Modem Init] (モデム Init) フィールドが有効になります。
- 3. モデムの[Serial Line Speed] (シリアル ライン速度) は 11520 に設定されま す。読み取り専用
- [Modem Init String] (モデム Init 文字列) フィールドにモデム初期化文字列 を入力します。モデム文字列を空白のままにすると、デフォルトで、文字列 「ATZ OK AT OK」がモデムに送信されます。

この情報がモデムの設定に使用されます。以下の値の設定方法はモデムの種類によってさまざまなので、このドキュメントでは、これらの値の設定方法は指定しません。モデム固有の適切な設定を作成するには、モデムを参照する必要があります。



- [Modem Settings] (モデム設定):
- RTS/CTS フロー制御を有効にします。
- RTS 受信時にコンピュータにデータを送信します。
- CTS は、必要な場合にフロー制御によって切断だけ行うように設定する必要があります。
- DTR は、DTR トグルでリセットするにようにモデムに対して設定する必要があります。
- DSR は常にオンに設定する必要があります。
- DCD は、キャリア信号の検出後に有効にするように設定する必要があります (つまり、DCD はリモート側とのモデム接続が確立されたときにのみ有効にする必要があります)。
- [Modem Server IPv4 Address] (モデム サーバの IPv4 アドレス) フィールド に IPv4 モデム サーバ アドレスを入力し、[Modem Client IPv4 Address] (モデム クライアントの IPv4 アドレス) フィールドにクライアント モデム アドレス を入力します。

注: モデム クライアントおよびサーバの IP アドレスは、同じサブネット上にある 必要があり、KX LAN サブネットとオーバーラップすることはできません。

6. [OK] をクリックして変更を確認するか、[Reset to Defaults] (デフォルトに戻す) をクリックして設定をデフォルトに戻します。

Serial Line Speed		
Modem Init String		
ATQ0&D3&C1		
Modem Server IPv4.	Address	
10.0.0.1		
Modern Client IPv4 A	ddress	
10.0.0.2		



Dominion KX II で使用するに認定済みのモデムについての詳細は、「*認定モデム* 『p. 266』」を参照してください。モデムを介して Dominion KX II に接続する場合 の最適なパフォーマンスを確保する設定についての詳細は、『KVM and Serial Access Clients Guide』の「Creating, Modifying and Deleting Profiles in MPC - Generation 2 Devices」を参照してください。

注: Dominion KX II HTML インタフェースへの直接モデム アクセスはサポートさ れていません。モデムを介して Dominion KX II にアクセスするには、スタンドアロン MPC を使用する必要があります。

## 日付/時刻の設定

[Date/Time Settings] (日付/時刻の設定) ページを使用して、Dominion KX II の日付と時刻を指定します。これには 2 とおりの方法があります。

- 手動で日付と時刻を設定する。
- 日付と時刻をネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバと同期する。
- ▶ 日付と時刻を設定するには、以下の手順に従います。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Date/Time] (日付/時刻)を選択します。 [Date/Time Settings] (日付/時刻の設定)ページが開きます。
- [Time Zone] (タイム ゾーン) ドロップダウン リストから適切なタイム ゾーンを選択します。
- 夏時間用の調整を行うには、[Adjust for daylight savings time] (夏時間用の調整) チェックボックスをオンにします。
- 4. 日付と時刻の設定で用いる方法を選択します。
  - [User Specified Time] (ユーザによる時刻定義) 日付と時刻を手動で 入力するには、このオプションを選択します。

[User Specified Time] (ユーザによる時刻定義) オプションを選択した場合は、日付と時刻を入力します。時刻は、hh:mmの形式を使用します (24 時間制で入力します)。

- [Synchronize with NTP Server] (NTP サーバと同期) 日付と時刻を ネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバと同期するには、このオプショ ンを選択します。
- [Synchronize with NTP Server] (NTP サーバと同期) オプションを選択した 場合は、以下の手順に従います。
  - a. [Primary Time server] (プライマリ タイム サーバ)の IP アドレスを入力 します。



- b. [Secondary Time server] (セカンダリ タイム サーバ) の IP アドレスを 入力します。オプションです。
- 6. [OK] をクリックします。

Adjust for davlight savings time	
User Specified Time Date (Month, Day, Year) May 09, 2008 Time (Hour, Minute) 10 18 Synchronize with HTP Server Primary Time server	
Secondary Time server	

## イベント管理

Dominion KX II イベント管理機能によって、一連の画面から、SNMP マネージャ、 Syslog、監査ログへのシステム イベントの送信を有効または無効にできます。これ らのイベントはカテゴリ分けされるため、イベントごとに 1 つまたは複数の宛先に送信 するかどうかを指定できます。



#### [Event Management - Settings] (イベント管理 - 設定)の設定

#### SNMP の設定

Simple Network Management Protocol (SNMP) は、ネットワーク管理を制御 し、ネットワーク デバイスとその機能を監視するためのプロトコルです。 Dominion KX II では、イベント管理を通じて SNMP エージェントがサポートされます。

- SNMP を設定する (SNMP のログ作成を有効にする) には、以下の手順に 従います。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Event Management Settings] (イ ベント管理 - 設定)を選択します。[Event Management - Settings] (イベ ント管理 - 設定)ページが表示されます。
- [SNMP Logging Enabled] (SNMP ログを有効にする)を選択します。これ によって残りの SNMP フィールドが有効になります。
- [Name] (名前) フィールドには、Dominion KX II コンソール インタフェースに 表示されているとおりに、SNMP エージェントの名前 (使用しているデバイスの 名前) を、[Contact] (連絡先) フィールドには、そのデバイスに関連する連絡 先の名前を、[Location] (所在地) フィールドには、Dominion デバイスが物理 的に設置されている場所を入力します。
- [Agent Community String] (エージェント コミュニティの文字列) (デバイスの 文字列) を入力します。SNMP コミュニティとは、SNMP を実行しているデバ イスと管理ステータスが所属するグループのことです。 情報の送信先を定義す るのに役立ちます。コミュニティ名はグループを特定するために使用されます。 SNMP デバイスまたはエージェントは複数の SNMP コミュニティに所属してい る場合があります。
- [Type] (タイプ) ドロップダウン リストを使用して、コミュニティに [Read-Only] (読み取り専用) と [Read/Write] (読み書き可能) のいずれかを指定します。
- [Destination IP/Host Name] (送信先 IP/ホスト名)、[Port #] (ポート番号)、 [Community] (コミュニティ) を指定して、最大で 5 つの SNMP マネージャを 設定します。
- [Click here to view the Dominion SNMP MIB] (Dominion SNMP MIB を表示するにはここをクリックします) というリンクをクリックして、SNMP Management Information Base にアクセスします。
- 8. [OK] をクリックします。
- Syslog を設定する (Syslog の送信を有効にする) には、以下の手順に従います。
- [Enable Syslog Forwarding] (Syslog 送信有効)を選択して、リモート Syslog サーバにデバイス メッセージのログを送信します。



- [IP Address/Host Name] (IP アドレス/ホスト名) フィールドに Syslog サー バの IP アドレスを入力します。
- 3. [OK] をクリックします。
- ▶ 工場出荷時のデフォルトに戻すには、以下の手順に従います。
- [Reset to Defaults] (デフォルトに戻す) をクリックします。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

注: IPv6 アドレスでは、ホスト名が最大 80 文字です。

Same configuration		
SIIMP Logging Enabled		
lame		
DominionKX		
Contact		
ocation		
Igent Community String		
ype		
Read-Only 💌		
estination IP/Hostname	Port #	Community
	162	public
-	162	public
Click here to	view the Dominion KX	I SNMP MIB
vsLog Configuration		
Franciska Contraction Francisco Providence -		
Enable Syslog Forwarding		
] Enable Syslog Forwarding Address/Host Hame		



#### [Event Management - Destinations] (イベント管理 - 送信先)

システム イベントを有効にすると、SNMP 通知イベント (トラップ) を生成できます。 また、システム イベントを Syslog または監査ログにログ記録できます。 [Event Management - Destinations] (イベント管理 - 送信先) ページを使用して、追 跡するイベントと、その情報の送信先を選択します。

注: SNMP トラップは、[SNMP Logging Enabled] (SNMP ログを有効にする) オプションが選択されている場合にのみ生成されます。一方、Syslog イベントは、 [Enable Syslog Forwarding] (Syslog 送信有効) オプションが選択されている 場合にのみ生成されます。これらのオプションは、いずれも [Event Management -Settings] (イベント管理 - 設定) ページで設定します。「[Event Management - Settings] (イベント管理 - 設定) の設定」を参照してください。

#### ▶ イベントとその送信先を選択するには、以下の手順に従います。

 [Device Settings] (デバイス設定)の [Event Management -Destinations] (イベント管理 - 送信先)を選択します。 [Event Management - Destinations] (イベント管理 - 送信先) ページが開きます。

システム イベントは、デバイス操作、デバイス管理、セキュリティ、ユーザ アクティ ビティ、ユーザ グループ管理に分類されます。

2. 有効または無効にする [Event] (イベント) ラインのアイテムと、情報の送信先 のチェックボックスをオンにします。

*とント:* [Category] (カテゴリ) のチェックボックスをそれぞれオンまたはオフにする と、カテゴリ全体を有効または無効に設定できます。



#### 7: デバイス管理

## 3. [OK] をクリックします。

nt Management - Destinatio	ns			
e: SNMP traps will only be get	nerated if the "SNMP Logging Enabled" option is checked	f. Similarly, Syslog events	s will only be a	enerated if the "Enable
log Forwarding" option is che	ocked. These options can be found on the "Event Manage	ement - Settings" page or	the Device S	ettings menu.
ategory	Event	SHMP	Syslog	Audit Log
Device Operation		9	R	R
	System Startup	4	4	되
	System Shutdown	R	9	R
Namanan <u>yan</u> ta	Power Supply Status Changed	ঘ	4	ঘ
	Powerstrip Outlet Status Changed	Я	N	R
	Network Parameter Changed	되	4	4
	Port Status Changed	9	R	R
	Network Failure		all de Sterense	ঘ
	Ethernet Fallover	R	9	R
Device Management		<b>A</b>	<b>v</b>	<b>N</b>
	FactoryReset	R	9	R
	Begin CC Control	4	4	<b>A</b>
	End CC Control	<b>A</b>	9	9
	Device Update Started	ঘ	5	ঘ
	Device Update Completed	R	3	R
	Device Update Failed	되	4	<b>A</b>
	Firmware Update Failed	9	9	9
	Firmware File Discarded	ঘ	5	ঘ
	Firmware Validation Failed	<b>A</b>	9	9
	Configuration Backed Up	<b>A</b>	<b>v</b>	<b>J</b>
	Configuration Restored	<b>A</b>	9	<b>A</b>
	Port Connection Denied	<b>A</b>	4	되
Security		9	9	R
	Password Settings Changed	<b>A</b>	<b>v</b>	<b>प</b>
	Login Falled	R	3	<b>A</b>
	Password Changed	R	ų	4
	User Blocked	-	4	3
User Activity		ঘ	<b>v</b>	<b>प</b>
	Port Connected	2	R	R
	Bost Disconnected			





- ▶ 工場出荷時のデフォルトに戻すには、以下の手順に従います。
- [Reset to Defaults] (デフォルトに戻す)をクリックします。

警告: UDP 経由の SNMP トラップを使用している場合、Dominion KX II を再起動したときに、Dominion KX II と接続先のルータが同調できなくなり、 SNMP トラップの再起動の完了がログ記録されない可能性があります。

#### SNMP エージェント設定

SNMP に準拠したデバイスはエージェントと呼ばれます。それ自体のデータは Management Information Base (MIB) に格納され、デバイスはそのデータを SNMP マネージャに返します。 Dominion KX II (SNMP エージェント) と SNMP マネージャとの間の SNMP 接続を設定するには、イベント ログ ページを 使用します。

#### SNMP エージェント設定

SNMP によって、トラップまたは通知を送信する機能と、1 つ以上の条件が満たされた場合に管理者に忠告する機能が提供されます。 Dominion KX II のトラップを次の表に示します。

トラップ名	説明
configBackup	デバイス設定はバックアップされました。
configRestore	デバイス設定はリストアされました。
deviceUpdateFailed	デバイスの更新に失敗しました。
deviceUpgradeCompleted	RFP ファイルを使用した Dominion KX II のアップデート が完了しました。
deviceUpgradeStarted	RFP ファイルを使用した Dominion KX II のアップデート が開始されました。
factoryReset	デバイスが工場出荷時のデフォルトにリセットされました。
firmwareFileDiscarded	ファームウェア ファイルが破棄されました。
firmwareUpdateFailed	ファームウェアを更新できませんでした。
firmwareValidationFailed	ファームウェアの検証に失敗しました。
groupAdded	グループが Dominion KX II システムに追加されました。
groupDeleted	グループがシステムから削除されました。
groupModified	グループが変更されました。
ipConflictDetected	IP アドレスの競合が検出されました。



#### 7: デバイス管理

トラップ名	説明
ipConflictResolved	IP アドレスの競合が解決されました。
networkFailure	製品の Ethernet インタフェースがネットワーク経由で通信 できなくなりました。
networkParameterChanged	ネットワーク パラメータに変更が加えられました。
passwordSettingsChanged	強力なパスワードの設定が変更されました。
portConnect	以前認証されたユーザが KVM セッションを開始しました。
portConnectionDenied	ターゲット ポートへの接続が拒否されました。
portDisconnect	KVM セッションを実行中のユーザが正常にセッションを終 了しました。
portStatusChange	ポートが使用不可能な状態になっています。
powerNotification	電源コンセントの状態の通知です。 1: アクティブ、0: 非ア クティブ
powerOutletNotification	電源タップ デバイスのコンセントの状態の通知です。
rebootCompleted	Dominion KX II の再起動が完了しました。
rebootStarted	システムへの電源の入れ直しまたは OS からのウォーム起動により、Dominion KX II は再起動を開始しました。
securityViolation	セキュリティ違反です。
startCCManagement	デバイスが CommandCenter の管理下におかれました。
stopCCManagement	デバイスが CommandCenter の管理下から除外されました。
userAdded	ユーザ アカウントがシステムに追加されました。
userAuthenticationFailure	不正なユーザ名または/およびパスワードでのログイン試行がありました。
userConnectionLost	あるユーザのアクティブ セッションが、タイムアウトにより異常 終了しました。
userDeleted	ユーザ アカウントが削除されました。
userLogin	ユーザが Dominion KX II へ正常にログインし、認証されました。
userLogout	ユーザが Dominion KX II から正常にログアウトしました。
userModified	ユーザ アカウントが変更されました。



トラップ名	説明
userPasswordChanged	デバイスのいずれかのユーザのパスワードが変更されると、こ のイベントが発生します。
userSessionTimeout	あるユーザのアクティブ セッションが、タイムアウトにより終了 しました。
vmImageConnected	ユーザが仮想メディアを使用してターゲットにデバイスまたは イメージのマウントを試みました。 デバイスまたはイメージの マッピング (マウント) が試行されるたびに、このイベントが生 成されます。
vmImageDisconnected	ユーザが仮想メディアを使用してターゲットからデバイスまた はイメージのマウント解除を試みました。

## [Power Supply Setup] (電源設定)

Dominion KX II にはデュアル電源が搭載されており、これらの電源の状態を検出 し、通知できます。[Power Supply Setup] (電源設定) ページを使用して、片方 の電源を使用しているのか、それとも両方の電源を使用しているのかを指定します。 正しく設定することで、電源に障害が発生した場合に Dominion KX II によって適 切な通知が送信されます。たとえば、1 番目の電源に障害が発生した場合は、ユニ ットの正面の電源 LED が赤色に変わります。

- ▶ 使用中の電源の自動検出を有効にするには、以下の手順に従います。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Power Supply Setup] (電源設定) を選択します。[Power Supply Setup] (電源設定) ページが開きます。

	Power Supply Setup Page	
	PowerIn1 Auto Detect	
-	PowerIn2 Auto Detect	
1 - 0		
	OK Deset To Defaults Cancel	

電源入力を1番目の電源 (ユニット背面の左端の電源) に接続している場合は、[PowerIn1 Auto Detect] (PowerIn1 自動検出) チェックボックスをオンにします。



- 電源入力を2番目の電源 (ユニット背面の右端の電源) に接続している場合は、[Powerln2 Auto Detect] (Powerln2 自動検出) チェックボックスをオンにします。
- 4. [OK] (OK) をクリックします。

注: これらのチェックボックスのいずれかをオンにしたにもかかわらず、電源入力が実際 には接続されていない場合は、ユニット前面の電源 LED が赤色で点灯します。

- 自動検出を無効にするには、以下の手順に従います。
- 該当する電源のチェックボックスをオフにします。
- 工場出荷時のデフォルトに戻すには、以下の手順に従います。
- [Reset To Defaults] (デフォルトに戻す) ボタンをクリックします。

注: Dominion KX II では、CommandCenter に対して電源状態の報告を行い ません。ただし、Dominion I (第 1 世代) では、CommandCenter に対して電 源状態の報告を行います。



## [Port Configuration] (ポート設定)

[Port Configuration] (ポート設定) ページには、Dominion KX II のポートの一覧 が表示されます。 KVM ターゲット サーバ (ブレード サーバおよび標準サーバ) ま たは電源タップに接続されているポートは青色で表示され、編集できます。 CIM が 接続されていないか、CIM 名が空白になっているポートには、デフォルト ポート名 「Dominion-KX2\_Port#」が割り当てられます。「Port#」は Dominion KX II の物 理ポートの番号を表します。

#### ▶ ポート設定にアクセスするには、以下の手順に従います。

 [Device Settings] (デバイス設定)の [Port Configuration] (ポート設定)を 選択します。 [Port Configuration] (ポート設定) ページが開きます。

A Port Number	Port Name	Port Type	
t.	Dominion-KX2_Port1	Not Available	
2	Dominion-KX2_Port2	Not Available	
3	Dominion-KX2_Port3	Not Available	
4	Dominion-HX2_Port4	Not Available	
5	JLtestPC	DCIM	
6	Dominion-KX2_Port6	Not Available	
7	Dominion-RX2_Port7	Not Available	
8	Dominion-XX2_Port8	Not Available	
9	Local Port	VM	
10	Dominion-IOX2_Port10	Not Available	
11	Dominion-IO(2_Port11	Not Available	
12	Dominion-KX2_Port12	Not Available	
13	Dominion-IO(2_Port13	Not Available	
14	Dominion-HX2_Port14	Not Available	
15	Dominion-KX2_Port15	Not Available	
16	PowerStrip	PowerStrip	

最初このページはポートの番号順に表示されますが、列の見出しをクリックしてフィールドごとに並べ替えられます。

- [Port Number] (ポート番号) 1 から Dominion KX II デバイスで使用 できるポートの合計数までの番号が振られています。
- [Port Name] (ポート名) -ポートに割り当てられている名前です。ポート名が黒色で表示されている場合は、名前の変更およびポートの編集はできません。ポートが青色で表示されている場合は、編集できます。



- 注: ポート (CIM) 名にアポストロフィ (" ' ") を使用することはできません。
- [Port Type] (ポート タイプ)

ポート タイプ	説明
[DCIM] (DCIM)	Dominion CIM
[Not Available] (使 用不可)	CIM を接続できません
[PCIM] (PCIM)	Paragon CIM
[PowerStrip] (電源 タップ)	Power CIM
[VM] (VM)	仮想メディア (D2CIM-VUSB および D2CIM-DVUSB)
[Blade Chassis] (ブ レード シャーシ)	ブレード シャーシとそのシャーシに関連付けら れているブレード (階層順に表示)

- 2. 編集するポートの [Port Name] (ポート名) をクリックします。
  - KVM ポートの場合は、[Port] (ポート) ページが開きます。このページでポ ートに名前を付け、電源を関連付けられます。
  - 電源タップの場合は、電源タップの [Port] (ポート) ページが開きます。このページで、電源タップとそのコンセントに名前を付けます。

#### 標準ターゲット サーバの設定

- ターゲット サーバに名前を付けるには、以下の手順に従います。
- まだすべてのターゲット サーバを接続していない場合は、接続します。装置の 接続についての詳細は、「*手順 1: Dominion KX II の接続*『p. 26の"ス テップ 3: 装置の接続"参照 』」を参照してください。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Port Configuration] (ポート設定)を 選択します。 [Port Configuration] (ポート設定) ページが開きます。
- 3. 名前を変更するターゲット サーバのポート名をクリックします。 [Port] (ポート) ページが開きます。
- 当該ポートに接続されているサーバを識別するための名前を割り当てます。
  前には最大 32 文字の英数字と特殊文字を使用できます。
- 5. [OK] をクリックします。



#### 電源タップのターゲットの設定 (PX 以外)

Dominion KX II では、電源タップを Dominion KX II のポートに接続し、[Port] (ポート) ページから電源タップを設定できます。これは、PX 電源タップのコンセント の設定とは異なる点に注意してください。 PX 電源タップのコンセントの設定につい ての詳細は、「**電源タップのコンセントの制御** 『p. 188』」を参照してください。

#### 電源タップの接続

- ▶ 電源タップを接続するには、以下の手順に従います。
- D2CIM-PWR のオス RJ-45 を、電源タップのメス RJ-45 コネクタに接続します。
- 2. Cat 5 ストレート ケーブルを使用して、D2CIM-PWR のメス RJ-45 コネクタ を Dominion KX II で空いているメスのシステム ポート コネクタのいずれかに 接続します。
- 3. AC 電源コードをターゲット サーバと空いている電源タップ コンセントに接続します。
- 4. 電源タップを AC 電源に接続します。





5. Dominion KX II デバイスの電源オン



#### 電源タップの名前の指定 (電源タップの [Port] (ポート) ページ)

[Port Configuration] (ポート設定) ページでラリタンのリモート電源タップに接続して いるポートを選択すると、この [Port] (ポート) ページが開きます。 [Type] (タイプ) フィールドと [Name] (名前) フィールドには、あらかじめ入力されています。

注: (CIM) [Type] (タイプ) は変更できません。

電源タップの各コンセントに関する次の情報が表示されます。コンセントの [Number] (番号)、[Name] (名前)、[Port Association] (ポートの関連付け)。

このページを使用して、電源タップとそのコンセントに名前を付けます。すべての名前 には最大 32 文字の英数字が使用でき、特殊文字を含めることができます。

注: 電源タップがターゲット サーバ (ポート) に関連付けられると、コンセント名はタ ーゲット サーバ名に置き換えられます (コンセントに別の名前を割り当てている場合 も同様です)。

▶ 電源タップ (およびコンセント) に名前を付けるには、以下の手順に従います。

*注*: CommandCenter Service Gateway では、スペースを含む電源タップ名を 認識できません。

- 1. 電源タップの名前を入力します (必要な場合)。
- 必要に応じて、([コンセント])[Name] (名前) を変更します (デフォルトのコン セント名は、「outlet #」です)。



## 3. [OK] をクリックします。

PowerStrip	2	
lame:		
PowerStrip-PCR8		
Outlets	2	
lumber	Name	Port Association
1	Dominion-Port1(1)	Dominion-Port7
2	Outlet 2	
3	Outlet 3	
4	Outlet 4	
5	Outlet 5	
5	Outlet 6	
1	Outlet 7	
8	Outlet 8	



#### コンセントに関連付けられている KVM ターゲット サーバの管理 ([Port] (ポート) ページ)

[Port Configuration] (ポート設定) ページで、ターゲット サーバに接続しているポートを選択すると、この [Port] (ポート) ページが開きます。このページで電源の関連 付けを行えます。ポートの名前を入力しやすい名前に変更し、D2CIM-VUSB CIM を使用している場合はターゲット サーバの設定を更新します。 (CIM)[タイプ] およ び [名前] フィールドはあらかじめ指定されています。CIM タイプは変更できないこと に注意してください。

サーバには最大で 4 つの電源プラグを接続でき、それぞれに別の電源タップを関連 付けられます。このページでそれらの関連付けを定義して、[Port Access] (ポート アクセス) ページからサーバの電源オン、電源オフ、電源オン・オフを行えます。

この機能を使用するには、次のアイテムが必要です。

- ラリタンのリモート 電源タップ
- Power CIM (D2CIM-PWR)

# 電源の関連付けを行う (電源タップ コンセントを KVM ターゲット サーバに関連付ける) には、以下の手順に従います。

注: 電源タップがターゲット サーバ (ポート) に関連付けられると、コンセント名はタ ーゲット サーバ名に置き換えられます (コンセントに別の名前を割り当てている場合 も同様です)。

- 1. [Power Strip Name] (電源タップ名) ドロップダウン リストから電源タップを選択します。
- 2. その電源タップに対して、[Outlet Name] (コンセント名) ドロップダウン リストか らコンセントを選択します。
- 3. 該当するすべての電源の関連付けで、手順 1 および 2 を繰り返します。
- 4. [OK] をクリックします。 確認メッセージが表示されます。

#### ▶ ポート名を変更するには、以下の手順に従います。

- 1. わかりやすい名前を [Name] (名前) フィールドに入力します。 候補としてはタ ーゲット サーバ名が挙げられます。 名前には最大 32 文字の英数字が使用 でき、特殊文字を含めることができます。
- 2. [OK] をクリックします。



#### 電源の関連付けの削除

先に、[Device Settings] (デバイス設定) で電源タップの関連付けを削除するまで、 Dominion KX II から電源タップを物理的に取り外さないでください。ターゲットが 電源タップに関連付けられたままでターゲットを Dominion KX II から取り外した場 合、電源の関連付けは残ります。この場合、電源の関連付けを適切に削除するた めに [Device Settings] (デバイス設定) で切断されたターゲット サーバの [Port Configuration] (ポート設定) にアクセスすることはできません。

- ▶ 電源タップの関連付けを削除するには、以下の手順に従います。
- 1. [Power Strip Name] (電源タップ名) ドロップダウン リストから該当する電源タップを選択します。
- その電源タップに対して、[Outlet Name] (コンセント名) ドロップダウン リストから該当するコンセントを選択します。
- [Outlet Name] (コンセント名) ドロップダウン リストから、[None] (設定なし) を選択します。
- [OK] をクリックします。その電源タップ/コンセントの関連付けが削除され、確認 メッセージが表示されます。
- 電源タップがターゲットから削除されている場合に電源タップの関連付けを削除するには、以下の手順に従います。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Port Configuration] (ポート設定)を クリックし、アクティブなターゲットをクリックします。
- 2. アクティブなターゲットを、切断された電源ポートに関連付けます。これで、切断 されたターゲットの電源の関連付けが破棄されます。
- 3. 最後に、アクティブなターゲットを、正しい電源ポートに関連付けます。

ower surp name		Outlet Name			
ominion-KX2_Port16	•	Outlet 8 💌			
ominion-KX2_Port16	•	None			
lone	•	💌			
lone	<b>•</b>	💌			
0K Cancel	ſ				



#### ブレード シャーシの設定

標準のサーバと電源タップに加えて、Dominion KX II では、Dominion KX II ポートに接続されているブレード シャーシを制御することができます。 Dominion KX II を通じて、一定時間に最大 8 台のブレード シャーシを管理できます。

標準のサーバと同じように、ブレード シャーシは、接続されると Dominion KX II に よって自動検出されます。 ブレード サーバ シャーシが Dominion KX II によって 検出された場合は、デフォルト名が関連付けられ、それが [Port Access] (ポート アクセス) ページに、標準ターゲット サーバおよび電源タップとともに表示されます (「**[Port Access] (ポート アクセス) ページ**『p. 44』」を参照してください)。 ブレー ド サーバは、[Port Access] (ポート アクセス) ページ上の展開可能な階層リストに 表示されます。階層のルートはブレード シャーシで、個別のブレードはルートの下にラ ベルが付けられて表示されます。

注: ブレード シャーシを階層順に表示するには、ブレード サーバ シャーシにブレー ド シャーシのサブタイプを設定する必要があります。

HP ブレード シャーシを除く、汎用、IBM、および Dell のブレード シャーシは、 [Port Access] (ポート アクセス) ページで設定されます。 ブレード シャーシに接続 されるポートは、ブレード シャーシ モデルで設定されている必要があります。 ブレー ド サーバに設定できる特定の情報は、使用しているブレード サーバのブランドによっ て異なります。 サポートされているこれらの各ブレード シャーシ固有の情報は、この セクションのヘルプにある対応するトピックを参照してください。

次のブレード シャーシがサポートされています。

- IBM BladeCenter モデル E および H
- Dell PowerEdge 1855、1955、および M1000e

[Generic] (汎用) オプションでは、上のリストに含まれていないブレード シャーシを設 定できます。 HP BladeSystem c3000 および c7000 は、Dominion KX II か ら各ブレードへの個別の接続を介してサポートされます。 ポートは、ポート グループ 管理機能を使用して、シャーシにまとめてグループ化されます。

注: Dell PowerEdge 1855/1955 ブレードも、各個別ブレードから Dominion KX II 上のポートに接続できます。 この方法で接続した場合、それらをグループ化 してブレード サーバ グループを作成できます。

ブレード シャーシでは、 手動設定と自動検出の 2 つの操作モードがあり、ブレード シャーシの機能によって決まります。 ブレード シャーシが自動検出で設定される場 合、Dominion KX II は、以下を追跡および更新します。

- 新しいブレード シャーシがいつシャーシに追加されるか
- 既存のブレード シャーシがいつシャーシから削除されるか



The Dominion KX II also supports use of hot key sequences to switch KVM access to a blade chassis. ユーザがホットキー シーケンスを選択できるブ レード シャーシの場合、これらのオプションは、[Port Configuration] (ポート設定) ページにあります。ホットキー シーケンスがあらかじめ定義されているブレード シャー シの場合、これらのシーケンスは、ブレード シャーシが選択されると [Port Configuration] (ポート設定) ページに自動的に入力されます。たとえば、IBM BladeCenter H に対する KVM を切り替えるためのデフォルト ホットキー シーケ ンスは、NumLock+NumLock+SlotNumber なので、設定中に IBM BladeCenter H が選択されたときに、このホットキー シーケンスがデフォルトで適用 されます。ホットキー シーケンスについての詳細は、ブレード シャーシのマニュアルを 参照してください。

ブレード シャーシ Web ブラウザ インタフェースがある場合は、それに対する接続を 設定できます。 シャーシ レベルでは、最大 4 つのリンクを定義できます。 1 つ目 のリンクは、ブレード シャーシ管理モジュール GUI への接続用に予約されています。 たとえば、このリンクは、テクニカル サポートがシャーシ設定をすばやく検証する場合に 使用されることがあります。

ブレード シャーシは、Dominion KX II Virtual KVM Client (VKC)、ラリタンの Multi-Platform Client (MPC)、および CC-SG から管理できます。 VKC および MPC を介したブレード サーバの管理は、標準ターゲット サーバの管理と同じです (「ターゲット サーバの使用『p. 39』」を参照してください)。『CC-SG 管理者ガイ ド』を参照してください。 Dominion KX II のブレード シャーシ設定に対する変更は、 これらのクライアント アプリケーションに反映されます。

重要: ブレード シャーシを Dominion KX II に CIM 接続することに よって、電源がオフになったり Dominion KX II から切断されたりした 場合、ブレード シャーシに対して確立されているすべての接続が切断さ れます。 CIM が再接続されるか電源オンにした場合は、接続を再確立す る必要があります。



ブレード シャーシをある KX II ポートから別の KX II ポートに移動す る場合、CC-SG でブレード シャーシ ノードに追加されたインタフェー スが CC-SG で失われます。 他の情報はすべて維持されます。

e Server Chassis Port Configuration rver Chassis Model				
rver Chassis Model				
Generic				
of Key Sequence	Maxim	um Nun	nber of Slots (2-16)	
k + NumLock + SlotNumber 🛛 👻	16			
trative Module Primary IP Address/Host Nar	ne			Port Hun
				22
sername		Password		
CALL REPORTED				
e Auto-Discovery				
er Blades In Chassis Now				
annaia Bama				
KXName r2				
		1000		
	Sele	ct All	Deselect All	
Class d		Installed	SI-+ 1	
SIGE1 BC Port1 Slot1 To Local Port	-	Installed	SIOT 2 Blade Chassis Port1 Stat2	-
Slot 3		щ	Slot 4	
Blade_Chassis_Port1_Slot3			Blade_Chassis_Port1_Slot4	
Slot 5		_	Slot 6	
Blade_Chassis_Port1_Slot5			Blade_Chassis_Port1_Slot6	
Slot 7			Slot 8	
Blade_Chassis_Port1_Slot7	-		Blade_Chassis_Port1_Slot8	
Slot 9		-	Slot 10	
Blade_Chassis_Port1_Slot9	_		Blade_Chassis_Port1_Slot10	
Slot 11		-	Slot 12	
Diade_Chassis_Port1_Slot11			Diade_Chassis_Port1_Slot12	
C 1 - + V 1			SIUC 14	
Slot 13 Blade Chassie Dort1 Slot12			Blade Charge Dorth Cloth	
Slot 13 Blade_Chassis_Port1_Slot13 Slot 15			Blade_Chassis_Port1_Slot14	
	k + NumLock + SlotNumber    trative Module Primary IP Address/Host Nar    trative Module Primary IP Address/Host Nar    trative Module Primary IP Address/Host Nar    te    te    e Auto-Discovery    er Blades In Chassis Now    assis Name    _XXName_r2    Slot 1    BC_Port1_Slot1_To_Local_Port    Slot 3    Blade_Chassis_Port1_Slot3    Slot 7    Blade_Chassis_Port1_Slot7    Slot 9    Blade_Chassis_Port1_Slot9    Slot11	c + NumLock + SlotNumber    16      trative Module Primary IP Address/Host Name      re    Passw      re    Passw      e Auto-Discovery    e      er Blades In Chassis Now    assis Name     XXName_r2    Sele      Slot 1    BC_Port1_Slot1_To_Local_Port      Blade_Chassis_Port1_Slot3    Slot 5      Blade_Chassis_Port1_Slot5    Slot 7      Blade_Chassis_Port1_Slot7    Slot 9      Blade_Chassis_Port1_Slot9    Slot 11      Blade_Chassis_Port1_Slot9    Slot11	c + NumLock + SlotNumber    16      trative Module Primary IP Address/Host IIame      ne    Password      ne    Password      e Auto-Discovery    e      er Blades In Chassis Now    assis Name	c+ NumLock + SlotNumber    16      trative Module Primary IP Address Host Name      re    Password      e Auto-Discovery      er Blades In Chassis Now      assis Name     XXName_r2      Slot 1      Bc_Port1_Slot1_To_Local_Port      Blade_Chassis_Port1_Slot3      Blade_Chassis_Port1_Slot4      Slot 5      Blade_Chassis_Port1_Slot5      Blade_Chassis_Port1_Slot5      Blade_Chassis_Port1_Slot6      Slot 7      Blade_Chassis_Port1_Slot7      Blade_Chassis_Port1_Slot10      Slot 10      Blade_Chassis_Port1_Slot10



#### 汎用ブレード シャーシの設定

[Generic] (汎用) ブレード シャーシを選択した場合の操作モードは、手動設定モードだけです。 ブレード シャーシを設定する際の重要な情報および追加情報については、「サポートされているプレード シャーシ モデル 『p. 178』」、および「プレード シャーシの必須および推奨設定 『p. 181』」を参照してください。

- ブレード シャーシを Dominion KX II に接続します。詳細は、「*手順 1:* Dominion KX IIの接続</del>『p. 26の"ステップ 3: 装置の接続"参照 』」を参照してください。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Port Settings] (ポート設定)をクリックし、[Port Settings] (ポート設定) ページを開きます。
- [Port Settings] (ポート設定) ページで、設定するブレード シャーシの名前をク リックします。 [Port] (ポート) ページが開きます。
- [Blade Chassis] (ブレード シャーシ) ラジオ ボタンを選択します。ページに、 ブレード シャーシの設定に必要なフィールドが表示されます。
- [Blade Server Chassis Model] (ブレード サーバ シャーシ モデル) ドロップ ダウン リストから [Generic] (汎用) を選択します。
- 6. ブレード シャーシを適切に設定します。
  - a. [Switch Hot Key Sequence] (切り替えホットキー シーケンス) KVM からブレード シャーシへの切り替えに使用されるホットキー シーケンスを定 義します。 [Switch Hot Key Sequence] (切り替えホットキー シーケン ス) は、ブレード シャーシの KVM モジュールで使用されるシーケンスと同 じにする必要があります。
  - b. [Administrative Module Primary IP Address/Host Name] (管理モジ ュールのプライマリ IP アドレス/ホスト名) - 適用されません。
  - c. [Maximum Number of Slots] (最大スロット数) ブレード シャーシで使 用できるデフォルトの最大スロット数を入力します。
  - d. [Port Number] (ポート番号) ブレード シャーシのデフォルトのポート番号は 22 です。 適用されません。
  - e. [User Name] (ユーザ名) 適用されません。
  - f. [Password] (パスワード) 適用されません。
- 7. 必要に応じてブレード シャーシ名を変更します。
- ブレードがインストールされる各スロットの横の [Installed] (インストール済み) チ エックボックスをオンにして、ブレード シャーシにインストールされているブレードを指 定します。 Alternatively, use the Select All checkbox. 必要な場合は、ブ レード サーバ名を変更します。



 ページの [Blade Chassis Managed Links] (ブレード シャーシ管理リンク) セクションで、ブレード シャーシ Web ブラウザ インタフェースを使用できる場合 にそのインタフェースへの接続を設定できます。 [Blade Chassis Managed Links] (ブレード シャーシ管理リンク) アイコン

▶ Blade Chassis Managed Links をクリックして、ページのセクションを展開します。

最初の URL リンクは、通常、ブレード シャーシ管理モジュール GUI への接続に使用されます。

注: ページ内のこのセクションに入力した URL リンクへのアクセスは、ブレード シャーシ ポート権限によって制御されます。

- a. [Active] (アクティブ) 設定されたリンクをアクティブにするには、[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにします。リンクを非アクティブにしておくに は、チェックボックスをオフのままにします。[Active] (アクティブ) チェックボッ クスをオンにしていない場合でも、リンク フィールドへの情報の入力と保存は できます。[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにしている場合は、 URL フィールドは必須です。 ユーザ名、パスワード、ユーザ名フィールド およびパスワードフィールドは、シングル サインオンを使用するかどうかに応じ て、オプションになります。
- b. [URL] (URL) インタフェースへの URL を入力します。必須
- c. [Username] (ユーザ名) インタフェースへのアクセスに使用されるユーザ 名を入力します。オプションです。
- d. [Password] (パスワード) インタフェースへのアクセスに使用されるパスワ ードを入力します。オプションです。

注: DRAC、ILO、および RSA Web アプリケーションの場合は、ユーザ名と パスワードのフィールドを空白のまましないと、接続が失敗します。

- e. [Username Field] (ユーザ名 フィールド) および [Password Field] (パ スワード フィールド) は、いずれもオプションで、ユーザ名とパスワードの入力 に関連付けられることが想定されたラベルが含まれています。 Web アプリ ケーションのログイン画面で使用されるユーザ名フィールドおよびパスワード フィールドのフィールド名を入力する必要があるのはこれらのフィールドです。 ログイン画面の HTML ソースを表示して、フィールド ラベルではなく、フィ ールドの名前を探すことができます。 Web ブラウザ インタフェースの追加 に関するヒントは、「Web ブラウザ インタフェースの追加に関するヒント 『p. 173』」を参照してください。オプションです。
- 10. USB プロファイル情報は汎用設定には適用されません。
- 11. [OK] をクリックして設定を保存します。



Dell® ブレード シャーシの設定

ブレード シャーシを設定する際の重要な情報および追加情報については、「サポー トされているブレード シャーシ モデル 『p. 178』」、および「プレード シャーシの必須 および推奨設定 『p. 181』」を参照してください。 Dell シャーシで Dominion KX II を使用する場合のケーブルの長さとビデオ解像度の詳細は、「Dell シャーシのケーブ ルの長さとビデオ解像度 『p. 289の"Dell 筐体を接続する場合のケーブル長と画面 解像度"参照 』」を参照してください。

- ブレード シャーシを Dominion KX II に接続します。詳細は、「*手順 1:* Dominion KX IIの接続『p. 26の"ステップ 3: 装置の接続"参照 』」を参照してください。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Port Settings] (ポート設定) をクリッ クし、[Port Settings] (ポート設定) ページを開きます。
- [Port Settings] (ポート設定) ページで、設定するブレード シャーシの名前をク リックします。 [Port] (ポート) ページが開きます。
- [Blade Chassis] (ブレード シャーシ) ラジオ ボタンを選択します。ページに、 ブレード シャーシの設定に必要なフィールドが表示されます。
- 5. [Blade Server Chassis Model] (ブレード サーバ シャーシ モデル) ドロップ ダウン リストから Dell ブレード シャーシ モデルを選択します。
- Dell PowerEdge M1000e を設定するには、以下の手順に従います。
- [Dell PowerEdge M1000e] (Dell PowerEdge M1000e) を選択した場合 は、自動検出を使用できます。ブレード シャーシを適切に設定します。自動 検出できるブレード シャーシを設定する前に、指定されたポート番号で SSH 接続を有効に設定する必要があります (「*[Device Services] (デバイス サー ビス)*『p. 139』」を参照してください)。また、対応する認証証明書を持つユー ザ アカウントを、ブレード シャーシであらかじめ作成しておく必要があります。
  - a. [Switch Hot Key Sequence] (切り替えホットキー シーケンス) KVM からブレード サーバへの切り替えに使用されるホットキー シーケンスを選択 します。 [Switch Hot Key Sequence] (切り替えホットキー シーケンス) は、ブレード シャーシの KVM モジュールで使用されるシーケンスと同じに する必要があります。
  - b. [Maximum Number of Slots] (最大スロット数) ブレード シャーシで使 用できるデフォルトの最大スロット数は、自動的に入力されます。
  - c. [Administrative Module Primary IP Address/Host Name] (管理モジュールのプライマリ IP アドレス/ホスト名) ブレード シャーシのプライマリ IP アドレスを入力します。 自動検出モードでは必須です。



- d. [Port Number] (ポート番号) ブレード シャーシのデフォルトのポート番号は 22 です。必要に応じて、ポート番号を変更します。 自動検出モー ドでは必須です。
- e. [Username] (ユーザ名) ブレード シャーシへのアクセスに使用されるユー ザ名を入力します。 自動検出モードでは必須です。
- f. [Password] (パスワード) ブレード シャーシへのアクセスに使用されるパ スワードを入力します。 自動検出モードでは必須です。
- Dominion KX II でシャーシ ブレードを自動検出する場合は、[Blade Auto-Discovery] (ブレードの自動検出) チェックボックスをオンにし、[Discover Blades on Chassis Now] (ブレード シャーシを今すぐ検出) ボタンをクリックし ます。 ブレードが検出されると、それがページに表示されます。
- 必要に応じてブレード シャーシ名を変更します。シャーシに既に名前が付けられている場合は、その情報がこのフィールドに自動的に表示されます。まだ名前が付いていない場合は、Dominion KX II によってシャーシに名前が割り当てられます。Dominion KX II では、ブレード シャーシにデフォルトで「Blade\_Chassis\_Port#」という名前が付けられます。
- 手動モードで操作する場合は、ブレードがインストールされる各スロットの横の [Installed] (インストール済み) チェックボックスをオンにして、ブレード シャーシに インストールされているブレードを指定します。または、[Select All] (すべて選 択) チェックボックスをオンにします。必要な場合は、ブレード サーバ名を変更 します。

自動検出モードで操作する場合は、[Installed] (インストール済み) チェックボッ クスに、検出中にブレードを含んでいたスロットが表示されます。

 ページの [Blade Chassis Managed Links] (ブレード シャーシ管理リンク) セクションで、ブレード シャーシ Web ブラウザ インタフェースを使用できる場合 にそのインタフェースへの接続を設定できます。 [Blade Chassis Managed Links] (ブレード シャーシ管理リンク) アイコン
 ▶ Blade Chassis Managed Links

▶ Blade Chassis Managed Links をクリックして、ページのセクションを展開 します。

最初の URL リンクは、通常、ブレード シャーシ管理モジュール GUI への接続に使用されます。

注: ページ内のこのセクションに入力した URL リンクへのアクセスは、ブレード シャーシ ポート権限によって制御されます。



- a. [Active] (アクティブ) 設定されたリンクをアクティブにするには、[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにします。 リンクを非アクティブにしておくに は、チェックボックスをオフのままにします。 [Active] (アクティブ) チェックボッ クスをオンにしていない場合でも、リンク フィールドへの情報の入力と保存は できます。 [Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにしている場合は、 URL フィールドは必須です。 ユーザ名、パスワード、ユーザ名フィールド およびパスワードフィールドは、シングル サインオンを使用するかどうかに応じ て、オプションになります。
- b. [URL] (URL) インタフェースへの URL を入力します。Dell M1000eのサンプル設定の詳細は、「プレード シャーシのサンプル URL フォーマット 『p. 184』」を参照してください。
- c. [Username] (ユーザ名) インタフェースへのアクセスに使用されるユーザ 名を入力します。
- d. [Password] (パスワード) インタフェースへのアクセスに使用されるパスワ ードを入力します。

注: DRAC、ILO、および RSA Web アプリケーションの場合は、ユーザ名と パスワードのフィールドを空白のまましないと、接続が失敗します。

- e. [Username Field] (ユーザ名 フィールド) および [Password Field] (パ スワード フィールド) は、いずれもオプションで、ユーザ名とパスワードの入力 に関連付けられることが想定されたラベルが含まれています。 Web アプリ ケーションのログイン画面で使用されるユーザ名フィールドおよびパスワード フィールドのフィールド名を入力する必要があるのはこれらのフィールドです。 ログイン画面の HTML ソースを表示して、フィールド ラベルではなく、フィ ールドの名前を探すことができます。 Web ブラウザ インタフェースの追加 に関するヒントは、「Web ブラウザ インタフェースの追加に関するヒント 『p. 173』」を参照してください。
- 6. USB プロファイルは Dell シャーシには適用されません。
- 7. [OK] をクリックして設定を保存します。
- Dell PowerEdge 1855/1955 を設定するには、以下の手順に従います。
- 1. [Dell 1855/1955] (Dell 1855/1955) を選択した場合は、自動検出は*使用 できません*。ブレード シャーシを適切に設定します。
  - a. [Switch Hot Key Sequence] (切り替えホットキー シーケンス) KVM からブレード サーバへの切り替えに使用されるホットキー シーケンスを選択 します。
  - b. [Maximum Number of Slots] (最大スロット数) ブレード シャーシで使 用できるデフォルトの最大スロット数は、自動的に入力されます。
  - c. [Administrative Module Primary IP Address/Host Name] (管理モジュールのプライマリ IP アドレス/ホスト名) 適用されません。



- d. [Port Number] (ポート番号) ブレード シャーシのデフォルトのポート番号は 22 です。 適用されません。
- e. [User Name] (ユーザ名) 適用されません。
- f. [Password] (パスワード) 適用されません。
- 2. 必要に応じてブレード シャーシ名を変更します。
- ブレードがインストールされる各スロットの横の [Installed] (インストール済み) チ ェックボックスをオンにして、ブレード シャーシにインストールされているブレードを指 定します。 Alternatively, use the Select All checkbox. 必要な場合は、ブ レード サーバ名を変更します。
- ページの [Blade Chassis Managed Links] (ブレード シャーシ管理リンク) セクションで、ブレード シャーシ Web ブラウザ インタフェースを使用できる場合 にそのインタフェースへの接続を設定できます。 [Blade Chassis Managed Links] (ブレード シャーシ管理リンク) アイコン
   ▶ Blade Chassis Managed Links をクリックして、ページのセクションを展開 します。

最初の URL リンクは、通常、ブレード シャーシ管理モジュール GUI への接続に使用されます。

注: ページ内のこのセクションに入力した URL リンクへのアクセスは、ブレード シャーシ ポート権限によって制御されます。

- a. [Active] (アクティブ) 設定されたリンクをアクティブにするには、[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにします。 リンクを非アクティブにしておくに は、チェックボックスをオフのままにします。 [Active] (アクティブ) チェックボッ クスをオンにしていない場合でも、リンク フィールドへの情報の入力と保存は できます。 [Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにしている場合は、 URL フィールドは必須です。 ユーザ名、パスワード、ユーザ名フィールド およびパスワードフィールドは、シングル サインオンを使用するかどうかに応じ て、オプションになります。
- b. [URL] (URL) インタフェースへの URL を入力します。 Dell PowerEdge 1855/1955 のサンプル設定の詳細は、「 ブレード シャーシ のサンプル URL フォーマット 『p. 184』」を参照してください。
- c. [Username] (ユーザ名) インタフェースへのアクセスに使用されるユーザ 名を入力します。
- d. [Password] (パスワード) インタフェースへのアクセスに使用されるパスワ ードを入力します。

注: DRAC、ILO、および RSA Web アプリケーションの場合は、ユーザ名と パスワードのフィールドを空白のまましないと、接続が失敗します。



- e. [Username Field] (ユーザ名 フィールド) および [Password Field] (パ スワード フィールド) は、いずれもオプションで、ユーザ名とパスワードの入力 に関連付けられることが想定されたラベルが含まれています。 Web アプリ ケーションのログイン画面で使用されるユーザ名フィールドおよびパスワード フィールドのフィールド名を入力する必要があるのはこれらのフィールドです。 ログイン画面の HTML ソースを表示して、フィールド ラベルではなく、フィ ールドの名前を探すことができます。 Web ブラウザ インタフェースの追加 に関するヒントは、「Web ブラウザ インタフェースの追加に関するヒント 『p. 173』」を参照してください。
- 5. USB プロファイルは Dell シャーシには適用されません。
- 6. [OK] をクリックして設定を保存します。

#### IBM® ブレード シャーシの設定

ブレード シャーシを設定する際の重要な情報および追加情報については、「*サポートされているプレード シャーシ モデル* 『p. 178』」、および「*プレード シャーシの必須 あよび推奨設定* 『p. 181』」を参照してください。

- ブレード シャーシを Dominion KX II に接続します。詳細は、「*手順 1:* Dominion KX IIの接続『p. 26の"ステップ 3: 装置の接続"参照 』」を参照してください。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Port Settings] (ポート設定) をクリッ りし、[Port Settings] (ポート設定) ページを開きます。
- [Port Settings] (ポート設定) ページで、設定するブレード シャーシの名前をク リックします。 [Port] (ポート) ページが開きます。
- [Blade Chassis] (ブレード シャーシ) ラジオ ボタンを選択します。ページに、 ブレード シャーシの設定に必要なフィールドが表示されます。
- 5. [Blade Server Chassis Model] (ブレード サーバ シャーシ モデル) ドロップ ダウン リストから IBM ブレード シャーシ モデルを選択します。

#### IBM BladeCenter H および E を設定するには、以下の手順に従います。

- IBM BladeCenter H または E を選択した場合は、自動検出を使用できます。ブレード シャーシを適切に設定します。自動検出できるブレード シャーシを設定する前に、指定されたポート番号で SSH 接続を有効に設定する必要があります(「[Device Services] (デバイス サービス)『p. 139』」を参照してください)。また、対応する認証証明書を持つユーザ アカウントを、ブレードシャーシであらかじめ作成しておく必要があります。
  - a. [Switch Hot Key Sequence] (切り替えホットキー シーケンス) 定義済 みです。
  - b. [Maximum Number of Slots] (最大スロット数) ブレード シャーシで使用できるデフォルトの最大スロット数は、自動的に入力されます。



- c. [Administrative Module Primary IP Address/Host Name] (管理モジュールのプライマリ IP アドレス/ホスト名) ブレード シャーシのプライマリ IP アドレスを入力します。 自動検出モードでは必須です。
- d. [Port Number] (ポート番号) ブレード シャーシのデフォルトのポート番号は 22 です。必要に応じて、ポート番号を変更します。 自動検出モー ドでは必須です。
- e. [Username] (ユーザ名) ブレード シャーシへのアクセスに使用されるユー ザ名を入力します。 自動検出モードでは必須です。
- f. [Password] (パスワード) ブレード シャーシへのアクセスに使用されるパ スワードを入力します。自動検出モードでは必須です。
- Dominion KX II でシャーシ ブレードを自動検出する場合は、[Blade Auto-Discovery] (ブレードの自動検出) チェックボックスをオンにし、[Discover Blades on Chassis Now] (ブレード シャーシを今すぐ検出) ボタンをクリックし ます。ブレードが検出されると、それがページに表示されます。
- 必要に応じてブレード シャーシ名を変更します。シャーシに既に名前が付けられている場合は、その情報がこのフィールドに自動的に表示されます。まだ名前が付いていない場合は、Dominion KX II によってシャーシに名前が割り当てられます。Dominion KX II では、ブレード シャーシにデフォルトで「Blade\_Chassis\_Port#」という名前が付けられます。
- 手動モードで操作する場合は、ブレードがインストールされる各スロットの横の [Installed] (インストール済み) チェックボックスをオンにして、ブレード シャーシに インストールされているブレードを指定します。または、[Select All] (すべて選 択) チェックボックスをオンにします。必要な場合は、ブレード サーバ名を変更 します。

自動検出モードで操作する場合は、[Installed] (インストール済み) チェックボッ クスに、検出中にブレードを含んでいたスロットが表示されます。

 ページの [Blade Chassis Managed Links] (ブレード シャーシ管理リンク) セクションで、ブレード シャーシ Web ブラウザ インタフェースを使用できる場合 にそのインタフェースへの接続を設定できます。 [Blade Chassis Managed Links] (ブレード シャーシ管理リンク) アイコン

▶ Blade Chassis Managed Links をクリックして、ページのセクションを展開 します。

最初の URL リンクは、通常、ブレード シャーシ管理モジュール GUI への接続に使用されます。

注: ページ内のこのセクションに入力した URL リンクへのアクセスは、ブレード シャーシ ポート権限によって制御されます。



- a. [Active] (アクティブ) 設定されたリンクをアクティブにするには、[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにします。 リンクを非アクティブにしておくに は、チェックボックスをオフのままにします。 [Active] (アクティブ) チェックボッ クスをオンにしていない場合でも、リンク フィールドへの情報の入力と保存は できます。 [Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにしている場合は、 URL フィールドは必須です。 ユーザ名、パスワード、ユーザ名フィールド およびパスワードフィールドは、シングル サインオンを使用するかどうかに応じ て、オプションになります。
- b. [URL] (URL) インタフェースへの URL を入力します。 IBM
  BladeCenter のサンプル設定の詳細は、「プレード シャーシのサンプル
  URL フォーマット 『p. 184』」を参照してください。
- c. [Username] (ユーザ名) インタフェースへのアクセスに使用されるユーザ 名を入力します。
- d. [Password] (パスワード) インタフェースへのアクセスに使用されるパスワ ードを入力します。

注: DRAC、ILO、および RSA Web アプリケーションの場合は、ユーザ名と パスワードのフィールドを空白のまましないと、接続が失敗します。

- e. [Username Field] (ユーザ名 フィールド) および [Password Field] (パ スワード フィールド) は、いずれもオプションで、ユーザ名とパスワードの入力 に関連付けられることが想定されたラベルが含まれています。 Web アプリ ケーションのログイン画面で使用されるユーザ名フィールドおよびパスワード フィールドのフィールド名を入力する必要があるのはこれらのフィールドです。 ログイン画面の HTML ソースを表示して、フィールド ラベルではなく、フィ ールドの名前を探すことができます。 Web ブラウザ インタフェースの追加 に関するヒントは、「Web ブラウザ インタフェースの追加に関するヒント 『p. 173』」を参照してください。
- 適用できる場合は、ブレード シャーシの USB プロファイルを定義するか、既存の USB プロファイルを選択します。 [Select USB Profiles for Port] (ポート)
  - の USB プロファイルを選択) アイコン と Select USB Profiles for Port また は [Apply Select Profiles to Other Ports] (選択したプロファイルを他のポー トに適用) アイコン と Apply Selected Profiles to Other Ports をクリックし て、ページ内のこのセクションを展開します。「USB プロファイルの設定 ([Port] (ポート) ページ) 『p. 185』」を参照してください。
- 7. [OK] をクリックして設定を保存します。
- IBM BladeCenter (その他)を設定するには、以下の手順に従います。
- [IBM BladeCenter (Other)] (IBM BladeCenter (Other) を選択した場合 は、自動検出は使用できません。ブレード シャーシを適切に設定します。


- a. [Switch Hot Key Sequence] (切り替えホットキー シーケンス) KVM からブレード サーバへの切り替えに使用されるホットキー シーケンスを選択 します。
- b. [Administrative Module Primary IP Address/Host Name] (管理モジュールのプライマリ IP アドレス/ホスト名) ブレード シャーシのプライマリ IP アドレスを入力します。適用されません。
- c. [Maximum Number of Slots] (最大スロット数) ブレード シャーシで使 用できるデフォルトの最大スロット数を入力します。
- d. [Port Number] (ポート番号) ブレード シャーシのデフォルトのポート番号は 22 です。 適用されません。
- e. [User Name] (ユーザ名) 適用されません。
- f. [Password] (パスワード) 適用されません。
- 2. 必要に応じてブレード シャーシ名を変更します。
- ブレードがインストールされる各スロットの横の [Installed] (インストール済み) チェックボックスをオンにして、ブレード シャーシにインストールされているブレードを 指定します。 または、[Select All] (すべて選択) チェックボックスをオンにします。 必要な場合は、ブレード サーバ名を変更します。まだ名前が付いていない場 合は、Dominion KX II によってブレード サーバに名前が割り当てられます。 ブレード サーバにはデフォルトで「# Blade\_Chassis\_Port#\_Slot#」という名前 が付けられます。
- ページの [Blade Chassis Managed Links] (ブレード シャーシ管理リンク) セクションで、ブレード シャーシ Web ブラウザ インタフェースを使用できる場合 にそのインタフェースへの接続を設定できます。 [Blade Chassis Managed Links] (ブレード シャーシ管理リンク) アイコン

▶ Blade Chassis Managed Links をクリックして、ページのセクションを展開 します。

最初の URL リンクは、通常、ブレード シャーシ管理モジュール GUI への接続に使用されます。

注: ページ内のこのセクションに入力した URL リンクへのアクセスは、ブレード シャーシ ポート権限によって制御されます。

 a. [Active] (アクティブ) - 設定されたリンクをアクティブにするには、[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにします。 リンクを非アクティブにしておくに は、チェックボックスをオフのままにします。 [Active] (アクティブ) チェックボッ クスをオンにしていない場合でも、リンク フィールドへの情報の入力と保存は できます。 [Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにしている場合は、 URL フィールドは必須です。 ユーザ名、パスワード、ユーザ名フィールド およびパスワードフィールドは、シングル サインオンを使用するかどうかに応じ て、オプションになります。



- b. [URL] (URL) インタフェースへの URL を入力します。 IBM
   BladeCenter のサンプル設定の詳細は、「プレード シャーシのサンプル
   URL フォーマット 『p. 184』」を参照してください。
- c. [Username] (ユーザ名) インタフェースへのアクセスに使用されるユーザ 名を入力します。
- d. [Password] (パスワード) インタフェースへのアクセスに使用されるパスワ ードを入力します。

注: DRAC、ILO、および RSA Web アプリケーションの場合は、ユーザ名と パスワードのフィールドを空白のまましないと、接続が失敗します。

- e. [Username Field] (ユーザ名 フィールド) および [Password Field] (パ スワード フィールド) は、いずれもオプションで、ユーザ名とパスワードの入力 に関連付けられることが想定されたラベルが含まれています。 Web アプリ ケーションのログイン画面で使用されるユーザ名フィールドおよびパスワード フィールドのフィールド名を入力する必要があるのはこれらのフィールドです。 ログイン画面の HTML ソースを表示して、フィールド ラベルではなく、フィ ールドの名前を探すことができます。 Web ブラウザ インタフェースの追加 に関するヒントは、「Web プラウザ インタフェースの追加に関するヒント 『p. 173』」を参照してください。
- 5. USB プロファイルは [IBM (Other)] (IBM (その他)) 設定では使用されません。
- 6. [OK] をクリックして設定を保存します。

#### Web ブラウザ インタフェースの追加に関するヒント

Web ブラウザ インタフェースを追加して、埋め込み Web サーバを持つデバイスとの 接続を作成できます。 Web ブラウザ インタフェースは、RSA、DRAC、または ILO Processor カードに関連付けられている Web アプリケーションなどの任意の Web アプリケーションへの接続にも使用できます。

DNS を設定しておく必要があります。そうしないと、URL が解決されません。 IP アドレスの場合は DNS を設定する必要はありません。

#### ▶ Web ブラウザ インタフェースを追加するには、以下の手順に従います。

- Web ブラウザ インタフェースのデフォルト名が提供されます。必要な場合は、 [Name] (名前) フィールドで名前を変更します。
- [URL] (URL) フィールドに Web アプリケーションの URL またはドメイン名を 入力します。 Web アプリケーションでユーザ名とパスワードの読み取りが行われ る URL を入力する必要があります。

正しいフォーマットについては、以下の例を参照してください。

http(s)://192.168.1.1/login.asp



- http(s)://www.example.com/cgi/login
- http(s)://example.com/home.html
- 3. このインタフェースへのアクセスが許可されるユーザ名とパスワードを入力します。 オプションです。
- ユーザ名とパスワードが入力された場合、[Username Field] (ユーザ名フィール ド) と [Password Field] (パスワード フィールド) に、Web アプリケーションの ログイン画面で使用されるユーザ名フィールドとパスワード フィールドのフィールド 名を入力します。ログイン画面の HTML ソースを表示して、フィールド ラベル ではなく、フィールドの名前を探す必要があります。

#### フィールド名検索に関するヒント:

- Web アプリケーションのログイン ページの HTML ソース コードで、 Username や Password などのフィールドのラベルを検索します。
- フィールド ラベルが見つかったら、隣接するコードで "name="user""のような タグを探します。引用符内の語がフィールド名です。



## HP® ブレード シャーシ設定 (ポート グループ管理)

Dominion KX II は、特定のタイプのブレードに接続されるポートをまとめてブレード シャーシを示すグループとしてサポートします。特に、HP BladeServer ブレードおよ び Dell PowerEdge 1855/1955 ブレード (Dell PowerEdge 1855/1955 ブレ ードが個別の各ブレードから Dominion KX II 上のポートに接続されている場合) がこれにあたります。

シャーシは、[Port Group Name] (ポート グループ名) によって特定され、グループ は、[Port Group Management] (ポート グループ管理) ページの [Blade Server Group] (ブレード サーバ グループ) として指定されます。 ポート グループには、標 準 KVM ポートとして設定されたポートのみで構成され、ブレード シャーシとして設 定されたポートは含まれません。 ポートは、1 つのグループだけに属することができま す。

ブレード シャーシで組み付けの KVM モジュールに接続されているポートは、ブレー ド シャーシ サブタイプとして設定されます。 これらのポートは、ポート グループに含 めることができます。

Dominion KX II ポートがブレード シャーシ内で組み付けの KVM モジュールに接続され、個別のブレードに接続されていない場合、ポートはブレード シャーシ サブタ イプとして設定されます。 これらのポートはポート グループに含めることはできないの で、[Select Port for Group] (グループ化するポートの選択)の [Available] (利用 可能) リストには表示されません。

ポート グループに含まれている標準 KVM ポートを、後でブレード シャーシ サブタ イプとして用途変更する場合は、まず、ポート グループからそれを削除する必要があ ります。

ポート グループは、[Backup and Restore] (バックアップとリストア) オプションを使用してリストアされます (「**バックアップと復元** 『p. 209』」を参照してください)。

	Port Group Name	
	► HPServer1	
	► tgroup	
dd Dele	ete Select All Deselect All	



- ▶ ポート グループを追加するには、以下の手順に従います。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Port Group Management] (ポート グループ管理)をクリックし、[Port Group Management] (ポート グループ管 理)ページを開きます。
- [Port Group] (ポート グループ) ページの [Add] (追加) ボタンをクリックします。
- ポート グループ名を入力します。ポート グループでは、最大 32 文字で、大 文字と小文字は区別されません。
- [Blade Server Group] (ブレード サーバ グループ) チェックボックスをオンにします。

これらのポートをブレード シャーシ (たとえば、HP c3000 または Dell PowerEdge 1855) 内のブレードに接続するように指定する場合は、[Blade Server Group] (ブレード サーバ グループ) チェックボックスをオンにします。

注: 各ブレードは Dominion KX II のポートに独自に接続されていますが、こ れは、HP ブレードをシャーシ ベースで整理する CC-SG ユーザにとっては特 に重要です。

 [Select Ports for Group] (グループ化するポートの選択) セクションの [Available] (利用可能) ボックスで、ポートをクリックします。 [Add] (追加) を クリックして、ポートをグループに追加します。 ポートは [Selected] (選択) ボッ クスに移動されます。



6. [OK] をクリックして、ポート グループを追加します。

Port Group					
Port Group Name					
HPServer1			<b>V</b> E	Blade Server Group	
Select Ports for Group					
Available:			Selected:		
	<u>~</u>		Dominion_	_KX2_Port8	^
		Add			
	1	Aud>			
		< Remove			
	~				$\sim$

OK Cancel

- ▶ ポート グループ情報を編集するには、以下の手順に従います。
- [Port Group Management] (ポート グループ管理) ページで、編集するポート グループのリンクをクリックします。 [Port Group] (ポート グループ) ページが 開きます。
- 2. 必要に応じて情報を編集します。
- 3. [OK] をクリックして変更を保存します。

### ▶ ポート グループを削除するには、以下の手順に従います。

- 1. [Port Group Management] (ポート グループ管理) ページをクリックし、削除 するポート グループのチェックボックスをオンにします。
- 2. [Delete] (削除) ボタンをクリックします。
- 3. 警告メッセージで [OK] をクリックします。



## サポートされているブレート シャーシ モテル

この表には、Dominion KX II でサポートされているブレード シャーシ モデルと、それ らを Dominion KX II アプリケーションで設定する際にシャーシごとに選択する必要 がある対応プロファイルが含まれています。 これらのモデルのリストは、[Port Configuration] (ポート設定) ページの [Blade Server Chassis Model] (ブレー ド サーバ シャーシ モデル) ドロップダウン リストで選択できます。これは、[Blade Chassis] (ブレード シャーシ) ラジオ ボタンを選択している場合に表示されます。 各ブレード シャーシ モデルの設定方法についての詳細は、このセクションのヘルプ内 の対応するトピックを参照してください。

ブレード シャーシ モデル	Dominion KX II プロファイル
Dell PowerEdge 1855/1955	Dell PowerEdge 1855/1955
Dell PowerEdge M1000e	Dell PowerEdge M1000e
IBM BladeCenter S	IBM (Other)
IBM BladeCenter H	IBM BladeCenter H
IBM BladeCenter T	IBM (Other)
IBM BladeCenter HT	IBM (Other)
IBM BladeCenter E	IBM BladeCenter E
ΗP	ポート グループ管理機能を使用して設定しま す。「HP <sup>■</sup> ブレード シャーシ設定 (ポート グ ループ管理)『p. 175の"HPR ブレード シャー シ設定 (ポート グループ管理)"参照 』」を参 照してください。

## ブレード シャーシでサポートされている CIM

以下の CIM は、Dominion KX II を通じて管理されるブレード シャーシでサポートされています。

- DCIM-PS2
- DCIM-USBG2
- D2CIM-VUSB
- D2CIM-DVUSB

以下の表に、Dominion KX II がサポートする各ブレード シャーシ モデルでサポートされている CIM を示します。



## 7: デバイス管理

ブレード シャーシ	接続方法	推奨 CIM
Generic (汎用)	Generic (汎用) として設定されたブレード シャーシへ の接続時に D2CIM-VUSB または D2CIM-DVUSB が使用されている場合は、[Port Configuration] (ポート設定) ページおよびクライアン トの [USB Profile] (USB プロファイル) メニューから USB プロファイルを選択できます。ただし、汎用ブレ ード シャーシでは仮想メディアがサポートされないの で、クライアントの [Virtual Media] メニューは無効に なります。	<ul><li>DCIM-PS2</li><li>DCIM-USBG2</li></ul>
Dell PowerEdge 1855	以下の 3 つの KVM モジュールのいずれかを含みま す。 • アナログ KVM Ethernet スイッチ モジュール (標準) • デジタル アクセス KVM スイッチ モジュール (オ プション) • KVM スイッチ モジュール (2005 年 4 月以前 に販売されたシステムでの標準) これらのスイッチは、2 つの PS/2 および 1 つのビデ オ デバイスをシステムに接続できるカスタム コネクタを 提供します。 ソース: Dell Poweredge 1855 システム ユーザー ズ ガイド	• DCIM-PS2
Dell PowerEdge 1955	<ul> <li>2 種類の KVM モジュールのいずれかがインストール される可能性があります。</li> <li>アナログ KVM スイッチ モジュール</li> <li>デジタル アクセス KVM スイッチ モジュール</li> <li>ゲジタル アクセス KVM スイッチ モジュール</li> <li>どちらのモジュールでも、PS/2 互換のキーボード、マウ ス、およびビデオ モニタをシステムに接続できます (シ ステムに付属のカスタム ケーブルを使用)。</li> <li>ソース: Dell Poweredge 1955 ハードウェア オー ナーズ マニュアル</li> </ul>	• DCIM-PS2



## 7: デバイス管理

ブレード シャーシ	接続方法	推奨 CIM	
Dell PowerEdge M1000e	KVM スイッチ モジュール (iKVM) はこのシャーシに 組み付けられています。	DCIM-USBC	62
	iKVM は、次の周辺機器に対応しています。		
	• USB キーボード、USB ポインティング デバイス		
	<ul> <li>VGA モニタ (DDC サポート)</li> </ul>		
	ソース: Dell Chassis Management Controller, Firmware Version 1.0, User Guide		
HP BladeSystem	HP c-Class Blade SUV ケーブルを使用すると、ビデ	DCIM-USBG	62
0000	オと USB テハイスをサーハ フレートに直接接続する ことによって、ブレード シャーシの管理、設定、および 診断プロシージャを実行できます。	<ul> <li>D2CIM-VUS</li> <li>D2CIM-DVU (KVM オプシ)</li> </ul>	B SB ョンを使
	ソース: HP ProLiant BL480c Server Blade Maintenance and Service Guide	用しない標準ポート操作の対	KVM 昜合)
HP BladeSystem	HP c-Class Blade SUV ケーブルを使用すると、ビデ	DCIM-USBG	62
01000	ると USB デバイスをリーバ フレードに 直接接続9 る ことによって、サーバ ブレードの管理、設定、および診	D2CIM-VUS     D2CIM DVU	B B
	断プロシージャを実行できます。	<ul> <li>D2CINI-DV0&lt;</li> <li>準 KVM ポー</li> </ul>	56 (標 -ト操作)
	ソース: HP ProLiant BL480c Server Blade Maintenance and Service Guide		
IBM BladeCenter S	Advanced Management Module (AMM) は、す べてのブレード シャーシのシステム管理機能およびキ ーボード/ビデオ/マウス (KVM) マルチプレキシングを提 供します。	DCIM-USBG	32
	AMM 接続は、 シリアル ポート、ビデオ接続、リモー ト管理ポート (Ethernet)、およびキーボードとマウス用 の 2 つの USB v2.0 ポートが含まれます。		
	ソース: Implementing the IBM BladeCenter S Chassis		
IBM BladeCenter H	BladeCenter H シャーシには、アドバンスト マネージ メント モジュールが 1 つ標準で付属しています。	<ul><li>DCIM-USBG</li><li>D2CIM-DVU</li></ul>	SB
	ソース: IBM BladeCenter Products and Technology		



#### 7: デバイス管理

ブレード シャーシ	接続方法	推奨 CIM
IBM BladeCenter E	現在のモデル BladeCenter E シャーシ (8677-3Rx) には、アドバンスト マネージメント モジュ ールが 1 つ標準で属しています。	<ul><li>DCIM-USBG2</li><li>D2CIM-DVUSB</li></ul>
	ソース: IBM BladeCenter Products and Technology	
IBM BladeCenter T	BladeCenter T シャーシには、アドバンスト マネージ メント モジュールが 1 つ標準で付属しています。 標準の BladeCenter シャーシとは異なり、 BladeCenter T シャーシの KVM モジュールおよび マネージメント モジュールは、個別のコンポーネントに なります。マネージメント モジュールの前面にあるの は、ステータスを表示する LED だけです。Ethernet および KVM 接続はすべて背面の LAN および KVM モジュールで行います。 KVM モジュールは、ホット スワップ モジュールです。 シャーシの背面にキーボードとマウス用の 2 つの PS/2 コネクタ、システム ステータス パネル、および HD-15 ビデオ コネクタがあります。	• DCIM-PS2
	ソース: IBM BladeCenter Products and Technology	
IBM BladeCenter HT	BladeCenter HT シャーシには、アドバンスト マネー ジメント モジュールが 1 つ標準で付属しています。 このモジュールは、シャーシを管理する機能とともに、ロ ーカル KVM 機能も提供します。	DCIM-USBG2
	ソース: IBM BladeCenter Products and Technology	

## ブレード シャーシの必須および推奨設定

この表は、Dominion KX II で機能させるためのブレード シャーシの設定に適用される制限についての情報を示します。以下のすべての情報に従うことをお勧めします。



ブレード シャーシ	必須/推奨アクション
Dell PowerEdge M1000e	<ul> <li>iKVM GUI スクリーンセーバを無効にします。 無効にしていない場合 は、認可のダイアログが表示され、iKVM が正しく機能しません。</li> </ul>
	<ul> <li>Dell のシャーシをラリタン CIM に接続する前に iKVM GUI メニューを 終了します。終了していない場合、iKVM が正しく動作しない場合があ ります。</li> </ul>
	<ul> <li>iKVM GUIの [メイン] メニューを設定して、名前ではなくスロットでター ゲット ブレードを選択します。この操作を行わない場合、iKVM は正しく 機能しない可能性があります。</li> </ul>
	<ul> <li>iKVM GUI の [設定] メニューの [スキャン] でスキャン操作にスロットを 指定しないでください。指定した場合は iKVM が正しく機能しません。</li> </ul>
	<ul> <li>iKVM GUI の [設定] メニューの [ブロードキャスト] でキーボード/マウス のブロードキャスト操作にスロットを 指定しないでください。 指定した場合は iKVM が正しく機能しません。</li> </ul>
	<ul> <li>iKVM GUI を呼び出す 1 つのキー シーケンスを指定します。このキー シーケンスを、Dominion KX II でポートを設定するときににも指定する 必要があります。そうしないと、クライアントのキー入力の結果として、 iKVM 操作が無差別に発生する可能性があります。</li> </ul>
	<ul> <li>Dell の CMC GUI を通じて iKVM を設定する際に、[フロント パネル USB/ビデオ 有効] がオスになっていることを確認します。オンになってい る場合、シャーシの前面パネルでの接続が、背面の Dominion KX II 接続よりも優先されるので、適切な iKVM 処理が行われなくなります。 "User has been disabled as front panel is currently active" (フロ ント パネルが現在アクティブになっているのでユーザは無効です) というメッ セージが表示されます。</li> </ul>
	<ul> <li>Dell の CMC GUI を通じて iKVM を設定する際に、[iKVM から CMC CLI へのアクセスを許可する] がオオになっていることを確認しま す。</li> </ul>
	<ul> <li>ブレード シャーシに接続するときに iKVM GUI が表示されないようにするには、[画面遅延時間] を 8 秒に設定します。</li> </ul>
	<ul> <li>iKVM GUI のフラグ設定中に、[時間指定] および [表示] を選択する ことをお勧めします。これで、目的のブレード スロットとの接続を視覚的 に確認できます。</li> </ul>



ブレード シャーシ	須/推奨アクション
Dell PowerEdge 1855/1955	iKVM GUI スクリーンセーバを無効にします。 これを行わない場合は [Authorize] (認可) ダイアログ ボックスが表示され、iKVM が正しく機 能しなくなります。
	Dell のシャーシをラリタン CIM に接続する前に iKVM GUI メニューを 終了します。終了していない場合、iKVM が正しく動作しない場合があ ります。
	iKVM GUI の [メイン] メニューを設定して、名前ではなくスロットでター ゲット ブレードを選択します。この操作を行わない場合、iKVM は正しく 機能しない可能性があります。
	iKVM GUI の [設定] メニューの [スキャン] でスキャン操作にスロットを <i>指定しないでください</i> 。指定した場合は iKVM が正しく機能しません。
	ブレード シャーシに接続するときに iKVM GUI が表示されないようにす るには、[画面遅延時間] を 8 秒に設定します。
	iKVM GUI のフラグ設定中に、[時間指定] および [表示] を選択する ことをお勧めします。 これで、目的のブレード スロットとの接続を視覚的 に確認できます。
IBM/Dell 自動検 出	ブレード レベルのアクセス許可を適用する場合は、自動検出を有効にす ることをお勧めします。 有効にしない場合は、ブレード シャーシ全体での アクセス許可を設定します。
	ブレード シャーシ管理モジュールで、Secure Shell (SSH) を有効にす る必要があります。
	ブレード シャーシ管理で設定された SSH ポートと、[Port Configuration] (ポート設定) ページで入力されるポート番号が一致す る必要があります。
IBM KX2 仮想メデ ィア	Raritan Dominion KX II 仮想メディアは、IBM BladeCenter Models H および E でのみサポートされます。これは、D2CIM-DVUSB を使用 する必要があります。 グレーの D2CIM-DVUSB 低速 USB コネクタ は、本体背面の Administrative Management Module (AMM) に 取り付けられます。 黒の D2CIM-DVUSB 高速 USB コネクタは、本 体前面のメディア トレイ (MT) に取り付けられます。 これには、USB 延長ケーブルが必要です。



# ブレード シャーシのサンプル URL フォーマット

1

この表には、Dominion KX II で設定されるブレード シャーシのサンプル URL フォ ーマットが示されます。

ブレード シャーシ	サンプル URL フォーマット
Dell M1000e	• URL: https://192.168.60.44/cgi-bin/webcgi/login
	• ユーザ名: root
	• ユーザ名フィールド: user
	<ul> <li>パスワード: calvin</li> </ul>
	• パスワード フィールド: password
Dell 1855	• URL: https://192.168.60.33/Forms/f_login
	• ユーザ名: root
	<ul> <li>ユーザ名フィールド: TEXT_USER_NAME</li> </ul>
	<ul> <li>パスワード: calvin</li> </ul>
	• パスワード フィールド: TEXT_PASSWORD
IBM BladeCenter E または H	http://192.168.84.217/private/welcome.ssi



## USB プロファイルの設定 ([Port] (ポート) ページ)

ポートで使用できる USB プロファイルを、[Port] (ポート) ページの [Select USB Profiles for Port] (ポートの USB プロファイルの選択) セクションで選択します。 [Port] (ポート) ページで選択された USB プロファイルが、ポートから KVM ターゲット サーバに接続するときに VKC でユーザが使用できるプロファイルになります。 デフォルトは、Windows 2000/XP/Vista プロファイルです。 USB プロファイルについての詳細は、「**USB プロファイルの設定** [p. 96]」を参照してください。

注: ポートの USB プロファイルを設定するには、VM-CIM を、Dominion KX II の現在のファームウェア バージョンと互換性のあるファームウェアと接続しておく必要が あります。「CIM をアップグレードする『p. 213』」を参照してください。

ポートへの割り当てに使用できるプロファイルは、左側の [Available] (使用可能) リ ストに表示されます。ポートで使用するように選択したプロファイルは、右側の [Selected] (選択) リストに表示されます。 いずれかのリストでプロファイルを選択し た場合、プロファイルとその使用についての説明が [Profile Description] (プロファイ ルの説明) フィールドに表示されます。

KVM ポートで使用可能にする一連のプロファイルを選択する他に、ポートの優先プ ロファイルを指定して、あるポートに対する設定を他の KVM ポートに適用することも できます。

#### ▶ [Port] (ポート) ページを開くには、以下の手順に従います。

- [Device Settings] (デバイス設定)の [Port Configuration] (ポート設定)を 選択します。 [Port Configuration] (ポート設定) ページが開きます。
- 2. 編集する KVM ポートの [Port Name] (ポート名) をクリックします。

[Port] (ポート) ページが開きます。

- ▶ KVM ポートの USB ポートを選択するには、以下の手順に従います。
- [Select USB Profiles for Port] (ポートの USB プロファイルの選択) セクションで、1 つ以上の USB プロファイルを [Available] (使用可能) リストから選択します。
  - Shift キーを押しながらクリックしてドラッグすると、複数の隣接するプロファイルを選択できます。



Ctrl キーを押しながらクリックすると、隣接していない複数のプロファイルを選択できます。

Select USB Profiles for Port	
USB Profiles	
	Preferred Profile for Port:
	Generic 🔽
Available:	Selected:
BIOS Dell PowerEdge 1750 BIOS IBM Thinkcentre Lenovo	Generic
HP Proliant DL360/DL380 G4 (Window: Add >	
Mac OS-X (10.4.9 and later) <a>Remove</a>	e
RUBY Industrial Mainboard (AwardBIO	4
Supermicro Mainboard (Phoenix Awar	
Profile Description:	
Select any profile above to show its description.	~
	1
	~
<	

2. [Add] (追加) をクリックします。

選択したプロファイルが [Selected] (選択) リストに表示されます。 これらは、 ポートに接続された KVM ターゲット サーバで使用できるプロファイルです。

- ▶ 優先 USB プロファイルを指定するには、以下の手順に従います。
- ポートで使用可能なプロファイルを選択した後、[Port] (ポート) メニューの [Preferred Profile] (優先プロファイル) から 1 つを選択します。 デフォルトは [Generic] (汎用) です。

選択したプロファイルは、KVM ターゲット サーバに接続するときに使用されます。 必要に応じて、他の USB プロファイルに変更できます。



- ▶ 選択した USB プロファイルを削除するには、以下の手順に従います。
- [Select USB Profiles for Port] (ポートの USB プロファイルの選択) セクションで、1 つ以上の USB プロファイルを [Selected] (選択) リストから選択します。
  - Shift キーを押しながらクリックしてドラッグすると、複数の隣接するプロファイルを選択できます。
  - Ctrl キーを押しながらクリックすると、隣接していない複数のプロファイルを選択できます。
- 2. [Remove] (削除) をクリックします。

選択したプロファイルが [Available] (使用可能) リストに表示されます。 これら のプロファイルは、このポートに接続された KVM ターゲット サーバでは使用でき なくなります。

- ▶ プロファイルの選択を複数のポートに適用するには、以下の手順に従います。
- [Apply Selected Profiles to Other Ports] (選択したプロファイルを他のポートに適用) セクションで、選択した USB プロファイルの現在の設定を適用する 各 KVM ポートの [Apply] (適用) チェックボックスをオンにします。

▼ Ар	▼ Apply Selected Profiles to Other Ports											
Apply	Port Number	Port Name	Selected USB Profiles									
	3	vm-cim #1	Generic, Troubleshooting 1, Troubleshooting 2, Troubleshooting 3									
	5	vm-cim #2	CIM firmware upgrade required!									
V	15	charles_cim - vm-cim #3	Generic, Troubleshooting 1, Troubleshooting 2, Troubleshooting 3									
OK	Select All	Deselect All	Cancel									

- すべての KVM ポートを選択するには、[Select All] (すべて選択) をクリックします。
- すべての KVM ポートの選択を解除するには、[Deselect All] (すべての選 択を解除) をクリックします。



# 電源タップのコンセントの制御

#### この章の内容

栶	腰														 	188
コ	ンセ	ン	トの	電波	原才	ン/オ	っつの	切り	替える	または	電源再	再投入	を行う	j	 	189

## 概要

8

Dominion KX II から PX 電源タップおよび Baytech 電源タップのコンセントを制 御するには、両者を D2CIM-PWR で接続します。

注: PX のセットアップ手順については、『Dominion PX ユーザ ガイド』を参照してください。

PX 電源タップまたは Baytech 電源タップをセットアップして Dominion KX II に 接続すると、その電源タップおよび各コンセントを Dominion KX II のユーザ インタ フェース (UI) 画面の [Powerstrip] (電源タップ) ページで制御できるようになります。 このページを開くには、UI の上端にある [Power] (電源) メニューをクリックします。

[Powerstrip] (電源タップ) ページでは、各コンセントの電源のオン/オフを切り替える こと、および、各コンセントの電源を再投入することができます。また、電源タップおよ び各コンセントに関する次の情報を表示できます。

- ・ 電源タップに関する情報:
  - 名前
  - モデル
  - 温度
  - 電流 (A)
  - 最大電流 (A)
  - 電圧 (V)
  - 電力 (W)
  - 電力 (VA)
- コンセントに関する情報:
  - [Name] (名前): 設定時にコンセントに割り当てた名前。
  - [State] (状態): コンセントの状態 ("on" (オン) または "off" (オフ))。
  - [Control] (制御): コンセントの電源を制御するボタン ([On] (オン)、[Off] (オフ)、および [Cycle] (電源再投入))。
  - [Association] (関連ポート): コンセントに関連付けられているポート。



[Powerstrip] (電源タップ) ページを開くと、Dominion KX II に接続されている電 源タップが [Powerstrip] (電源タップ) ボックスの一覧に表示されます。また、その ボックスに、現在選択されている電源タップに関する情報が表示されます。この時点 では、コンセントの名前、状態、および関連ポートは表示されません。コンセントの電 源を制御するボタンも表示されません。 [Refresh] (最新の情報に更新) ボタンをク リックすると、これらの情報と電源制御ボタンが表示されます。 Dominion KX II に 接続されている電源タップが 1 台もない場合は、このページの [Powerstrip Device] (電源タップ) セクションに "No powerstrips found" (電源タップが見つか りません) というメッセージが表示されます。

Powerstrin De	vice		
Powerstrip: rk- Name: Model rk-power PCR8	Power  Refres Temperature: Curren 29 °C 0 A	Amps: MaxAmps: Voltage: PowerlnWatt: PowerlnW, 0.A 118.V 3.W 0.VA	A:
lame	State	Control	Associations
Outlet 1	on	On Off Cycle	Dominion_Port9
Outlet 2	on	On Off Cycle	
Outlet 3	on	On Off Cycle	
Outlet 4	on	On Off Cycle	
Outlet 5	on	On Off Cycle	Dominion_Port2
Outlet 6	on	On Off Cycle	and the second se
Outlet 7	on	On Off Cycle	
0.444.0	00	on 1 off   Owle ]	

# コンセントの電源オン/オフの切り替えまたは電源再投入を行う

#### コンセントの電源をオンにするには

- [Power] (電源) メニューをクリックし、[Powerstrip] (電源タップ) ページを開きます。
- [Powerstrip] (電源タップ) ボックスの一覧で、コンセントの電源をオンにしたい PX 電源タップを選択します。
- 3. [Refresh] (最新の情報に更新) ボタンをクリックし、各電源制御ボタンを表示 します。



4. [On] (オン) ボタンをクリックします。



 電源オン完了ダイアログ ボックスが開くので、[OK] をクリックして閉じます。コン セントの電源がオンになり、[State] (状態)列の表示が "on" (オン) になりま す。

#### ▶ コンセントの電源をオフにするには

- 1. [Off] (オフ) ボタンをクリックします。
- 2. 電源オフ確認ダイアログ ボックスが開くので、[OK] をクリックして閉じます。



電源オフ完了ダイアログボックスが開くので、[OK]をクリックして閉じます。コンセントの電源がオフになり、[State](状態)列の表示が "off"(オフ) になります。





- ▶ コンセントの電源を再投入するには
- 1. [Cycle] (電源再投入) ボタンをクリックします。 電源再投入確認ダイアログ ボックスが開きます。

The pa	ge at https://192.168.59.173 says:	
3	Power Cycle Port testport(5). Do you want to continue?	

2. [OK] をクリックします。コンセントの電源が再投入されます。電源再投入には 数秒かかることがあります。

The pa	age at https://192.168.59.173 says:	×
<u>/</u>	Power Cycle was successfully performed on Port testpo	ort(5).

3. 電源再投入が完了すると、電源再投入完了ダイアログボックスが開きます。 [OK] をクリックしてこのダイアログボックスを閉じます。



# セキュリティ上の問題

## この章の内容

セキュリティの設定	192
ご使用のブラウザで AES 暗号化方式がサポートされているかどうかを確認す	ta201
IP アクセス制御を設定する	201
SSL 証明書	204

# セキュリティの設定

9

[Security Settings] (セキュリティ設定) ページで、ログオン制限、ユーザ ブロック、 パスワード ルール、および暗号化と共有に関する設定を行うことができます。

パブリック キーとプライベート キーの交換には Raritan SSL 証明書が使用され、 セキュリティのレベルを高めます。Raritan の Web サーバ証明書は自己署名され ています。Java アプレット証明書は、VeriSign の証明書によって署名されていま す。暗号化を行うと、情報が漏洩しないよう保護されていることを保証できます。ま たこれらの証明書によって、事業体の身元が Raritan, Inc であることが証明されま す。

#### ▶ セキュリティ設定を行うには、以下の手順に従います。

- [Security] (セキュリティ)の [Security Settings] (セキュリティ設定)を選択します。 [Security Settings] (セキュリティ設定) ページが開きます。
- 必要に応じて、[Logon Limitations] (ログオン制限) 『p. 193』の設定を 更新します。
- 必要に応じて、[Strong Passwords] (強力なパスワード) 『p. 195』の設 定を更新します。
- 必要に応じて、[User Blocking] (ユーザ ブロック) 『p. 196』の設定を更新 します。
- 5. 必要に応じて、**[Encryption & Share] (暗号化および共有)** 『p. 198』の 設定を更新します。
- 6. [OK] をクリックします。



## ▶ デフォルトに戻すには、以下の手順に従います。

• [Reset to Defaults] (デフォルトに戻す)をクリックします。

Login Limitations	User Blocking
Enable Single Login Limitation     Enable Password Aging Password Aging Interval (days)     Dog Out Idle Users     After (1-365 minutes)	<ul> <li>Disabled</li> <li>Timer Lockout</li> <li>Attempts</li> <li>3</li> <li>Lockout Time</li> <li>5</li> <li>Deactivate User-ID</li> <li>Failed Attempts</li> <li>3</li> </ul>
Strong Passwords	Encryption & Share
Enable Strong Passwords  Minimum length of strong password  3	Encryption Mode Auto
Maximum length of strong password 16	PC Share Mode Private
Enforce at least one lower case character	VM Share Mode
Enforce at least one upper case character	Local Device Reset Mode
Enforce at least one numeric character	Enable Local Factory Reset
Enforce at least one printable special character	
the second s	

# [Logon Limitations] (ログオン制限)

[Logon Limitations] (ログオン制限) セクションでは、シングル ログオン、パスワード エージング、アイドル ユーザのログオフに関する制限を指定できます。

制限	説明
[Enable Single Login Limitation] (シ ングル ログオン制限を 有効にする)	このチェック ボックスをオンにした場合、ユーザ名ごとに同時に 1 人しかログオンできません。 このチェック ボックスをオフにした場合、所定のユーザ名とパスワードの組み合わせで、複数のクライアント ワークステーションからデバイスに同時接続できます。



## 9: セキュリティ上の問題

制限	説明
[Enable password aging] (パスワード エ ージングを有効にする)	これを選択すると、[Password Aging Interval] (パスワ ード エージング間隔) で指定した日数に基づいて、すべ てのユーザに対して定期的にパスワードを変更するよう要 求します。
	[Enable Password Aging] (パスワード エージングを有 効にする) チェックボックスをオンにするとこのフィールドが 有効になるため、設定する必要があります。 パスワード の変更が要求される間隔を日数で入力します。 デフォ ルトの日数は 60 日です。
[Log Out Idle Users] (アイドル ユー ザをログオフする)、 [After (1-365 minutes)] (分後 (1 ~ 365))	[Log Out Idle Users] (アイドル ユーザをログオフする) チェック ボックスをオンにした場合、[[After (1-365 minutes)] (分後 (1 ~ 365)) ボックスに入力した時 間が経過した後にアイドル ユーザが自動ログオフされま す。キーボードまたはマウスで操作が行われない場合 は、すべての セッションおよびすべてのリソースがログオフさ れます。ただし、実行中の仮想メディア セッションはタイ ムアウトしません。
	[After (1-365 minutes)] (分後 (1 ~ 365)) ボックス に入力した時間が経過した後にアイドル ユーザが自動 ログオフされます。このボックスが有効になるのは、[Log Out Idle Users] (アイドル ユーザをログオフする) チェッ ク ボックスをオンにした場合です。このボックスに入力で きる値は 1 ~ 365 の範囲です。



## [Strong Passwords] (強力なパスワード)

[Strong Passwords] (強力なパスワード) セクションで値を指定すると、このシステムにおけるローカル認証の安全性が高まります。 強力なパスワードを使用すると、最小長と最大長、必要な文字、パスワード履歴の保持など、有効な Dominion KX II ローカル パスワードの形式を設定できます。

強力なパスワードには、アルファベットとアルファベット以外の文字(句読点または数字)をそれぞれ1 文字以上含むパスワードを指定する必要があります。また、パス ワードとユーザ名の最初の4 文字には同じ文字列を使用できません。

[Enable Strong Passwords] (強力なパスワードを有効にする) チェック ボックスを オンにした場合、強力なパスワードの規則が適用されます。 パスワードが強力なパス ワードの基準を満たしていない場合、ユーザは次回ログオンする際にパスワードを変 更するよう自動的に求められます。 [Enable Strong Passwords] (強力なパスワ ードを有効にする) チェック ボックスをオフにした場合、標準の形式になっているかどう かだけが検査されます。 [Enable Strong Passwords] (強力なパスワードを有効 にする) チェック ボックスをオンにした場合、次のフィールドが有効になるので、指定す る必要があります。

フィールド	説明
[Minimum length of strong password] (強力なパスワード の最小長)	デフォルトでは 8 文字ですが、最大 63 文 字まで拡張できます。
[Maximum length of strong password] (強力なパスワード の最大長)	デフォルトでは 16 文字ですが、最大 64 文 字まで拡張できます。
[Enforce at least one lower case character] (1 文字以 上の小文字の使用を強制する)	これを選択すると、パスワードに 1 文字以上 の小文字が必要になります。
[Enforce at least one upper case character] (1 文字以 上の大文字の使用を強制する)	これを選択すると、パスワードに 1 文字以上 の大文字が必要になります。
[Enforce at least one numeric character] (1 文字 以上の数字の使用を強制する)	これを選択すると、パスワードに 1 文字以上 の数字が必要になります。
[Enforce at least one printable special character] (1 文字以上の印刷可能な特 殊文字の使用を強制する)	これを選択すると、パスワードに 1 文字以上 の印刷可能な特殊文字が必要になります。



フィールド	説明
[Number of restricted	このボックスの値は、パスワード履歴の深さ、
passwords based on	つまり、繰り返し使用することのできない以前
history] (履歴を参照する制限	のパスワードの数を意味します。 範囲は 1
パスワードの数)	~ 12 で、デフォルトは 5 です。

# [User Blocking] (ユーザ ブロック)

[User Blocking] (ユーザ ブロック) セクションでは基準を指定し、ユーザが指定回 数ログオンに失敗するとシステムにアクセスできなくなるようにします。

次の 3 つのオプションは、相互に排他的です。

オプションです。	説明
[Disabled] (無効)	デフォルト値です。 認証に失敗した回数に関わらず、ユ ーザのアクセスはブロックされません。



オプションです。	説明
[Timer Lockout] (タ イマ ロックアウト)	ユーザが指定回数より多くログオンに失敗すると、システ ムへのアクセスが指定の時間拒否されます。これを選択 した場合は次のフィールドが有効になります。
	<ul> <li>[Attempts] (試行回数): この回数より多くログオンに 失敗すると、ユーザはロックアウトされます。 有効な 範囲は 1 ~ 10 で、デフォルトの試行回数は 3 です。</li> </ul>
	<ul> <li>[Lockout Time] (ロックアウト時間): ユーザがロック アウトされる時間です。 有効な範囲は 1 ~ 1440 分で、デフォルトでは 5 分です。</li> </ul>
	注: [Timer Lockout] (タイマ ロックアウト) で指定した 値は、Administrator 役割が割り当てられているユーザ には適用されません。
[Deactivate User-ID] (ユーザ ID を無効化)	このオプションを選択した場合は、[Failed Attempts] (試行回数) フィールドで指定した回数より多くログオンに 失敗すると、ユーザはシステムからロックアウトされます。
	<ul> <li>[Failed Attempts] (試行回数): この回数より多くロ グオンに失敗すると、そのユーザのユーザ ID が無効 になります。このボックスが有効になるのは、 [Deactivate User-ID] (ユーザ ID を無効化) オプ ションを選択した場合です。有効な範囲は 1 ~ 10 です。     </li> </ul>

指定回数より多くログオンに失敗してユーザ ID が無効になった場合、管理者はユ ーザ パスワードを変更し、[User] (ユーザ) ページの [Active] (有効化) チェックボ ックスをオンにしてユーザ アカウントを有効化する必要があります。



## [Encryption & Share] (暗号化および共有)

[Encryption & Share] (暗号化および共有) セクションでは、使用する暗号化のタ イプ、PC と VM の共有モード、Dominion KX II のリセット ボタンを押したときに 実行されるリセットのタイプを指定できます。

警告: ご使用のブラウザでサポートされていない暗号化モードを選択した場合、そのブラウザから Dominion KX II にアクセスできなくなります。

 [Encryption Mode] (暗号化モード) ボックスの一覧で暗号化モードを選択します。選択した暗号化モードがご使用のブラウザでサポートされていない場合 Dominion KX II に接続できない、という内容の警告が表示されます。この警告は、"暗号化モードを選択する際、ご使用のブラウザでその暗号化モードがサポートされていることを確認してください。サポートされていない場合、Dominion KX II に接続できません"という意味です。

暗号化モード	説明
自動	これは推奨オプションです。 使用可能な最高強度 の暗号化モードに自動設定されます。
[RC4] (RC4)	RSA RC4 暗号方式を使用して、ユーザ名、パス ワード、ビデオ送信を含む KVM データが保護され ます。これは、最初の接続認証中に Dominion KX II とリモート PC 間のプライベート通信チャンネ ルを提供する 128 ビットの SSL (セキュア ソケット レイヤ) プロトコルです。
[AES-128] (AES-128)	AES (Advanced Encryption Standard) は、電 子データの暗号化に関するアメリカの国立標準技術 研究所の仕様です。 "128" はキーの長さを意味し ます。 [AES-128] (AES-128) を指定した場合 は、使用しているブラウザで AES がサポートされて いることを確認してください。サポートされていない場 合は、接続できません。詳細については、「ご使用 のブラウザで AES 暗号化モードがサポートされてい るかどうかを確認する『p. 201の"ご使用のブラウザ で AES 暗号化方式がサポートされているかどうか を確認する"参照先』」を参照してください。



暗号化モード	説明
[AES-256] (AES-256)	AES (Advanced Encryption Standard) は、電 子データの暗号化に関するアメリカの国立標準技術 研究所の仕様です。 "256" はキーの長さを意味し ます。 [AES-256] (AES-256) を指定した場合 は、使用しているブラウザで AES がサポートされて いることを確認してください。サポートされていない場 合は、接続できません。 詳細については、「ご使用 のブラウザで AES 暗号化モードがサポートされてい るかどうかを確認する 『p. 2010"ご使用のブラウザ で AES 暗号化方式がサポートされているかどうか を確認する"参照先 』」を参照してください。

注: [Auto] (自動) を選択しなかった場合、MPC は最高強度の暗号化モ ードに設定されます。

注: Windows XP (Service Pack 2 適用) と Internet Explorer 7 を使 用している場合、AES-128 暗号化モードで Dominion KX II にリモート接 続することはできません。

- [Apply Encryption Mode to KVM and Virtual Media] (暗号化モードを KVM および仮想メディアに適用する) チェック ボックスの値を指定します。こ のチェック ボックスをオンにした場合、選択した暗号化モードが KVM と仮想メ ディアの両方に適用されます。認証後、KVM データと仮想メディア データが 128 ビットの暗号化モードで転送されます。
- [PC Share Mode] (PC 共有モード) ボックスの一覧で値を選択します。 グロ ーバルな同時リモート KVM アクセスを特定し、最大 8 人までのリモート ユー ザが Dominion KX II に同時にログオンし、デバイスを介してターゲット サーバ を同時に表示および制御できるようにします。 次のいずれかのオプションを選択 します。
  - [Private] (プライベート): PC を共有しません。. これはデフォルト値です。
     一度に 1 人のユーザが、排他的に各ターゲット サーバにアクセスできます。
  - [PC-Share] (PC 共有): KVM ターゲット サーバに最大 8 人のユーザ (管理者または非管理者) が同時にアクセスできます。ただし、リモート ユ ーザはキーボートやマウスで全く同じ操作を行えるため、文字の入力やマウ スの操作を止めないユーザがいると、制御が不規則になる場合があることに 注意してください。



- 必要に応じて、[VM Share Mode] (VM 共有モード) チェック ボックスをオンに します。このチェック ボックスは [PC-Share Mode] (PC 共有モード) ボックス の一覧で [PC-Share] (PC 共有) を選択した場合にのみ有効になります。 このオプションを選択すると、複数のユーザで仮想メディアを共有できるようになり ます。つまり、複数のユーザが同じ仮想メディア セッションにアクセスできます。 デフォルトでは、このチェック ボックスはオフになっています。
- 5. 必要に応じて、[Disable Local Port Output] (ローカル ポート出力を無効に する) チェック ボックスをオンにします。 このチェック ボックスをオンにした場合、ロ ーカル ポートからビデオ信号が出力されません。
- 必要に応じて、[Local Device Reset Mode] (ローカル デバイス リセット モード) ボックスの一覧で値を選択します。このオプションでは、ユニットの背面にあるハードウェア リセット ボタンが押下された際に実行するアクションを指定します。詳細については、「リセット ボタンを使用して Dominion KX II をリセットする」を参照してください。次のいずれかの値を選択します。

ローカル デバイス リセッ ト モード	説明
[Enable Local Factory Reset] (ローカルで出荷 時設定にリセットする) ( デフォルト)	Dominion KX II を出荷時設定にリセットします。
[Enable Local Admin Password Reset] (ロー カルで管理者パスワード だけをリセットする)	ローカルの管理者パスワードだけをリセットします。 パス ワードは raritan に戻ります。
[Disable All Local Resets] (ローカルでリセ ットしない)	リセットは一切実行されません。



# ご使用のブラウザで AES 暗号化方式がサポートされているかどうかを確認する

Dominion KX II では AES 256 ビット暗号化方式がサポートされています。ご使 用のブラウザで AES がサポートされているかどうか不明な場合は、そのブラウザの製 造元に問い合わせるか、または、確認したい暗号化方式を使用してそのブラウザで https://www.fortify.net/sslcheck.html にアクセスしてください。 この Web サイト では、ご使用のブラウザの暗号化方式が検出され、レポートが表示されます。

注: Internet Explorer 6 では、AES 128 ビットおよび 256 ビット暗号化方式 はサポートされていません。

#### AES (256 ビット) を使用する際の前提条件とサポート対象構成

AES 256 ビット暗号化方式は、次のブラウザでのみサポートされています。

- Firefox 2.0.0.x
- Mozilla 1.7.13
- Internet Explorer 7

AES 256 ビット暗号化方式を使用するには、サポート対象ブラウザを使用すること に加え、Java Cryptography Extension (JCE) 無制限強度の管轄ポリシーファ イルをインストールする必要があります。

各種 JRE の管轄ファイルは、次のページの [other downloads] セクションで入手 できます。

JRE1.5 - http://java.sun.com/javase/downloads/index\_jdk5.jsp

## IP アクセス制御を設定する

IP アクセス制御機能を利用することにより、Dominion KX II に対するアクセスを制 御できます。 グローバル アクセス制御リスト (ACL) の設定を行い、許可されてい ない IP アドレスから送信されるパケットにデバイスが応答することのないようにします。 IP アクセス制御はグローバルに作用し、Dominion KX II 全体に影響しますが、グ ループ レベルで Dominion KX II へのアクセスを制御することもできます。 グループ レベルの制御の詳細については、「グループ ペースの IP アクセス制御リスト 『p. 1120"グループベースの IP ACL (アクセス制御リスト)"参照 』」を参照してくださ い。

重要: Dominion KX II のローカル ポートでは、IP アドレス 127.0.0.1 が使用されます。IP アクセス制御リストを作成する際、ブロックする IP アドレス範囲に 127.0.0.1 が含まれていると、Dominion KX II のローカ ル ポートにアクセスできなくなります。



#### ▶ IP アクセス制御機能を利用するには

- [Security] (セキュリティ) メニューの [IP Access Control] (IP アクセス制御) をクリックします。 [IP Access Control] (IP アクセス制御) ページが開きます。
- [Enable IP Access Control] (IP アクセス制御を有効にする) チェック ボック スをオンにし、IP アクセス制御およびこのページの他のフィールドを有効にしま す。
- 3. [Default policy] (デフォルト ポリシー) ボックスの一覧で値を選択します。これ は、指定した範囲内にない IP アドレスに対して実行されるアクションです。
  - [ACCEPT] (許可): 指定した範囲内にない IP アドレスから Dominion KX II へのアクセスを許可します。
  - [Drop] (拒否): 指定した範囲内にない IP アドレスから Dominion KX II へのアクセスを拒否します。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

#### ルールを一覧の末尾に追加するには

1. [IPv4/Mask or IPv6/Prefix Length] (IPv4/マスクまたは IPv6/プレフィックス の長さ) ボックスに IP アドレスとサブネット マスクを入力します。

注: IP アドレスは Classless Inter-Domain Routing (CIDR) 方式で入 カしてください。つまり、 先頭の 24 ビットをネットワーク アドレスとして使用しま す。

- 2. [Policy] (ポリシー) 列のボックスの一覧でポリシーを選択します。
- [Append] (追加) をクリックします。そのルールがルール一覧の末尾に追加されます。

▶ ルールを一覧の途中に挿入するには

- ルール番号を入力します。ルールを一覧の途中に挿入する場合、ルール番号 は入力必須です。
- 2. [IPv4/Mask or IPv6/Prefix Length] (IPv4/マスクまたは IPv6/プレフィックス の長さ) ボックスに IP アドレスとサブネット マスクを入力します。
- 3. [Policy] (ポリシー) 列のボックスの一覧でポリシーを選択します。
- [Insert] (挿入) をクリックします。入力したルール番号と同じルール番号のルー ルが存在する場合、新しいルールはそのルールの上に挿入され、以降のすべて のルールが1 行下に下がります。



ヒント: ルール番号を使用すると、各ルールを作成する順序を気にせずに済みます。

#### ルールの内容を置換するには

- 1. 置換したいルールのルール番号を入力します。
- 2. [IPv4/Mask or IPv6/Prefix Length] (IPv4/マスクまたは IPv6/プレフィックス の長さ) ボックスに IP アドレスとサブネット マスクを入力します。
- 3. [Policy] (ポリシー) 列のボックスの一覧でポリシーを選択します。
- 4. [Replace] (置換) をクリックします。 同じルール番号の既存ルールが、新しい ルールに置き換わります。

#### ルールを削除するには

- 1. 削除したいルールのルール番号を入力します。
- 2. [Delete] (削除) をクリックします。
- 3. 削除してよいかどうかを確認するダイアログ ボックスが開きます。 [OK] をクリック します。

efault polic	ey l	
Rule #	IPv4/Mask or IPv6/Prefix Length	Policy
1	192.168.59.192/32	ACCEPT
2	192.168.61.0/24	ACCEPT
3	255.255.0,0/16	ACCEPT
		ACCEPT 💌



....

100

# SSL 証明書

Dominion KX II では、接続先クライアントとの間で送受信されるトラフィックを暗号 化するために Secure Sockets Layer (SSL) が使用されます。 Dominion KX II とクライアントとの接続を確立する際、暗号化された証明書を使用して、 Dominion KX II の正当性をクライアントに示す必要があります。

Dominion KX II 上で、証明書署名要求 (CSR) を生成し、証明機関 (CA) に よって署名された証明書をインストールすることができます。 CA はまず、CSR 発 行元の身元情報を検証します。 続いて、署名された証明書を発行元に返します。 有名な CA によって署名されたこの証明書は、証明書発行者の身元を保証する 目的で使用されます。

Certificate Signing Request (CSR)
Common name
Charles and the second se
Organizational unit
Organization
Locality/City
State/Dravinas
state/Province
Country (ISO code)
L.
Email
Challenge password
Confirm Challenge password
Key length (bits)
1024
Create

\* Stored value is equal to the default.



## ▶ SSL 証明書を作成してインストールするには

- [Security] (セキュリティ) メニューの [Security Certificate] (セキュリティ証明 書) をクリックします。
- 2. 次の各フィールドの値を指定します。
  - a. [Common name] (共通名): Dominion KX II をユーザのネットワークに 追加したときに指定した、Dominion KX II のネットワーク名。通常は完全 修飾ドメイン名です。これは、Web ブラウザで Dominion KX II にアク セスする際に使用する名前から、プレフィックスである http:// を除いたもの です。ここで指定した名前が実際のネットワーク名と異なる場合、HTTPS を使用して Dominion KX II にアクセスする際に、ブラウザでセキュリティ 警告ダイアログ ボックスが開きます。
  - b. [Organizational unit] (組織内部門): Dominion KX II が属する、組織 内の部門。
  - c. [Organization] (組織): Dominion KX II が属する組織。
  - d. [Locality/City] (市区町村): 組織が存在する市区町村。
  - e. [State/Province] (都道府県): 組織が存在する都道府県。
  - f. [Country (ISO code)] (国 (ISO コード)): 組織が存在する国。2 文字の ISO コードを入力します。たとえば、ドイツの場合は「DE」、米国の場合は「US」と入力します。
  - g. [Challenge Password] (チャレンジ パスワード): 一部の CA は、証明 書が失効した場合などに証明書の変更を許可するための、チャレンジ パ スワードを要求します。 このパスワードは 4 文字以上にする必要がありま す。
  - h. [Confirm Challenge Password] (チャレンジ パスワードの確認入力): 確認のためチャレンジ パスワードを再度入力します。
  - i. [Email] (電子メール): Dominion KX II とそのセキュリティを担当する人の 電子メール アドレス。
  - j. [Key length (bits)] (キー長 (単位: ビット)): 生成されるキーの長さ (単位: ビット)。デフォルト値は [1024] (1024) です。
- 3. [Create] (作成) をクリックし、CSR を生成します。

#### ▶ CSR 証明書をダウンロードするには

 CSR、および、CSR 生成時に使用された秘密鍵を含むファイルをダウンロード するため、[Download] (ダウンロード)をクリックします。



注: CSR と秘密鍵ファイルはセットになっているので、そのように扱う必要があ ります。 署名付き証明書が、元の CSR の生成時に使用された秘密鍵と対 応していない場合、その証明書は使用できません。 このことは、CSR と秘密 鍵ファイルのアップロードおよびダウンロードに当てはまります。

2. 証明書を取得するため、保存されている CSR を CA に送信します。 CA から新しい証明書が届きます。

#### ▶ CSR をアップロードするには

1. [Upload] (アップロード) をクリックし、証明書を Dominion KX II にアップロードします。

注: CSR と秘密鍵ファイルはセットになっているので、そのように扱う必要があ ります。 署名付き証明書が、元の CSR の生成時に使用された秘密鍵と対 応していない場合、その証明書は使用できません。 このことは、CSR と秘密 鍵ファイルのアップロードおよびダウンロードに当てはまります。

Certificate Signing Request (CSR)		Certificate Upload	
The following countryName stateOrProvinceName localityName organizationName organizationalUnitName commonName emailAddress	<pre>J CSR is pending: = US = DC = Washington = ACME Corp. = Marketing Dept. = John Doe = johndoe@acme.com</pre>	SSL Certificate File Browse Upload	
Download	Delete		

この 3 つの手順が完了すると、Dominion KX II 専用の証明書が入手されます。 この証明書は、Dominion KX II の身元をクライアントに対して示す際に使用されま す。

重要: Dominion KX II 上の CSR を破棄した場合、復旧する方法はあ りません。 誤って CSR を削除してしまった場合、前述の 3 つの手順 をやり直す必要があります。 やり直しを回避するには、ダウンロード機 能を利用し、CSR とその秘密鍵のコピーを取得しておきます。



## この章の内容

監査ログ	207
デバイス情報	
バックアップと復元	209
USB プロファイルの管理	211
CIM をアップグレードする	213
ファームウェアをアップグレードする	214
アップグレード履歴	216
再起動	217
Dominion KX II を CC-SG の管理対象から除外する	218

# 監査ログ

Dominion KX II のシステム イベントに関するログが作成されます。

## Dominion KX II の監査ログを表示するには

[Maintenance] (保守) メニューの [Audit Log] (監査ログ) をクリックします。
 [Audit Log] (監査ログ) ページが開きます。

[Audit Log] (監査ログ) ページでは、日時順にイベントが表示されます (最も新しいイベントが先頭に表示されます)。 監査ログに含まれる情報は次のとおり です。

- [Date] (日時): イベントが発生した日時 (24 時間形式)。
- [Event] (イベント): [Event Management] (イベント管理) ページに一覧 表示されるイベント名。
- [Description] (説明): イベントの詳細な説明。

## ▶ 監査ログを保存するには

注: 監査ログの保存は Dominion KX II リモート コンソールでのみ実行できます。 Dominion KX II ローカル コンソールでは実行できません。

- 1. [Save to File] (ファイルに保存) をクリックします。 [Save File] (ファイルに保存) ダイアログ ボックスが開きます。
- ファイル名と保存先フォルダを選択し、[Save] (保存) をクリックします。 監査ロ びが、クライアント コンピュータ上の指定した保存先フォルダに指定した名前で 保存されます。


- ▶ 監査ログのページ間を移動するには
- [Older] (古いログへ) リンクおよび [Newer] (新しいログへ) リンクを使用します。

## デバイス情報

[Device Information] (デバイス情報) ページには、使用している Dominion KX II デバイスとコンピュータ インタフェース モジュール (CIM) に関する詳細情報が表 示されます。 これらの情報は、Raritan のテクニカル サポート部門に問い合わせを する際に役立ちます。

- ▶ 使用している Dominion KX II と CIM に関する情報を表示するには
- [Maintenance] (保守) メニューの [Device Information] (デバイス情報) を クリックします。 [Device Information] (デバイス情報) ページが開きます。

Dominion KX II に関して表示される情報は次のとおりです。

- モデル
- ハードウェア リビジョン
- ファームウェア バージョン
- シリアル番号
- MAC アドレス

CIM に関して表示される情報は次のとおりです。

- ポート番号
- 名前
- CIM のタイプ (DCIM、PCIM、電源タップ、または VM)
- ファームウェア バージョン
- シリアル番号

Home > Maintenance > Device Information

Device Information		
Model:	D232	
Hardware Revision:	0×48	
Firmware Version:	2.0.20.5.6882	
Serial Number:	HKB7500230	
MAC Address:	00:0d:5d:03:cc:b5	

#### **CIM Information**

A Port	Name	Туре	Firmware Version	Serial Number
1	Dominion	ММ	2A5D	HUW7250867
8	PwrStrip	PowerStrip	00B4	PQ16A00058



Logout

## バックアップと復元

[Backup/Restore] (バックアップ/復元) ページでは、Dominion KX II の設定情報 をバックアップおよび復元できます。

バックアップ/復元機能には、業務継続性を確保するというメリットに加え、時間節約 効果もあります。 たとえば、使用中の Dominion KX II のユーザ設定情報をバック アップして別の Dominion KX II に復元することにより、その復元先 Dominion KX II をすぐに使用できるようになります。 また、1 台の Dominion KX II をセット アップし、その設定情報を複数台の Dominion KX II にコピーすることもできます。

- ▶ [Backup/Restore] (バックアップ/復元) ページを開くには
- [Maintenance] (保守) メニューの [Backup/Restore] (バックアップ/復元) を クリックします。 [Backup/Restore] (バックアップ/復元) ページが開きます。

Home > Maintenance > Backup / Restore
Backup / Restore
💿 Full Restore
Protected Restore
🔿 Custom Restore
User and Group Restore
Device Settings Restore
Restore File
Browse
Backup Cancel

注: バックアップ処理では、常にシステム全体がバックアップされます。 復元処理で は、全体を復元するか一部を復元するかをユーザが選択できます。

#### Dominion KX II の設定情報をバックアップするには

- 1. [Backup] (バックアップ) をクリックします。 [File Download] (ファイルのダウンロ ード) ダイアログ ボックスが開きます。
- 2. [Save] (保存) をクリックします。 [Save As] (名前を付けて保存) ダイアログ ボックスが開きます。
- 3. 保存先フォルダを選択してファイル名を入力し、[Save] (保存) をクリックします。 [Download Complete] (ダウンロードの完了) ダイアログ ボックスが開きます。



 [Close] (閉じる) をクリックします。 バックアップ ファイルが、クライアント コンピュ ータ上の指定した保存先フォルダに指定した名前で保存されます。

#### Dominion KX II を復元するには

警告: 使用している Dominion KX II を旧バージョンに復元する場合、注意 が必要です。バックアップ時点で設定されていたユーザ名とパスワードが復元され ます。 つまり、バックアップ時点での管理者のユーザ名とパスワードを覚えていない 場合、Dominion KX II からロックアウトされます。

また、バックアップ時点で現在と異なる IP アドレスを使用していた場合、その IP アドレスも同様に復元されます。 IP アドレスの割り当てに DHCP を使用してい る場合、ローカル ポートにアクセスして復元後の IP アドレスを調べる必要があります。

- 1. 実行する復元処理のタイプを選択します。
- [Full Restore] (完全復元): システム全体を復元します。この復元タイプの主 な用途は、一般的なバックアップ/復元処理です。
- [Protected Restore] (部分復元): デバイス固有情報 (例: IP アドレス、名前) 以外のすべての情報が復元されます。この復元タイプの用途としては、1 台の Dominion KX II をセットアップし、その設定情報を複数台の Dominion KX II にコピーするケースなどが考えられます。
- [Custom Restore] (カスタム復元): この復元タイプを選択した場合、[User and Group Restore] (ユーザとグループの復元) チェック ボックスと [Device Settings Restore] (デバイス設定の復元) チェック ボックスのいずれか一方ま たは両方をオンにすることができます。
  - [User and Group Restore] (ユーザとグループの復元): このチェック ボックスをオンにした場合、ユーザ情報とグループ情報だけが復元され ます。 証明書および秘密鍵ファイルは 復元されません。 別の Dominion KX II 上でユーザ情報をセットアップする際に便利です。
  - [Device Settings Restore] (デバイス設定の復元): このチェック ボック スをオンにした場合、デバイス設定情報 (例: 関連電源、USB プロフ ァイル、ブレード筐体関連の設定パラメータ、ポート グループの割り当て) だけが復元されます。デバイス情報をコピーする際に便利です。
- [Browse] (参照) をクリックします。 [Choose file] (ファイルを選択) ダイアログ ボックスが開きます。
- 適切なバックアップ ファイルを探して選択し、[Open] (開く) をクリックします。
   選択したファイルが [Restore File] (復元ファイル) ボックスに表示されます。
- 3. [Restore] (復元) をクリックします。 選択した復元タイプに基づいて、設定情報が復元されます。



## USB プロファイルの管理

[USB Profile Management] (USB プロファイル管理) ページでは、Raritan のテ クニカル サポート部門から提供されたカスタム プロファイル情報をアップロードできま す。 これらのプロファイルは、標準プロファイルがターゲット サーバ構成のニーズに対 応していない場合にそのニーズに対応できるよう、設計されています。 Raritan の テクニカル サポート部門は、カスタム プロファイルを提供し、ターゲット サーバ固有の ニーズに対する解決策をお客様と一緒に探します。

- [USB Profile Management] (USB プロファイル管理) ページを開くには
- [Maintenance] (保守) メニューの [USB Profile Management] (USB プロファイル管理) をクリックします。 [USB Profile Management] (USB プロファイル管理) ページが開きます。

		Profile Manageme	Maintenance > USB P	ome > Maint
		ily uploaded.	rofile successful	Profile
		Browse	Profile File:	USB Profil
y	Profile Key	tive Profi	elected Act	Selecte
	40000300	Dell Cust Fore Mas driv	no No	
0	Profile M 4000030	tive Profi Dell Custo Ford Mas driv	elected Act	Selecte

- カスタム プロファイル情報を Dominion KX II にアップロードするには
- 1. [Browse] (参照) ボタンをクリックします。 [Choose file] (ファイルを選択) ダイ アログ ボックスが開きます。
- 適切なカスタム プロファイル ファイルを探して選択し、[Open] (開く) をクリックします。 選択したファイルが [USB Profile File] (USB プロファイル ファイル) ボックスに表示されます。
- 3. [Upload] (アップロード) をクリックします。 カスタム プロファイル情報がアップロー ドされ、プロファイル一覧に表示されます。



注: アップロード処理中にエラーまたは警告が表示された場合(例:既存のカスタ ム プロファイルが上書きされる場合)、アップロード処理を続行するには[Upload] (アップロード)、アップロード処理をキャンセルするには[Cancel](キャンセル)をクリッ クします。

#### ▶ カスタム プロファイル情報を Dominion KX II から削除するには

- 1. 削除するカスタム プロファイルのチェック ボックスをオンにします。
- [Delete] (削除) をクリックします。カスタム プロファイル情報が削除され、プロファイルー覧に表示されなくなります。

アクティブになっているカスタム プロファイルでも削除できます。 ただしその場合、確 立されていた仮想メディア セッションがすべて終了します。

#### プロファイル名の競合を処理する

ファームウェアをアップグレードしたとき、カスタム USB プロファイルと標準 USB プロ ファイルの名前が競合することがあります。たとえば、あるカスタム プロファイルを作成 して標準プロファイル リストに組み込んでおり、ファームウェアのアップグレード時に同 名の USB プロファイルがダウンロードされた場合などです。

この場合、既存のカスタム プロファイルの名前に old\_ というプレフィックスが付加さ れます。たとえば、GenericUSBProfile5 という名前のカスタム プロファイルが存在 しており、かつ、ファームウェアのアップグレード時に同名のプロファイルがダウンロードさ れた場合、既存のカスタム プロファイルの名前が old\_GenericUSBProfile5 に変 更されます。

必要に応じて、既存のプロファイルを削除できます。詳細については、「**USB プロフ** アイルの管理 『p. 211』」を参照してください。



## CIM をアップグレードする

この項で説明する手順に従って、Dominion KX II のメモリに格納されているファーム ウェア バージョンを基に CIM をアップグレードします。一般に、 [Firmware Upgrade] (ファームウェアのアップグレード) ページを使用してデバイスのファームウェア をアップグレードする場合、すべての CIM がアップグレードされます。

USB プロファイルを使用するには、ファームウェアが最新である D2CIM-VUSB また は D2CIM-DVUSB を使用する必要があります。ファームウェアがアップグレードさ れていない VM-CIM でもさまざまな構成 (Windows、キーボード、マウス、 CD-ROM、およびリムーバブル デバイス) がサポートされていますが、特定の構成に 最適なプロファイルを使用することはできません。そのため、USB プロファイルを使用 するには、VM-CIM のファームウェアを最新バージョンにアップグレードする必要があり ます。なお、アップグレードする前でも、"Generic" プロファイルに相当する機能は利 用できます。

注: [Firmware Upgrade] (ファームウェアのアップグレード) ページでファームウェア をアップグレードできるのは、D2CIM-VUSB だけです。

#### Dominion KX II のメモリを使用して CIM をアップグレードするには

 [Maintenance] (保守) メニューの [CIM Firmware Upgrade] (CIM ファー ムウェアのアップグレード) をクリックします。 [CIM Upgrade from] (CIM のアッ プグレード) ページが開きます。

[Port] (ポート)、[Name] (名前)、[Type] (タイプ)、[Current CIM Version] (現在の CIM バージョン)、[Upgrade CIM Version] (アップグレード先の CIM バージョン) の各列に情報が表示されるので、各 CIM を簡単に識別で きます。

アップグレードしたい各 CIM の [Selected] (選択) チェック ボックスをオンにします。

ヒント: [Select All] (すべて選択) をクリックすると、すべての CIM を簡単に 選択できます。[Deselect All] (すべて選択解除) をクリックすると、すべての CIM を簡単に選択解除できます。

- 3. [Upgrade] (アップグレード) をクリックします。 アップグレードしてもよいかどうかを 確認するダイアログ ボックスが開きます。
- [OK] をクリックしてアップグレード処理を続行します。アップグレード処理中は、 進行状況バーが表示されます。アップグレード処理には、CIM ごとに最長で約
   2 分かかります。



## ファームウェアをアップグレードする

[Firmware Upgrade] (ファームウェアのアップグレード) ページを使用して、 Dominion KX II および接続するすべての CIM のファームウェアをアップグレードし ます。 このページは、Dominion KX II リモート コンソールでのみ使用できます。

重要: アップグレード処理中に、Dominion KX II の電源を切断したり CIM を取り外したりしないでください。Dominion KX II または CIM が 損傷するおそれがあります。

- Dominion KX II をアップグレードするには
- Raritan の Web サイト http://www.raritan.comの [Firmware Upgrades] (ファームウェアのアップグレード) ページで、適切な Raritan ファー ムウェア配布ファイル (.rfp ファイル) を探してダウンロードします。
- 2. そのファイルを解凍します。アップグレードを実行する前に、解凍したファイルに 記載されている指示をすべてお読みください。

注: アップグレードを実行する前に、そのファームウェア配布ファイルをローカル PC にコピーしておいてください。また、そのファームウェア配布ファイルをネットワ ーク ドライブからロードしないでください。

 [Maintenance] (保守) メニューの [Firmware Upgrade] (ファームウェアのアッ プグレード) をクリックします。 [Firmware Upgrade] (ファームウェアのアップグレ ード) ページが開きます。

Firmware Upgrade	1
Show Latest Firmware Firmware File Browse	
Upload Cancel	

- [Browse] (参照) をクリックし、ファームウェア配布ファイルを解凍したフォルダに 移動します。
- 使用している CIM のバージョン情報を表示したい場合、[Review CIM Version Information?] (CIM のバージョン情報を確認する) チェック ボックス をオンにします。



 [Firmware Upgrade] (ファームウェアのアップグレード) ページの [Upload] (ア ップロード) をクリックします。 アップグレードとバージョン番号に関する情報が、確 認のために表示されます。CIM 情報を表示するよう指定した場合は、その情 報も表示されます。

Firmware U	pgrade				
urrent vers ew version:	ion:	2.0.0.5.5541			
	Cancel				
his may take pdate is in pr utomatically.	some minutes. Please do N ogress! After a successful	OT power off the oupdate, the device	device while the e will be reset		
bis may take pdate is in pr utomatically.	some minutes. Please do N ogressi After a successful Name	OT power off the oupdate, the device	device while the will be reset Current CIM Version	Upgrade CIM Version	
bis may take pdate is in pr utomatically.	some minutes. Please do N ogress! After a successful Name Dominion-KX2_Port1	OT power off the update, the device Type VM	device while the a will be reset Current CIM Version 2A36	Upgrade CIM Version 2A41	

*注: この時点で接続していたユーザはログオフされ、新たにログオンしようとした ユーザはブロックされます。* 

 [Upgrade] (アップグレード) をクリックします。アップグレード処理が完了するま で待機します。アップグレード処理中は、ステータス情報および進行状況バー が表示されます。アップグレード処理が完了すると、Dominion KX II が再起 動します。再起動が完了するとビープ音が1回鳴ります。

Firmware l	Jpgrade in Progress
	Upgrade successful.
The Devi	ce DominionKX has been updated with new firmware version 2.0.0.2.5240.
Device will minutes. F	reboot now and this will take approximately 5 Please close the browser for approximately 5 minutes before logging in again.
	Progress: Upgrade Finished
	100%

8. 指示に従ってブラウザを終了し、約 5 分待ってから再度 Dominion KX II に ログオンします。



Multi-Platform Client を使用してデバイスのファームウェアをアップグレードする手順 については、「デバイスのファームウェアをアップグレードする」を参照してください。

注: モデムを介してファームウェアをアップグレードすることはできません。

## アップグレード履歴

Dominion KX II および接続されている CIM に対して実行されたアップグレード処理に関する情報を表示できます。

#### アップグレード履歴を表示するには

 [Maintenance] (保守) メニューの [Upgrade History] (アップグレード履歴) をクリックします。 [Upgrade History] (アップグレード履歴) ページが開きます。

実行された Dominion KX II アップグレード処理に関する情報、アップグレード処理 の最終ステータス、アップグレード処理の開始日時と終了日時、および、アップグレー ド前と現在のファームウェア バージョンが表示されます。 CIM に関する情報を表示 するには、[CIM's] (CIM) 列の [show] (表示) リンクをクリックします。 表示される CIM 情報は次のとおりです。

- [Type] (タイプ): CIM のタイプ。
- [Port] (ポート): CIM が接続されているポート。
- [User] (ユーザ): アップグレード処理を実行したユーザ。
- [IP] (IP アドレス): IP アドレス。
- [Start Time] (開始日時): アップグレード処理の開始日時。
- [End Time] (終了日時): アップグレード処理の終了日時。
- [Previous Version] (アップグレード前のバージョン): アップグレード前の CIM ファームウェア バージョン。
- [Upgrade Version] (アップグレード後のバージョン): 現在の CIM ファームウェ ア バージョン。
- [CIMs] (CIM): アップグレードされた CIM。
- [Result] (結果): アップグレード処理の結果 (成功または失敗)。

ime	liner	ID.	Start Time	End Time	Dravious Version	Upprade Version	CHIER	Descrift
ype	Union	100 100 10 00				opgrille veraion	Ginn a	RUSUIL
ull Firmware Upgrade	admin	192,168,59,63	June 15, 2008 14:15	June 15, 2008 14:23	2.0.20,5.6882	2.0.20.5.6926	show	Successful
ull Firmware Upgrade	admin	192.168.59.80	May 22, 2008 17:49	May 22, 2008 17:58	2.0.20.1.6853	2.0.20.5.6882	show	Successful



## 再起動

[Reboot] (再起動) ページでは、Dominion KX II を安全に再起動できます。 再起動する場合、このページから行うことを推奨します。

重要: すべての KVM 接続およびシリアル接続が切断され、また、すべてのユーザがログオフされます。

#### Dominion KX II を再起動するには

 [Maintenance] (保守) メニューの [Reboot] (再起動) をクリックします。 [Reboot] (再起動) ページが開きます。

н	nme > Maintenance > Reboot
	Reboot
	Behast
	This may take up to two minutes.

 [Reboot] (再起動) をクリックします。 再起動してもよいかどうかを確認するダイ アログ ボックスが開きます。 [Yes] (はい) をクリックし、再起動処理を続行しま す。

ebooting	the system w	ill logoff all u	isers.	
o you wai	nt to proceed	with the rek	oot?	
Reboot				
				0
	Vice			
	100			



## Dominion KX II を CC-SG の管理対象から除外する

Dominion KX II が CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) の管理下 にあるのに、Dominion KX II に直接アクセスしようとすると、Dominion KX II が CC-SG の管理下にあることを示すメッセージが表示されます。

Dominion KX II が CC-SG の管理下にあるが、指定タイムアウト間隔 (通常は 10 分) が経過した後に CC-SG と Dominion KX II の間の接続が切断された 場合、Dominion KX II コンソールから CC-SG 管理セッションを終了できます。

注: Dominion KX II を CC-SG の管理対象から除外するには、適切な権限が 必要です。また、Dominion KX II が現在 CC-SG の管理下にない場合、 [Maintenance] (保守) メニューの [Stop CC-SG Management] (CC-SG の管 理対象から除外する) コマンドは無効になります。

#### Dominion KX II を CC-SG の管理対象から除外するには

 [Maintenance] (保守) メニューの [Stop CC-SG Management] (CC-SG の管理対象から除外する) をクリックします。 "Dominion KX II が CC-SG の管理下にある" という内容のメッセージが表示されます。また、Dominion KX II を CC-SG の管理対象から除外するためのボタンも表示されます。

Manage	d by CommandCenter Secure Gateway
This dev	ice is being managed by CommandCenter Secure Gateway
	192.168.59.246
Do you	want to remove it from CommandCenter Management?
	Yes No

 [Yes] (はい) をクリックし、Dominion KX II を CC-SG の管理対象から除外 する処理を開始します。 Dominion KX II を CC-SG の管理対象から除外 してもよいかどうかを確認するためのメッセージが表示されます。

Managed by CommandCenter Secure Gateway
Confirming remove of the device from CommandCenter (192.168.59.246) Management.
Do you really want to remove this device from CommandCenter Management?
Yes No



 [Yes] (はい) をクリックし、Dominion KX II を CC-SG の管理対象から除外 します。 Dominion KX II が CC-SG の管理対象から除外されると、処理 完了メッセージが表示されます。

Managed by CommandCenter Secure Gateway	
Stop CC-SG Management is successful. The device is no longer under CC-SG Management n	node.
Ok	



## この章の内容

[Network Interface] (ネットワーク インタフェース) ページ	220
[Network Statistics] (ネットワーク統計) ページ	221
[Ping Host] (ホストに ping する) ページ	224
[Trace Route to Host] (ホストへの経路をトレースする) ページ	225
[Dominion KX II Diagnostics] (Dominion KX II 診断) ページ	226

## [Network Interface] (ネットワーク インタフェース) ページ

Dominion KX II では、ネットワーク インタフェースのステータス情報を確認できます。

- ▶ ネットワーク インタフェースに関する情報を表示するには
- [Diagnostics] (診断) メニューの [Network Interface] (ネットワーク インタフ ェース) をクリックします。 [Network Interface] (ネットワーク インタフェース) ペ ージが開きます。

Home > Diagnostics > Network Interface	ł
	ļ
Network Interface	ł
Refresh	A A A MALE AND A MALE AND A
Result	Anthread
Link state (ethl): autonegotiation on, 100 Mbps, full duplex, link ok	ALL DO
link/ether 00:00:00:00:00 brd ff:ff:ff:ff:ff:ff 2: lo: <loopback,up> mtu 16436 qdisc noqueue</loopback,up>	1
link/loopback 00:00:00:00:00:00 brd 00:00:00:00:00:00 inet 127.0.0.1/8 scope host lo	ł
3: eth1: <broadcast, multicast,="" notpailers,="" up=""> mtu 1500 qdisc pfifo_fast qlen 1000 link/ether 00:0d:5d:01:33:cl brd ff:ff:ff:ff:ff:ff</broadcast,>	3
inet 192.168.59.97/24 brd 192.168.59.255 scope global ethl	Į
	ş
	ł
وملحا المحصورين المحالي المحاولين ومحاريني والمحين والمحين والمحتور والمحتورين المحال والمحار المحار والمحار و	ŧ.



表示される情報は次のとおりです。

- Ethernet インタフェースが稼動しているかどうか。
- ゲートウェイから ping できるかどうか。
- 現在アクティブな LAN ポート。

#### ▶ これらの情報を更新するには

• [Refresh] (最新の情報に更新) をクリックします。

## [Network Statistics] (ネットワーク統計) ページ

Dominion KX II では、ネットワーク インタフェースに関する統計情報を表示できます。

#### ▶ ネットワーク インタフェースに関する統計情報を表示するには

- [Diagnostics] (診断) メニューの [Network Statistics] (ネットワーク統計) を クリックします。 [Network Statistics] (ネットワーク統計) ページが開きます。
- 2. [Options] (オプション) ボックスの一覧で値を選択します。



■ [Statistics] (統計):次に示すような情報が表示されます。

Restaurante Manthallant	
Network Statistics	
Options:	
statistics	
Refresh	
Result	
Tes :	
P. 1903 total packets received	
) forwarded	
) incoming packets discarded	
3802 incoming packets delivered	
8522 requests sent out	
Icap:	
0 ICMP messages received	
0 input ICMP message failed.	
ICHP input histogram:	
0 ICMP messages sent	
0 ICMP messages failed	
ICMP output histogram:	
Tep:	
5 active connections openings	
as passive connection openings	
s connection resets received	
l connections established	
7942 segments received	
3304 segments send out	
0 segments retransmited	
0 bad segments received.	
0 resets sent	
Udp:	

■ [Interfaces] (インタフェース):次に示すような情報が表示されます。

Net	work Statistics
Opti int	erfaces 💌
R	efresh
Resi	t
Kern	el Interface table
Ifa	e HTU Het RX-OK RX-ERR RX-DRP RX-OVR TX-OK TX-ERR TX-DRP TX-OVR Fig
10	6436 0 196 0 0 0 196 0 0 0 LRU



■ [Route] (経路):次に示すような情報が表示されます。

Netwo	k Statistics					
ntions						
route						
Refr	esh					
esult						
	TD control of					
erner	ation Cate	g cable vav Genmas)	Flags M	SS Window	irtt Iface	
92.16	8.59.0 * 2	55.255.255	.0000	0 ethl		
lefaul	t 192.168.	59.126 0.0	.0.0 UG 0	0 0 ethl		

3. [Refresh] (最新の情報に更新) をクリックします。 [Options] (オプション) ボッ クスの一覧で選択した値に応じた情報が、[Result] (結果) フィールドに表示さ れます。



## [Ping Host] (ホストに ping する) ページ

ping は、特定のホストまたは IP アドレスが IP ネットワーク上で接続可能である かどうかをテストするためのネットワーク コマンドです。 [Ping Host] (ホストに ping する) ページでは、ターゲット サーバまたは別の Dominion KX II がアクセス可能で あるかどうかを調べることができます。

#### ▶ ホストに ping するには

 [Diagnostics] (診断) メニューの [Ping Host] (ホストに ping する) をクリック します。 [Ping Host] (ホストに ping する) ページが開きます。

1

 [IP Address/Host Name] (IP アドレス/ホスト名) ボックスに IP アドレスまた はホスト名を入力します。

注: ホスト名は 232 文字以内で指定してください。

- [Ping] (ping) をクリックします。 ping の実行結果が [Result] (結果) フィー ルドに表示されます。
- 注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。



## [Trace Route to Host] (ホストへの経路をトレースする) ページ

traceroute は、指定したホスト名または IP アドレスへの経路を調べるためのネット ワーク コマンドです。

- ホストまでの経路をトレースするには
- [Diagnostics] (診断) メニューの [Trace Route to Host] (ホストへの経路を トレースする) をクリックします。 [Trace Route to Host] (ホストへの経路をトレ ースする) ページが開きます。
- [IP Address/Host Name] (IP アドレス/ホスト名) ボックスに IP アドレスまた はホスト名を入力します。

注: ホスト名は 232 文字以内で指定してください。

- [Maximum Hops] (最大ホップ数) ボックスの一覧で最大ホップ数を選択しま す (5 刻みで 5 ~ 50)。
- [Trace Route] (経路をトレースする)をクリックします。traceroute コマンドが、 指定したホスト名または IP アドレスに対して、指定した最大ホップ数以内で実 行されます。traceroute コマンドの実行結果が [Result] (結果) フィールドに 表示されます。

T	
1	
or 211115 1.173 (192.168.59.173), 10 hops max, 40 byte packets 68.59.173) 0.497 ms 0.308 ms 0.323 ms	
	- 10
f	for 2mins 9.173 (192.168.59.173), 10 hops max, 40 byte packets 68.59.173) 0.497 ms 0.308 ms 0.323 ms



### [Dominion KX II Diagnostics] (Dominion KX II 診断) ページ

注: これは、Raritan フィールド エンジニアが使用するためのページです。Raritan のテクニカル サポート部門から指示された場合に限り、ユーザも使用できます。

[Dominion KX II Diagnostics] (Dominion KX II 診断) ページでは、診断情報 を Dominion KX II からクライアント コンピュータにダウンロードできます。 このペー ジでは、次の 2 種類の処理を行うことができます。

- 重大エラー デバッグ セッション中に、Raritan のテクニカル サポート部門から提供された特別な診断スクリプトを実行する。このスクリプトは、Dominion KX II にアップロードされ、実行されます。このスクリプトの実行が完了した後、[Save to File] (ファイルに保存)をクリックして診断メッセージをダウンロードすることができます。
- 診断メッセージのスナップショットに対するデバイス診断ログを、Dominion KX II からクライアント コンピュータにダウンロードする。このダウンロードされたデバイス 診断ログは暗号化ファイルであり、Raritan のテクニカル サポート部門に送信されます。このファイルを解析できるのは Raritan だけです。

注: このページを開くことができるのは、管理者権限を持つユーザだけです。

#### Dominion KX II のシステム診断を実行するには

- [Diagnostics] (診断) メニューの [Dominion KX II Diagnostics] (Dominion KX II 診断) をクリックします。 [Dominion KX II Diagnostics] (Dominion KX II 診断) ページが開きます。
- Raritan のテクニカル サポート部門から電子メールで受け取った診断スクリプト ファイルを実行するため、次の手順を実行します。
  - a. Raritan から提供されている診断スクリプト ファイルを入手します。圧縮さ れている場合は解凍します。
  - b. [Browse] (参照) をクリックします。 [Choose File] (ファイルを選択) ダイ アログ ボックスが開きます。
  - c. 診断スクリプト ファイルを探して選択します。
  - d. [Open] (開く) をクリックします。 診断スクリプト ファイルの名前が [Script File] (スクリプト ファイル) ボックスに表示されます。

Diagnostics S Script File:	cripts:
C:\Documents and S	Setting: Browse
Run Script	Cancel



- e. [Run Script] (スクリプトを実行) をクリックします。 この診断スクリプト ファ イルを Raritan のテクニカル サポート部門に送信します。
- 3. 診断ファイルを作成して Raritan のテクニカル サポート部門に送信するため、 次の手順を実行します。
  - a. [Save to File] (ファイルに保存) をクリックします。 [File Download] (ファ イルのダウンロード) ダイアログ ボックスが開きます。

2 Downic	ad - Security Warning		
Do you	want to save this file?		
	Name: diagnostics_save Type: Unknown File Type, 6 From: 192.168.59.150	54.3 KB	
	l	Save	Cancel
1	While files from the Internet can be cotentially harm your computer. If s save this software. What's the risk	e useful, this file ty ou do not trust th	pe can e source, do not

- b. [Save] (保存) をクリックします。 [Save As] (名前を付けて保存) ダイア ログ ボックスが開きます。
- c. 保存先フォルダに移動し、[Save] (保存) をクリックします。
- d. Raritan のテクニカル サポート部門の指示に従って、このファイルを電子メ ールで送信します。



# コマンド ライン インタフェース (CLI)

### この章の内容

概要	.228
CLI を使用しての Dominion KX II へのアクセス	.229
Dominion KX II への SSH 接続	.229
Dominion KX II への Telnet 接続	.230
ログオン	.231
CLI の画面操作	.232
CLI を使用した初期設定	.234
CLI プロンプト	.235
CLI コマンド	.236
Dominion KX II コンソール サーバ設定用コマンドを使用する	.237
ネットワークを設定する	.237

概要

12

Dominion KX II のネットワーク インタフェースを設定する権限や診断処理を実行 する権限を持っている場合、コマンド ライン インタフェース (CLI) を使用してそれら の処理を実行することができます。

次の図に CLI コマンドの概要を示します。コマンドの一覧については、「CLI コマン ゲ 『p. 236』」を参照してください。この一覧には、各コマンドの説明、および、各コマ ンドの記述例が書かれている項へのリンクがあります。



top、history、log off、quit、show、help の各コマンドは、 この図のどの CLI レ ベルからでも使用できます。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。



## CLI を使用しての Dominion KX II へのアクセス

次の方法のいずれかを使用して、Dominion KX II にアクセスします。

- IP 接続を介した Telnet
- IP 接続を介した SSH (Secure Shell)
- RS-232 シリアル インタフェースを介したローカル ポート

複数の SSH/Telnet クライアントを使用可能で、次の場所から取得できます。

- Putty http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/ http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/
- ssh.com の SSH クライアント www.ssh.com http://www.ssh.com
- Applet SSH Client www.netspace.org/ssh http://www.netspace.org/ssh
- OpenSSH Client www.openssh.org http://www.openssh.org

#### Dominion KX II への SSH 接続

SSHv2 をサポートする Secure Shell (SSH) クライアントを使用して、Dominion KX II に接続します。 [Devices Services] (デバイス サービス) ページで SSH 接続を有効にしておく必要があります。

注: セキュリティ上の理由により、SSHv1 接続は Dominion KX II でサポートされていません。

#### Windows PC から SSH で接続する

- ▶ Windows PC から SSH セッションを開くには
- 1. SSH クライアント ソフトウェアを起動します。
- Dominion KX II サーバの IP アドレスを入力します (例: 「192.168.0.192」)。
- 3. SSH を選択します。SSH では、デフォルトの設定ポート 22 が使用されま す。
- 4. [Open] (開く) をクリックします。

login as: (ログイン) プロンプトが表示されます。

「ログオン」を参照してください。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。



#### UNIX/Linux ワークステーションから SSH で接続する

UNIX Linux ワークステーションから SSH セッションを開き、ユーザ admin としてログオンするため、次のコマンドを入力します。

ssh -l admin 192.168.30.222

パスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。

「ログオン」を参照してください。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

## Dominion KX II への Telnet 接続

Telnet はセキュリティが低く、ユーザ名、パスワード、およびすべてのトラフィックが平 文で送信されます。 Telnet 接続はデフォルトで無効になっています。

#### Telnet 接続を有効にする

Telnet を使用して Dominion KX II に接続したい場合、まず、CLI またはブラウ ザを使用して Dominion KX II に接続します。

#### Telnet 接続を有効にするには

 [Device Settings] (デバイス設定) メニューの [Device Services] (デバイス サービス) をクリックして [Device Services] (デバイス サービス) ページを開き、 Telnet 接続を有効にします。

Telnet 接続が有効になったら、Telnet を使用して Dominion KX II に接続し、 他のパラメータ値を設定することができます。

#### Windows PC から Telnet で接続する

- Windows PC から Telnet セッションを開くには
- 1. [スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックします。
- 2. [名前] ボックスに「telnet」と入力します。
- 3. [OK] をクリックします。 Telnet ウィンドウが開きます。
- 4. プロンプトで Microsoft Telnet> open <IP address> と入力し ます。<IP address> は Dominion KX II の IP アドレスです。
- Enter キーを押します。次のメッセージが表示されます。「Connecting To <IP address>...」(<IP アドレス>に接続しています...) login as (ログイン) プロンプトが表示されます。



詳細については、「ログオン」を参照してください。

#### Windows PC から Telnet で接続する

- Windows PC から Telnet セッションを開くには
- 1. [スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックします。
- 2. [名前] ボックスに「telnet」と入力します。
- 3. [OK] をクリックします。 Telnet ウィンドウが開きます。
- 4. プロンプトで Microsoft Telnet> open <IP address> と入力し ます。<IP address> は Dominion KX II の IP アドレスです。
- 5. Enter キーを押します。次のメッセージが表示されます。「Connecting To <IP address>...」(<IP アドレス>に接続しています...) login as (ログイン) プロンプトが表示されます。

詳細については、「ログオン」を参照してください。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

ログオン

- Dゾオンするには、次のように ユーザ名 admin を入力します。
- 1. admin としてログオンします。
- パスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。デフォルト パスワード (「raritan」) を入力します。

歓迎メッセージが表示されます。これで、管理者としてログオンしたことになります。



次項「*CLI の画面操作* 『p. 232』」の内容を確認した後、初期設定処理を実行します。

min@192.168.	59.173's password:					
vice Type:	Dominion KX2	Model:	DF	XX2 – 2 3 2		
evice Name:	Dennis_KX2	FW Ver:	sic	on: 2.0.20.	5.6926	SN: HKB750023
9 Address:	192.168.59.173	Idle T	ime	out: Omin		
ort Port		p,	ort		Port	Port
o. Name		T	vbe		Status	Availability
- Dominion-	KX2 Port2	N	ot	Available	down	idle
- Dominion	KX2 Port3	N	ot	Available	down	idle
- Dominion	KX2 Port4	N	ot	Available	down	idle
- Dominion	KX2_Port5	N	ot	Available	down	idle
- Dominion	KX2_Port6	N	ot	Available	down	idle
- Dominion	KX2_Port7	N	ot	Available	down	idle
- P2CIM-AUS	8012345678901234567	8901 N	ot	Available	down	idle
- Dominion_	KX2_Port9	N	ot	Available	down	idle
U - Dominion_	KX2 Port10	N	ot	Available	down	idle
1 - Dominion_	KAZ_POTTII	N	OC 	Available	down	idle
2 - Dominion_ 3 - Dominion	KAZ_POELIZ	NT.	ot	Available	down	idle
4 - Dominion	KX2 Port14	M	ot	Available	down	idle
5 - Dominion	KX2 Port15	N	nt.	Available	down	idle
6 - Dominion	KX2 Port16	N	ot	Available	down	idle
7 - Dominion	KX2 Port17	N	ot	Available	down	idle
8 - Dominion	KX2 Port18	N	ot	Available	down	idle
9 - Dominion	KX2_Port19	N	ot	Available	down	idle
0 - Dominion	KX2_Port20	N	ot	Available	down	idle
1 - Dominion_	KX2_Port21	N	ot	Available	down	idle
2 - Dominion	KX2_Port22	N	ot	Available	down	idle
3 - Dominion_	KX2_Port23	N	ot	Available	down	idle
4 - Dominion_	KX2_Port24	N	ot	Available	down	idle
5 - Dominion_	KXZ_Port25	N	ot	Available	down	Idle
6 - Dominion	KXZ Port26	N	ot	Available	down	idle
7 - Dominion_	KX2_Port2/	N	JU	Available	down	lale
- Dominion_	KAZ_PORTZ8	N	ot	Available	down	idle
- Dominion	KV2 Port30	N.	ot	Available	down	idle
1 - Dominion	KX2 Port31	N	ot.	Available	down	idle
2 - Dominion	KX2 Port32	M	ot	Available	down	idle

## CLI の画面操作

CLI を使用する前に、CLI の画面操作と構文について理解しておくことが重要です。 また、CLI の使用を簡素化するキー入力の組み合わせについても、理解しておく必 要があります。



#### コマンドのオート コンプリート

CLI にはオート コンプリート機能 (コマンドの一部を入力すると、残りの部分が自動 入力される機能) が備わっています。 先頭の数文字を入力した後、Tab キーを押 します。 入力した文字列で始まるコマンドの候補が 1 つしかない場合、オート コ ンプリート機能によって残りの部分が自動入力されます。

- 入力した文字列で始まるコマンドの候補が見つからない場合、そのレベルに対する有効な入力候補が表示されます。
- 入力した文字列で始まるコマンドの候補が複数個見つかった場合、すべての入力候補が表示されます。

この場合、コマンドの続きを入力して候補が 1 つだけになるようにし、Tab キーを押してコマンドを自動入力します。

#### CLI 構文: ヒントとショートカット キー

ヒント

- コマンドは、アルファベット順に表示されています。
- コマンドでは、大文字と小文字は区別されません。
- パラメータ名は、アンダスコアを含まない 1 つの単語です。
- コマンドに対して引数を指定しない場合、そのコマンドに対する現在の設定値が 指定されていると見なされます。
- コマンドの後ろに疑問符 (?) を指定した場合、そのコマンドに対するヘルプが 表示されます。
- 縦線(|)は、任意指定または必須指定のキーワードまたは引数における、選 択肢を意味します。

ショートカット

- 末尾のエントリを表示するには、上方向キーを押します。
- 最後に入力した文字を削除するには、Backspace キーを押します。
- 誤ったパラメータを入力した場合にコマンドを終了またはキャンセルするには、Ctrl キーを押しながら C キーを押します。
- コマンドを実行するには、Enter キーを押します。
- コマンドの入力中に残りの部分を自動入力するには、Tab キーを押します。た とえば、Admin Port > プロンプトで Conf と入力した後に Tab キーを押すと、 Admin Port > Config > プロンプトが表示されます。



#### すべての CLI レベルで使用できるコマンド

次の表に、すべての CLI レベルで使用できるコマンドを示します。 これらのコマンド は、CLI の画面操作にも役立ちます。

コマンド	説明
top	CLI 階層の最上位レベル、つまり username プロンプトに 戻ります。
history	Dominion KX II の CLI で入力した最後の 200 個のコ マンドが表示されます。
help	CLI 構文の概要が表示されます。
quit	1 レベル上に戻ります。
logout	ユーザ セッションが終了し、ユーザがログオフされます。

## CLI を使用した初期設定

注: この項で説明する、CLI を使用した手順の実行は任意です。なぜかと言うと、 Dominion KX II ローカル コンソールで同じ設定作業を実行できるからです。 詳 細については、「最初に行う作業 『p. 12の"入門"参照先 』」を参照してください。

Dominion KX II は、デフォルト値に設定された状態で工場から出荷されます。 初 めて電源を入れて接続を行う際、次のとおりに基本パラメータ値を設定し、ネットワー ク上から Dominion KX II に安全にアクセスできるようにする必要があります。

- 管理者パスワードを再設定します。 Dominion KX II は、すべてのデバイスに 同じデフォルト パスワードが設定された状態で出荷されます。 したがって、セキ ュリティ侵害を回避するため、管理者パスワードをデフォルトの raritan から変 更する必要があります。新しいパスワードは、Dominion KX II の管理者になる ユーザが決めます。
- IP アドレス、サブネット マスク、およびデフォルト ゲートウェイの値を設定し、リモ ート アクセスできるようにします。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。



#### パラメータ値を設定する

パラメータ値を設定するには、管理者権限でログオンする必要があります。 CLI 階 層の最上位である username > プロンプトが表示されます。初期設定を行うため、 admin と入力します。 top コマンドを入力し、最上位レベルに戻ります。

注: admin 以外のユーザ名でログオンした場合、admin の代わりにそのユーザ名 が表示されます。

#### ネットワーク パラメータ値を設定する

ネットワーク パラメータ値を設定するには、interface コマンドを使用します。

admin > Config > Network > interface enable true if lan1 ip 192.16.151.12 mask 255.255.255 gw 192.168.51.12

このコマンドが受け付けられると、Dominion KX II との接続が自動切断されます。 新たに設定した IP アドレス、および、「パラメータ値を設定する」で入力したユーザ 名 (admin) とパスワード (newp/w) を使用して、Dominion KX II に再接続しま す。

重要: パスワードを忘れてしまった場合は、Dominion KX II の背面に あるリセット ボタンを押し、出荷時設定に戻す必要があります。 この 場合、初期設定作業を再度実行する必要があります。

これで Dominion KX II の基本情報が設定されたので、SSH またはグラフィカル ユーザ インタフェース (GUI) を使用してリモート アクセスすることや、ローカル シリア ル ポートを使用してローカル アクセスすることができます。 管理者は、ユーザ、グル ープ、サービス、セキュリティ、およびシリアル ポートを設定する必要があります。シリア ル ポートは、シリアル ターゲットを Dominion KX II に接続するためのポートです。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

## CLI プロンプト

CLI プロンプトは、現在のコマンド レベルを意味しています。 プロンプトのルート部 分はログオン名です。 端末エミュレーション ソフトウェアを使用して管理用シリアル ポートに直接接続している場合、コマンドのルート部分は Admin Port になります。

admin >

TELNET または SSH で接続している場合、コマンドのルート部分は admin に なります。



#### 12: コマンド ライン インタフェース (CLI)

admin > config > network >

0

## CLI コマンド

• admin > help と入力した場合に使用できるコマンドは、次のとおりです。

コマンド	説明
config	config サブメニューに切り替えます。
diagnostics	diag サブメニューに切り替えます。
help	コマンドの概要を表示します。
history	現在のセッションのコマンド ライン履歴を表示します。
listports	使用可能なポートを一覧表示します。
logout	現在の CLI セッションを終了し、ログオフします。
top	ルート メニューに戻ります。
userlist	アクティブなユーザ セッションを一覧表示します。

admin > config > network と入力した場合に使用できるコマンドは、次のとおりです。

コマンド	説明
help	コマンドの概要を表示します。
history	現在のセッションのコマンド ライン履歴を表示します。
interface	ネットワーク パラメータ値を取得および設定します。
ipv6_interface	IPv6 のネットワーク パラメータ値を取得および設定します。
logout	現在の CLI セッションを終了し、ログオフします。
name	デバイス名を設定します。
quit	前のメニューに戻ります。
stop	ルート メニューに戻ります。



#### セキュリティ上の問題

コンソール サーバにおけるセキュリティを確保する際に検討すべき点は、次のとおりです。

- 運用担当者用コンソールと Dominion KX II との間で送受信されるデータト ラフィックを暗号化する。
- ユーザに対して認証を行い、また、ユーザに付与する権限を制限する。
- セキュリティ プロファイルを設定する。

Dominion KX II にはこの 3 つの機能がすべて備わっています。ただし、設定作業 は運用開始前に済ませておく必要があります。

## Dominion KX II コンソール サーバ設定用コマンドを使用する

注: SSH 接続、Telnet 接続、ローカル ポート接続のどの場合でも、CLI コマン ドは同じです。

network コマンドは、Configuration メニューで使用できます。

## ネットワークを設定する

network メニューのコマンドを使用して、Dominion KX II のネットワーク インタフェースを設定します。

コマンド	説明
interface	Dominion KX II のネットワーク インタフェースを設定します。
name	ネットワーク名を設定します。
ipv6	IPv6 のネットワーク パラメータ値を取得および設定します。



#### interface コマンド

interface コマンドを使用して、Dominion KX II のネットワーク インタフェースを設定します。 interface コマンドの構文は次のとおりです。

interface [ipauto <none|dhcp>] [ip <ipaddress>] [mask
<subnetmask>] [gw <ipaddress>] [mode <mode>]

Ethernet パラメータ値を設定/取得します。

ipauto <none|dhcp>: IP アドレスを自動設定するかどうか (none/dhcp)。

ip <ipaddress>: IP アドレス。

mask <subnetmask>:  $\forall \vec{J} \vec{A} \forall \vec{P}$ 

gw <ipaddress>: デフォルト ゲートウェイ。

mode <mode>: Ethernet モードを設定 (auto/10hdx/10fdx/100hdx/100fdx/1000fdx)。

#### interface コマンドの例

次のコマンドを実行すると、インタフェース番号 1 が有効になり、IP アドレス、サブネ ット マスク、およびデフォルト ゲートウェイの値が設定され、Ethernet モードが自動 検出に設定されます。

Admin > Config > Network > interface ipauto none ip 192.16.151.12 mask 255.255.255.0 gw 192.168.51.12 mode auto

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。



#### name コマンド

name コマンドを使用して、ネットワーク名を設定します。 name コマンドの構文は 次のとおりです。

name [devicename <devicename>] [hostname <hostname>]

#### デバイス名の設定

devicename <devicename>: デバイス名。

hostname <hostname>: 優先ホスト名 (DHCP 使用時のみ)。

#### name コマンドの例

次のコマンドを実行すると、ネットワーク名が設定されます。

Admin > Config > Network > name devicename My-KSX2

#### ipv6 コマンド

ipv6 コマンドを使用して、IPv6 関連のネットワーク パラメータ値の設定と取得を行います。



# Dominion KX II ローカル コンソール

## この章の内容

概要	241
Dominion KX II ローカル コンソールを使用する	242
Dominion KX II ローカル コンソール インタフェース	243
有効な解像度	243
[Port Access] (ポート アクセス) ページ (ローカル コンソール サーバ デ	ィスプレイ)
	244
ホットキー	246
Sun サーバへのアクセス時に使用できる特別なキー組み合わせ	246
ターゲット サーバにアクセスする	247
Dominion KX II ローカル コンソールの画面に切り替える	247
ローカル ポートの管理	248
リセット ボタンを使用して Dominion KX II をリセットする	254





Dominion KX II のローカル ポートにコンピュータを接続して Dominion KX II ロ ーカル コンソールを使用することにより、設置場所で管理作業を行うことができます。 この Dominion KX II ローカル コンソールの特徴は、ブラウザを使用する、という点 であり、サーバをすばやく切り替えることができます。 Dominion KX II ローカル コン ソールでは、Dominion KX II に接続されているサーバのキーボード ポート、マウス ポート、およびビデオ ポートに直接接続している場合と同等のパフォーマンスが得ら れます。また、Dominion KX II ローカル コンソールには、Dominion KX II リモー ト コンソールと同等の管理機能が備わっています。

Network Basic Settings	LAN Interface Settings
Network Basic Settings	LAN Interface Settings         Note: For reliable network communication, configure the Dominion KX II and LAN Switch to the same LAN Interface Speed and Duplex. For example, configure both the Dominion KX II and LAN Switch to Autodetect (recommended) or set both to a fixed speed/duplex such as 100Mbps.Full.         Current LAII interface parameters:         autoregotiation off, 100 Mbps, full duplex, link ok         LAII Interface Speed & Duplex         100 Mbps.Full         Enable Automatic Failover.         Ping Interval (seconds) *         30         31         Timeout (seconds) *         80         Bandwidth Limit         No Limit
Primary DNS Server IP Address	
192.168.59.2	
Secondary DHS Server IP Address	
192.168.51.10	



## Dominion KX II ローカル コンソールを使用する

#### ユーザが同時接続可能

Dominion KX II ローカル コンソールを使用する場合、接続されている各 KVM タ ーゲット サーバへの独立したアクセス パスが設定されます。 つまり、Dominion KX II ローカル コンソールを使用している最中でも、他ユーザがネットワーク経由で Dominion KX II に同時接続できます。 また、リモート ユーザが Dominion KX II に接続している最中でも、Dominion KX II ローカル コンソールを使用してラックから サーバに同時接続できます。

#### セキュリティと認証

Dominion KX II ローカル コンソールを使用するには、まず有効なユーザ名とパスワ ードで認証を受ける必要があります。Dominion KX II には認証機能とセキュリティ 機能が備わっています。これらの機能は、ネットワークから接続するユーザとローカル ポートから接続するユーザの両方に対して有効です。ユーザは、どちらの方法で接 続する場合でも、アクセス権限を持っているサーバにしかアクセスできません。サーバ アクセスとセキュリティに関する設定情報を指定する手順については、「**ユーザ管理** 『p. 106』」を参照してください。

Dominion KX II が外部認証サービス (LDAP/LDAPS、RADIUS、または Active Directory) を使用するように設定されている場合、ユーザが Dominion KX II ローカル コンソールを使用して接続する際でも、外部認証サービスによって認 証が行われます。

注: Dominion KX II ローカル コンソールを使用して接続しようとするユーザに対し て認証を行わないように、設定することもできます。ただし、この方法は安全な環境で のみ使用することを推奨します。

#### Dominion KX II ローカル コンソールを使用するには

- 1. キーボード、マウス、およびモニタを、Dominion KX II の背面にあるローカル ポ ートに接続します。
- 2. Dominion KX II を起動します。 Dominion KX II ローカル コンソール画面 が表示されます。



## Dominion KX II ローカル コンソール インタフェース

サーバ ラックに設置した Dominion KX II の場合は、Dominion KX II ローカル コンソールを介して、標準 KVM 管理を行います。 Dominion KX II ローカル コン ソールは接続されたサーバへの直接 KVM (アナログ) 接続を提供し、これにより、サ ーバのキーボード、マウス、ビデオ ポートに直接接続しているかのように機能すること が可能になります。

Dominion KX II ローカル コンソールと Dominion KX II リモート コンソールのグラ フィカル ユーザ インタフェースには、多くの類似点があります。相違点については、 ヘルプに記載されています。

[Dominion KX II Local Console Factory Reset] (Dominion KX II ローカル コ ンソール ファクトリ リセット) オプションは、Dominion KX II ローカル コンソールには 用意されていますが、Dominion KX II リモート コンソールには用意されていませ ん。

## 有効な解像度

Dominion KX II ローカル コンソールは次の解像度に対応しており、さまざまなモニタで適切に表示されます。

- 800x600
- 1024 x 768
- 1280 x 1024

これらの各解像度について、60 Hz と 75 Hz のリフレッシュ レートがサポートされて います。


# [Port Access] (ポート アクセス) ページ (ローカル コンソール サーバ ディスプレイ)

Dominion KX II ローカル コンソールにログオンすると、[Port Access] (ポート アク セス) ページが開きます。このページには、Dominion KX II のポート、各ポートに 接続されている KVM ターゲット サーバ、および各ターゲット サーバのステータスと 稼動状態が一覧表示されます。

また、Dominion KX II で設定されているブレード筐体も表示されます。 ブレード サーバは、[Port Access] (ポート アクセス) ページ上の展開可能な階層リストに表 示されます。階層のルートはブレード シャーシで、個別のブレードはルートの下にラベ ルが付けられて表示されます。

注: ブレード シャーシを階層順に表示するには、ブレード サーバ シャーシにブレー ド シャーシのサブタイプを設定する必要があります。

デフォルトで、[Port Access] (ポート アクセス) ページには [View by Port] (ポート 別表示) タブが表示されます。 [View by Group] (グループ別表示) タブには、 [View by Port] (ポート別表示) タブと同じ情報が表示されますが、ポートは既存の ポート グループ割り当てに基づいて並べられています。

ick on t	ss he individual port name to s note KVM channels currently	ee allowable oper v in use	rations.	
ice By For	View By Group		×	
A No.	Name	Туре	Status	Availability
1	BC_Port1_KXName_r2	BladeChassis	up	connected
1-1	BC_Port1_Slot1_To_Local_Port	Blade	6	shared
1-2	Blade_Chassis_Port1_Slot2	Blade	-	à
1-3	Blade_Chassis_Port1_Slot3	Blade		~
1-4	Blade_Chassis_Port1_Slot4	Blade	4	÷
1-5	Blade_Chassis_Port1_Slot5	Blade	4	~
1-6	Blade_Chassis_Port1_Slot6	Blade	4	~
1-7	Blade_Chassis_Port1_Slot7	Blade	-	
1-8	Blade_Chassis_Port1_Slot8	Blade	-	÷
1-9	Blade_Chassis_Port1_Slot9	Blade	4	8
1-10	Blade_Chassis_Port1_Slot10	Blade	14	~
1-11	Blade_Chassis_Port1_Slot11	Blade	4	2
1-12	Blade_Chassis_Port1_Slot12	Blade	-	×
1-13	Blade_Chassis_Port1_Slot13	Blade		
1-14	Blade_Chassis_Port1_Slot14	Blade	-	~
1-15	Blade_Chassis_Port1_Slot15	Blade	-	
1-16	Blade_Chassis_Port1_Slot16	Blade	- 2	
2	KX2 Port2 CCName r2	DCIM	up	idle

#### ▶ [Port Access] (ポート アクセス) ページを使用するには

1. Dominion KX II ローカル コンソールにログオンします。



KVM ターゲット サーバは当初ポート番号順に並んでいますが、 列のいずれか を基準に表示順を変更できます。

- [Port Number] (ポート番号) 1 から Dominion KX II デバイスで使用 できるポートの合計数までの番号が振られています。 電源タップに接続さ れているポートはリストに表示されないため、ポート番号が抜ける場合があ ることに注意してください。
- [Port Name] (ポート名) Dominion KX II ポートの名前です。最初は、 「Dominion-KX2-Port#」に設定されていますが、わかりやすい名前に変 更できます。[Port Name] (ポート名)のリンクをクリックすると、[Port Action] (ポート アクション) メニューが表示されます。

注: ポート (CIM) 名にアポストロフィ ("'") を使用することはできません。

- [Status] (ステータス) ステータスは [up] (アップ) または [down] (ダウン) のどちらかです。
- [Type] (タイプ) サーバまたは CIM のタイプです。 ブレード シャーシの場合、タイプは、[Blade Chassis] (ブレード シャーシ)、[Blade] (ブレード)、 [BladeChassisAdmin] (ブレードシャーシ管理)、および [BladeChassisURL](ブレードシャーシ URL) です。
- [Availability] (可用性) 可用性は、[Idle] (アイドル)、[Connected] (接 続済み)、[Busy] (ビジー)、または [Unavailable] (使用不可能) のいず れかです。 ブレード サーバの場合、そのサーバへの接続が存在する際の 可用性は、[shared] (共有) または [exclusive] (排他) です。
- 必要に応じてビューを切り替えます。[View by Port] (ポート別に表示) タブをク リックすると、情報がポート別に表示されます。[View by Group] (グループ別に 表示) タブをクリックすると、情報がポート グループ別に表示されます。
  - [View by Group] (グループ別に表示) ビューには、ポート番号、ポート名、 ステータス、タイプ、稼動状態の各列に加え、グループ列も表示されます。
     この列には、使用可能なポート グループが表示されます。
- アクセスするターゲット サーバのポート名をクリックします。 [Port Action] (ポート アクション) メニューが表示されます。 使用可能なメニュー オプションについての 詳細は、「[Port Action] (ポート アクション) メニュー 『p. 46』」を参照してくだ さい。
- 4. [Port Action] (ポート アクション) メニューから、目的のメニュー コマンドを選択 します。
- ▶ 表示順を変更するには、以下の手順に従います。
- 並べ替えで基準にする列の見出しをクリックします。その列に基づいて KVM ターゲット サーバのリストが並べ替えられます。



# ホットキー

Dominion KX II ローカル コンソールの画面は、現在アクセスしているターゲット サーバの画面に完全に置き換えられます。これらの画面を切り替えるには、ホットキーを使用します。

ホットキーによる画面切り替えは、ブレード筐体に対しても使用できます。 ブレード 筐体のホットキーは、あらかじめ定義されているか、または、筐体モデルに基づいてユ ーザが定義します。

ターゲット サーバの画面が表示されているときにホットキーを使用することにより、 Dominion KX II ローカル コンソールの画面をすばやく開くことができます。 デフォル トでは、Scroll Lock キーをすばやく 2 回押します。別のキー組み合わせをホットキ ーとして指定することもできます。指定するには、[Local Port Settings] (ローカル ポ ート設定) ページを使用します。 詳細については、「Dominion KX II ローカル コン ソールの [Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ページ」を参照してくださ い。

### Sun サーバへのアクセス時に使用できる特別なキー組み合わせ

ローカル ポートでは、Sun Microsystems サーバの特別なキーに対して、次のキー 組み合わせが機能します。 これらの特別なキー組み合わせは、Sun ターゲット サ ーバに接続しているときに使用できます。

Sun サーバのキー	ローカル ポートにおけるキー組み合わせ
Again	Ctrl+ Alt +F2
Props	Ctrl+ Alt +F3
Undo	Ctrl+ Alt +F4
Stop A	Break a
Front	Ctrl+ Alt +F5
Сору	Ctrl+ Alt +F6
Open	Ctrl+ Alt +F7
Find	Ctrl+ Alt +F9
Cut	Ctrl+ Alt +F10
Paste	Ctrl+ Alt +F8
Mute	Ctrl+ Alt +F12
Compose	Ctrl+ Alt + KPAD *
Vol +	Ctrl + Alt + KPAD +



Sun サーバのキー	ローカル ポートにおけるキー組み合わせ
Vol -	Ctrl + Alt + KPAD -
Stop	キー組み合わせなし
Power	キー組み合わせなし

# ターゲット サーバにアクセスする

#### ターゲット サーバにアクセスするには

- 1. アクセスしたいターゲット サーバのポート名をクリックします。 ポート アクション メ ニューが開きます。
- ポート アクション メニューの [Connect] (接続) をクリックします。 そのターゲット サーバの画面に切り替わります。

### Dominion KX II ローカル コンソールの画面に切り替える

重要: Dominion KX II ローカル コンソールのデフォルトのホットキ ーは、Scroll Lock キーをすばやく 2 回押すことです。 このキー組み 合わせを変更するには、[Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ペ ージを使用します。 詳細については、「Dominion KX II ローカル コン ソールの [Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ページ」を参照 してください。

- ターゲット サーバの画面から Dominion KX II ローカル コンソールの画面に 戻るには
- ホットキーを押します (デフォルトでは Scroll Lock キーをすばやく 2 回押す)。 ターゲット サーバの画面から Dominion KX II ローカル コンソールの画面に切 り替わります。



### ローカル ポートの管理

Dominion KX II を管理するには、Dominion KX II ローカル コンソールまたは Dominion KX II リモート コンソールを使用します。 Dominion KX II ローカル コ ンソールには次のページもあります。

- [Factory Reset] (出荷時設定にリセット)
- [Local Port Settings] (ローカル ポート設定)(Dominion KX II リモート コン ソールにもある)

注: これらのページを使用できるのは、管理者権限を持つユーザだけです。

# Dominion KX II ローカル コンソールの [Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ページ

[Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ページでは、Dominion KX II ロー カル コンソールに関するさまざまな設定値をカスタマイズできます。たとえば、キーボー ド、ホットキー、画面切り替え遅延、省電カモード、画面解像度設定、ローカル ユ ーザ認証などに関する設定値をカスタマイズできます。

注: このページは、Dominion KX II ローカル コンソールでのみ使用できます。

#### ▶ ローカル ポートに関する設定値をカスタマイズするには

- [Device Settings] (デバイス設定) メニューの [Local Port Settings] (ローカ ル ポート設定) をクリックします。 [Local Port Settings] (ローカル ポート設 定) ページが開きます。
- 2. [Keyboard Type] (キーボード タイプ) ボックスの一覧でキーボード タイプを選択します。選択できる項目は次のとおりです。
  - [US] (アメリカ英語)
  - [US/International] (アメリカ英語/国際)
  - [United Kingdom] (イギリス)
  - [French (France)] (フランス語 (フランス))
  - [German (Germany)] (ドイツ語 (ドイツ))
  - [JIS (Japanese Industry Standard)] (JIS (日本工業規格))
  - [Simplified Chinese] (簡体字中国語)
  - [Traditional Chinese] (繁体字中国語)
  - [Dubeolsik Hangul (Korean)] (Dubeolsik ハングル (韓国))



- [German (Switzerland)] (ドイツ語 (スイス))
- [Norwegian (Norway)] (ノルウェー語 (ノルウェー))
- [Swedish (Sweden)] (スウェーデン語 (スウェーデン))
- [Danish (Denmark)] (デンマーク語 (デンマーク))
- [Belgian (Belgium)] (ベルギー語 (ベルギー))

注: 中国語、日本語、および韓国語は、表示しかできません。 現時点では、 これらの言語を入力することはできません。

 [Local Port Hotkey] (ローカル ポート ホットキー) ボックスの一覧でローカル ポート ホットキーを選択します。 ローカル ポート ホットキーは、ターゲット サー バの画面が表示されているときに Dominion KX II ローカル コンソールの画面 に戻す際に使用します。 デフォルト値は [Double Click Scroll Lock] (Scroll Lock キーを 2 回押す) ですが、他のキー組み合わせを選択することもできま す。

ホットキー	説明
Scroll Lock キーをすばやく 2 回押 す	Scroll Lock キーをすばやく 2 回押 します。
[Double Click Num Lock] (Num Lock キーを 2 回押す)	Num Lock キーをすばやく 2 回押し ます。
[Double Click Caps Lock] (Caps Lock キーを 2 回押す)	Caps Lock キーをすばやく 2 回押 します。
[Double Click Left Alt key] (左 Alt キーを 2 回押す)	左 Alt キーをすばやく 2 回押しま す。
[Double Click Left Shift key] (左 Shift キーを 2 回押す)	左 Shift キーをすばやく 2 回押します。
[Double Click Left Ctrl key] (左 Ctrl キーを 2 回押す)	左 Ctrl キーをすばやく 2 回押します。

4. [Local Port Connectkey] (ローカル ポート接続キー) ボックスの一覧でローカ ル ポート接続キーを選択します。接続キーは、あるターゲット サーバにアクセ スしているときに別のターゲット サーバに切り替える際に使用します。その後ホ ットキーを使用して、そのターゲット サーバの画面から Dominion KX II ローカ ル コンソールの画面に戻すことができます。 接続キーは、標準型サーバとブレ ード筐体のどちらに対しても機能します。 接続キーを設定すると、ナビゲーション パネルに表示されるので、すぐにわかります。 接続キー組み合わせの例について は、「 接続キーの例 『p. 252』」を参照してください。



- 必要に応じて、[Video Switching Delay (in secs)] (画面切り替え遅延 (秒)) ボックスに 0 ~ 5 秒の範囲の数値を入力します。通常は「0」と入力します。ただし、一部のモニタでは画面切り替えに時間がかかるので、その場合は適切な値を入力します。
- 6. 省電力機能を利用する場合、次の手順を実行します。
  - a. [Power Save Mode] (省電力モード) チェック ボックスをオンにします。
  - b. [Power Save Mode Timeout (in minutes)] (省電カモードのタイムアウト (分)) ボックスに、省電カモードに移行するまでの時間 (単位:分)を入力します。
- 7. [Resolution] (解像度) ボックスの一覧で、Dominion KX II ローカル コンソー ルの画面解像度を選択します。選択できる項目は次のとおりです。
  - 800x600
  - 1024 x 768
  - 1280 x 1024
- 8. [Refresh Rate (Hz)] (リフレッシュ レート (Hz)) ボックスの一覧でリフレッシュ レートを選択します。選択できる項目は次のとおりです。
  - 60 Hz
  - 75 Hz
- [Local User Authentication] (ローカル ユーザ認証) でローカル ユーザ認証 タイプを選択します。
  - [Local/LDAP/RADIUS] (ローカル/LDAP/RADIUS): これは推奨オプションです。認証の詳細については、「*リモート認証*『p. 36』」を参照してください。
  - 特別なアクセス用ソフトウェアをインストールする必要はありません。
     Dominion KX II ローカル コンソールからのアクセスに対して認証は行われません。このオプションは、安全な環境でのみ選択することを推奨します。
- Dominion KX II が CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) の管理下にある場合にローカル ユーザを認証するには、[Ignore CC managed mode on local port] (ローカル ポートからのアクセスを CC-SG の管理対象から除外する) チェック ボックスをオンにします。

注: 最初は [Ignore CC managed mode on local port] ( $\Pi$ -カル ポート からのアクセスを CC-SG の管理対象から除外する) チェック ボックスをオフに していたが、後でローカル ポートからのアクセスを CC-SG の管理対象から除 外したくなった場合、CC-SG 側で Dominion KX II を CC-SG の管理対 象から除外する必要があります。 その後、[Ignore CC managed mode on local port] ( $\Pi$ -カル ポートからのアクセスを CC-SG の管理対象から除外す る) チェック ボックスをオンにすることができます。



11. [OK] をクリックします。

Note: Any changes to the Lo	ocal Port Settings will
restart the browser.	Service and and
- Country Characterial and Dard	
P Endore Standard Local Port	
Local Port Setungs	
Keyboard Type	
US 💌	
Local Port Hotkey	Local Port Connectkey
Double Click Scroll Lock	Disabled
Video Switching Delay (in secs)	
0	
Power Save Mode	
Power Save Mode Timeout (in min	utes)
10	
Resolution	
1024×768 💌	
Refresh Rate (Hz)	
60 HZ	
Local User Authentication     C Local LDAP RADIUS	
C llone	
Ignore CC managed mode on I	local port
10	



接続キーの例

#### 標準型サーバの場合

# 接続キーを押したときの キー組み合わせの例

アクション	
Dominion KX II ローカ ル コンソールからポート に接続する	Dominion KX II ローカル コンソールからポート 5 に 接続するには
	<ul> <li>左 Alt キーを押す → 5 キーを押して離す →</li> <li>左 Alt キーを離す</li> </ul>
ポートを切り替える	ポート 5 からポート 11 に切り替えるには
	<ul> <li>左 Alt キーを押す → 1 キーを押して離す →</li> <li>1 キーを押して離す → 左 Alt キーを離す</li> </ul>
ターゲット サーバから切 断し、Dominion KX II ローカル コンソールの画	ポート 11 から切断し、Dominion KX II ローカル コ ンソールの画面 (ターゲット サーバに接続する時に開 いていたページ) に戻るには
面に戻る	• Scroll Lock キーをすばやく 2 回押す

### ブレード筐体の場合

接続キーを押したときの アクション	キー組み合わせの例
Dominion KX II ローカ	ポート 5 のスロット 2 に接続するには
ル コンソールからポート	• 左 Alt キーを押す → 5 キーを押して離す →
に接続する	2 キーを押して離す → 左 Alt キーを離す
ポートを切り替える	ポート 5 のスロット 2 からポート 5 のスロット 11 に 切り替えるには • 左 Alt キーを押す → 5 キーを押して離す → 1 キーを押して離す → 1 キーを押して離す → 左 Alt キーを離す
ターゲット サーバから切	ポート 11 のスロット 11 から切断し、Dominion KX
断し、Dominion KX II	II ローカル コンソールの画面 (ターゲット サーバに接
ローカル コンソールの画	続する時に開いていたページ) に戻るには
面に戻る	• Scroll Lock キーをすばやく 2 回押す



Dominion KX II ローカル コンソールの [Factory Reset] (出荷時設定にリセット) ページ

注: このページは、Dominion KX II ローカル コンソールでのみ使用できます。

Dominion KX II ローカル コンソールでは、さまざまなリセット モードの中から適切な ものを選択できます。

注: 出荷時設定にリセットする前に、監査ログを保存しておくことを推奨します。 出荷時設定にリセットされると、監査ログが削除されます。また、リセット イベントは 監査ログに記録されません。監査ログの保存手順については、「監査ログ『p.207 』」を参照してください。

#### 出荷時設定にリセットするには

- [Maintenance] (保守) メニューの [Factory Reset] (出荷時設定にリセット) をクリックします。 [Factory Reset] (出荷時設定にリセット) ページが開きます。
- 2. リセット モードを選択します。選択できるオプションは次のとおりです。
- [Full Factory Reset] (完全リセット): すべての設定値を削除し、工場出荷時 のデフォルト値にリセットします。 Dominion KX II が CC-SG の管理下にあ る場合は、CC-SG との関連付けが解除されます。 このリセット モードではす べての設定値がリセットされるので、リセットしてもよいかどうかを確認するためのダ イアログ ボックスが開きます。
- [Network Parameter Reset] (ネットワーク パラメータ値をリセット): Dominion KX II のネットワーク パラメータ値を出荷時設定にリセットします。 現在設定されているネットワーク パラメータ値を表示するには、[Device Settings] (デバイス設定) メニューの [Network Settings] (ネットワーク設定) をクリックします。リセットされる設定値は次のとおりです。
  - IP を自動設定するかどうか
  - IP アドレス
  - サブネット マスク
  - デフォルト ゲートウェイ
  - プライマリ DNS サーバの IP アドレス
  - セカンダリ DNS サーバの IP アドレス
  - 検出ポート
  - 帯域幅制限
  - LAN インタフェースの速度と通信方式 (全二重/半二重)
  - 自動フェイルオーバを有効にするかどうか
  - ping 間隔 (単位: 秒)



- タイムアウト時間 (単位: 秒)
- [Reset] (リセット) をクリックして続行します。すべてのネットワーク設定値がリセットされるので、リセットしてもよいかどうかを確認するためのダイアログ ボックスが 開きます。
- 2. [OK] をクリックして続行します。 リセットが完了すると、Dominion KX II が自動再起動します。

#### リセット ボタンを使用して Dominion KX II をリセットする

Dominion KX II の背面パネルにリセット ボタンがあります。誤ってリセットされること がないように、ボタンはパネルに埋め込まれています (このボタンを使用するには、先端が尖った道具が必要です)。

リセット ボタンを押したときに実行される処理については、グラフィカル ユーザ インタ フェースで定義します。「*暗号化および共有* 『p. 198の"[Encryption & Share] (暗 号化および共有)"see 』」を参照してください。

Dominion KX II がリセットされると、短いビープ音が 2 回鳴り、リセットが完了した 旨が通知されます。

注: 出荷時設定にリセットする前に、監査ログを保存しておくことを推奨します。出 荷時設定にリセットされると、監査ログが削除されます。また、リセット イベントは監 査ログに記録されません。監査ログの保存手順については、「**監査ログ**『p. 207』」 を参照してください。

#### Dominion KX II をリセットするには

- 1. Dominion KX II の電源を切ります。
- 2. 先端の尖った道具を使用してリセット ボタンを押し続けます。
- 3. リセット ボタンを押したまま、Dominion KX II の電源を入れ直します。
- 4. リセット ボタンを 5 ~ 10 秒間押したままにします。

Dominion KX II がリセットされると、短いビープ音が 2 回鳴り、リセットが完了した 旨が通知されます。





#### この章の内容

サポートされている画面解像度	255
各言語に対してサポートされているキーボード	256
サポートされているオペレーティング システム (クライアント)	257
サポートされているブラウザ	259
サポートされている CIM およびオペレーティング システム (ターゲット サーバ	)259
認定モデム	266
環境要件	266
物理的仕様	266
コンピュータ インタフェース モジュール (CIM)	268
リモート接続	270
使用される TCP ポートおよび UDP ポート	270
ターゲット サーバとの接続距離および画面解像度	272
ネットワーク速度の設定	273

# サポートされている画面解像度

各ターゲット サーバの画面解像度とリフレッシュ レートが Dominion KX II でサポ ートされているかどうか、および、映像信号がノンインタレース方式であるかどうかを確 認してください。

画面解像度とケーブル長は、マウスを同期させるうえで重要な要素です。詳細については、「ターゲット サーバとの接続距離および画面解像度 『p. 272』」を参照してください。

Dominion KX II でサポートされている画面解像度は次のとおりです。

解像度		
640 x 350、70 Hz	720 x 400、85 Hz	1024 x 768、90 Hz
640 x 350、85 Hz	800 x 600、56 Hz	1024 x 768、100 Hz
640 x 400、56 Hz	800 x 600、60 Hz	1152 x 864、60 Hz
640 x 400、84 Hz	800 x 600、70 Hz	1152 x 864、70 Hz
640 x 400、85 Hz	800 x 600、72 Hz	1152 x 864、75 Hz
640 x 480、60 Hz	800 x 600、75 Hz	1152 x 864、85 Hz
640 x 480、66.6 Hz	800 x 600、85 Hz	1152 x 870、75.1 Hz
640 x 480、72 Hz	800 x 600、90 Hz	1152 x 900、66 Hz



解像度		
640 x 480、75 Hz	800 x 600、100 Hz	1152 x 900、76 Hz
640 x 480、85 Hz	832 x 624、75.1 Hz	1280 x 960、60 Hz
640 x 480、90 Hz	1024 x 768、60 Hz	1280 x 960、85 Hz
640 x 480、100 Hz	1024 x 768、70 Hz	1280 x 1024、60 Hz
640 x 480、120 Hz	1024 x 768、72 Hz	1280 x 1024、75 Hz
720 x 400、70 Hz	1024 x 768、75 Hz	1280 x 1024、85 Hz
720 x 400、84 Hz	1024 x 768、85 Hz	1600 x 1200、60 Hz

*注: 映像信号が Composite Sync 方式または Sync on Green 方式である 場合は、アダプタを増設する必要があります。* 

# 各言語に対してサポートされているキーボード

次の表に、各言語に対して Dominion KX II でサポートされているキーボードを示します。

注: 中国語、日本語、および韓国語は、表示しかできません。現時点では、これらの言語を入力することはできません。アメリカ英語以外のキーボードの詳細については、「**留意事項**『p.283』」を参照してください。

言語	地域	キーボード レイアウト
アメリカ英語	米国および大半の英語圏 (例: カナダ、オーストラリア、ニュージーラン ド)	アメリカ英語
アメリカ英語 (国 際)	米国および大半の英語圏 (例: オランダ)	アメリカ英語
イギリス英語	イギリス	イギリス英語
繁体字中国語	香港、台湾	繁体字中国語
簡体字中国語	中国本土	簡体字中国語
韓国語	韓国	Dubeolsik ハングル
日本語	日本	JIS キーボード
フランス語	フランス	フランス語 (AZERTY 配列)



言語	地域	キーボード レイアウト
ドイツ語	ドイツおよびオーストリア	ドイツ語 (QWERTZ 配列)
ベルギー語	ベルギー	ベルギー語
ノルウェー語	ノルウェー	ノルウェー語
デンマーク語	デンマーク	デンマーク語
スウェーデン語	スウェーデン	スウェーデン語
ハンガリー語	ハンガリー	ハンガリー語
スロベニア語	スロベニア	スロベニア語
イタリア語	イタリア	イタリア語
スペイン語	スペインおよび大半のスペイン語圏	スペイン語

# サポートされているオペレーティング システム (クライアント)

Virtual KVM Client<sup>TM</sup> (VKC) および Multi-Platform Client (MPC) でサポート されているオペレーティング システム (OS) は、次のとおりです。

クライアント OS	クライアントで仮想メディア (VM) がサポートさ れているか
Windows XP®	はい
Windows 2000 SP4®	はい
Windows Vista®	はい
Red Hat® Linux 9.0	はい。 ローカルに保存されている ISO イメー ジである Remote File Server を、ターゲット サーバに直接マウントできます。
Red Hat Enterprise Workstation 3.0 および 4.0	はい。 ローカルに保存されている ISO イメー ジである Remote File Server を、ターゲット サーバに直接マウントできます。
SUSE Linux Professional 9.2 および 10	はい。 ローカルに保存されている ISO イメー ジである Remote File Server を、ターゲット サーバに直接マウントできます。
Fedora <sup>™</sup> Core 5 以降	はい。 ローカルに保存されている ISO イメー ジである Remote File Server を、ターゲット サーバに直接マウントできます。



クライアント OS	クライアントで仮想メディア (VM) がサポートさ れているか
Mac®	いいえ
Solaris	いいえ

現時点では、Java Runtime Environment (JRE) プラグインは 32 ビット版 Windows でのみ使用できます。 したがって、MPC および VKC は、32 ビット版 ブラウザから開く必要があります。なぜかと言うと、JRE プラグインが 32 ビット版ブラ ウザでのみ動作するからです。 32 ビット版 JRE をインストールすると、32 ビット版 JRE プラグインも一緒にインストールされます。

次の表に、Windows x64 Edition におけるソフトウェア要件を示します。

モード	オペレーティング システム	ブラウザ
Windows x64 32 ビット モード	Windows XP	• IE 6.0 SP1 以降または 7.0
		• Mozilla 1.4.x または 1.7 以降
		• Netscape 7.x
		• Firefox 1.06 以降
	Windows Server 2003	• IE 6.0 SP1 以降
		• Mozilla 1.4.x または 1.7 以降
		Netscape 7.x
		• Firefox 1.06 以降
	Windows Vista	• IE 7.0 以降
Windows x64	Windows XP	64 ビット OS 対応の 32 ビッ
64 ビット モード	Windows Server 2003	ト版ブラウザ
	Windows Vista	<ul> <li>IE 6.0 SP1 以降または 7.0</li> </ul>
		• Mozilla 1.4.x または 1.7 以降
		Netscape 7.x
		• Firefox 1.06 以降
		64 ビット OS 対応の 64 ビッ ト版ブラウザ
		• なし



# サポートされているブラウザ

Dominion KX II でサポートされているブラウザは、次のとおりです。

- Internet Explorer 6、7、および 8
- Firefox 1.5、2.0、および 3.0
- Mozilla 1.7
- Safari 2.0

# サポートされている CIM およびオペレーティング システム (ターゲット サーバ)

新製品である Dominion KX II D2CIM に加え、大半の Paragon® CIM および Dominion KX I CIM がサポートされています。 次の表に、サポートされているタ ーゲット サーバ オペレーティング システム、CIM、仮想メディア、およびマウス モード を示します。

注: 第 1 世代の Dominion KX II では、ターゲット サーバのオペレーティング シ ステムとして 32 ビット版の Windows および Linux だけがサポートされています。



A: 1	仕材	羕

サポートされている Paragon CIM	OS およびシリアル デバイス	仮想メディア	ずれないマウ ス モード	インテリジェント マウス モード	標準マウス モ ード
• P2CIM-PS2	<ul> <li>Windows XP</li> <li>Windows 2000</li> <li>Windows Server 2000</li> <li>Windows Server 2003</li> <li>Windows Vista</li> <li>Red Hat Linux 9.0</li> <li>Red Hat Enterprise Workstation 3.0 および 4.0</li> <li>SUSE Linux Professional 9.2 および 10</li> <li>Fedora Core 3 以降</li> <li>IBM AIX</li> <li>HP UX</li> </ul>				
<ul> <li>P2CIM-AUSB</li> <li>UUSBPD</li> </ul>	<ul> <li>Windows XP</li> <li>Windows 2000</li> <li>Windows Server 2000</li> <li>Windows Server 2003</li> <li>Windows Vista</li> <li>Red Hat Linux 9.0</li> <li>Red Hat Enterprise Workstation 3.0 および 4.0</li> <li>SUSE Linux Professional 9.2 および 10</li> <li>Fedora Core 3 以降</li> <li>IBM AIX</li> <li>HP UX</li> <li>Mac OS</li> </ul>				



サポートされている Paragon CIM	OS およびシリアル デバイス	仮想メディア	ずれないマウ ス モード	インテリジェント マウス モード	標準マウス モ ード
• UKVMPD	<ul> <li>Windows XP</li> <li>Windows 2000</li> <li>Windows Server 2000</li> <li>Windows Server 2003</li> <li>Windows Vista</li> <li>Red Hat Linux 9.0</li> <li>Red Hat Enterprise Workstation 3.0 および 4.0</li> <li>SUSE Linux Professional 9.2 および 10</li> <li>Fedora Core 3</li> </ul>			✓	
	U降				
<ul><li>P2CIM-SUN</li><li>P2CIM-SUSB</li></ul>	<ul> <li>Dominion KX I でサポ ートされているすべての Solaris OS</li> </ul>				~
P2CIM-SER	• シリアル デバイス				



サポートされている Dominion KX I DCIM	ターゲット サーバ	仮想メディア	ずれないマウ ス モード	インテリジェント マウス モード	標準マウス モ ード
• DCIM-PS2	<ul> <li>Windows XP</li> <li>Windows 2000</li> <li>Windows Server 2000</li> <li>Windows Server 2003</li> <li>Windows Vista</li> <li>Red Hat Linux 9.0</li> <li>Red Hat Enterprise Workstation 3.0 および 4.0</li> <li>SUSE Linux Professional 9.2 および 10</li> <li>Fedora Core 3 以降</li> <li>IBM AIX</li> <li>HP UX</li> </ul>				



サポートされている Dominion KX I DCIM	ターゲット サーバ	仮想メディア	ずれないマウ ス モード	インテリジェント マウス モード	標準マウス モ ード
• DCIM-USB	<ul> <li>Windows XP</li> <li>Windows 2000</li> <li>Windows Server 2000</li> <li>Windows Server 2003</li> <li>Windows Vista</li> <li>Red Hat Linux 9.0</li> <li>Red Hat Enterprise Workstation 3.0 および 4.0</li> <li>SUSE Linux Professional 9.2 および 10</li> <li>Fedora Core 3 以降</li> <li>Mac OS</li> <li>IBM AIX</li> <li>HP UX</li> </ul>				



۸۰	(上样
A. 1	上小水

Dominion KX I DCIM		収想メティア	すれないマウ ス モード	インテリジェント マウス モード	標準マウス モ ード
<ul> <li>DCIM-USB G2</li> <li>.</li> <l< th=""><th>Windows XP Windows 2000 Windows Server 2000 Windows Server 2003 Windows Vista Red Hat Linux 9.0 Red Hat Enterprise Workstation 3.0 およ び 4.0 SUSE Linux Professional 9.2 およ び 10 Fedora Core 3 以降 Mac OS Dominion KX I でサポ ートされているすべての Solaris OS IBM AIX HP UX</th><th></th><th></th><th></th><th></th></l<></ul>	Windows XP Windows 2000 Windows Server 2000 Windows Server 2003 Windows Vista Red Hat Linux 9.0 Red Hat Enterprise Workstation 3.0 およ び 4.0 SUSE Linux Professional 9.2 およ び 10 Fedora Core 3 以降 Mac OS Dominion KX I でサポ ートされているすべての Solaris OS IBM AIX HP UX				

注: DCIM-USB G2 の背面には小さいスライド型スイッチがあります。PC ベースのターゲット サーバを USB で接続する場合は、このスイッチを P にします。Sun のターゲット サーバを USB で接続する場合は、このスイッチを S に します。変更後のスイッチ位置が有効になるのは、CIM に給電し直した後です。CIM に給電し直すには、ターゲット サーバから USB コネクタをいったん取り外し、数秒経ってから再度取り付けます。

•	DCIM-SUN	<ul> <li>Dominion KX I でサポ</li> </ul>	$\checkmark$	<
•	DCIM-SUSB	ートされているすべての Solaris OS	-	-



サポートされている Dominion KX II D2CIM	ターゲット サーバおよびリモー ト電源タップ	仮想メディア	ずれないマウス モード	インテリジェン ト マウス モー ド	標準マウス モ ード
• D2CIM-VUSB	<ul> <li>Windows XP</li> <li>Windows 2000</li> <li>Windows Server 2000</li> <li>Windows Server 2003</li> <li>Windows Vista</li> <li>SUSE Linux Professional 9.2 および10</li> <li>Fedora Core 3 以降</li> <li>Red Hat Linux 9.0</li> <li>SUSE Linux Professional 9.2 および10</li> <li>Mac OS</li> </ul>				
注: D2CIM-VUSB	は、Sun (Solaris) ターゲット	サーバではサポ	ートされていません	'0	
D2CIM-DVUSB	<ul> <li>Windows XP</li> <li>Windows 2000</li> <li>Windows Server 2000</li> <li>Windows Server 2003</li> <li>Windows Vista</li> <li>SUSE Linux Professional 9.2 および10</li> <li>Fedora Core 3 以降</li> <li>Red Hat Linux 9.0</li> <li>Mac OS</li> </ul>	A     A	✓	<ul> <li>Image: A second s</li></ul>	
D2CIM-PWR	• リモート電源タップ				



# 認定モデム

- US Robotics 56K 5686E
- ZOOM v90
- ZOOM v92
- US Robotics Sportster 56K
- US Robotics Courier 56K

# 環境要件

作動時	
温度	0 °C ~ 40 °C
湿度	20 ~ 85% (相対湿度)
標高	なし
振動	5-55-5 HZ、0.38 mm、1 サイクル 1 分、
	軸 (X、Y、Z) ごとに 30 分
衝撃	なし
非作動時	
温度	0 ~ 50 °C
湿度	10 ~ 90% (相対湿度)
標高	なし
振動	5-55-5 HZ、0.38 mm、1 サイクル 1 分、
	軸 (X、Y、Z) ごとに 30 分
衝撃	なし

# 物理的仕様



品目番号	品目説明	UPC コード	電力	重量	寸法 (幅 x 奥 行き x 高さ)	出荷時重 量	出荷時寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)
DKX2-108	8 ポートの Dominion KX	785813624109	二重化電 源 100/240 V 50/60 Hz 0.6 A 25 W	8.58 lbs	1.75 x 17.32 x 11.4 インチ	14.3 lbs	22 x 16.6 x 6.5 インチ
	II、同時リモート アクセス可能ユー ザ数 = 1、ローカ ルポート、仮想メ ディア機能、二重 化電源			3.9kg	44 x 439 x 290 mm	6.5 kg	559 x 422 x 165 mm
DKX2-116	16 ポートの Dominion KX	785813624055	二重化電 源	8.65 lbs	1.75 x 17.3 x 11.4 インチ	14.85 lbs	22 x 16.6 x 6.5 インチ
	II、同時リモート アクセス可能ユー ザ数 = 1、ローカ ルポート、仮想メ ディア機能、二重 化電源	1	100/240 V 50/60 Hz 0.6 A 25.4 W	3.9kg	44 x 439 x 290 mm	6.7 kg	559 x 422 x 165 mm
DKX2-132	32 ポートの Dominion KX	785813624079	二重化電 源	9.0 lbs	1.75 x 17.3 x 11.4 インチ	14.9 lbs	22 x 16.6 x 6.5 インチ
	II、同時リモート アクセス可能ユー ザ数 = 1、ローカ ルポート、仮想メ ディア機能、二重 化電源		100/240 V 50/60 Hz 0.6 A 26 W	4.1kg	44 x 439 x 290 mm	6.8 kg	559 x 422 x 165 mm
DKX2-216	16 ポートの Dominion KX	785813624086	二重化電 源	8.65 lbs	1.75 x 17.3 x 11.4 インチ	14.49 lbs	22 x 16.6 x 6.5 インチ
	II、回時リモート アクセス可能ユー ザ数 = 2、ローカ ルポート、仮想メ ディア機能、二重 化電源		100/240 V 50/60 Hz 0.6 A 26.3 W	3.9 kg	44 x 439 x 290 mm	6.6 kg	559 x 422 x 165 mm



A: -	仕様

品目番号	品目説明	UPC コード	電力	重量	寸法 (幅 x 奥 行き x 高さ)	出荷時重 量	出荷時寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)	
DKX2-232	32 ポートの Dominion KX	785813625021	25021 二重化電 源 100/240 V 50/60 Hz ( 最適範囲: 47 ~ 63 Hz) 0.6 A 27 W	9.0 lbs	1.75 x 17.3 x 11.4 インチ	14.9 lbs	22 x 16.6 x 6.5 インチ	
	II、同時リモート アクセス可能ユー ザ数 = 2、ローカ ルポート、仮想メ ディア機能、二重 化電源			4.1 kg	44 x 439 x 290 mm	6.8 kg	559 x 422 x 165 mm	
DKX2-416	16 ポートの Dominion KX	785813625359	二重化電 源	二重化電 9.04 lbs 17.3 x 11.6 x 1. 源 1.75 インチ		14.94 lbs	22 x 16.5 x 6.5 インチ	
	II、同時リモート アクセス可能ユー ザ数 = 4、ローカ ルポート、仮想メ ディア機能、二重 化電源	L.	100/240 V 50/60 Hz 1 A 62 W	4.1 kg	440 x 295 x 44 mm	6.8 kg	560 x 420 x 165 mm	
DKX2-432 32 ポートの Dominion KX	785813625380	二重化電 源	9.48 lbs	17.3 x 11.6 x 1.75 インチ	15.38 lbs 22 x 16.5 x 6 インチ			
	II、同時リモート アクセス可能ユー ザ数 = 4、ローカ ルポート、仮想メ ディア機能、二重 化電源		100/240 V 50/60 Hz 1 A 64 W	4.3 kg	440 x 295 x 44 mm	7.0 kg	560 x 420 x 165 mm	
DKX2-464	64 ポートの Dominion KX	785813625298	二重化電 源	11.29 Ibs	17.3 x 11.6 x 3.5 インチ	19.8 lbs	22 x 16.5 x 6.5 インチ	
	II、同時リモート アクセス可能ユー ザ数 = 4、ローカ ルポート、仮想メ ディア機能、二重 化電源		100/240 V 50/60 Hz 1 A 64 W	5.12 kg	440 x 295 x 88 mm	9 kg	560 x 420 x 165 mm	

コンピュータ インタフェース モジュール (CIM)



品目番号	品目説明	重量	寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)	出荷時重量	出荷時寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)	UPC コード
D2CIM-VUS B	Dominion KX II 用 CIM、USB ポート、 仮想メディア機能	0.2 lbs	1.3 x 3.0 x 0.6 イン チ	0.2 lbs	7.2 x 9 x 0.6 インチ	785813332004
DCIM-PS2	Dominion KX I/KX II 用 CIM、PS/2 ポート	0.2 lbs	1.3 x 3.0 x 0.6 イン チ	0.2 lbs	7.2 x 9 x 0.6 インチ	785813338532
DCIM-USB	Dominion KX I/KX II 用 CIM、USB ポ ート	0.2 lbs	1.3 x 3.0 x 0.6 イン チ	0.2 lbs	7.2 x 9 x 0.6 インチ	785813338518
DCIM-SUSB	Dominion KX I/KX II 用 CIM、Sun 用 USB ポート	0.2 lbs	1.3 x 3.0 x 0.6 イン チ	0.2 lbs	7.2 x 9 x 0.6 インチ	785813338556
DCIM-USB G2	Dominion KX I/KX II 用 CIM、USB ポ ートおよび Sun 用 USB ポート	0.2 lbs	1.3 x 3.0 x 0.6 イン チ	0.2 lbs	7.2 x 9 x 0.6 インチ	785813338884
DCIM-SUN	Dominion KX I/KX II 用 CIM、Sun 用 ポート、HD15 ビデオ 端子	0.2 lbs	1.3 x 3.0 x 0.6 イン チ	0.2 lbs	7.2 x 9 x 0.6 インチ	785813338549
D2CIM-PW R	リモート電源タップを 接続するための Dominion KX II 用 CIM	0.2 lbs	1.3 x 3.0 x 0.6 イン チ	0.2 lbs	7.2 x 9 x 0.6 インチ	785813332011
D2CIM-VUS B-32PAC	D2CIM-VUSB 32 台パック	6.4 lb	(1.3 x 3.0 x 0.6 イ ンチ)*32	8.01 lb	21.65 x 12.20 x 4.33 インチ	785813332028
D2CIM-VUS B -64PAC	D2CIM-VUSB 64 台パック	12.8 lb	(1.3 x 3.0 x 0.6 イ ンチ)*64	18.13 lb	22.64 x9.45 x12.99 インチ	785813332035
D2CIM-DVU SB	Dominion KX II 用 CIM、デュアル USB ポート、仮想メディア 機能	0.23 lbs、 105g	3.53 x 1.68 x 0.76 インチ 89.7 x 42.7 x 19.3 mm	.25 lbs、 112.5g	3.9 x 5.7 x 1.0 インチ 100 x 145 x 27 mm	785813339508



品目番号	品目説明	重量	寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)	出荷時重量	出荷時寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)	UPC ユード
D2CIM-DVU SB-32PAC	D2CIM-DVUSB 32 台パック	10.1 lbs、 4.6kg	21.9 x 12.2 x 4.3 インチ 555 x 310 x 110 mm	10.1 lbs、 4.6kg	21.9 x 12.2 x 4.3 インチ 555 x 310 x 110 mm	785813332080
D2CIM-DVU SB -64PAC	D2CIM-DVUSB 64 台パック	22.5 lbs、 10.2 kg	9.4 x 22.6 x 13.0 インチ 240 x 575 x 330 mm	22.5 lbs、 10.2 kg	9.4 x 22.6 x 13.0 インチ 240 x 575 x 330 mm	785813332097

# リモート接続

リモート接続	詳細情報
ネットワーク	10BASE-T、100BASE-T、および 1000BASE-T (Gigabit) Ethernet
プロトコル	TCP/IP、UDP、SNTP、HTTP、HTTPS、RADIUS、 LDAP/LDAPS

# 使用される TCP ポートおよび UDP ポート



ポート	説明
HTTP、ポート 80	セキュリティを確保するため、Dominion KX II によって HTTP (ポート 80) で受信された要求は、すべて HTTPS に自動変換されます。 要求はポート 80 で受け付けられるので、ユーザはブラウザのアドレス ボックスに明示的に「https://」と入力する必要はありません。また、セキュリティも確保されます。
HTTP、ポート 443	このポートはさまざまな目的で使用されます。たとえば、クライアントから HTML で Web サーバにアクセスする場合、クライアント ソフトウェア (MPC/KVC) をクライ アントにダウンロードする場合、KVM データと仮想メディア データをクライアントに 転送する場合などです。
Dominion KX II (Raritan KVM-over-IP) プロト コル、ポート 5000 (変 更可)	このポートは、他の Dominion デバイスの検出、および、Raritan デバイスと各種 システム (例: CommandCenter Secure Gateway (CC-SG)) との間の通信 に使用されます。 このポートはデフォルトで 5000 に設定されていますが、別の TCP ポートに変更することもできます。 この設定を変更する手順については、「ネ ットワーク設定」を参照してください。
SNTP (時刻サーバ)、 UDP ポート 123 (変 更可)	Dominion KX II の内部クロックを中央の時刻サーバと同期させることができます。 この機能を利用するには UDP ポート 123 (SNTP 用の標準ポート) を使用す る必要がありますが、別のポートに変更することもできます。 <b>(オプション)</b>
LDAP/LDAPS、ポート 389 または 636 (変 更可)	LDAP/LDAPS プロトコルを使用してユーザをリモート認証するように Dominion KX II LDAP/LDAPS プロトコルを使用してユーザをリモート認証するように Dominion KX II が設定されている場合、デフォルトでポート 389 または 636 が使用されます。ただし、別のポートに変更することもできます。 <b>(オプション)</b>
RADIUS、ポート 1812 (変更可)	RADIUS プロトコルを使用してユーザをリモート認証するように Dominion KX II が設定されている場合、デフォルトでポート 1812 が使用されます。ただし、別のポ ートに変更することもできます。 <b>(オプション)</b>
RADIUS アカウンティン グ、ポート 1813 (変更 可)	RADIUS プロトコルを使用してユーザをリモート認証するように Dominion KX II が設定されており、かつ、イベントのログ記録に RADIUS アカウンティングが使用さ れている場合、ログ通知の転送にデフォルトでポート 1813 が使用されます。ただ し、別のポートに変更することもできます。
SYSLOG、UDP ポー ト 514 (変更可)	メッセージを Syslog サーバに送信するように Dominion KX II が設定されてい る場合、通信にデフォルトでこのポートが使用されます。ただし、別のポートに変更 することもできます。
SNMP、デフォルトの UDP ポート	送受信の読み取り/書き込み SNMP アクセスにはポート 161 が使用されます。 SNMP トラップの送信トラフィックにはポート 162 が使用されます。 <b>(オプション)</b>
TCP ポート 21	ポート 21 は、Dominion KX II のコマンド ライン インタフェース (CLI) を利用す る際に使用されます (お客様が Raritan のテクニカル サポート部門と協力して作 業する場合)。



### ターゲット サーバとの接続距離および画面解像度

Dominion KX II とターゲット サーバの間の最大接続距離は、さまざまな要素によって決まります。たとえば、Cat5 ケーブルのタイプと品質、サーバのタイプと製造元、ビデオ ドライバ、モニタ、環境条件、ユーザの要求レベルなどに左右されます。次の表に、各種の画面解像度とリフレッシュ レートにおける最大接続距離を示します。

画面解像度	リフレッシュ レート	最大接続距離
1600 x 1200	60	15 m
1280 x 1024	60	30 m
1024 x 768	60	45 m

注: サーバの製造メーカーやタイプ、OS のバージョン、ビデオ ドライバなどは多種 多様であるうえ、ビデオ品質にはユーザーの主観が反映されるため、Raritan ではあ らゆる環境でのすべての距離におけるパフォーマンスを保証することはできません。

Dominion KX II でサポートされている画面解像度については、「*サポートされている* **画面解像度** 『p. 255』」を参照してください。



# ネットワーク速度の設定

#### Dominion KX II におけるネットワーク速度の設定

ネットワーク		自動	1000/全二重	100/全二重	100/半二重	10/全二重	10/半二重
スイッチにおけ るポートの設 定	自動	使用可能な 最高速度	1000/全二重	Dominion KX II: 100/ 全二重	100/半二重	Dominion KX II: 10/ 全二重	10/半二重
				スイッチ: 100/半二重		スイッチ: 10/ 半二重	
	1000/全二重	1000/全二重	1000/全二重	通信不可	通信不可	通信不可	通信不可
	100/全二重	Dominion KX II: 100/ 半二重	Dominion KX II: 100/ 半二重	100/全二重	Dominion KX II: 100/ 半二重	通信不可	通信不可
		スイッチ: 100/全二重	スイッチ: 100/全二重		スイッチ: 100/全二重		
	100/半二重	100/半二重	100/半二重	Dominion KX II: 100/ 全二重	100/半二重	通信不可	通信不可
				スイッチ: 100/半二重			
	10/全二重	Dominion KX II: 10/ 半二重	通信不可	通信不可	通信不可	10/全二重	Dominion KX II: 10/ 半二重
		スイッチ: 10/ 全二重					スイッチ: 10/ 全二重
	10/半二重	10/半二重	通信不可	通信不可	通信不可	Dominion KX II: 10/ 全二重	10/半二重
						スイッチ: 10/ 半二重	

凡例:

通信できません。

サポートされています。



通信は行えますが、推奨できません。



Ethernet 仕様でサポートされていません。通信は行えますが、衝突が発生します。



Ethernet 仕様では通信できないことになっています。Dominion KX II は期待どおりに動作しません。

注: ネットワーク通信の信頼性を高めるため、Dominion KX II とネットワーク スイ ッチの双方で、通信速度と通信方式を同じ設定にしてください。 たとえば、 Dominion KX II とネットワーク スイッチの双方で "自動検出" に設定するか (推 奨)、または、双方の通信速度と通信速度を同じ設定にします (例: 100 Mbps/全 二重)。



# LDAP スキーマを更新する

注: この章で説明する手順は、経験豊富なユーザだけが実行してください。

#### この章の内容

ユーザ グループ情報を返す	.275
スキーマへの書き込み操作を許可するようにレジストリを設定する	.276
新しい属性を作成する	.276
属性をクラスに追加する	.278
スキーマ キャッシュを更新する	.279
ユーザ メンバの rciusergroup 属性を編集する	.280

#### ユーザ グループ情報を返す

B

この章で説明する内容に従って、ユーザ認証の成功後にユーザ グループ情報を返 すように設定してください。ユーザ グループ情報は、ユーザへの権限付与に役立ちま す。

#### LDAP から返す場合

LDAP/LDAPS 認証に成功すると、Dominion KX II では、そのユーザの所属グル ープに付与されている権限に基づいて、そのユーザに付与する権限が決まります。 リ モート LDAP サーバから次のような属性が返されるので、ユーザ グループ名がわか ります。

rciusergroup attribute type: string

このように属性を返すには、LDAP/LDAPS サーバ上でスキーマを拡張しなければならないことがあります。認証サーバ管理者に連絡し、この属性を有効にしてください。

#### Microsoft Active Directory から返す場合

注: この手順は、経験豊富な Active Directory 管理者だけが行ってください。

Windows 2000 Server 上の Microsoft Active Directory からユーザ グループ 情報を返すには、LDAP/LDAPS スキーマを更新する必要があります。詳細につ いては、Microsoft 発行のドキュメントを参照してください。

- 1. Active Directory 用のスキーマ プラグインをインストールします。インストール 手順については、Active Directory のドキュメントを参照してください。
- Active Directory コンソールを起動し、[Active Directory Schema] (Active Directory スキーマ)を選択します。



### スキーマへの書き込み操作を許可するようにレジストリを設定する

ドメイン コントローラによるスキーマへの書き込みを許可するため、スキーマの更新を許可するレジストリ エントリを設定する必要があります。

#### ▶ スキーマへの書き込みを許可するには

 ウィンドウの左ペインで [Active Directory Schema] (Active Directory スキ ーマ) ルート ノードを右クリックし、コンテキスト メニューの [Operations Master] (操作マスタ)をクリックします。 [Change Schema Master] (スキー マ マスタの変更) ダイアログ ボックスが開きます。

Change Schema Master
The schema master manages modifications to the schema. Only one server in the enterprise performs this role.
C <u>u</u> rrent schema master (online):
rci-gcf4j2nzmzt.mypc.mydomain.com
Io transfer the schema master role to the targeted Change Change Change rci-gcf4j2nzmzt.mypc.mydomain.com
Close

- [Schema can be modified on this Domain Controller] (このドメイン コン トローラでスキーマを修正できるようにする) チェック ボックスをオンにします。 (オ プション)
- 3. [OK] をクリックします。

# 新しい属性を作成する

- ▶ rciusergroup クラスに対する新しい属性を作成するには
- ウィンドウの左ペインで、[Active Directory Schema] (Active Directory スキ ーマ)の前に表示されている [+] (+) 記号をクリックします。
- 2. 左ペインで [Attributes] (属性) を右クリックします。



 コンテキスト メニューの [New] (新規) をクリックし、続いて [Attribute] (属性) をクリックします。 警告メッセージが表示されたら、[Continue] (続行) をクリック します。[Create New Attribute] (属性の新規作成) ダイアログ ボックスが開 きます。

Create New Attribute	<u>? ×</u>			
Create a New Att	ribute Object			
Common <u>N</u> ame:	rciusergroup			
LDAP Display Name:	rciusergroup			
Unique X500 <u>O</u> bject ID:	1.3.6.1.4.1.13742.50			
Description:	Raritan's LDAP attribute			
Syntax and Range				
<u>S</u> yntax:	Case Insensitive String			
Minimum:	1			
Ma <u>x</u> imum:	24			
☐ <u>M</u> ulti-Valued	OK Cancel			

- 4. [Common Name] (共通名) ボックスに「rciusergroup」と入力します。
- 5. [LDAP Display Name] (LDAP 表示名) ボックスに「rciusergroup」と入力 します。
- 6. [Unique X500 Object ID] (一意の X.500 オブジェクト ID) フィールドに 「1.3.6.1.4.1.13742.50」と入力します。
- 7. [Description] (説明) ボックスにわかりやすい説明を入力します。
- [Syntax] (構文) ボックスの一覧で [Case Insensitive String] (大文字/小 文字の区別がない文字列) を選択します。
- 9. [Minimum] (最小) ボックスに「1」と入力します。
- 10. [Maximum] (最大) ボックスに「24」と入力します。
- 11. [OK] をクリックし、新しい属性を作成します。



# 属性をクラスに追加する

#### ▶ 属性をクラスに追加するには

- 1. ウィンドウの左ペインで [Classes] (クラス) をクリックします。
- 2. 右ペインをスクロールして [user] (user) を表示し、右クリックします。

🚡 Console1 - [Console Root\Active Directory Schema [rci-gcf4j2nzmzt.mypc.mydomain.com 💶 🗖 🗙							
📸 Eile Action View Favgrites Window Help							
🧱 Console Root	Name		pe	Status	Desci 🔺		
E Classes	serviceConnectionPoint		uctural	Active	Servi		
	serviceInstance		uctural	Active	Servi		
Attributes	simpleSecurityObject		×liary	Active	The s		
	📲 🖁 site		uctural	Active	Site		
■t¦ siteLink		Stri	uctural	Active	Site-l		
	📑 🖁 siteLinkBridge		uctural	Active	Site-L		
	■t: sitesContainer	Stri	uctural	Active	Sites		
	■5 storage ■5 subnet ■5 subnetContainer		uctural	Active	Stora		
			uctural	Active	Subn		
			uctural	Active	Subn		
	■t¦ subSchema	Str	uctural	Active	SubS		
	■të top	Abs	stract	Active	Тор		
	📲 trusted Domain	Str	uctural	Active	Trust		
	■t typeLibrary	Stri	uctural	Active	Туре		
	■G <mark>user New W</mark> indow ■t <mark>i</mark> volume		from Here	Active	User		
				Active	Volun		
<b>۱</b>	▲ Refresh				•		
	Pr	Properties					
	He	lp					

- 3. コンテキスト メニューの [Properties] (プロパティ) をクリックします。 [user Properties] (user のプロパティ) ダイアログ ボックスが開きます。
- 4. [Attributes] (属性) タブをクリックしてそのプロパティ ページを開きます。
- 5. [Add] (追加) をクリックします。



 [Select a schema object] (スキーマ オブジェクトを選択) ボックスの一覧で [rciusergroup] (rciusergroup) を選択します。



- [Select Schema Object] (スキーマ オブジェクトを選択) ダイアログ ボックスで [OK] をクリックします。
- [user Properties] (user のプロパティ) ダイアログ ボックスで [OK] をクリックします。

### スキーマ キャッシュを更新する

#### スキーマ キャッシュを更新するには

- ウィンドウの左ペインで [Active Directory Schema] (Active Directory スキ ーマ) を右クリックし、コンテキスト メニューの [Reload the Schema] (スキーマ を再ロード) を選択します。
- 2. Active Directory スキーマ MMC コンソール (Microsoft Management Console) を最小化します。


# ユーザ メンバの rciusergroup 属性を編集する

Windows Server 2003 上で Active Directory スクリプトを実行するには、 Microsoft から提供されるスクリプトを使用します (Windows Server 2003 のイン ストール用 CD-ROM に収録されています)。これらのスクリプトは、Microsoft Windows 2003 のインストール時にシステムにロードされます。 Active Directory Service Interface (ADSI) は、Active Directory の下位レベルのエディタとして動 作します。これにより、オブジェクトの追加、削除、移動などの一般的な管理作業を、 ディレクトリ サービスを使用して行うことができます。

- ▶ rciusergroup グループ内の個別のユーザ属性を編集するには
- Windows Server 2003 のインストール用 CD-ROM を挿入し、エクスプロー ラで Support フォルダの下の Tools フォルダを開きます。
- 2. SUPTOOLS.MSI をダブルクリックし、サポート ツールをインストールします。
- 3. サポート ツールがインストールされたフォルダを開きます。 adsiedit.msc を実 行します。[ADSI Edit] (ADSI 編集) ウィンドウが開きます。

🗳 ADSI Edit				
n Ele Action Year Window He	ŧ¢			_6 ×
+ → 📧 🗟 🖳 😫				
ADSI Edit	Name Discussion states	Class	Distinguished Name	
Configuration [rci-gcf4]2namat.mg	Configuration [rci-ocf4i2nzmz	configuration		
🗄 📲 Schema (rd-gdf4)2nzmzt.mypc.m	🗍 Schema [rci-gcf4j2nzmzt.myp	dND		
I	•			<u> </u>

4. [Domain] (ドメイン)を開きます。



🝕 AD51 Edit			
n Elle Action Yes Window He	þ		X
🂠 →   🗈 🔯   🗙 🗳 🖓	3		
📣 ADST Edit:	Name	Gass	Distinguished Name
Domain [rd-qdf4]2nemet.mypc.my DC=myuc,DC=mydomain,DC @ @ DC=myuc,DC=mydomain,DC @ @ Of==Dutin @ @ Of==Dutin @ @ Of==Dutin @ @ Of==State @ Of==State @ @ Of==State @ Of==State @ @ Of==Sta	CN=Administrator CN=Cert Publishers CN=Cert Publishers CN=DresAdmins CN=Dreain Admins CN=Domain Computers CN=Domain Computers CN=Domain Guests CN=Domain Guests CN=Dreain Guests CN=Dreain Guests CN=Certarpise Admins CN=Group Policy Greator Gw CN=Guest CN=HebServicesGroup CN=HebServicesGroup CN=HebServicesGroup CN=HebServicesGroup CN=GuePCET_SB6945a0 CN=TeinetClients CN=TeinetClients	user group group group group group group group group group group group group group group	CN=Administrator, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, U CN=Cert Publishers, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, DC CN=Dra&Idmins, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, DC CN=Domain Admins, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, DC CN=Domain Admins, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain CN=Domain Computers, CN=Users, DC=mypc, DC=mydom CN=Domain Computers, CN=Users, DC=mypc, DC=mydom CN=Domain Gantrolers, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, CN=Domain Gantrolers, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, CN=Domain Users, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, CN=Dreaptise Admins, CN=Users, DC=mypc, DC=mydom CN=Graup Policy Oreator Cwners, CN=Users, DC=mydom CN=Gauest, CN=Users, DC=mypc, DC=mydom CN=Febget, CN=Users, DC=mypc, DC=mydom CN=Febget, CN=Users, DC=mypc, DC=mydom CN=Kebgt, CN=Users, DC=mydomain, DC=con CN=RAS and IAS Servers, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, CN=Schema Admins, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, CN=Schema Admins, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, CN=Schema Admins, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, CN=Schema Admins, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, CN=TeinetClerts, CN=Users,
<u>.</u>	4		

5. ウィンドウの左ペインで CN=Users フォルダを選択します。

6. 右ペインで、プロパティ値を編集したいユーザ名を探します。 ユーザ名を右クリッ クし、コンテキスト メニューの [Properties] (プロパティ) をクリックします。



 [Attribute Editor] (属性エディタ) タブをクリックします。 [Attributes] (属性) ボックスの一覧で [rciusergroup] (rciusergroup) を選択します。

CN=Administrator Prope	rties	<u>?</u> ×
Attribute Editor Security		
[ • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		
Show <u>m</u> andatory attrit	outes	
Show optional attribut	es	
Show only attributes t	hat have values	
Attri <u>b</u> utes:	-	
Attribute	Syntax	Value 🔺
proxyAddresses	Unicode String	<not set=""></not>
pwdLastSet	Large Integer/	128299285248088608
queryPolicyBL	Distinguished	<not set=""></not>
rciusergroup	Case Insensiti	<not set=""></not>
registeredAddress	Uctet String	<not set=""></not>
repiPropertyMetaData	Uctet String	
replUp1oDateVector	Octet String	(Not Set)
repsFrom	Octet String	(Not Set)
repsilo	Uctet String	<not set=""></not>
rid	Integer	(Not Set)
roomNumber	Thieger Unicode String	<not set<="" td=""></not>
sAMAccountName	Unicode String	Administrator
A	Officode Stilling	
<u> </u>		
Edit		
	ОК	Cancel Apply

- [Edit] (編集) をクリックします。 [String Attribute Editor] (文字列属性エディ タ) ダイアログ ボックスが開きます。
- 9. [Value] (値) ボックスに、Dominion KX II で作成したユーザ グループを入力 します。

String Attribute Editor	×
<u>Attribute:</u> rciusergroup	
<u>V</u> alue:	
Admin	
<u>C</u> lear	OK Cancel

10. [OK] をクリックします。



# 留意事項

# この章の内容

概要	
Java Runtime Environment (JRE)	
IPv6 のサポートに関する注意事項	
キーボード	
マウス ポインタの同期 (Fedora)	
Dell 筐体を接続する場合のケーブル長と画面解像度	
Fedora Core のフォーカスに関する問題を解決する	
Fedora、Firefox 3.0.x、および JRE 1.5.0_16 の環境で VKC	を実行する 290
SUSE と VESA のビデオ モード	
USB ポートとプロファイル	
CIM	
仮想メディア	
CC-SG	

# 概要

С

この章では、Dominion KX II の使用に関する重要事項について説明します。 今後更新される情報については、弊社 Web サイトで提供されます。更新情報を表示するには、Dominion KX II リモート コンソールの [Help] (ヘルプ) リンクをクリック してください。

# Java Runtime Environment (JRE)

重要: Java のキャッシュ機能を無効にし、Java キャッシュをクリアす ることを推奨します。 詳細については、Java のドキュメントまたは 『KVM and Serial Access Clients User Guide』を参照してください。

Dominion KX II リモート コンソールおよび Multi-Platform Client (MPC) を実 行するには、JRE が必要です。 Dominion KX II リモート コンソールでは、Java のバージョンが検査されます。 バージョンが不適切であるかまたは古い場合、互換性 のあるバージョンをダウンロードするよう指示されます。

パフォーマンスを最大化するため、JRE バージョン 1.5 の使用を推奨します。ただし、 Dominion KX II リモート コンソールおよび MPC は、JRE バージョン 1.6.x 以降 (1.6.2 を除く) でも動作します。

注: 多言語対応のキーボードを Dominion KX II リモート コンソール (Virtual KVM Client (VKC)) を使用できるようにするには、多言語バージョンの JRE をイ ンストールする必要があります。



# IPv6 のサポートに関する注意事項

#### Java

Java 1.5 では、次のオペレーティング システム (OS) に対して IPv6 がサポートされています。

- Solaris 8 以降
- Linux カーネル 2.1.2 以降 (RedHat 6.1 以降)

Java 5.0 以降では、次の OS に対して IPv6 がサポートされています。

- Solaris 8 以降
- Linux カーネル 2.1.2 以降 (2.4.0 以降を推奨)
- Windows XP SP1, Windows 2003, Windows Vista

Java では、次の IPv6 構成はサポートされていません。

Microsoft Windows 上の J2SE 1.4 では、IPv6 はサポートされていません。

#### Linux

- IPv6 を使用する場合、Linux カーネル 2.4.0 以降を使用することを推奨します。
- IPv6 対応のカーネルをインストールするか、または、IPv6 関連オプションを有効にしてカーネルを再ビルドする必要があります。
- IPv6 を使用する場合、Linux 用のネットワーク ユーティリティをいくつかインスト ールする必要があります。詳細については、 http://www.bieringer.de/linux/IPv6/IPv6-HOWTO/IPv6-HOWTO.html を参照してください。

#### Windows

 Windows XP ユーザまたは Windows 2003 を使用している場合、 Microsoft の IPv6 対応サービス パックをインストールし、IPv6 を有効にする 必要があります。

#### **Mac Leopard**

 Dominion KX II では、Mac Leopard に対して IPv6 はサポートされていま せん。

#### Samba

• Samba を使用する場合、IPv6 と仮想メディアを併用することはできません。



# キーボード

アメリカ英語以外のキーボード

フランス語キーボード

#### キャレット記号 (Linux クライアントのみ)

Linux クライアントとフランス語キーボードを併用する場合、VKC および MPC では Alt Gr + 9 というキー組み合わせがキャレット記号 (^) として処理されません。

#### ▶ キャレット記号を入力するには

フランス語キーボードの ^ キー (P キーの右にある) を押し、すぐに Space キーを 押します。

次のコマンドを実行するマクロを作成する方法もあります。

- 1. 右 Alt キーを押す。
- 2. 9 キーを押す。
- 3. 9 キーを離す。
- 4. 右 Alt キーを離す。

注: これらの手順は、母音の上に付ける曲折アクセントには当てはまりません。フランス語キーボードで ^ キーと他の文字を組み合わせて使用した場合、曲折アクセントになります。

#### アクセント記号 (Windows XP クライアントのみ)

Virtual KVM Client および Multi-Platform Client (MPC) からは、Windows XP クライアントを使用しているフランス語キーボードで AltGr キーと 7 を押すと、曲折アクセントが 2 つ表示されます。

注:この現象は Linux クライアントでは発生しません。

#### 数字キーパッド

VKC および MPC でフランス語キーボードを使用する場合、数字キーパッドにある 記号は次のとおりに表示されます。

数字キーパッド上の記号キー	表示
/	,



数字キーパッド上の記号キー	表示

#### ティルデ記号

VKC および MPC でフランス語キーボードを使用する場合、Alt Gr + 2 というキー 組み合わせがティルデ記号 (~) として処理されません。

#### ▶ ティルデ記号を入力するには

次のコマンドを実行するマクロを作成します。

- 右 Alt キーを押す。
- 2 キーを押す。
- 2 キーを離す。
- 右 Alt キーを離す。

#### 組み合わせと JRE

Fedora クライアント、Linux クライアント、および Solaris クライアントでは、JRE における制約により、イギリス英語キーボードおよびアメリカ/国際英語キーボードの Alt Gr キーを押したときに無効な応答が返されます。 Fedora、Linux、または Solaris で Java 1.5 を使用している場合、Alt Gr キーを押しながら他のキーを押 したときに生成されるイベントが、受け付けられません。 Java 1.6 ではこの点が改 善されているように見えますが、keyPressed イベントおよび keyReleased イベン トでは、Alt Gr キーが "不明なキー コード" として扱われます。

また、Alt Gr キーを押しながら別のキーを押した場合 (たとえばイギリス英語キーボ ードでは、Alt Gr キーを押しながら 4 キーを押すと、ユーロ記号が入力されます)、 keyTyped イベントが生成され、続いて keyReleased イベントが生成されます。 keyPressed イベントは生成されません。 Java 1.6 ではこの点を改善するため、 keyPressed イベントも生成されるようになりました。

#### キーボード言語の設定 (Fedora クライアント)

Linux 版の JRE には、[System Preferences] (システム基本設定) で設定した 外国語キーボードに対して正しいキー イベントが生成されない、という問題がありま す。したがって、次の表に示す方法を使用して外国語キーボードを設定することを推 奨します。

言語	設定方法
アメリカ英語/国際	デフォルト設定



言語	設定方法
イギリス英語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
フランス語	Keyboard Indicator
ドイツ語	Keyboard Indicator
ハンガリー語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
スペイン語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
ドイツ語 (スイス)	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
ノルウェー語	Keyboard Indicator
スウェーデン語	Keyboard Indicator
デンマーク語	Keyboard Indicator
日本語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
韓国語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
スロベニア語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
イタリア語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)

注: デスクトップ環境として Gnome を使用している Linux システムでは、 Keyboard Indicator を使用してください。

Linux クライアントでハンガリー語キーボードを使用している場合、ダブル アキュート 付き U およびダブル アキュート付き O は、JRE 1.6 でのみ入力できます。

Fedora クライアントでは、キーボード言語を設定する方法がいくつかあります。 VKC および MPC でキーを正しく対応付けるには、次に示す方法を使用します。

- [System Settings] (システム設定)を使用してキーボード言語を設定するに
- ツールバーで [System] (システム) > [Preferences] (基本設定) > [Keyboard] (キーボード)を選択します。
- 2. [Layouts] (レイアウト) タブをクリックします。
- 3. 言語を追加または選択します。



- 4. [Close] (閉じる) をクリックします。
- ▶ Keyboard Indicator を使用してキーボード言語を設定するには
- 1. タスク バーを右クリックし、[Add to Panel] (パネルに追加) をクリックします。
- [Add to Panel] (パネルに追加) ダイアログ ボックスで、Keyboard Indicator を右クリックし、メニューの [Open Keyboard Preferences] (キーボード基本 設定) をクリックします。
- [Keyboard Preferences] (キーボード基本設定) ダイアログ ボックスで、 [Layouts] (レイアウト) タブをクリックします。
- 4. 必要に応じて言語を追加または削除します。

#### Macintosh キーボード

クライアントとして Macintosh を使用している場合、Macintosh キーボードの次の キーは、JRE によって取り込まれません。

- F9
- F10
- F11
- F14
- F15
- Volume Up
- Volume Down
- Mute
- Eject

つまり、Macintosh クライアントのキーボードでこれらのキーが押されても、VKC および MPC では処理できません。



# マウス ポインタの同期 (Fedora)

Fedora 7 を実行しているターゲット サーバにデュアル マウス モードで接続している 場合、しばらくすると、ターゲット サーバとローカルのマウス ポインタが同期しなくなるこ とがあります。

#### ▶ マウス ポインタを再度同期させるには

VKC の [Synchronize Mouse] (マウスを同期) オプションを使用します。

次の表に、Dominion KX II のマウス モード、および、Fedora を実行しているター ゲット サーバにアクセスしたときに各マウス モードでマウス ポインタの同期が維持され るかどうか、を示します。

マウス モード	Fedora Core 5	Fedora Core 6
ずれないマウス モード	いいえ	いいえ
インテリジェント マウス モード	いいえ	はい
標準マウス モード	はい	いいえ

# Dell 筐体を接続する場合のケーブル長と画面解像度

Dominion KX II に Dell 製ブレード筐体を接続する場合、画質を維持するため に次のケーブル長と画面解像度を使用することを推奨します。

ケーブル長	画面解像度
15 m	1024 x 768、60 Hz
15 m	1280 x 1024、60 Hz
9 m	1600 x 1200、60 Hz



# Fedora Core のフォーカスに関する問題を解決する

MPC を使用しているときに、Dominion KX II にログオンできなくなったり、 Windows や SUSE を実行しているターゲット サーバにアクセスできなくなったりす ることがあります。 また、Ctrl + Alt + M キーを押してもキーボード ショートカット メ ニューが表示されないことがあります。 このような問題が発生するのは、Fedora Core 6 と Firefox 1.5 または 2.0 を組み合わせて使用している場合です。

Raritan でテストした結果、libXp をインストールすれば Fedora Core 6 のウィン ドウ フォーカスに関する問題を解決できる、ということがわかりました。Raritan がテス トで使用したのは libXp-1.0.0.8.i386.rpm です。この libXp をインストールした結 果、ウィンドウ フォーカスとポップアップ メニューに関する問題がすべて解決しました。

注: libXp は、SeaMonkey (旧称: Mozilla) ブラウザで Java プラグインを使用 する場合にも必要となります。

# Fedora、Firefox 3.0.x、および JRE 1.5.0\_16 の環境で VKC を実行する

VKC を使用して Dominion KX II にアクセスしており、かつ、ターゲット サーバ上 で Fedora、Firefox 3.0.x、および JRE 1.5.0\_16 を実行している場合、[Port Access] (ポート アクセス) ページを開くときにブラウザがハングします。 この問題は、 ターゲット サーバで Fedora を実行している場合にのみ発生します。

# SUSE と VESA のビデオ モード

SUSE の X.org 設定ツールである SaX2 を実行すると、X.org 設定ファイル内 の Monitor セクションの Modeline エントリにビデオ モードが書き込まれます。こ れらのビデオ モードは、VESA モニタを選択している場合であっても、VESA のビデ オ モード タイミングと正確に対応していません。一方 Dominion KX II では、正 確に同期させるため、VESA のビデオ モード タイミングが使用されています。この ビデオ モード タイミングの不一致により、黒の境界線が表示される、画面の一部が 表示されない、ノイズが発生する、などの問題が発生することがあります。

### ▶ SUSE のビデオ表示を設定するには

- 生成された設定ファイル /etc/X11/xorg.conf 内に Monitor セクションがあり、 その中に UseModes というオプションがあります。たとえば、 UseModes "Modes[0]" と書き込まれています。
- この行の先頭に # を付加してコメント行にするか、または、この行全体を削除します。
- 3. X サーバを再起動します。



これにより、X サーバの内部ビデオ モード タイミングが使用されるようになるので、 VESA のビデオ モード タイミングと正確に対応します。この結果、Dominion KX II 経由で画面が正しく表示されます。

# USB ポートとプロファイル

### VM-CIM および DL360 の USB ポート

HP DL360 サーバの背面と前面には、USB ポートがそれぞれ 1 つあります。 DL360 では、両方の USB ポートを同時に使用することはできません。 つまり、 DL360 サーバに対してデュアル VM-CIM を使用することはできません。

ただし、代替策として、DL360 サーバの背面の USB ポートに USB2 ハブを接続 し、そのハブにデュアル VM-CIM を接続することはできます。

#### USB プロファイルの選択に関するヘルプ

VKC でターゲット サーバに接続しているとき、[USB Profile] (USB プロファイル) メニューの [Help on USB Profiles] (USB プロファイルに関するヘルプ) をクリックす ると、USB プロファイルに関する情報が表示されます。

2

۲

✓ HP Proliant DL360/DL380 G4 (HP SmartStart CD)

Generic

Troubleshooting 1

Troubleshooting 2

Troubleshooting 3

Add Other Profiles

Help on USB Profiles



USB プロファイルに関するヘルプは、[USB Profile Help] (USB プロファイルに関す るヘルプ) ウィンドウに表示されます。 個々の USB プロファイルの詳細については、 「**選択可能な USB プロファイル**『p. 97の"使用できる USB プロファイル"参 照 』」を参照してください。

サーバで使用されている多様な OS および BIOS に対応する USB プロファイル が、標準で用意されています。 このため、リモート USB デバイスとターゲット サーバ を最適な方法で対応付けることができます。

"Generic" プロファイルは、一般に使用されているほとんどのターゲット サーバ構成 のニーズに対応しています。

また、一般に使用されているその他のターゲット サーバ構成 (例: Linux、Mac OS X) の個別のニーズに対応するプロファイルも利用できます。

さらに、ターゲット サーバが BIOS レベルで動作しているときなどに仮想メディア機能の互換性を高めるための、さまざまなプロファイルが用意されています (プロファイル の名前がプラットフォーム名と BIOS のリビジョンで構成されている)。

[Add Other Profiles] (他のプロファイルを追加)をクリックすると、システムで使用可能なその他のプロファイルが一覧表示されます。この一覧で設定したプロファイルは、 [USB Profile] (USB プロファイル)メニューに追加されます。この一覧には、トラブルシューティング用プロファイルのセットがあります。これらのプロファイルは、構成における制限事項を明確化するのに役立ちます。

[USB Profile] (USB プロファイル) メニューの項目を変更するには、Dominion KX II ローカル コンソールまたは Dominion KX II リモート コンソールの [Device Settings] (デバイス設定) メニューの [Port Configuration] (ポート設定) ページを 使用します。

Raritan から提供されている標準の USB プロファイルがどれもターゲット サーバの 要件を満たさない場合、Raritan のテクニカル サポート部門がお客様と協力し、そ のターゲット サーバに対する解決策を探ることができます。 次の手順を実行すること を推奨します。

- Raritan の Web サイト (www.raritan.com) の [Firmware Upgrade] (フ アームウェアのアップグレード) ページで最新のリリース ノートを調べ、ご使用のタ ーゲット サーバ構成に合った解決策が提供されているかどうかを確認します。
- 2. 提供されていない場合は、Raritan のテクニカル サポート部門に問い合わせま す。その際、次の情報を準備してください。
  - a. ターゲット サーバに関する情報 (製造元、モデル、BIOS、およびバージョン)。
  - b. 用途 (例: イメージをリダイレクトし、サーバの OS を CD-ROM から再口 ードする)。



# CIM

#### Linux ターゲット サーバに対して Windows の 3 ボタン マウスを使用する場合

Linux ターゲット サーバに接続している Windows クライアントで 3 ボタン マウス を使用する場合、左マウス ボタンがその 3 ボタン マウスの中央ボタンに対応付けら れることがあります。



#### Windows 2000 での複合 USB デバイスの動作

Windows 2000 では、Raritan の D2CIM-VUSB のような複合 USB デバイス はサポートされていないので、非複合 USB デバイスと同じように扱われます。

したがって、D2CIM-VUSB によってマッピングされているドライブに対する [Safely Remove Hardware] (ハードウェアの安全な取り外し) アイコンがシステム トレイに 表示されません。また、D2CIM-VUSB を取り外す際、警告メッセージが表示される ことがあります。 ただし、Raritan が確認したところでは、このメッセージが表示され ても何の問題も発生しません。

米国にある Raritan の設計部門は、この [Safely Remove Hardware] (ハード ウェアの安全な取り外し) アイコンを表示すると共にこの警告メッセージの表示を回 避するための構成を考え出しました。 この構成では、D2CIM-DVUSB 仮想メデ ィア アダプタと "Troubleshooting 3" USB プロファイルを使用する必要があります。 この USB プロファイルは、D2CIM-DVUSB を、仮想メディア接続を 1 本しかサポ ートしない非複合 USB デバイスとして設定するものです。 Raritan は、米国と 日本でこの構成を十分にテストしました。





# 仮想メディア

#### ファイル追加後に仮想メディアが最新の情報に更新されない

仮想メディア ドライブがマウントされた後、そのドライブにファイルを追加した場合、タ ーゲット サーバ側でそのファイルがすぐに表示されないことがあります。 表示するには、 仮想メディア接続をいったん解除し、再確立します。

#### 仮想メディア機能利用時におけるターゲット サーバの BIOS の起動時間

ターゲット サーバにおいてメディアが仮想マウントされている場合、そのターゲット サーバの BIOS の起動に要する時間が長くなることがあります。

#### 記動に要する時間を短縮するには

- 1. VKC を終了し、仮想メディア ドライブを完全に解放します。
- 2. ターゲット サーバを再起動します。

# CC-SG

#### VKC のバージョンが CC-SG プロキシ モードで認識されない

VKC を CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) からプロキシ モードで 起動した場合、VKC のバージョンが認識されません。 [About Raritan Virtual KVM Client] (VKC のバージョン情報) ダイアログ ボックスで、バージョンが "Version Unknown" (不明なバージョン) と表示されます。

#### シングル マウス モード: Firefox を使用して CC-SG の管理下にあるターゲット サーバにアクセスする場合

Firefox と DCIM-PS2 または DCIM-USBG2 を使用して、CC-SG の管理下 にあるターゲット サーバに接続しているとき、VKC でシングル マウス モードに切り替 えると、VKC ウィンドウからフォーカスが外れ、マウスが応答しなくなります。 この場合、 マウスの左ボタンをクリックするかまたは Alt キーを押しながら Tab キーを押し、フォ ーカスを VKC ウィンドウに戻します。

#### MPC と VKC の接続設定

CC-SG の管理下にあるターゲット サーバにアクセスする際、接続プロパティ値に対 する修正内容は、MPC または VKC を実行しているクライアントに保存されませ ん。



## プロキシ モードと MPC

Dominion KX II を CC-SG の管理下で使用しており、MPC の使用を計画して いる場合、CC-SG プロキシ モードを使用しないでください。

## Dominion KX II のポート間を移動する

同じ Dominion KX II のポート間を移動し、1 分以内に管理作業を再開した場合、CC-SG によってエラー メッセージが表示されることがあります。 管理作業を再開すると、最新の情報に更新されます。



# FAQ

# この章の内容

全般的な質問	298
リモート アクセス	300
ユニバーサル仮想メディア	
USB プロファイル	303
Ethernet と IP ネットワーキング	305
IPv6 ネットワーキング	312
サーバ	314
ブレード サーバ	315
インストール	318
ローカル ポート	320
電源制御	322
拡張性	323
コンピュータ インタフェース モジュール (CIM)	324
セキュリティ	325
管理機能	327
その他	328



# 全般的な質問

#### Dominion KX II とは何ですか。

Dominion KX II は第 2 世代の KVM-over-IP スイッチです。IT 管理者は Dominion KX II を使用することにより、BIOS レベルの機能を利用してネットワーク 上のサーバにアクセスし、そのサーバを制御することができます。 Dominion KX II は、 特定のハードウェアおよびオペレーティング システム (OS) に依存しません。 サーバ が停止しても、ユーザはトラブルシューティングを実施してサーバを再設定することがで きます。

Dominion KX II をラックに収容した場合、従来型 KVM スイッチと同等の機能性 と利便性が維持されるだけでなく、省スペース効果とコスト節約効果が生まれます。 また、Dominion KX II には業界最高のパフォーマンスを誇る KVM-over-IP 技術 が組み込まれているため、複数の管理者がネットワーク上のワークステーションでサー バの画面を表示することができます。

#### Dominion KX II とリモート制御ソフトウェアの違いは何ですか。

Dominion KX II をリモートで使用する場合、一見すると、画面がリモート制御ソフ トウェア (例: pcAnywhere、Windows Terminal Services/Remote Desktop、 VNC) に似ているように感じることがあります。しかし、Dominion KX II はソフトウ ェアではなくハードウェア製品なので、これらのソフトウェアよりもはるかに高い機能を備 えています。次に例を示します。

- ターゲット サーバの稼動状態に依存せず、エージェントも不要: Dominion KX
   II を使用する際、ターゲット サーバ上で OS を起動しておく必要がありません。
   ターゲット サーバに特別なソフトウェアをインストールする必要もありません。
- アウトオブバンド: ターゲット サーバ上のネットワーク接続が使用不能になっている場合でも、Dominion KX II から管理できます。
- BIOS レベルのアクセス: ターゲット サーバが起動中にハングした場合、ターゲット サーバをセーフ モードで起動する必要がある場合、または、システム BIOS のパラメータ値を修正する必要がある場合でも、Dominion KX II は問題なく動作するので、これらの設定を行うことができます。

#### KXI にない、Dominion KXII の特徴は何ですか。

Dominion KX II は魅力的な新しい特徴を数多く備えています。たとえば、仮想メ ディア、ずれないマウス、二重化電源、二重化 Gigabit Ethernet、一般的な Web ベースのユーザ インタフェース、次世代のローカル ポートなどです。

Dominion KX I から Dominion KX II に移行するにはどうすればよいですか。



通常、KX I は何年にもわたって使うことができます。ただし、データ センタを拡張す る場合、新しい Dominion KX II モデルを購入することもできます。 Raritan の Multi-Platform Client (MPC) および集中管理デバイス CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) では、KX I と Dominion KX II の両方がシームレ スにサポートされています。

## 現在使用している KXI用 CIM は、Dominion KXII でも使用できますか。

はい、KXI 用コンピュータ インタフェース モジュール (CIM) は、Dominion KX II でも使用できます。 一部の Paragon 用 CIM も Dominion KX II で使用でき ます。 したがって、KVM-over-IP への移行を検討している Paragon I のお客様 は、Dominion KX II に簡単に移行できます。

#### Dominion KX II はラックに収容できますか。

はい。Dominion KX II には、19 インチ ラック マウント ブラケットが標準で同梱さ れています。また、逆向きに収容して、サーバ ポートがある面を前にすることもでき ます。

#### Dominion KX II の寸法はどのくらいですか。

Dominion KX II の高さはわずか 1U であり (2U である KX2-464 を除く)、標準の 19 インチ ラックに収容できます。奥行きはわずか 29 cm です。



# リモート アクセス

各 Dominion KX II からターゲット サーバにリモート アクセスできるユーザは何人 ですか。

Dominion KX II では、チャネルごとに最大 8 人のユーザが 1 台のターゲット サ ーバに同時にリモート アクセスし、そのターゲット サーバを制御することができます。 DKX2-116 のような 1 チャネルのデバイスの場合、最大 8 人のリモート ユーザが 1 台のターゲット サーバにアクセスして制御することができます。 DKX2-216 のよう な 2 チャネルのデバイスの場合は、チャネル 1 で最大 8 人のユーザがあるターゲッ ト サーバにアクセスして制御し、また、チャネル 2 で別の最大 8 人のユーザが別の ターゲット サーバにアクセスして制御することができます。 4 チャネルのデバイスの場 合は、チャネルごとに最大 8 人のユーザ (合計で 8 x 4 = 32 人のユーザ) が、最 大 4 台のターゲット サーバにアクセスし、それらのターゲット サーバを制御することが できます。

2 人のユーザが同じターゲット サーバの画面を同時に表示できますか。

確認できます。最大 8 名のユーザが 1 台のサーバに同時にアクセスし、制御できます。

2 人のユーザが同じターゲット サーバにアクセスするとき、一方のユーザがリモートで アクセスし、もう一方のユーザがローカル ポートからアクセスすることはできますか。

はい、ローカル ポートはリモート ポートから完全に独立しています。ローカル ポート は PC 共有機能を使用することで、同じサーバにアクセスできます。

クライアントから Dominion KX II にアクセスする際、どのようなハードウェア、ソフト ウェア、およびネットワーク構成が必要ですか。

Dominion KX II には Web ブラウザを使用してアクセスできるので、クライアント コ ンピュータにアクセス用のソフトウェアをインストールする必要はありません。なお、 raritan.com でオプションのクライアント ソフトウェアを入手することもできます。このク ライアント ソフトウェアは、外部モデムを使用して Dominion KX II にアクセスする 場合に必要となります。

Dominion KX II にアクセスする際、主要な Web ブラウザ (例: Internet Explorer、Mozilla、Firefox) を使用できます。 Windows、Linux、Sun Solaris、 Macintosh の各デスクトップ コンピュータ上で、Raritan の Java ベースの MPC および新しい Virtual KVM Client (VKC) を使用して Dominion KX II にアクセ スできるようになりました。

Dominion KX II 管理者は、便利なブラウザ ベースの画面を使用して、リモート管 理作業 (例: パスワードとセキュリティの設定、サーバ名の変更、IP アドレスの変更) を行うこともできます。

ネットワークが使用不能になった場合、Dominion KX II に接続されているターゲット サーバにアクセスするにはどうすればよいですか。



Dominion KX II には外部モデムを接続するための専用ポートが搭載されているの で、ネットワークが使用不能であってもモデムを使用してターゲット サーバにアクセスで きます。

Dominion KX II にアクセスする際に使用される VKC アプレットのファイル サイズ はどのくらいですか。また、この VKC アプレットを取得するのにどのくらいの時間が かかりますか。

Dominion KX II へのアクセスに使用される VKC アプレットのサイズは、約 500 KB です。 次の表に、さまざまなネットワーク速度においてこのアプレットを取得する のに要する、おおよその時間を示します。

速度	説明	所要時間
100 Mbps	100 Mbps ネットワークの理論上の速度	0.05 秒
60 Mbps	100 Mbps ネットワークの実効速度	0.08 秒
10 Mbps	10 Mbps ネットワークの理論上の速度	0.4 秒
6 Mbps	10 Mbps ネットワークの実効速度	0.8 秒
512 Kbps	標準的なケーブル モデムのダウンロード速度	8 秒

ネットワークが使用不能になった場合、Dominion KX II に接続されているターゲット サーバにアクセスするにはどうすればよいですか。

Dominion KX II のローカル ポートを使用した場合、ネットワークの稼動状態に関係なく、常にラックからターゲット サーバにアクセスできます。

#### Windows 以外のクライアントは用意されていますか。

はい。Windows 以外のユーザも VKC または MPC から、Dominion KX I ま たは Dominion KX II を使用してターゲット サーバにアクセスできます。 MPC は、 Web ブラウザから実行することも単体で実行することもできます。 詳細については、 「*Virtual KVM Client*『p. 55』」および「Raritan MPC でサポートされているオペ レーティング システム」を参照してください。

VKC セッションでときどき Alt キーが受け付けられないようです。 どうすればよいで すか。

この現象は通常、Alt キーを押したまま離さないときに発生します。 たとえば、Alt キーを押しながら Space キーを押し続けると、フォーカスがターゲット サーバからクライ アント PC に移ります。

続いて、ローカルの OS によってこのキー組み合わせが解析され、このキー組み合わせに対するアクションがクライアント PC のアクティブなウィンドウでトリガされます。



# ユニバーサル仮想メディア

#### 仮想メディアがサポートされている Dominion KX II のモデルはどれですか。

仮想メディアは、すべての Dominion KX II モデルでサポートされています。 仮想メ ディア機能は、Dominion KX II 単体で利用することも、Raritan の集中管理デバ イス CC-SG を通じて利用することもできます。

#### Dominion KX II でサポートされている仮想メディアのタイプはどれですか。

Dominion KX II でサポートされている仮想メディアのタイプは、内蔵または USB 接続された CD/DVD ドライブ、USB 接続された大容量ストレージ デバイス、PC の内蔵ハード ディスク、および ISO イメージです。

#### 仮想メディアは安全ですか。

はい。 仮想メディア セッションは、AES または RC4 暗号化方式で保護されます。

#### 仮想メディアに必要なものは何ですか。

Dominion KX II 用の仮想メディア CIM が必要です。 このような CIM には、 D2CIM-VUSB および新製品である D2CIM-DVUSB の 2 つがあります。

D2CIM-DVUSB には USB コネクタが 2 つあり、仮想メディアを BIOS レベルで 利用したいお客様に適しています。

D2CIM-VUSB には USB コネクタが 1 つあり、仮想メディアを OS レベルで利用したいお客様に適しています。

どちらの CIM でも、USB 2.0 インタフェースに対応しているターゲット サーバへの仮 想メディア セッションがサポートされています。

32 個セットおよび 64 個セットのお得な CIM パッケージが用意されています。これ らの CIM でも、ずれないマウスやリモート ファームウェア更新がサポートされていま す。



# USB プロファイル

#### USB プロファイルとは何ですか。

ー部のターゲット サーバでは、仮想メディアなど USB ベースのサービスを利用する ために、特別に構成された USB インタフェースを必要とします。 USB プロファイ ルは、Dominion KX II の USB インタフェースをターゲット サーバの特性に合わせ て調整するものです。

#### USB プロファイルを使用するのはなぜですか。

USB プロファイルは、BIOS レベルで特に必要となります。仮想メディア ドライブにア クセスする際、BIOS レベルでは USB 仕様が完全にサポートされていないことがあ ります。

一方、USB プロファイルは OS レベルで使用されることもあります。たとえば、 Macintosh サーバや Linux サーバにおいてマウス動作を同期させる場合などで す。

#### USB プロファイルはどのように使用しますか。

管理者は Dominion KX II の [Port Configuration] (ポート設定) ページで、特定の USB プロファイルを使用するように個々のポートまたはポート グループを設定できます。

必要があれば、USB プロファイルを Dominion KX II クライアントで選択することも できます。

#### 適切な USB プロファイルを選択しなかった場合、どうなりますか。

ターゲット サーバに適した USB プロファイルを選択しなかった場合、大容量ストレ ージ デバイス、マウス、またはキーボードが適切に動作しなくなるかまたはまったく機 能しなくなる可能性があります。

#### 仮想メディアを利用する際、USB プロファイルを必ず設定する必要がありますか。

いいえ。仮想メディアを OS レベルで利用する場合や、仮想メディアにアクセスせず に BIOS レベルで操作する場合、デフォルトの USB プロファイルで十分なケースが ほとんどです。

使用可能なプロファイルはどれですか。

「*使用可能な USB プロファイル* 『p. 97の"使用できる USB プロファイル"参照 』」を参照してください。

あるターゲット サーバに最適な USB プロファイルを見つけるには、どうすればよいで すか。



"Generic" USB プロファイルは、大半のターゲット サーバに最適です。ターゲット サーバに対してこの USB プロファイルが適切に機能しない場合は、「*使用可能な USB プロファイル*『p. 97の"使用できる USB プロファイル"参照』」で適切な USB プロファイルを探すことができます。ご使用のターゲット サーバに最適な USB プロファイルを選択してください。

#### BIOS プロファイルの目的は何ですか。

BIOS プロファイルは、USB 仕様を完全に実装していないサーバ BIOS の要件に 合わせて調整されたものです。このような USB プロファイルを選択した場合、キー ボード、マウス、および仮想メディアを BIOS レベルで使用できるので、BIOS の制 約を受けることがありません。

#### USB プロファイルを使用する際、特別な CIM が必要ですか。

ファームウェアが最新である D2CIM-VUSB または D2CIM-DVUSB を使用する 必要があります。

他のターゲット サーバ構成用の USB プロファイルが今後 Raritan から提供され る予定がありますか。

Raritan では、お客様のニーズに合わせて新しい USB プロファイルを提供していく 予定です。 新しい USB プロファイルが提供された場合、ファームウェア アップグレ ードの中に含まれる予定です。



# Ethernet と IP ネットワーキング

# Dominion KX II では、冗長フェイルオーバを可能にするために Gigabit Ethernet ポートが二重化されていますか。

はい。Dominion KX II では、冗長フェイルオーバを可能にするために Gigabit Ethernet ポートが二重化されています。プライマリ Ethernet ポート (またはその ポートに接続されているスイッチやルータ) に障害が発生した場合、同じ IP アドレス が設定されたセカンダリ Ethernet ポートにフェイルオーバされます。これにより、ター ゲット サーバの運用が中断することがなくなります。 自動フェイルオーバは、管理者 が有効にする必要があります。

#### KVM-over-IP システムで使用される帯域幅はどのくらいですか。

Dominion KX II には、次世代の KVM-over-IP 技術が搭載されています。この 技術によって、最高のビデオ圧縮を実現できます。 Raritan は、高品質ビデオ伝送 と帯域幅節約に関する数多くの技術賞を獲得しています。

Dominion KX II は、ターゲット サーバから受信したキーボード信号、ビデオ信号、 およびマウス信号をデジタル化、圧縮、および暗号化し、IP ネットワーク上で IP パ ケットをリモート クライアントに送信し、ユーザに対するリモート セッションを確立しま す。 Dominion KX II は業界最高水準のビデオ処理アルゴリズムを備えているの で、ローカル アクセスする場合と遜色ない画質が得られます。

画面が変更される際、帯域幅の大部分が使用されるので、キーボードとマウスの処理に割り当てられる帯域幅がかなり狭くなります。

重要なのは、帯域幅はユーザがアクティブであるときにのみ使用される、という点です。 使用される帯域幅は、サーバの画面表示の変更量に基づいて決まります。

画面が変更されない場合、つまり、ユーザがサーバとの間で対話操作をしていない場合、一般に帯域幅は使用されません。 ユーザがマウスを動かした場合やキーボードで文字を入力した場合、少量の帯域幅が使用されます。 複雑なスクリーン セーバを実行している場合や動画を再生している場合、多量の帯域幅が使用される可能性があります。

帯域幅は KVM-over-IP システムのパフォーマンスにどのような影響を及ぼしますか。

一般に、帯域幅とパフォーマンスはトレードオフの関係にあります。 使用できる帯域 幅が広いほど、パフォーマンスが向上します。 帯域幅に制約のある環境では、パフ ォーマンスが低下するおそれがあります。 Dominion KX II は、多種多様な環境 で高いパフォーマンスを得られるように最適化されています。

帯域幅に影響を及ぼす要素は何ですか。



帯域幅の使用量を決める要素はいろいろあります。 最大の要素は前述のとおり、 ターゲット サーバの画面表示の変更量です。 画面表示の変更量は、ユーザの操 作内容によって異なります。

その他の要素としては、サーバの画面解像度、ネットワーク速度、ネットワーク特性、 クライアント PC のリソース、ビデオ カードのノイズなどがあります。

Dominion KX II は高度なビデオ処理アルゴリズムを備えているので、多種多様な 環境で帯域幅とパフォーマンスを最適化することができます。 また、帯域幅使用を 最適化するための設定項目が多数あるので、きめ細かい設定が可能です。 特に、 リモート クライアント (VKC および MPC)の [Connection Speed] (接続速度) では、使用する帯域幅を減らすように設定することができます。

KXIと異なり、[Noise Filter] (ノイズ フィルタ)の設定値は、使用帯域幅の縮小やパフォーマンスの向上にあまり影響を及ぼしません。

Dominion KX II で一般的な作業を行う際に使用される帯域幅はどのくらいですか。

使用帯域幅は、主にユーザの操作内容によって決まります。 画面表示の変更量 が多いほど、使用される帯域幅も広くなります。

次の表に、ネットワークが 100 Mbps LAN、ターゲット サーバの OS が Windows XP、画面解像度が 1024 x 768、という環境における、標準的な操作 と使用帯域幅を示します。使用帯域幅については、デフォルト設定の場合、 [Connection Speed] (接続速度) で 1 Mbps/15 ビット カラーを指定した場合、 [Connection Speed] (接続速度) で 1 Mbps/8 ビット カラーを指定した場合、 の 3 つのケースの値を示します。

ユーザの操作	デフォルト設定	1 Mbps およ び 15 ビット カ ラー	1 Mbps およ び 8 ビット カラ ー
アイドル状態の Windows デスクトップ	0 kbps	0 kbps	0 kbps
マウス ポインタを動かす	5 ~ 15 kbps	2 ~ 6 kbps	2 ~ 3 kbps
アイコンをドラッグする	40 ~ 70 kbps	10 ~ 25 kbps	5 ~ 15 kbps
フォルダをドラッグする	10 ~ 40 kbps	5 ~ 20 kbps	5 ~ 10 kbps
テキスト ウィンドウを開く	50 ~ 100 kbps	25 ~ 50 kbps	10 ~ 15 kbps
キーを連続入力する	1 kbps	0.5 ~ 1 kbps	0.2 ~ 0.5 kbps
テキスト ウィンドウをスク ロールする	10 ~ 50 kbps	5 ~ 25 kbps	2 ~ 10 kbps



ユーザの操作	デフォルト設定	1 Mbps およ び 15 ビット カ ラー	1 Mbps およ び 8 ビット カラ ー
テキスト ウィンドウを閉	50 ~ 100	20 ~ 40	10 ~ 15
じる	kbps	kbps	kbps
パネルを開く	50 ~ 100	60 ~ 70	20 ~ 30
	kbps	kbps	kbps
パネル内のタブを切り替	40 ~ 50 kbps	20 ~ 50	10 ~ 20
える		kbps	kbps
パネルを閉じる	50 ~ 100	40 ~ 60	20 ~ 30
	kbps	kbps	kbps
パネルのオプションを変 更する	2 ~ 10 kbps	1 ~ 5 kbps	1 ~ 3 kbps
ブラウザで Web ページ	100 ~ 300	50 ~ 200	40 ~ 80
を開く	kbps	kbps	kbps
ブラウザをスクロールする	75 ~ 200	50 ~ 200	30 ~ 100
	kbps	kbps	kbps
ブラウザを閉じる	100 ~ 150	75 ~ 100	30 ~ 60
	kbps	kbps	kbps
[スタート] メニューを開く	75 ~ 100	50 ~ 75	20 ~ 30
	kbps	kbps	kbps
[スタート] メニューを閉	75 ~ 100	25 ~ 50	10 ~ 15
じる	kbps	kbps	kbps
スクリーン セーバ (宇 宙飛行)	25 ~ 50 kbps	10 ~ 15 kbps	7 ~ 10 kbps
スクリーン セーバ (3D パイプ)	10 ~ 100 kbps	5 ~ 20 kbps	2 ~ 10 kbps
Windows Media 動	500 ~ 1200	300 ~ 500	150 ~ 300
画	kbps	kbps	kbps
QuickTime 動画 1	700 ~ 2,500	400 ~ 500	150 ~ 350
	kbps	kbps	kbps
QuickTime 動画 2	1,500 ~ 2,500	400 ~ 550	200 ~ 350
	kbps	kbps	kbps



使用帯域幅を縮小するように設定した場合、ほぼすべての操作において使用帯域 幅が大幅に縮小します。15 ビット カラー設定にした場合、パフォーマンスはデフォ ルト設定時に近くなります。 他にも、使用帯域幅を縮小できる設定項目がありま す。

この表に示した帯域幅値は単なる例であり、さまざまな要素によって変動します。

#### 使用帯域幅を縮小するにはどうすればよいですか。

Dominion KX II のリモート クライアントでさまざまな設定を行うことにより、帯域幅と パフォーマンスを最適化できます。 デフォルト設定では、標準の LAN/WAN 環境 において、ローカル アクセスする場合と同等のパフォーマンスが得られると共に、使用 帯域幅が節約されます。

帯域幅管理に関する設定項目は、[Connection Speed] (接続速度) と [Color Depth] (色深度) です。使用帯域幅を縮小するには、次のとおりにします。

#### 接続速度を下げる

接続速度を下げると、使用帯域幅を大幅に縮小できます。 標準的な LAN/WAN 環境において、接続速度を 1.5 Mbps または 1 Mbps に設定した 場合、パフォーマンスを比較的良好なレベルに維持したまま、使用帯域幅を縮小で きます。 接続速度をさらに下げると、使用帯域幅をさらに縮小できるので、低速ネ ットワークに適しています。

#### 色深度を下げる

色深度を下げると、使用帯域幅を大幅に縮小し、パフォーマンスを高めることができます。ただし、使用される色が少なくなるので画質が低下します。 この設定は、一 部のシステム管理作業に適しています。

低速インターネットの場合、8 ビット カラーを使用するかまたは色深度を下げると、 使用帯域幅を縮小し、パフォーマンスを向上させることができます。

使用帯域幅を縮小するためのその他のヒントを次に示します。

- デスクトップの壁紙に、複雑な画像ではなく無地の画像を使用する。
- スクリーン セーバを無効にする。
- ターゲット サーバで低い画面解像度を使用する。
- Windows のコントロール パネルの [画面] で、[Show window contents while dragging] (ドラッグ中にウィンドウの内容を表示する) チェック ボックスを オフにする。
- シンプルな画像、テーマ (例: Windows クラシック)、およびデスクトップ を使用 する。

ネットワークが低速である場合、どうすればよいですか。



接続速度と色深度を下げることにより、低速ネットワークでもパフォーマンスを最大化 できます。 たとえば、MPC または VKC で、接続速度を 1.5 Mbps または 1 Mbps、色深度を 8 ビットに設定します。 ネットワークが非常に低速な場合は、接 続速度と色深度をさらに下げることができます。

### インターネット経由で接続したいと考えています。 どの程度のパフォーマンスが期待 できますか。

パフォーマンスは、リモート クライアントと Dominion KX II の間のインターネット接続の帯域幅と伝送遅延によって決まります。 ケーブル モデム接続または高速 DSL 接続の場合、LAN/WAN 接続に近いパフォーマンスが得られる可能性があり ます。 低速ネットワークの場合は、前述の推奨値に設定し、パフォーマンスを向上 させてください。

#### 帯域幅の広い環境で Dominion KX II を使用することを検討しています。 パフ ォーマンスを最大化するにはどうすればよいですか。

デフォルト値を使用した場合、帯域幅の広い環境において高いパフォーマンスが得ら れます。 接続速度を 100 Mbps または 1 Gbps、色深度を 15 ビット カラーに それぞれ設定してください。

#### Dominion KX II の Ethernet インタフェースの速度はどのくらいですか。

Dominion KX II では、10/100 Mbps の Ethernet に加え、Gigabit Ethernet もサポートされています。 Dominion KX II には 10/100/1000 Mbps Ethernet インタフェースが 2 個搭載されており、その通信速度と通信方式 (全二重/半二 重) を変更できます。通信速度と通信方式は、自動検出に設定するか、または、 手動で設定します。

## 無線接続環境で Dominion KX II にアクセスできますか。

はい。 Dominion KX II は、標準の Ethernet を使用するだけでなく、使用帯域 幅を抑えつつ高画質を維持する機能を備えています。 つまり、クライアントを Dominion KX II に無線で接続している場合、ターゲット サーバを BIOS レベルで 設定および管理する作業を無線で行うことができます。

# WAN (インターネット) 上で、または社内 LAN 上で Dominion KX II を使用できますか。

高速の社内 LAN、速度を予測しにくい WAN (インターネット)、ケーブル モデム接続、ダイヤルアップ モデム接続のいずれの場合でも、Dominion KX II の KVM-over-IP 技術により接続が可能です。

#### VPN で Dominion KX II を使用できますか。

はい。Dominion KX II では、レイヤ 1 ~ 4 において標準的なインターネット プロ トコル (IP) 技術が使用されています。そのため、標準的な Virtual Private Network (VPN) から届いたトラフィックを簡単にトンネリングできます。



## ネットワーク上で Dominion KX II にアクセスできるようにするには、社内ファイアウ ォールで TCP ポートをいくつ開放する必要がありますか。また、これらのポートは変 更できますか。

1 つだけです。 Dominion KX II では、TCP ポートを 1 つだけ開放してそのポートにアクセスさせることによって、ネットワーク セキュリティを確保します。 このポートは、 セキュリティを高めるために変更することもできます。

ただし、Dominion KX II のオプションの Web ブラウザ機能を利用する場合は、標準の HTTPS ポート 443 も開放する必要があります。

#### Dominion KX II を使用するには外部認証サーバが必要ですか。

いいえ。Dominion KX II は完全に自給自足型のデバイスです。 Dominion KX II に IP アドレスを割り当てたら、使用可能になります。 Web ブラウザ機能と認証機能はもともと組み込まれています。

社内で外部認証サーバ (例: LDAP、Active Directory、RADIUS) を使用してい る場合、Dominion KX II でその外部認証サーバを使用することもできます。また、 Dominion KX II で使用している外部認証サーバに障害が発生した場合、 Dominion KX II の認証機能にフェイルオーバすることもできます。 このように、 Dominion KX II の設計理念は、インストール作業を簡素化すること、外部サーバ にまったく依存しないようにすること、および、柔軟性を大幅に高めることです。

#### Dominion KX II は Citrix 製品と併用できますか。

適切に設定すれば、Dominion KX II を Citrix などのリモート アクセス製品と併 用できます。ただし、十分なパフォーマンスが得られるかどうかは保証できません。 Citrix のような製品では、デジタル KVM スイッチと概念が似ているビデオ リダイレク ト技術が使用されています。したがって、併用した場合 2 種類の KVM-over-IP 技術が同時に使用されることになります。

#### Dominion KX II で DHCP を使用できますか。

DHCP アドレス割り当ては使用できますが、Raritan では固定 IP アドレスの設定 を推奨しています。Dominion KX II はインフラストラクチャ デバイスであるため、固 定 IP アドレスを使用した方が、Dominion KX II に対してより効率的にアクセスし、 管理できます。

### IP ネットワークから Dominion KX II にアクセスできなくなりました。 原因は何で しょうか。

Dominion KX II では、お客様の LAN/WAN が使用されます。考えられる原因 は次のとおりです。

 Ethernet の自動ネゴシエーション:一部のネットワークでは、10/100 Mbps の 自動ネゴシエーションが適切に機能しません。そのため、Dominion KX II を 100 Mbps/全二重に設定するか、または、そのネットワークに適した値に設定す る必要があります。



- IP アドレスの重複: Dominion KX II の IP アドレスが他のデバイスと重複して いる場合、ネットワーク接続を確立できないことがあります。
- ポート 5000 の競合:他のデバイスでポート 5000 を使用している場合、その デバイスと Dominion KX II のいずれかでポートを変更する必要があります。

Dominion KX II の IP アドレスを変更したか、または、新しい Dominion KX II に交換した場合、その IP アドレスと MAC アドレスがレイヤ 2 ネットワークとレイヤ 3 ネットワーク全体に認識されるまで、十分な時間をとる必要があります。



# IPv6 ネットワーキング

#### IPv6 とは何ですか。

IPv6 は "Internet Protocol Version 6" の頭字語です。 IPv6 は次世代の IP プロトコルであり、現在使用されている Internet Protocol Version 4 (IPv4) プロ トコルを置き換えるものです。

IPv6 は、IPv4 が抱えているさまざまな問題を解決します (例: IPv4 アドレスの枯渇)。 経路選択やネットワーク自動設定などの機能が IPv4 よりも向上しています。 IPv6 は徐々に IPv4 を置き換えていくと予想されています。つまり、数年間は両者 が共存することになります。

管理者の観点から見ると、IPv6 は IP ネットワークの大きな問題の一つを解消するのに役立ちます。その問題とは、IP ネットワークの設定作業と保守作業です。

#### Dominion KX II で IPv6 ネットワーキングがサポートされているのはなぜですか。

米国のさまざまな政府機関と国防総省は、調達時に IPv6 対応製品を購入する よう義務付けられています。また、多くの企業および国 (例:中国) が、今後数年 間で IPv6 に移行する予定です。

デュアル スタックとは何ですか。また、デュアル スタックが必要なのはなぜですか。

デュアル スタックは、IPv4 と IPv6 の両方を同時にサポートする機能です。 IPv4 から IPv6 に徐々に移行していくことを考えると、デュアル スタックは IPv6 をサポー トするうえで必須機能であると言えます。

#### Dominion KX II 上で IPv6 を有効にするにはどうすればよいですか。

Dominion KX II の [Device Settings] (デバイス設定) メニューの [Network Settings] (ネットワーク設定) をクリックし、[Network Settings] (ネットワーク設定) ページを開きます。次に、[IPv6 Address] (IPv6 アドレス) チェック ボックスをオン にし、[IP Auto Configuration] (IP 自動設定) ボックスの一覧で値を選択します。 MPC でも IPv6 を有効にする必要があります。

IPv6 アドレスが設定された外部サーバがあります。この外部サーバを Dominion KX II と併用する場合、どうなるでしょうか。

Dominion KX II から外部サーバ (例: SNMP マネージャ、Syslog サーバ、 LDAP サーバ) の IPv6 アドレスを使用してそれらの外部サーバにアクセスすること ができます。

具体的に言うと、Dominion KX II のデュアル スタック アーキテクチャを使用すること により、IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、またはホスト名を指定してこれらの外部サー バにアクセスすることができます。 つまり Dominion KX II は、今後多くのお客様の 社内で発生する IPv4/IPv6 混在環境に対応できます。

Dominion KX I で IPv6 はサポートされていますか。



いいえ。Dominion KX I で IPv6 はサポートされていません。

#### 社内ネットワークで IPv6 がサポートされていない場合、どうなるでしょうか。

Dominion KX II は、出荷時設定では IPv4 だけを使用するようになっています。 社内ネットワークで IPv6 を使用できる状態になったら、前述の「Dominion KX II 上で IPv6 を有効にするにはどうすればよいですか。」の手順を実行し、IPv6/IPv4 デュアル スタックを有効にします。

#### IPv6 に関する詳細情報はどこで入手できますか。

www.ipv6.org に、IPv6 に関する全般情報が掲載されています。また、 『Dominion KX II User Guide』では Dominion KX II における IPv6 のサポー トについて説明されています。



# サーバ

#### Dominion KX II を使用するには Windows サーバが必要ですか。

必要ありません。ユーザは、あらゆる場面で常に利用できる KVM 基盤を求めています。たとえば、問題を解決するために KVM 基盤を使用しなければならない、という場面も考えられます。そのため、Dominion KX II は外部サーバを一切必要としない設計になっています。 たとえば、データ センタが悪質な Windows ワームまたはウィルスによる攻撃を受けた場合、管理者は KVM 製品を使用してこの状況に対処する必要があります。 このような状況下で KVM 製品が適切に機能するためには、、Windows サーバなどの外部サーバを必要としないことが絶対条件となります。

このため、Dominion KX II はそれ自体だけで完全に動作します。 Active Directory サーバを使用してユーザを認証するように Dominion KX II が設定され ている場合でも、その Active Directory サーバが使用不能になると、Dominion KX II 内部の認証機能がアクティブになるので、認証処理を問題なく続行できま す。

Dominion KX II の Web ブラウザ機能を利用する場合、Microsoft Internet Information Services (IIS) などの Web サーバ ソフトウェアをインストールする 必要がありますか。

いいえ。Dominion KX II は完全に自給自足型のデバイスです。 Dominion KX II に IP アドレスを割り当てたら、使用可能になります。なぜかと言うと、Dominion KX II には Web ブラウザ機能と認証機能が完全に組み込まれているからです。

ワークステーションから Dominion KX II にアクセスする場合、どのソフトウェアをイン ストールする必要がありますか。

特別なアクセス用ソフトウェアをインストールする必要はありません。 Web ブラウザを 使用して Dominion KX II にアクセスし、すべての操作を行うことができます。 なお、 raritan.com でオプションのクライアント ソフトウェアを入手することもできます。 このク ライアント ソフトウェアは、モデムを使用して Dominion KX II にアクセスする場合に 必要となります。 また、Windows を使用していないユーザー向けに、Java ベース のクライアント ソフトウェアが提供されるようになりました。

サーバを Dominion KX II に接続するための準備として、何をすればよいですか。

必要な準備作業は、リモート接続時にマウス動作ができるだけ同期するようにマウス 関連パラメータ値を設定することと、画面表示に影響を及ぼす電源管理機能を無 効にすることだけです。 ただし、新製品である D2CIM-VUSB アダプタを使用する 場合は、マウス関連パラメータ値を手動で設定する必要はありません。 D2CIM-VUSB では、ずれないマウス (Absolute Mouse Synchronization™) 機能がサポートされています。



# ブレード サーバ

# ブレード サーバを Dominion KX II に接続できますか。

はい。 Dominion KX II では、代表的なブレード サーバ メーカ (HP、IBM、および Dell) の主要なブレード サーバ モデルがサポートされています 。

サポートされているブレード サーバはどれですか。

サポートされているモデルは次のとおりです。

- Dell PowerEdge 1855、1955、および M1000e
- HP BladeSystem c3000 および c7000
- IBM BladeCenter H および E

注: IBM BladeCenter Model S、T、および HT にアクセスするには、"IBM (Other)" プロファイルを選択します。


#### Paragon 用のブレード対応 CIM は使用できますか。

いいえ。Paragon II 用 ブレード対応 CIM は Dominion KX II で使用できません。

#### どの CIM を使用すればよいですか。

使用する CIM は、ご使用のブレード サーバの製造元とモデルにおける KVM ポートのタイプによって決まります。 サポートされている CIM は、 DCIM-PS2、 DCIM-USBG2、D2CIM-VUSB、および D2CIM-DVUSB です。

#### 使用可能なアクセス方法はどれですか。

Dominion KX II にアクセスする方法としては、(1) ローカル ポートからアクセス、 (2) IP を使用してリモート アクセス、(3) CC-SG 経由でアクセス、(4) モデムを使 用してアクセス、の 4 種類があります。

#### 複数台のブレード サーバを切り替える際、ホットキーを使用する必要がありますか。

ー部のブレード サーバでは、複数台のブレード サーバを切り替える際にホットキーを 使用する必要があります。ただし、通常はホットキーを使用する必要はありません。 ブレード サーバの名前をクリックするだけで、自動的にそのブレード サーバに切り替 わります。ホットキーを明示的に使用する必要はありません。

#### ブレード サーバの管理モジュールにアクセスできますか。

はい。管理モジュールの URL を定義し、Dominion KX II または CC-SG からア クセスすることができます。 ワンクリック アクセスが設定されている場合、1 回のクリッ ク操作でアクセスできます。

#### 1 台の Dominion KX II に接続できるブレード サーバは何台ですか。

パフォーマンス上および信頼性上の理由により、1 台の Dominion KX II に接続で きるブレード サーバ筐体は、モデルにかかわらず最大 8 台です。 接続するブレード サーバ筐体の台数は、Dominion KX II でサポートされているリモート接続数の 2 倍以内にすることを推奨します。 たとえば、リモート チャネルが 2 本ある KX2-216 の場合、接続するブレード サーバ筐体を 4 台以内にすることを推奨し ます。 もちろん、残りのサーバ ポートにブレード サーバを接続することもできます。

当社は中小企業であり、Dominion KX II を数台しか使用していません。CC-SG 管理ステーションを使用する必要がありますか。

いいえ、使用する必要はありません。中小企業のお客様は、新しいブレード サーバ を利用する際に CC-SG を使用する必要はありません。

## 当社は大企業であり、CC-SG を使用しています。 CC-SG からブレード サーバに アクセスできますか。



はい。Dominion KX II 上でブレード サーバの設定が完了したら、CC-SG から KVM 接続を使用してブレード サーバにアクセスできるようになります。 ブレード サ ーバは、筐体別に CC-SG のカスタム ビューに表示されます。

#### インバンド KVM アクセスまたは埋め込み KVM アクセスすることはできますか。

はい。ブレード サーバに対するインバンド アクセスおよび埋め込みアクセスは、 CC-SG で設定できます。

## 一部のブレード サーバ上で VMware を実行しています。 この構成はサポートされ ていますか。

はい。CC-SG を使用して、ブレード サーバ上で実行されている仮想マシンを表示 し、また、その仮想マシンにアクセスすることができます。

#### 仮想メディアはサポートされていますか。

IBM BladeCenter Model H または E と D2CIM-DVUSB を併用した構成で は、仮想メディアを利用できます。

#### ずれないマウス機能はサポートされていますか。

ブレード筐体内に KVM スイッチを備えているサーバの場合、通常、ずれないマウス 機能はサポートされません。 HP 製ブレード サーバおよび一部の Dell 製ブレード サーバの場合、各ブレード サーバに CIM が接続されます。したがって、ブレード サ ーバ上で実行されている OS でずれないマウス機能がサポートされていれば、そのブ レード サーバでずれないマウス機能がサポートされます。

### ブレード サーバへのアクセスは安全ですか。

はい。ブレード サーバへのアクセスには、Dominion KX II の標準的なセキュリティ機能 (例: 128 ビットまたは 256 ビットの暗号化) がすべての使用されます。 その他、 ブレード サーバ特有のセキュリティ機能があります。たとえば、ブレード サーバごとにア クセス権限を付与する機能や、入力されたホットキーを拒否する機能などがあるので、 不正アクセスの防止に役立ちます。

# Dominion KSX II および KX II-101 で、ブレード サーバはサポートされていますか。

現時点では、これらの製品ではブレード サーバはサポートされていません。ブレード サーバのサポートは Dominion KX II の新機能です。



## インストール

### Dominion KX II を導入する場合、デバイス本体以外に何を Raritan に注文す る必要がありますか。

Dominion KX II に接続するサーバごとに、Dominion CIM または Paragon CIM が必要です。CIM は、サーバのキーボード ポート、ビデオ ポート、およびマウ ス ポートに直接接続するアダプタです。

#### 導入時、どのタイプの Cat5 ケーブルを使用すればよいですか。

Dominion KX II では、Cat5、Cat5e、または Cat6 の任意の標準的なシールド なしツイスト ペア (UTP) ケーブルを使用できます。 Raritan のマニュアルや販売 資料では、単に "Cat5" と記載されています。 実際には、Dominion KX II ではど のブランドの UTP ケーブルも使用できます。

#### Dominion KX II にはどのようなタイプのサーバを接続できますか。

Dominion KX II は特定のベンダに依存しないデバイスです。標準キーボード ポート、ビデオ ポート、およびマウス ポートを搭載しているあらゆるサーバを接続できます。

#### サーバを Dominion KX II に接続するにはどうすればよいですか。

サーバを Dominion KX II に接続するには、まず、Dominion CIM または Paragon CIM をサーバのキーボード ポート、ビデオ ポート、およびマウス ポートに 直接接続します。 次に、Cat5、Cat5e、または Cat6 の標準 UTP ケーブルを使 用して、各 CIM を Dominion KX II に接続します。

#### サーバは Dominion KX II からどのくらい離すことができますか。

サーバのタイプにもよりますが、一般に Dominion KX II から最大 45 m 離すこと ができます。詳細については、Raritan の Web サイト (www.raritan.com) また は「「ターゲット サーバとの接続距離および画面解像度『p. 272』」を参照してくださ い。 仮想メディア機能とずれないマウス機能をサポートする D2CIM-VUSB および D2CIM-DVUSB の場合は、接続距離を 30 m 以内にすることを推奨します。

一部の OS において、稼動中にキーボードまたはマウスを取り外すとサーバがロック されます。キーボードまたはマウスを取り外したときに、Dominion KX II に接続さ れているサーバがロックされないようにするには、どうすればよいですか。

Dominion コンピュータ インターフェース モジュール (DCIM) ドングルは、それぞれ 接続されているサーバに対する仮想キーボードや仮想マウスとして動作します。この 技術は、KME (キーボード/マウス エミュレーション) と呼ばれます。Raritan の KME 技術は、データ センターでの使用に耐えるグレードであり、厳正にテストされて います。また、ローエンドの KVM スイッチの技術に比べてはるかに高い信頼性が確 保されています。この技術には 15 年間以上に及ぶ実績も生かされており、世界中 で何百万台ものサーバに実装されています。



Dominion KX II に接続するサーバに何らかのエージェント ソフトウェアをインストー ルする必要があ

Dominion KX II に接続するサーバにエージェント ソフトウェアをインストールする必要はありません。なぜかと言うと、Dominion KX II はハードウェアを介してサーバのキ ーボード ポート、ビデオ ポート、およびマウス ポートに直接接続するからです。

それぞれの Dominion KX II に何台のサーバを接続できますか。

1 U 筐体の場合はサーバ ポートが 8、16、または 32 個搭載されています。2 U 筐体の場合は、サーバ ポートが 8、16、32、または 64 個搭載されています。 こ のポート密度は、デジタル KVM スイッチ分野で業界最高水準です。

ある Dominion KX II からサーバを切断し、別の Dominion KX II に再接続す るかまたは同じ Dominion KX II の別のポートに再接続した場合、どうなります か。

サーバ接続先ポートを変更した場合、サーバ ポート名が自動更新されます。 この 変更内容は、ローカル クライアントおよびすべてのリモート クライアントに反映されま す。CC-SG を使用している場合は、CC-SG にも反映されます。

RS-232 でシリアル制御される デバイス (例: Cisco 製のルータやスイッチ、Sun 製のヘッドレス サーバ) を Dominion KX II に接続するにはどうすればよいです か。

シリアル制御されるデバイスの数が少ない場合、Raritan の新製品である P2CIM-SER シリアル変換器を使用して、Dominion KX II に接続できます。

シリアル制御されるデバイスが 4 台以上ある場合は、Raritan のセキュア コンソー ル サーバである KSX II 製品または SX 製品を使用することを推奨します。これ らのデバイスは、使用、設定、および管理が容易であり、また、既に使用している Dominion シリーズと完全に統合できます。特に、多くの UNIX 管理者やネットワ ーク管理者が、これらのデバイスに SSH で直接接続できる機能を高く評価してい ます。



## ローカル ポート

#### ラックからサーバに直接アクセスできますか。

はい。 ラックでは、Dominion KX II は従来型 KVM スイッチと同じように機能しま す。つまり、1 組のキーボード、モニタ、およびマウスを使用して、最大 64 台のサー バを制御できます。

### 自分がローカル ポートを使用しているとき、他ユーザがサーバにリモート アクセスでき ないように設定できますか。

いいえ。Dominion KX II のローカル ポートにおけるサーバへのアクセス パスは、ロ ーカル ポート専用です。 したがってユーザは、ラックからサーバにローカル アクセスす る際、同時にリモート アクセスするユーザの数を制限する必要はありません。

### USB キーボードまたは USB マウスをローカル ポートで使用できますか。

はい。 Dominion KX II のローカル ポート エリアには、PS/2 キーボード ポート、 PS/2 マウス ポート、および 3 つの USB ポートがあります。 USB ポートは USB v1.1 対応であり、キーボードとマウスしか接続できません。スキャナやプリンタな どの USB デバイスは接続できません。

#### ローカル アクセスする場合、OSD が表示されますか。

はい。ただし、Dominion KX II へのローカル アクセスは、従来の Onscreen Display (OSD) よりもはるかに優れています。 Dominion KX II では、ローカル ア クセス用に業界初の Web ブラウザ画面が用意されており、また、ローカル アクセス とリモート アクセスの両方に対して同じ画面がが使用されます。 さらに、大半の管 理機能をローカルで実行できます。

#### ローカル ポートを使用しているとき、サーバを切り替えるにはどうすればよいですか。

ローカル ポートを使用しているとき、接続されているサーバが、リモート クライアントと 同じ画面に表示されます。 サーバを切り替えるには、切り替え先サーバをマウスで クリックします。

承認されたユーザだけがローカル ポートからサーバにアクセスできるようにするには、ど うすればよいですか。

ユーザがローカル ポートを使用するには、リモートでアクセスする場合と同レベルの認 証を受ける必要があります。これは次のことを意味します。

- Dominion KX II が外部の認証サーバ (RADIUS サーバ、LDAP、サーバ、 または Active Directory サーバ) と連係するように設定されている場合、ユー ザがローカル ポートを使用しようとしたときに、リモート ユーザと同じサーバで認 証されます。
- 外部の認証サーバが使用不能になった場合は、Dominion KX II 内部の認 証データベースにフェイルオーバされます。



 Dominion KX II 自体に認証機能が備わっているので、設置後すぐに使用を 開始できます。

ローカル ポートを使用して、接続されているサーバの名前を変更した場合、この変 更内容はリモート クライアントにも反映されますか。また、CC-SG を使用している 場合、この変更内容が CC-SG にも反映されますか。

はい。ローカル クライアント、リモート クライアント、および CC-SG における画面 表示内容は同一であり、完全に同期しています。 つまり、Dominion KX II の OSD でサーバの名前を変更すると、この変更内容がすべてのリモート クライアント および外部の管理サーバにリアルタイムで反映されます。

Dominion KX II のリモート管理ツールを使用して、接続されているサーバの名前 を変更した場合、その変更内容がローカル クライアントの OSD にも反映されます か。

はい。リモート クライアントまたは CC-SG (Raritan の管理用デバイス、使用は 任意) でサーバの名前を変更した場合、その変更内容は Dominion KX II の OSD に即座に反映されます。

ローカル クライアントの画面に影のようなものが発生することがあります。 これはなぜ ですか。

LCD モニタを長時間使用すると、このような影や残像が発生する可能性があります。 画面を長時間表示し続けると、LCD の特性と帯電が原因でこのような影が発生す ることがあります。



## 電源制御

#### Dominion KX II では電源を二重化できますか。

Dominion KX II のどのモデルでも、AC 入力電力と電源が二重化されており、自動フェイルオーバ機能が備わっています。 いずれか一方の入力電力または電源に 障害が発生した場合、もう一方に自動的に切り替わります。

#### Dominion KX II で使用する電源では、電圧設定が自動検出されますか。

はい。 Dominion KX II の電源は、100 ~ 240 V、50 ~ 60 Hz の範囲の AC 電圧で使用できます。

#### 電源または入力電力に障害が発生した場合、通知されますか。

障害が発生した場合、Dominion KX II の前面パネルの LED によってユーザに通知されます。 同時に、監査ログにエントリが書き込まれ、Dominion KX II リモート クライアント画面に表示されます。 管理者によって設定されている場合は、その後 SNMP イベントまたは Syslog イベントが発生します。

#### Dominion KX II の電源制御機能はどのタイプですか。

Raritan の Remote Power Control (RPC) 電源タップを Dominion KX II に 接続することにより、KVM ターゲット サーバの電源を制御できます。 簡単な設定 作業を 1 度行えば、その後はサーバ名を右クリックするだけで、サーバの電源を投 入または切断すること、および、ハングしたサーバの電源を再投入することができます。 電源再投入は、サーバの AC 電源コードをいったん抜いて再度差し込むことと同じ です。

### Dominion KX II では、電源を複数個備えたサーバはサポートされていますか。 各電源が別々の電源タップに接続されている場合、どうなりますか。

はい。 複数台の電源を別々の電源タップに接続する構成をサポートするように、 Dominion KX II を設定できます。 Dominion KX II には最大 8 個の電源タップ を接続できます。 ターゲット サーバごとに 4 台の電源を、別々の電源タップに接続 できます。

#### 電源をリモート制御する場合、特別なサーバ構成にする必要がありますか。

ー部のサーバでは、電源をいったん切断して再投入したときにサーバが自動再起動 しないように、BIOS が設定されています。このようなサーバを使用する場合、その サーバのドキュメントを読み、この設定を変更してください。

#### Dominion KX II でサポートされている電源タップのタイプはどれですか。



Dominion KX II の電源制御画面、および、重要なセキュリティ機能を利用するに は、Raritan の Remote Power Control (RPC) 電源タップを使用します。 RPC 製品ファミリの中には、さまざまなコンセント、コネクタ、およびアンペアの製品が あります。 RPC を Dominion KX II に接続するには、D2CIM-PWR を購入す る必要があります。

# 拡張性

### 複数台の Dominion KX II を接続して 1 つのソリューションとして使用するには、 どうすればよいですか。

複数台の Dominion KX II を物理的に相互接続する必要はありません。代わり に、各 Dominion KX II をネットワークに接続します。Raritan の CC-SG 管理 デバイスを使用して Dominion KX II を配備した場合、Dominion KX II どうしが 自動的に連係動作し、1 つのソリューションとして機能します。CC-SG は、リモート アクセスおよびリモート管理用の単一のアクセス ポイントとして機能します。たとえば、 設定作業を集中管理すること、ファームウェア更新作業を集中管理すること、認証 データベースを一本化することなどができるので便利です。

また、CC-SG を使用することにより、高度な方法でサーバを分類することやアクセス 権限を付与することができます。 CC-SG を配備できない場合でも、Dominion KX II どうしが自動的に連係動作するので、拡張性が向上します。 Dominion KX II のリモート ユーザ インタフェースおよび MPC では、Dominion KX II が自動検 出されます。 検出されなかった Dominion KX II にアクセスするには、ユーザが作 成したプロファイルを使用します。

# 現在使用しているアナログ KVM スイッチを Dominion KX II に接続できますか。

はい。アナログ KVM スイッチを Dominion KX II のいずれかのサーバ ポートに接 続できます。 具体的には、PS/2 CIM を使用して、現在使用しているアナログ KVM スイッチのユーザ ポートに接続します。 アナログ KVM スイッチの仕様はそれ ぞれ異なっているため、Raritan では、サードパーティ製アナログ KVM スイッチとの 相互運用性については保証していません。 詳細については、Raritan のテクニカル サポート部門にお問い合わせください。



# コンピュータ インタフェース モジュール (CIM)

Paragon (Raritan 製のアナログ KVM スイッチ) 用 CIM を Dominion KX II で使用できますか。

はい。 一部の Paragon 用 CIM は、Dominion KX II で使用できます。 動作 確認済み CIM の最新情報については、弊社 Web サイトで公開されている Dominion KX II のリリース ノートを参照してください。

ただし、Paragon 用 CIM には、ビデオを 300 m 先まで伝送するための技術が 組み込まれているため、Dominion KX II 用 CIM に比べて高価です。したがって、 Dominion KX II と併用するために Paragon 用 CIM を購入することは、推奨で きません。また、Paragon 用 CIM を Dominion KX II に接続した場合のビデオ 伝送距離は、Dominion KX II 用 CIM と同じく最大で 45 m になります。 Paragon に接続した場合の 300 m ではありません。

# Dominion KX II 用 CIM を Paragon (Raritan 製のアナログ KVM スイッチ) で使用できますか。

いいえ。Dominion KX II 用 CIM のビデオ伝送距離は 15 ~ 45 m なので、 Paragon には使用できません。Paragon には、ビデオ伝送距離が最大 300 m の CIM が必要です。お客様に業界最高水準の画質を提供する、というのが Raritan の一貫した方針です。そのため、Dominion シリーズ用 CIM を Paragon に使用することはできません。



## セキュリティ

#### Dominion KX II で使用されている暗号化方式は何ですか。

Dominion KX II では、SSL 通信とデータ ストリームの両方において、業界標準 である極めて安全な RC4 暗号または AES 暗号が使用されます。 実際、暗号 化によってセキュリティが確保されていないリモート クライアントと Dominion KX II の間では、データは送信されません。

Dominion KX II では、米国政府の NIST および FIPS で推奨されている AES 暗号がサポートされていますか。

Dominion KX II では、セキュリティを高めるために Advanced Encryption Standard (AES) が使用されます。

AES は米国政府の承認した暗号アルゴリズムです。NIST (米国の国立標準技術 研究所) の FIPS 標準 197 で推奨されています。

Dominion KX II ではビデオ データを暗号化できますか。 それとも、キーボードデ ータとマウス データだけが暗号化されますか。

競合製品ではキーボード データとマウス データだけが暗号化されますが、 Dominion KX II ではセキュリティに関して妥協していません。Dominion KX II で は、キーボード データ、マウス データ、およびビデオ データをすべて暗号化できます。

Dominion KX II は外部認証サーバ (例: Active Directory サーバ、 RADIUS サーバ、LDAP サーバ) とどのように連係動作しますか。

Dominion KX II では、きわめて簡単に、すべての認証要求を外部認証サーバ (例: LDAP サーバ、Active Directory サーバ、RADIUS サーバ) に転送するよう に設定できます。また、ユーザが認証されるたびに、そのユーザが所属するユーザ グ ループに関する情報が、外部認証サーバから Dominion KX II に送信されます。 Dominion KX II では、そのユーザが所属するユーザ グループに基づいて、そのユー ザに付与するアクセス権限が決まります。

ユーザ名とパスワードはどのように保存されますか。

Dominion KX II の内部認証機能を使用する場合、ユーザ名やパスワードなどの 機密情報はすべて暗号化されたうえで保存されます。 実際、Raritan のテクニカル サポート部門や製品設計部門のスタッフを含め、だれもこれらのユーザー名やパスワ ードを読み出すことができません。

#### Dominion KX II では強力なパスワードを使用できますか。

はい。Dominion KX II には、管理者が設定できる強カパスワード検査機能が備わっています。この機能により、ユーザが作成したパスワードが社内および政府の基準を満たしているかどうか、および、ブルートフォース (総当たり) 攻撃によって解読されにくいかどうかが検査されます。



Dominion KX II で暗号化モードを "自動" に設定した場合、どのレベルの暗号 化が行われますか。

自動調整される暗号化レベルは、使用しているブラウザによって異なります。



## 管理機能

# Web ブラウザを使用して Dominion KX II をリモートで管理および設定できますか。

はい。Web ブラウザを使用して、Dominion KX II のすべての設定をリモートで行う ことができます。 ただし、リモート クライアントに適切なバージョンの Java Runtime Environment (JRE) がインストールされている必要があります。

Dominion KX II の IP アドレスを初期設定できるだけでなく、Dominion KX II に 関するすべての情報をネットワーク上で設定できます。 Ethernet クロス ケーブルと Dominion KX II のデフォルト IP アドレスを使用することにより、Web ブラウザから 出荷時の初期設定値を変更することできます。

#### Dominion KX II の設定情報をバックアップおよび復元できますか。

はい。Dominion KX II のデバイス設定情報とユーザ設定情報はすべてバックアップ できるので、大規模障害が発生した場合でも復元できます。

Dominion KX II のバックアップ/復元処理は、ProductName リモート コンソール を使用して、ネットワーク経由でリモートで行うこともできます。

# Dominion KX II ではどのような監査処理およびログ記録処理が実行されますか。

アカウンタビリティの観点から、Dominion KX II では主要なユーザ イベントとシステム イベントがタイムスタンプ付きでログ記録されます。 記録されるイベントの例としては、 ユーザのログオン、ユーザのログオフ、特定サーバへのユーザ アクセス、失敗したログオン、設定変更などがあります。

#### Dominion KX II は Syslog サーバと連係動作しますか。

はい。 Dominion KX II には、内部にログを記録する機能が備わっていますが、それに加えて、ログ記録されたすべてのイベントを中央の Syslog サーバに送信することもできます。

#### Dominion KX II は SNMP マネージャと連係動作しますか。

はい。 Dominion KX II には、内部にログを記録する機能が備わっていますが、それに加えて、SNMP トラップを SNMP マネージャ (例: HP OpenView、Raritan の CommandCenter NOC (CC-NOC)) に送信することもできます。

### Dominion KX II の内部クロックを時刻サーバと同期させることができますか。

はい。Dominion KX II では業界標準の NTP プロトコルがサポートされているので、 内部クロックを社内または社外の時刻サーバと同期させることができます。なお、社外 の時刻サーバと同期させるには、Dominion KX II から送信される NTP 要求が社 内ファイアウォールを通過できる必要があります。



## その他

Dominion KX II のデフォルトの IP アドレスは何ですか。

192.168.0.192

Dominion KX II のデフォルトのユーザ名とパスワードは何ですか。

Dominion KX II のデフォルトのユーザ名は admin、デフォルトのパスワードは raritan です (すべて小文字)。ただし最高レベルのセキュリティを確保するため、 Dominion KX II の初回起動時に、デフォルトの管理者ユーザ名と管理者パスワー ドを変更するよう要求されます。

Dominion KX II の管理者パスワードを変更しましたが、変更後のパスワードを忘れてしまいました。新しいパスワードを発行してもらえますか。

Dominion KX II のハードウェア リセット ボタンを押すと、ProductName が出荷時設定にリセットされます。このとき、管理者パスワードも出荷時設定にリセットされます。

Firefox を使用して Dominion KX II にログオンした後、別の Firefox ブラウザ を開きました。この場合、2 番目に開いた Firefox ブラウザから同じ Dominion KX II に自動ログオンされます。これは正常な動作ですか。

問題ありません。ブラウザとクッキーが機能している証拠です。

Firefox を使用して Dominion KX II にログオンした後、同じクライアント コンピュータから別の Firefox ブラウザ セッションを使用して別の Dominion KX II にログオンしようとしました。 すると、両方の Dominion KX II からログオフされました。 これは正常な動作ですか。

はい。別の Dominion KX II にアクセスするには、最初のセッションを切断するか、または、別のクライアント コンピュータを使用してください。

Firefox を使用して KVM セッションを実行しているときに、VKC である特定のダ イアログ ボックス (例: [Connection Properties] (接続プロパティ)、[Video Settings] (ビデオ設定)) を開くと、すべての Firefox ブラウザ セッションがブロック されるようです。 どうすればよいですか。

これは正常な動作です。なぜかと言うと、すべての Firefox セッションが互いに関連 付けられているからです。 そのダイアログ ボックスを閉じると、Firefox はブロックされ なくなります。



# ĺ

[Authentication Settings] (認証設定) - 120 [Auto-sense Video Settings] (ビデオ設定の自 動検出) - 68 [Calibrate Color] (色調整) - 69 [CD-ROM/DVD-ROM/ISO Images] (CD-ROM/DVD-ROM/ISO イメージ) - 87, 93 [Connection Properties] (接続プロパティ) - 61 [Device Services] (デバイス サービス) - 139, 165, 169 [Dominion KX II Diagnostics] (Dominion KX II 診断) ページ - 226 [Encryption & Share] (暗号化および共有) -192, 198, 254 [Event Management - Destinations] ( $\neg \neg \rangle$ ) 管理 - 送信先) - 146 [Event Management - Settings] (イベント管理 - 設定)の設定 - 144 [Favorites List] (お気に入りリスト) ページ -50, 51 [Local Drives] (ローカル ドライブ) - 90, 91 [Logon Limitations] (ログオン制限) - 192, 193 [Manage Favorites] (お気に入りの管理) ペー ジ-49 [Modem Settings] (モデム設定) - 27, 140 [Network Interface] (ネットワーク インタフェ -ス) ページ - 220 [Network Settings] (ネットワーク設定) - 25, 30, 33, 133, 134, 137 [Network Statistics] (ネットワーク統計) ペー ジ - 221 [Ping Host] (ホストに ping する) ページ -224 [Port Access] (ポート アクセス) ページ - 42, 44, 160 [Port Access] (ポート アクセス) ページ (ロー カル コンソール サーバ ディスプレイ)-244 [Port Action] (ポート アクション) メニュー -45, 46, 245 [Port Configuration] (ポート設定) - 152 [Power Supply Setup] (電源設定) - 26, 35, 150

[Refresh Screen] (画面の更新) - 68
[Screenshot from Target server] (ターゲット サーバのスクリーンショット) - 71
[Strong Passwords] (強力なパスワード) - 132, 192, 195
[Trace Route to Host] (ホストへの経路をトレ ースする) ページ - 225
[User Blocking] (ユーザ ブロック) - 192, 196
[User Group List] (ユーザ グループ リスト) -107
[User List] (ユーザ リスト) - 118
[Video Settings] (ビデオ設定) - 69

# A

A. AC 電源: - 26 Absolute (ずれない) マウス モード - 76 Apple MacintoshR の設定 - 25

## B

B. モデム ポート (オプション) - 27

# С

C. ネットワーク ポート - 27 CC-SG - 295 CC-SG ユーザへの注意事項 - 36 CIM - 293 CIM キーボード/マウス オプションの設定 -67 CIM の互換性 - 97 CIM をアップグレードする - 97, 185, 213 CLI コマンド - 228, 236 CLI の画面操作 - 232 CLI プロンプト - 235 CLI を使用した初期設定 - 234 CLI を使用しての Dominion KX II へのアクセ ス - 229 **CLI** 構文 ヒントとショートカット キー - 233

# D

D. ローカル アクセス ポート (ローカル PC)
 -28



Dell 筐体を接続する場合のケーブル長と画面 解像度 - 165, 289 DellR ブレード シャーシの設定 - 165 Dominion KX II コンソール サーバ設定用コマ ンドを使用する - 237 Dominion KX II コンソールでの案内 - 43 Dominion KX II コンソールのレイアウト - 42 Dominion KX II サブネット上のデバイスの検 出 - 51 Dominion KX II のポート間を移動する - 296 Dominion KX II の概要 - 3 Dominion KX II への SSH 接続 - 229 Dominion KX II への Telnet 接続 - 230 Dominion KX II ヘルプ - 2 Dominion KX II リモート コンソール インタ フェース - 40 Dominion KX II リモート コンソールの起動 -41 Dominion KX II ローカル コンソール - 240 Dominion KX II ローカル コンソール インタ フェース - 40, 243 Dominion KX II ローカル コンソールの [Factory Reset] (出荷時設定にリセット) ペ ージ - 253 Dominion KX II ローカル コンソールの [Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ページ - 248 Dominion KX II ローカル コンソールの画面に 切り替える - 247 Dominion KX II ローカル コンソールを使用す 3 - 242 Dominion KX II を CC-SG の管理対象から除 外する - 218

## E

E. ターゲット サーバ ポート - 29
 Ethernet と IP ネットワーキング - 305

# F

FAQ - 297 Fedora Core のフォーカスに関する問題を解 決する - 290 Fedora、Firefox 3.0.x、および JRE 1.5.0\_16 の環境で VKC を実行する - 290

# Η

HPR ブレード シャーシ設定 (ポート グルー プ管理) - 175, 178

## Ι

IBM AIXR 5.3 の設定 - 24
IBMR ブレード シャーシの設定 - 169
Intelligent (インテリジェント) マウス モード - 13, 75
interface コマンド - 238
IP アクセス制御を設定する - 201
IP アドレスの割り当て - 30
ipv6 コマンド - 239
IPv6 ネットワーキング - 312
IPv6 のサポートに関する注意事項 - 284

## J

Java Runtime Environment (JRE) - 283

## Κ

KVM ターゲット サーバの切り替え - 58
KVM ターゲット サーバの切断 - 59
KVM ターゲット サーバへの接続 - 55,60
KVM ポート用のプロファイルの選択 - 105

# L

LAN インタフェース設定 - 33, 137 LDAP から返す場合 - 275 LDAP スキーマを更新する - 275 LDAP/LDAPS リモート認証の実装 - 121 Linux ターゲット サーバに対して Windows の 3 ボタン マウスを使用する場合 - 293 Linux の設定 (Red Hat 4) - 18 Linux の設定 (Red Hat 9) - 16 Linux の設定の永続化 - 20

## Μ

Macintosh キーボード - 288 Microsoft Active Directory から返す場合 - 275 Microsoft Active Directory についての注意事 項 - 36 MPC と VKC の接続設定 - 295 Multi-Platform Client インタフェース - 54



## Ν

name コマンド - 239

## R

RADIUS リモート認証の実装 - 126 RADIUS 通信交換仕様 - 128

## S

SSL 証明書 - 1, 204 Standard (標準) マウス モード - 74 Sun サーバへのアクセス時に使用できる特別 なキー組み合わせ - 246 SunR Solaris? の設定 - 20 SUSE Linux 10.1 の設定 - 19 SUSE と VESA のビデオ モード - 290

# Т

Telnet 接続を有効にする - 230

# U

UNIX の設定の永続化 - 24 UNIX/Linux ワークステーションから SSH で 接続する - 230 USB プロファイル - 303 USB プロファイルの管理 - 211, 212 USB プロファイルの設定 - 60, 96, 185 USB プロファイルの設定 ([Port] (ポート) ペ ージ) - 105, 171, 185 USB プロファイルの選択 - 60 USB プロファイルの選択に関するヘルプ -291 USB ポートとプロファイル - 291

## V

Virtual KVM Client - 42, 46, 55, 96, 301 VKC ツールバー - 56 VKC のバージョンが CC-SG プロキシ モー ドで認識されない - 295 VKC 仮想メディア - 77 VM-CIM および DL360 の USB ポート -291

# W

Web ブラウザ インタフェースの追加に関す るヒント - 164, 167, 169, 171, 173
Web ブラウザからの MPC の起動 - 54
Windows 2000 での複合 USB デバイスの動 作 - 294
Windows 2000R の設定 - 13
Windows PC から SSH で接続する - 229
Windows PC から Telnet で接続する - 230, 231
Windows VistaR の設定 - 15
Windows XPR/Windows 2003R - 14

# あ

アップグレード履歴 - 216 アメリカ英語以外のキーボード - 285 イベント管理 - 143 インストール - 318 インストールと設定 - 11 インタフェース - 39 お気に入りの管理 - 48 お気に入りの追加、削除、および編集 - 52

## か

キーボード - 285 キーボード マクロ - 64 キーボード マクロの作成 - 64 キーボード マクロの実行 - 66 キーボード マクロの変更および削除 - 66 キーボード レイアウト コードの変更 (Sun ターゲット)-37 キーボードのオプション - 64 キーボード言語の設定 (Fedora クライアント ) - 286 グループベースの IP ACL (アクセス制御リス 上) - 108, 112, 115, 201 コマンド ライン インタフェース (CLI) - 228 コマンドのオート コンプリート -233 コンセントに関連付けられている KVM ター ゲット サーバの管理 ([Port] (ポート) ペー ジ) - 158 コンセントの電源オン/オフの切り替えまたは 電源再投入を行う - 189



コンピュータ インタフェース モジュール (CIM) - 97, 268, 324 ご使用のブラウザで AES 暗号化方式がサポ ートされているかどうかを確認する - 198, 199, 201

## ð

サーバ - 314 サポートされている CIM およびオペレーテ ィング システム (ターゲット サーバ)-9, 29,259 サポートされているオペレーティング システ ム (クライアント) - 9,257 サポートされているブラウザ - 259 サポートされているブレード シャーシ モデ ル - 163, 165, 169, 178 サポートされているプロトコル - 36 サポートされている画面解像度 - 19, 24, 255, 272 シングル マウス カーソル - 76 シングル マウス モード Firefox を使用して CC-SG の管理下 にあるターゲット サーバにアクセ スする場合 - 295 スキーマ キャッシュを更新する - 279 スキーマへの書き込み操作を許可するように レジストリを設定する - 276 ステップ2 Dominion KX II の設定 - 11, 29 ステップ3 KVM ターゲット サーバの設定 - 11, 12 装置の接続 - 11, 26, 34, 153, 163, 165, 169 ステップ4 ネットワーク ファイアウォールの設定 - 11. 25 すべての CLI レベルで使用できるコマンド -234 セキュリティ - 325 セキュリティと認証 - 242 セキュリティの設定 - 86, 192 セキュリティ上の問題 - 192,237 その他 - 328 ソフトウェア -8

# た

ターゲット サーバとの接続距離および画面解 像度 - 255, 272, 318 ターゲット サーバにアクセスする - 247 ターゲット サーバの使用 - 39, 161 ターゲット サーバの電源管理 - 58 ターゲット サーバの命名 - 34 ツール オプション - 77 デスクトップの背景 - 12 デバイス管理 - 133 デバイス情報 - 208 デフォルト パスワードの変更 - 30, 42 デフォルトのログオン情報 - 11

# な

ネットワーク パラメータ値を設定する - 235 ネットワークを設定する - 237 ネットワーク基本設定 - 134 ネットワーク速度の設定 - 138, 273

# は

ハードウェア -7 はじめに -1 パスワードの変更 - 132 バックアップと復元 - 175,209 パッケージの内容 -10 パラメータ値を設定する - 235 ビデオのプロパティ - 68 ファームウェアをアップグレードする -214 ファイル サーバのセットアップ (ファイル サーバ ISO イメージの場合のみ) - 87,89 ファイル追加後に仮想メディアが最新の情報 に更新されない - 295 フランス語キーボード - 285 ブレード サーバ - 315 ブレード シャーシでサポートされている CIM - 178 ブレード シャーシのサンプル URL フォーマ ブレード シャーシの設定 - 1, 160 ブレード シャーシの必須および推奨設定 -163, 165, 169, 181 プロキシ モードと MPC - 296 プロファイル名の競合を処理する - 212



ヘルプでの最新情報 - 1 ヘルプのオプション - 81 ポート権限の設定 - 108, 111, 115 ホットキー - 46, 246

## ŧ

マウス オプション - 72 マウス ポインタの同期 - 73 マウス ポインタの同期 (Fedora) - 289 マウスの設定 - 13

# Þ

ユーザ - 117 ユーザ グループ - 106 ユーザ グループとユーザの作成 - 37 ユーザ グループ情報を Active Directory サー バから返す - 125 ユーザ グループ情報を RADIUS 経由で返す - 128 ユーザ グループ情報を返す - 275 ユーザ メンバの rciusergroup 属性を編集す る - 280 ユーザが同時接続可能 - 242 ユーザとグループの関係 - 107 ユーザのログオフ (強制ログオフ)-1,119 ユーザ管理 - 37, 106, 242 ユーザ認証プロセス - 130 ユニバーサル仮想メディア - 302

# 6

リセット ボタンを使用して Dominion KX II をリセットする - 254 リモート アクセス - 300 リモート接続 - 270 リモート認証 - 36, 250 ローカル サブネット上のデバイスの検出 -50 ローカル ポート - 320 ローカル ポートの管理 - 248 ログオフ - 54 ログオン - 231

# 漢字

仮想メディア - 5,82,295 仮想メディアの使用 - 89





💽 Raritan.

日付/時刻の設定 - 142 入門 - 12, 234 認定モデム - 142, 266 汎用ブレード シャーシの設定 - 163 標準ターゲット サーバの設定 - 153 表示オプション - 80 物理的仕様 - 266 保守 - 207 有効な解像度 - 243 用語 - 8, 12 留意事項 - 256, 283



# Raritan.

## ▶ 米国/カナダ/ラテン アメリカ

月曜日~金曜日 午前 8 時~午後 8 時 (米国東海岸時間) 電話:800-724-8090 または 732-764-8886 CommandCenter NOC に関するお問い合わせ:6 を押してから 1 を押してください。 CommandCenter Secure Gateway に関するお問い合わせ:6 を押してから 2 を押 してください。 Fax:732-764-8887 CommandCenter NOC に関する電子メール:tech-ccnoc@raritan.com その他のすべての製品に関する電子メール:tech@raritan.com

### ▶ 中国

#### 北京

月曜日~金曜日 午前 9 時~午後 6 時 (現地時間) 電話:+86-10-88091890

#### 上海

月曜日~金曜日 午前 9 時~午後 6 時 (現地時間) 電話:+86-21-5425-2499

#### 広州

月曜日~金曜日 午前 9 時~午後 6 時 (現地時間) 電話:+86-20-8755-5561

## ▶ インド

月曜日~金曜日 午前 9 時~午後 6 時 (現地時間) 電話:+91-124-410-7881

#### ▶ 日本

月曜日~金曜日 午前 9 時 30 分~午後 5 時 30 分 電話:+81-3-3523-5994 電子メール:support.japan@raritan.com

## ▶ ヨーロッパ

#### ヨーロッパ

月曜日~金曜日 午前 8 時 30 分~午後 5 時 (GMT+1 CET) 電話:+31-10-2844040 電子メール:tech.europe@raritan.com

### 英国

月曜日~金曜日 午前 8 時 30 分~午後 5 時 (GMT+1 CET) 電話:+44-20-7614-77-00 フランス 月曜日~金曜日 午前 8 時 30 分~午後 5 時 (GMT+1 CET) 電話:+33-1-47-56-20-39

#### ドイツ

月曜日~金曜日 午前 8 時 30 分~午後 5 時 30 (GMT+1 CET) 電話:+49-20-17-47-98-0 電子メール:rg-support@raritan.com

### メルボルン (オーストラリア)

月曜日~金曜日 午前 9 時~午後 6 時 (現地時間) 電話:+61-3-9866-6887

#### ▶ 台湾

月曜日~金曜日 午前 9 時~午後 6 時 (標準時:GMT-5、夏時間:GMT-4) 電話:+886-2-8919-1333 電子メール:support.apac@raritan.com